Futurize.

Challenge your mind.
Change our future.
Try everything.

立命館大学

RITSUMEIKAN UNIVERSITY

大学案内 2025

［学園ビジョンR2030］

挑戦をもっと自由に

いま 世界と社会は 大きく 急激に 変わっています
先を見据えることが極めて難しい局面を迎えています

このような時代の中で
未来のあるべき姿を積極的に社会に提起していくとともに
柔軟に 粘り強く 変化に対応できる力を育み
多様な人々が集う学園の創造を通じて社会に貢献します

このために 異なる価値観を認め合い
摩擦を恐れず 高め合い これまでの限界を超えていく

あらゆる人の自由な挑戦が
希望に満ちた未来につながる社会を目指して
私たちはこれからも挑戦を続けます

立命館大学 学生育成目標

立命館大学は、「自由と清新」の建学の精神と「平和と民主主義」の教学理念に基づき、「未来を信じ、未来に生きる」の精神をもって、確かな学力の上に、豊かな個性を花開かせ、正義と倫理をもった地球市民として活躍できる人間の育成に努めることを教育的使命としています。多様なバックグラウンドや個性を持つ学生達が、主体的に学び成長していくことを、様々な部署が連携することによって教職協働で支援しています。正課・課外など学生生活全体を通じて、「学びのコミュニティ」の中で相互に学び合い、切磋琢磨し、学部卒業時に次のようなことができる学生の育成を目指しています。

(1) 多様な価値を尊重し、他者との対話と協働を重視し、「平和と民主主義」の価値観に裏打ちされた自律的な思考と行動ができる
(2) 幅広い教養と専門性を有し、グローバルとローカルの視点を備え、既存の枠組みや境界を超えた「自由」で「清新」な思考と行動で問題発見・解決ができる
(3) 自己を理解し、自らの役割や課題を踏まえた責任ある思考と行動ができる
(4) 「未来を信じ、未来に生きる」高い志を持ち、生涯にわたって学び、行動し続けることができる

R2030中長期計画

立命館学園は、建学の精神と教学理念のもと、先進的な教育・研究に取り組んできました。2010年には、「Creating a Future Beyond Borders 自分を超える、未来をつくる。」を2020年に向けた学園ビジョンとして掲げ、より積極的に学園創造を進めてきました。今、私たち立命館学園は、その精神と理念、歴史を受け継ぎ、2030年にめざす新たなビジョンとして、「学園ビジョンR2030」を掲げます。

立命館大学　大学案内 2025

CONTENTS

002　立命館憲章・建学の精神・教学理念・国際化のあゆみ

巻頭特集
004　「Futurize. ～立命館がわかる9つのポイント～」
006　CHALLENGE YOUR MIND.
008　CHANGE OUR FUTURE.
010　TRY EVERYTHING.

014　学部INDEX

京都　衣笠キャンパス
016　法学部
022　産業社会学部
030　国際関係学部
036　文学部

大阪　大阪いばらきキャンパス（OIC）
050　経営学部
056　政策科学部
062　総合心理学部
068　グローバル教養学部
074　映像学部
080　情報理工学部

滋賀　びわこ・くさつキャンパス（BKC）
088　経済学部
094　スポーツ健康科学部
100　食マネジメント学部
106　理工学部
116　生命科学部
124　薬学部

130　立命館大学の学びと特長／外国語・グローバル教育
136　大学院・研究推進
140　進路・就職支援
146　課外自主活動
148　奨学金制度・学生生活サポート
154　キャンパス周辺エリアガイド
156　キャンパス・施設紹介
164　入試基本情報・入試イベント・関連サイト
168　交通アクセス

表紙について
表紙の文字デザインには白川フォント®（篆文）を使用しています。白川フォント®とは立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所が研究開発した古代文字フォントです。

立命館大学 白川静記念
東洋文字文化研究所

立 命 館 憲 章

立命館は、西園寺公望を学祖とし、1900年、中川小十郎によって京都法政学校として創設された。「立命」の名は、『孟子』の「尽心章句」に由来し、立命館は「学問を通じて、自らの人生を切り拓く修養の場」を意味する。

立命館は、建学の精神を「自由と清新」とし、第2次世界大戦後、戦争の痛苦の体験を踏まえて、教学理念を「平和と民主主義」とした。

立命館は、時代と社会に真摯に向き合い、自主性を貫き、幾多の困難を乗り越えながら、広く内外の協力と支援を得て私立総合学園への道を歩んできた。

立命館は、アジア太平洋地域に位置する日本の学園として、歴史を誠実に見つめ、国際相互理解を通じた多文化共生の学園を確立する。

立命館は、教育・研究および文化・スポーツ活動を通じて信頼と連帯を育み、地域に根ざし、国際社会に開かれた学園づくりを進める。

立命館は、学園運営にあたって、私立の学園であることの特性を活かし、自主、民主、公正、公開、非暴力の原則を貫き、教職員と学生の参加、校友と父母の協力のもとに、社会連携を強め、学園の発展に努める。

立命館は、人類の未来を切り拓くために、学問研究の自由に基づき普遍的な価値の創造と人類的諸課題の解明に邁進する。その教育にあたっては、建学の精神と教学理念に基づき、「未来を信じ、未来に生きる」の精神をもって、確かな学力の上に、豊かな個性を花開かせ、正義と倫理をもった地球市民として活躍できる人間の育成に努める。

立命館は、この憲章の本旨を踏まえ、教育・研究機関として世界と日本の平和的・民主的・持続的発展に貢献する。

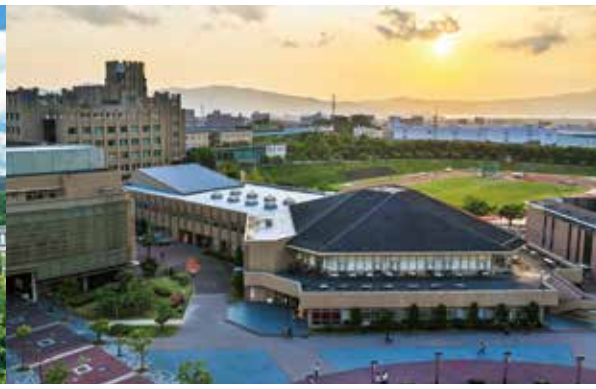
2006年7月21日　学校法人立命館

「立命館」名称の由来

「立命」というのは中国の古典「孟子」の盡心章（じんしんしょう）の一節にある「殀寿（ようじゅ）貳（たが）わず、身を修めて以て之れを俟（ま）つは、命を立つる所以（ゆえん）なり」から採ったもので、「人間には、若死にする人もあれば、長生きする人もあるが、それはすべて天命で決められていることである。だから生きている間はわが身の修養（勉強）に努めて天命を待つのが人間の本分を全うすることなのである」という考えです。したがって、「立命館」は人間がその本分を全うするための場所を意味しています。

建学の精神「自由と清新」／教学理念「平和と民主主義」

学祖である西園寺公望は、「自由主義」と「国際主義」を標榜し、日本が世界の一員として十全な役割を発揮することを生涯の課題としました。その後、西園寺の「自由主義と国際主義」の精神を受け継いだ中川小十郎が、「自由にして清新」な学府、つまり、自由にして進取の気風に富んだ学園の創造を目指しました。この「自由と清新」は、立命館建学の精神として、今日まで受け継がれています。そして戦後、立命館学園は末川博を総長に迎え、第二次世界大戦と十五年戦争に対する深い反省に立って、憲法と教育基本法に基づく「平和と民主主義」を教学理念として掲げました。これら建学の精神と教学理念は、実際の教育や研究に生かされ、様々な取り組みにつながっています。



立命館の歴史と国際化のあゆみ

立命館学園は、2020年度に創始150年、創立120周年を迎えた、日本における私立総合学園の中でも歴史と伝統をもつ学園の一つです。
立命館の歴史は、近代日本の代表的な政治家で、国際人であった西園寺公望が1869（明治2）年、新しい時代を担う若者を育てるため、私塾「立命館」を創始したことに始まります。その後、1900（明治33）年、文部大臣時代の西園寺の秘書であった中川小十郎が、その意志を引き継ぎ立命館大学の前身となる「私立京都法政学校」を創立しました。1913（大正2）年には、西園寺の許諾を得て、「私立立命館大学」と改称しました。そして立命館は、「世界に開かれた立命館」を目指し、特に1980年代半ば以降、日本の大学の国際化をリードしてきました。

学祖 西園寺公望

創立者 中川小十郎

〈略年表〉

1869年	西園寺公望（学祖）が私塾「立命館」を創始
1900年	中川小十郎が「私立京都法政学校」を創立
1905年	西園寺公望が「立命館」の名称継承を許諾
1913年	大学を「私立立命館大学」と改称
1933年	京大事件で辞職の教員18名を受入
1945年	末川博が立命館大学学長に就任 ※戦後、学長に就任した末川博は、さまざまな学園改革を行った
1948年	学校教育法による「立命館大学」（新制）を設置
1988年	国際関係学部設置、京都国連寄託図書館を設置
1991年	立命館・UBCジョイントプログラムを開始
1994年	びわこ・くさつキャンパス（BKC）を開設 アメリカン大学との共同学位プログラム（DUDP）を開始
2000年	「立命館アジア太平洋大学」を創立
2006年	「立命館憲章」制定、朱雀キャンパスを開設
2009年	「大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業（G30）」採択
2011年	国際関係学部に「グローバル・スタディーズ専攻」を設置
2012年	文学部が「キャンパスアジア・プログラム」を開始
2013年	政策科学部に「Community and Regional Policy Studies専攻」を設置 中国・大連理工大学と共同で「大連理工大学・立命館大学国際情報ソフトウェア学部」を開設
2014年	平成26年度「スーパーグローバル大学創成支援事業」に採択
2015年	大阪いばらきキャンパス（OIC）を開設
2017年	情報理工学部に情報システムグローバルコースを設置
2018年	アメリカン大学と共同で「アメリカン大学・立命館大学国際連携学科」を設置
2019年	グローバル教養学部を開設 国際交流拠点「分林記念館」を開設
2020年	文学部に「国際コミュニケーション学域」「言語コミュニケーション学域」を設置

世界はグローバル化が進み、これまで経験したことのない地球規模の課題に直面しています。それらの課題に真摯に向きあい、強い意志と使命感を持って解決に挑んでいるたくさんの「立命人」がいます。
全国から、世界から立命館に集い、ともに学び、力をつけた約40万名の卒業生が、世界のあらゆるところで地域の人たちと手を携え、未来の社会を創っています。

［巻頭特集］

Futurize.

立命館がわかる9つのポイント

学部生約34,000名、大学院生約3,800名、教職員約2,400名の
多様な存在が互いに刺激を与え、切磋琢磨し、互いの要素を最大限生かして高め合う。
多様性あふれる学びの環境は、驚きと感動に満ちています。
仲間とともに学び、自分自身と向き合い、
挑戦しながら、時には失敗して、また挑戦する。
立命館大学で過ごす時間の中で、一人ひとりが自分らしく成長し、
世界中のあらゆる場で貢献できる存在になってほしいと願っています。

CHALLENGE YOUR MIND.

多様性が融合するキャンパス

立命館大学の最大の魅力は「多様性」です。日本全国・世界各国・地域から多様なバックグラウンドを持つ個性が集まり、刺激しあいながら日々選択と挑戦を続けています。互いの個を尊重しながら融合し、新しい学びや価値を創造できるキャンパスがここにあります。

CHANGE OUR FUTURE.

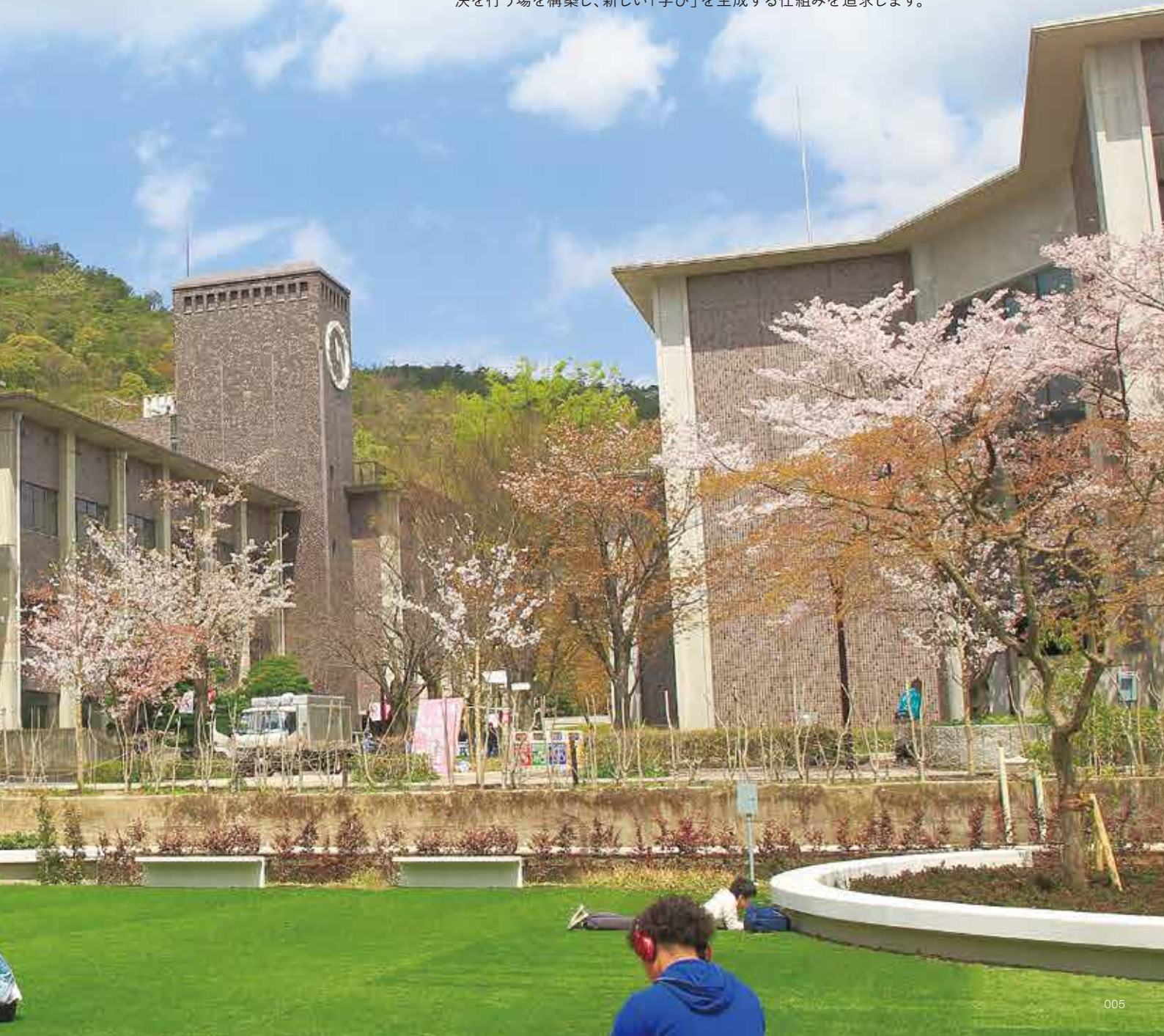
新しい価値創出へ向けた次世代研究大学

立命館大学は社会課題の解決に向けて、価値とイノベーションの創出、その担い手の育成に取り組みながら「次世代研究大学」をめざしています。そのために産官学地で連携し、あらゆる分野を融合させ、誰もが知的生産者の一人としてその力を発揮できるような場を提供します。

TRY EVERYTHING.

誰もが挑戦できる場 TRY FIELD

立命館大学では、デジタルとクリエイティブの新領域が融合する新たな「学び」や、スタートアップ人材を生み出す多彩な仕組みを開発、活用し、誰もが挑戦できる場「TRY FIELD」を構築します。キャンパスのあらゆる場所で新たな教育、研究領域の創出や未来的な課題解決を行う場を構築し、新しい「学び」を生成する仕組みを追求します。



CHALLENGE YO

多様性が融合するキャンパス

POINT 01

「学び」や「経験」の選択肢が豊富

立命館大学は、社会科学・人文科学・自然科学に跨る16の学部、21の研究科をもつ、総合大学。学びの関心や目的もさまざまな学生が集まっています。学部ごとの学びに加え、たとえば教養科目の授業では多様な学部、学年の学生が交じり合って学びます。また、研究、留学、インターンシップ、資格取得、約400のクラブ・サークルなど正課外の活動も多様です。だからこそ、互いに尊重しあい多様な価値観や感性を受け入れるなかで、それぞれの学びが広がり、一人ひとりの成長を実現していくことができます。

学部・研究科数

学部 16

研究科 21

POINT 02

多文化共生キャンパス ―全国・世界中から立命館へ―

立命館大学には、全国・世界中から様々なボーダーを越えて仲間が共に学んでおり、大学生活のあらゆる場面で正課・課外問わず交流しています。国内学生は約半数が近畿圏外から、また国際学生は80カ国・地域の出身者がキャンパスに集い、文化や価値観の違いなどを互いに認め合いながら、新たな価値を創造しています。

近畿圏出身者 49.5%

近畿圏外出身者 50.5%

※2024年度一般選抜志願者における割合

80カ国・地域から3,028名の留学生

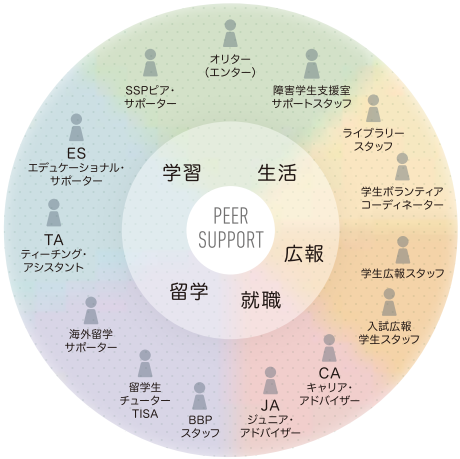
※2023年5月1日時点

POINT 03

学生同士の学びあい（ピア・サポート）

立命館大学では、学生のコミュニティがあらゆるところにあります。そこには活動を支援する「学生サポーター」（具体例は下記図参照）が存在し、学生同士の学びあい（ピア・サポート）が個や組織の成長につながっています。「オリター（エンター）」制度は本学ピア・サポートの起源とも言えるもので、2回生以上の先輩が初年次小集団クラスにおいて、新入生を学習面・学生生活面から支えています。多くの学生が大学の支援も活用しながら、日常的に助け合うことを通じて主体性を体得する経験を積んでいきます。サポーターの助けを借りて学びをよりスムーズに進められた学生が、その後支援する側に立つことで、大学全体で学びあいの輪が広がっています。

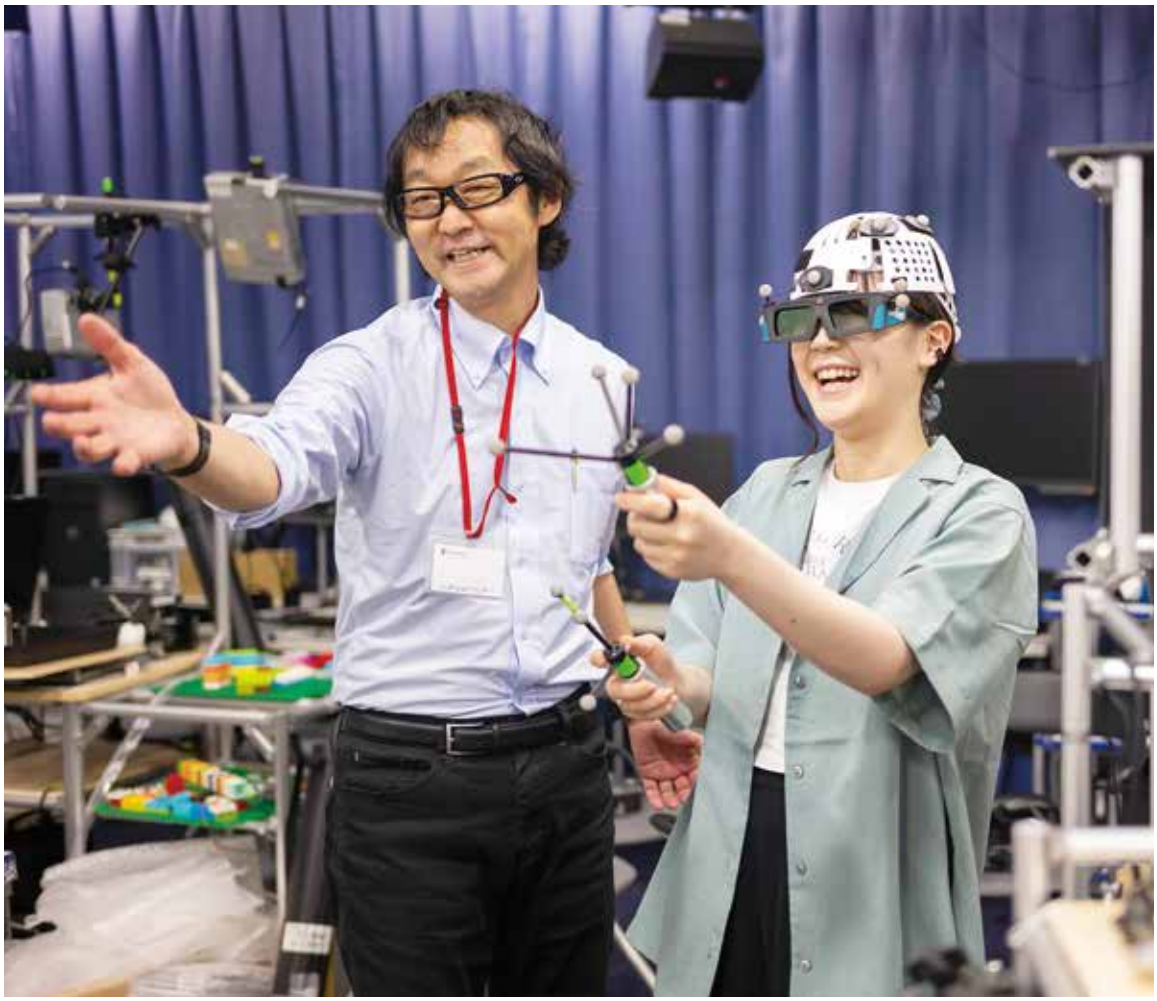
BBP → P.132 SSP → P.152



UR MIND.

CHANGE OUR F

新しい価値創出へ向けた次世代研究大学



UTURE.

POINT 04

次世代研究大学へ

「新たな価値を創造する次世代研究大学」と「イノベーション・創発性人材を生み出す大学」を本学が将来あるべき姿として学園ビジョンに掲げ、外部資金獲得につながる成果の創出や研究拠点形成に積極的に取り組んでいます。文部科学省から助成される競争的研究資金のひとつ科学研究費助成事業では、西日本私立大学1位（全国私立大学4位）の配分額となり、全国レベルの実績を誇っています。また、優秀で意欲のある博士課程後期課程学生に対して、研究専念支援金・研究費の支給と学際的で先端的な研究に専念できる環境を提供しながら高度専門人財としての資質の獲得を支援するなど、若手研究者の育成・支援にも力を入れています。

科研費（科学研究費助成事業）

14.9億円

全国私大第4位
（西日本私大1位）

※2023年度配分額（新規＋継続）

POINT 05

「世界のトップ2%の科学者」に44人の教員がランクイン

米国スタンフォード大学とエルゼビア社による「世界のトップ2%の科学者」を特定する包括的なリスト「標準化された引用指標に基づく科学者データベース」が更新され、立命館大学から44人の教員が選出されました。このリストはScopus（文献データベース）の情報に基づき、22の研究分野と174のサブ分野で少なくとも5編以上の論文を発表している世界約500万人の科学者を対象として分析し、総被引用回数（自己引用を除く）、h-index、単著論文数、個別引用論文数などの複合的指標により評価されました。
立命館大学は、さらなるイノベーションの創出、また地球規模で生起する社会問題への対処、教育への還元などを積極的に行っていきます。

世界のトップ2%の科学者

44人の教員が選出

研究推進 → P.138

POINT 06

SDGsに取り組む大学の世界的ランキング「THE インパクトランキング2023」で西日本私大最高評価獲得

国連サミットで採択された持続可能な17の目標（SDGs）に関する大学の社会貢献活動や研究活動をランク付けする「THEインパクトランキング」。過去最多の世界1,591校参加となった2023年度ランキングの中で、立命館大学は「SDG1：貧困をなくそう」で世界19位、「SDG2：飢餓をゼロに」で世界42位、「SDG13：気候変動に具体的な対策を」で世界84位、総合評価では世界201-300位となり、西日本の私立大学で最高評価を獲得しました。
立命館は、国内外の大学・企業・自治体・地域住民など様々なステークホルダーと連携し、教育・研究活動を通じて世界共通の課題であるSDGsの目標を達成すべく、学園を挙げて取組を推進しています。

「立命館×SDGs」公式HPはこちら　https://www.ritsumei.ac.jp/sdgs/

TRY EVERYTHING.

誰もが挑戦できる場 TRY FIELD

POINT 07

社会連携を通じて新たな価値を創出する ソーシャルコネクティッド・キャンパス構想

立命館大学は、「社会共創」を通じた次世代研究大学の実現に向け、政府・自治体、産業界や地域社会、世界の大学や研究機関とも連携した社会課題の発見・解決、新しい価値の創出に向けた教育・研究を目指しています。この構想を実現するための具体的な取り組みのひとつとして、新しい学びとコミュニティの創造の拠点として、大阪いばらきキャンパスに新棟を設置しました。ソーシャルコネクティッド・キャンパス構想は、大阪いばらきキャンパスを皮切りに各キャンパスの個性に応じ、全学的な取り組みへと発展させていきます。また、次世代研究大学としての「社会共創」の実現に向けて、確かな発想力・発信力・表現力を育み、新しい価値を生み出すイノベーション・創発性人材の育成を目指します。

日本マイクロソフトとの連携

全国の教育機関で初の「Microsoft Base」をキャンパス内に設置し、DX人材・デジタル人材、スタートアップ人材の育成に向けたプログラムやワークショップ、ハッカソン、ピッチイベント等を展開しています。

Microsoft Base Ritsumeikan

Adobeとの連携

実際の社会課題に対して本格的にアプローチするためのITリテラシー・デザイン力などの基礎的なスキルや、生成AI、3D、編集技術など最先端のスキルの獲得を目指した幅広い講座等を展開しています。

Adobe

次の未来を創造する力を育む各種プログラム

これからの時代を生きていくために必要となる力を育成するため、実社会と連携し、各種プログラムを開発・実施しています。これらのプログラムは、所属するキャンパスや学部・研究科、学年を問わず参加が可能で、教職員、地域の人々、起業家や新たなチャレンジを模索する人々と交わりあいながら、学生がさまざまな発想を得ながら自由に挑戦することを支援していきます。

QULTIVA

実社会が抱える課題をテーマに、仲間と共にその解決策を考えながら、参加者の可能性を掘り起こし、育んでいく人材育成プログラムです。

QULTIVA 仲間とたがやす、ジブンとミライ。

OIC CONNECT

毎月第一金曜日にOICで開催され、学びの機会とつながりの機会を提供するイノベーション促進・交流プログラムです。

OIC CONNECT Powered by Venture Café | TOKYO

RIMIX

ビジネスを通じて社会課題を解決する社会起業家「Impact-Makers」を育成し、企業を支援するプラットフォームです。

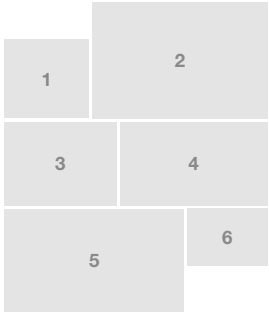
RIMIX

Microsoft Base
Ritsumeikan

POINT 08

映像学部・情報理工学部が大阪いばらきキャンパスへ移転

2024年4月、AIやIoT、デジタルテクノロジーや感性、創造性といった共通軸を持つ映像学部と情報理工学部が大阪いばらきキャンパスに移転しました。
キャンパス内に新たに誕生したH棟は、リアルとバーチャルが融合するクリエイティブな機能が備わった新しい学び舎となります。ここでは、地域社会の多様な人々や企業との関わりなどを通じ、従来の学びの枠を超えた知的創造の場を提供していきます。この新展開を機に、京都の衣笠キャンパス、滋賀のびわこ・くさつキャンパスでも新たなキャンパス創造を推し進め、立命館大学全体の教育・研究の発展を目指します。



1. SP LAB X
先端的なXRの研究やメディアアートを活用した創造の場として学部を超えて学生が学びあいます。

2. Innovation Lounge
4-9階の6層を斜めにつなぐ吹き抜け上のオープンスペースです。「交流ラウンジ」「展示・発信エリア」「ラーニングスペース」の3つの機能を隣接させ、学部・研究分野を超えたイノベーションの相乗効果を生み出します。

3. Co-Creation Hub
次世代研究大学の実現を目指し、学生・研究者・企業・地域社会等との共創を創出する拠点です。

4. LIST
映像コンテンツの制作や編集、配信を行うことができるライブストリーミング設備を有したスペースです。学部を問わず全学生が使用できます。

5. TERRACE GATE
2層吹き抜けの台が空間には350インチ大型LEDにジョンを備え、研究内容の発表やプレゼンテーション、イベント・ワークショップなど、様々な取り組みをリアルタイムに発信することができます。

6. Learning Infinity Hall
対面授業とオンライン授業が融合した双方向の学びができる「ひな壇状のアクティブラーニング教室」です。

POINT 09

多様なニーズに応え挑戦を応援する支援制度や環境整備

立命館大学は、これまでも学生の様々な挑戦をサポートする制度や環境を整え、学生の成長のための自由な挑戦を支援してきました。
留学制度では、短期から中長期までさまざまなプログラムを用意し、世界レベルの大学の研究・教育に触れる機会を提供しています。また奨学金や助成制度も充実させ、学修・留学・課外自主活動など、経済的理由で未来の可能性をあきらめることのないよう、支援する制度を設けています。
キャリア支援では、学生一人ひとりの希望進路にあった多様なキャリア支援プログラムや企画を提供しているほか、難関試験や資格取得のための対策講座なども充実させています。
また、これらの学びや活動をスムーズに行えるよう、Wi-Fiや電源コンセントの増設、オンラインミーティングや面接などに対応した個室ブースの設置など、情報環境の整備にも努めています。
今後も常に時代やニーズに応じた制度・環境を整え、学生が高い志をもって社会に飛び立てるよう支援していきます。

進路・就職支援 → P.140～
奨学金制度 → P.148～
情報環境 → P.152

海外の協定先

世界69カ国・地域
470大学・機関
※2023年5月1日時点

国家公務員総合職試験の最終合格者数

全国5位（西日本私大1位）
※2023年度実績

TRY EVERYTHING.

誰もが挑戦できる場 TRY FIELD

学部INDEX

京都 衣笠キャンパス

学部	学科・学域・専攻・特修	取得学位	関連する進路・資格など	教員免許	
法学部	法学科 法政展開／司法特修／公務行政特修	学士（法学）	司法試験（裁判官・検察官・弁護士） 公務員・司法書士・税理士・行政書士 不動産鑑定士・社会保険労務士 など	中学校教諭一種（社会） 高等学校教諭一種 （地理歴史・公民）	P.016
産業社会学部	現代社会学科 現代社会専攻／メディア社会専攻／ スポーツ社会専攻／ 子ども社会専攻／人間福祉専攻	学士（社会学）	社会調査士 社会福祉士国家試験受験資格※1 など ※1 人間福祉専攻のみ取得可能。 ・複数の資格課程を並行して履修できない場合があります。 ・上記にはプログラムも含みます。 ・上記にはいずれも定員があります。	〈現代社会専攻・メディア社会専攻・スポーツ社会専攻・人間福祉専攻〉 中学校教諭一種（社会・保健体育） 高等学校教諭一種（地理歴史・公民・保健体育） 特別支援学校教諭一種 （知的障害者・肢体不自由者・病弱者） 〈子ども社会専攻〉 小学校教諭一種	P.022
国際関係学部	国際関係学科 国際関係学専攻／ グローバル・スタディーズ専攻	学士 （国際関係学）	国家公務員・外務省専門職 国際機関職員・地方公務員 など		P.030
	アメリカン大学・立命館大学 国際連携学科	学士 （グローバル 国際関係学）			
文学部	人文学科 人間研究学域 （哲学・倫理学専攻／教育人間学専攻） 日本文学研究学域 （日本文学専攻／日本語情報学専攻） 日本史研究学域 （日本史学専攻／考古学・文化遺産専攻） 東アジア研究学域 （中国文学・思想専攻／東洋史学専攻／現代東アジア言語・文化専攻） 国際文化学域 （英米文学専攻／ヨーロッパ・イスラーム史専攻／文化芸術専攻） 地域研究学域 （地理学専攻／地域観光学専攻） 国際コミュニケーション学域 （英語圏文化専攻／国際英語専攻） 言語コミュニケーション学域 （コミュニケーション表現専攻／言語学・日本語教育専攻）	学士（文学）	学芸員・図書館司書※2 学校図書館司書教諭※3・測量士補※4 GIS学術士※5・地域調査士※5・ 日本語教師※6 など ※2 日本語情報学専攻以外に所属する学生は選考による事前許可制です。 ※3 選考による事前許可制です。 ※4 地理学専攻のみ取得可能です。 ※5 地理学専攻・地域観光学専攻のみ取得可能です。 ※6 言語学・日本語教育専攻のみ取得可能です。	中学校教諭一種（国語・社会・英語※） 高等学校教諭一種 （国語・地理歴史・公民・英語※） ※英語については、英米文学専攻および国際コミュニケーション学域の2専攻以外に所属する学生は選考による事前許可制です。	P.036

大阪 大阪いばらきキャンパス（OIC）

学部	学科・学域・専攻・特修	取得学位	関連する進路・資格など	教員免許	
経営学部	国際経営学科	学士（経営学）	公認会計士・公務員・税理士 日本商工会議所簿記検定試験（1～3級） USCPA（米国公認会計士）		P.050
	経営学科				
政策科学部	政策科学科 政策科学専攻／ Community and Regional Policy Studies 専攻	学士 （政策科学）	社会調査士・公認会計士 司法試験（法曹関係）・司法書士 行政書士・中小企業診断士 再開発プランナー・マンション管理士 公務員 など		P.056
総合心理学部	総合心理学科	学士（心理学）	公認心理師受験資格※7 認定心理士（公益社団法人日本心理学会認定資格） 認定心理士（心理調査） （公益社団法人日本心理学会認定資格） ※7 立命館大学大学院人間科学研究科に進学し所定の科目を修得の上、博士前期課程を修了する必要があります。		P.062
グローバル教養学部	グローバル教養学科	立命館大学学士 （グローバル教養学） オーストラリア 国立大学学士 （アジア太平洋学）	国内外のグローバル企業（IT企業・商社・広告代理店・コンサルタント等）、政府機関・国際機関・NGO等の行政機関への就職 国内外の大学院進学		P.068
映像学部	映像学科	学士（映像学）	学芸員・図書館司書※8 ※8 書類審査で選考を行います。		P.074

大阪 大阪いばらきキャンパス（OIC）

学部	学科・学域・専攻・特修	取得学位	関連する進路・資格など	教員免許	
情報理工学部	情報理工学科 システムアーキテクトコース／ セキュリティ・ネットワークコース／ 社会システムデザインコース／ 実世界情報コース／ メディア情報コース／ 知能情報コース／ Information Systems Science and Engineering Course	学士（工学）	基本情報技術者※13 応用情報技術者※14 など ※13 該当する授業において、出願範囲を直接学ぶことができます。 また、当該授業で一定の条件をクリアすれば「基本情報技術者試験」の午前試験が免除されます。 ※14 資格取得に必要となる基礎的な科目の修得が可能です。	高等学校教諭一種（情報）	P.080

滋賀 びわこ・くさつキャンパス（BKC）

学部	学科・学域・専攻・特修	取得学位	関連する進路・資格など	教員免許	
経済学部	経済学科 国際専攻／経済専攻	学士（経済学）	公務員・税理士・公認会計士・証券アナリスト 日本商工会議所簿記検定など	中学校教諭一種（社会） 高等学校教諭一種（地理歴史・公民）	P.088
スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科	学士（スポーツ健康科学）	健康運動指導士※9・健康運動実践指導者※9 トレーニング指導者※9・日本スポーツ協会公認資格※9 初級パラスポーツ指導員※9 BOC-ATC（the BOC credential of “Athletic Trainer Certified”：米国公認アスレティックトレーナー）※10 など ※9 申請資格、または認定試験の受験資格が得られます。 ※10 受験資格を得るため、卒業後に米国提携先大学院へ進学し、修士号を取得する必要があります。	中学校教諭一種（保健体育） 高等学校教諭一種（保健体育）	P.094
食マネジメント学部	食マネジメント学科	学士（食マネジメント）	“Advanced Diploma of Culinary Arts and Management” （ラ・フォンダシオン・ル・コルドン・ブルー） 公務員・公認会計士・日本商工会議所簿記検定 など		P.100
理工学部	[数学物理系] 数理科学科 （数学コース／データサイエンスコース） 物理科学科	学士（理学）	〈数理科学科〉 アクチュアリー・証券アナリスト ファイナンシャルプランナー 基本情報技術者・応用情報技術者 など 〈物理科学科〉 高圧ガス製造保安責任者 放射線取扱主任者第1種 など	〈数理科学科〉 中学校教諭一種（数学） 高等学校教諭一種（数学） 〈物理科学科〉 中学校教諭一種（理科） 高等学校教諭一種（理科）	P.106
	[電子システム系] 電気電子工学科 電子情報工学科	学士（工学）	〈電気電子工学科〉 電気主任技術者※11・電気通信主任技術者※11 陸上無線技術士※11・工事担任者※11 特殊無線技士※12・施工管理技士※11 など 〈電子情報工学科〉 基本情報技術者・応用情報技術者 など 〈機械工学科〉 整備管理者・施工管理技士※11 エネルギー管理士 など 〈ロボティクス学科〉 自動車整備管理者 など 〈環境都市工学科〉 土木施工管理技士※11・測量士※11・測量士補※12 技術士補※11・環境計量士・施工管理技士※11 など 〈建築都市デザイン学科〉 一級建築士※11／インテリアプランナー・ 登録ランドスケープアーキテクト／ 建築設備士※11 など ※11 卒業後に受験資格が得られる資格です。 ※12 卒業後に取得可能な資格です。 （※11 ※12以外は資格取得に必要となる基礎的な科目の修得が可能です）	高等学校教諭一種（情報・工業）	
	[機械システム系] 機械工学科 ロボティクス学科			高等学校教諭一種（工業）	
	[都市システム系] 環境都市工学科 建築都市デザイン学科			高等学校教諭一種（工業）	
生命科学部	応用化学科	学士（工学）または学士（理学）	危険物取扱者（甲種）※15 毒物劇物取扱責任者※16 基本情報技術者・応用情報技術者 など ※15 応用化学科、生物工学科は、卒業後に受験資格が得られます。 その他の学科では、一定の条件をクリアした場合に受験資格が得られます。 ※16 応用化学科は、卒業後にこの資格を有すると判断されます。 その他の学科では、一定の条件をクリアすれば資格を有すると判断されます。	中学校教諭一種（理科） 高等学校教諭一種（理科）	P.116
	生物工学科	学士（工学）		中学校教諭一種（理科） 高等学校教諭一種（理科）	
	生命情報学科	学士（理学）または学士（工学）		中学校教諭一種（理科） 高等学校教諭一種（理科）	
	生命医科学科	学士（理学）		中学校教諭一種（理科） 高等学校教諭一種（理科）	
薬学部	薬学科（6年制）	学士（薬学）	薬剤師（国家試験受験資格）※17 毒物劇物取扱責任者 食品衛生管理者 作業環境測定士 など ※17 薬学科を卒業することにより得られます。		P.124
	創薬科学科（4年制）	学士（薬科学）			

衣笠キャンパス

法学部

College of Law

学部HP

■法学科

法政展開／司法特修／公務行政特修

取得学位	学士（法学）
アドミッション・ポリシー	立命館大学法学部は、次に掲げる3つのことをすべて満たす者を、入学者として積極的に受け入れます。 ①中等教育修了程度の基礎学力を有していること。 ②法学・政治学の専門教育を受けるのに必要な素養を有していること。 ③立命館大学法学部の人材育成目的を理解し、法学・政治学の学びに強い意欲を有していること。 また、法学・政治学の専門教育を受けるのに必要な素養（②）の有無を判断するにあたっては、社会科学に関する基本的な語彙の知識（漢字の読み書きの力を含む）、論理的思考力、文章読解力、文章表現力（理解した内容やこれに基づく自己の見解を口頭で述べる力を含む）、歴史や政治経済に関する基礎的な知識、および英語をはじめとする外国語の基礎的素養の有無ならびに程度を重視します。

現代社会に生きる法と政治を学ぶ

法学部には法曹を目指す学部というイメージがあると思います。確かに、裁判官、検察官、弁護士といった司法の領域では、法学部で学んだ人たちが活躍しています。しかし、それらは法学部生の進路の一つに過ぎません。社会の基盤を支える公務員をはじめ、企業、民間団体の職場など社会のさまざまな場面で法の知識を持った人が、その能力を発揮しています。グローバリゼーションの中、公正な自由競争社会の実現のためにも法の遵守が必要で、日常的なビジネス取引の場面でもコンプライアンスの徹底が求められています。緻密な思考、論証・証拠に基づいた議論ができる法の専門家は、従来から社会の根幹を成すさまざまな分野で必要とされてきましたが、近年では、ビジネスの現場でも、法の知識を持った人材がより強く求められるようになっています。

法学部は、設立以来、歴史と伝統を積み重ねる中で常に社会・市民との接点を意識し、法の知識を学ぶとともに、バランス感覚を磨き、弱者の立場で社会正義を追求する姿勢も大切に守ってきました。このような伝統を継承しながら、常に社会と向き合い、時代にふさわしい法と政治を追求して、生きた知識を学んでください。

PICK UP!

法曹進路プログラム（法曹コース）

→ P.019

このプログラムでは、法科大学院と連携し一貫した教育体制のもとで「より早く、より効率的に」司法試験合格を目指すことができます。

STUDENT'S VOICE

「法律の勉強」と「留学」、立命館は2つの夢を実現できる場所。

小学校の授業で日本国憲法13条「すべて国民は、個人として尊重される。」に感銘を受け、将来は社会の基準になる法律を学びたいと考えるようになりました。留学を志望するようになったのは、高校時代に国際交流キャンプに参加し「世の中には多様な価値観があり、もっと自分らしく生きていいのだ」と衝撃を受けたことがきっかけです。大学のプログラムによる6カ月間のカリフォルニア大学留学では、異なる人種や文化、考えに触れることで「多様な価値観を受け入れる重要性」を学び、広い視野と柔軟な考えを身につけることができました。

日々の講義では、人々の権利を守るための制度や仕組みが長い歴史の中で整備されてきたことを学び、法律の背景にある制定の経緯や複雑な社会問題に直面しました。個々が自分らしく生きるために必要な権利の保障や制度について考え、お金や数字で評価される社会の発展が本当に人の幸福に寄与しているのか、世の中を客観的かつ批判的に捉える能力を培ったと感じています。

研究では、日本とスウェーデンの地域ケアに対する検討と政策決定について比較法研究を行い、共通点を捉えてきました。地域ケアの基盤は人とのつながりであり、地域の実情に即した政策をつくり出すためには住民の代表者や代弁者の参加が不可欠です。地域包括ケアシステムの構築において住民の意思を尊重し、個別事例を通じて政策に反映させる地域ケア会議の重要性について認識しました。

卒業後は地域医療と福祉の社会課題に取り組みたいと考えています。葬儀場でのアルバイトで、在宅医療が叶わず病院で最期を迎えた人々や介護疲れした親族の姿を目の当たりにした経験から、一人ひとりが住み慣れた場所で最期を迎える社会を実現させたいと考えるようになりました。

渕上 菜紘 さん
法学部 法学科 4回生
福岡県立明善高校出身

4年間の学び

2025年度から新カリキュラムになりました。

法学科

1回生	進級時	2回生	3回生	4回生
法学・政治学の楽しさを知る 「法学入門」、「政治学入門」、「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」で大学での学び方、法学・政治学の学び方の基礎を身につけます。「社会に生きる法」では、自身の関心・進路を明確にしていきます。	法政展開・特修選択	**基礎知識の定着** 自身の関心・進路に合った特修・プログラムを2回生進級時に選択します。2回生春学期から始まる専門化プログラム科目や小集団科目などを通して、本格的に専門性を深めていきます。	**学びを究める** 「法政展開」および「特修」の学修が最も深まり、広がる時期です。3回生では全員が「専門演習Ⅰ・Ⅱ」に所属して学びの専門性を高めます。4回生では、4年間の学びの集大成として「卒業研究」において卒業論文の執筆に取り組みます。	

専門科目

入門・基礎科目	基礎科目	学部共通専門科目
法学入門、政治学入門、憲法Ⅰ、憲法Ⅱ、民法Ⅰα・β、近代政治思想史	民法Ⅱ、刑法Ⅰ	所属しているプログラム・特修科目以外も履修できます。

法政展開（5つのプログラムから選択）

主なプログラム科目

- **国際関係法**：国際法総論Ⅰ・Ⅱ、英米法Ⅰ・Ⅱ、国際私法Ⅰ・Ⅱ、国際人権法、国際取引法、アジア法
- **ビジネス・企業法**：民法Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ、会社法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、知的財産法、商取引法Ⅰ・Ⅱ、経済法Ⅰ・Ⅱ、保険法
- **生活・環境法**：環境法Ⅰ・Ⅱ、行政法Ⅰ・Ⅱ、社会保障法、税法、労働法、社会福祉法、消費者法
- **刑事・人権法**：行政法Ⅰ・Ⅱ、刑法Ⅱ、刑事訴訟法、少年法、犯罪学、労働法、国際人権法、地方自治法
- **政治・市民社会**：日本外交論、現代日本政治論、福祉政治、現代国際政治史、公共性論、政治意識論

司法特修

法曹進路プログラム（法曹コース）選択可

刑法Ⅱ（各論）、民法Ⅲ（物権法）・Ⅳ（債権総論）、特修憲法・特修民法・特修刑法、刑法総論（法曹）、憲法Ⅲ（統治２）、訴訟法務入門演習、法務実習

刑事訴訟法、民事訴訟法、民法Ⅴ（担保法）、民法Ⅵα（親族法）、民法Ⅵβ（相続法）、特修商法、特修行政法、刑事訴訟法（法曹）、民事訴訟法（法曹）、企業取引法（法曹）ほか

公務行政特修

行政法Ⅰ、政治過程論、公務行政セミナー、公務行政入門演習、公務行政学演習、公務行政法演習、公共政策実習

現代日本の政策課題、自治体法務入門、行政学Ⅰ・Ⅱ、地方自治論、地方自治法、政策形成論、行政法Ⅱ

小集団科目

基礎演習Ⅰ・Ⅱ	展開演習Ⅰ	展開演習Ⅱ	専門演習Ⅰ・Ⅱ	卒業研究

4年にわたり、シームレスな小集団教育

キャリア科目

社会に生きる法

教養科目

学部の専門科目とは質的に異なる、幅広い分野の知識の修得を目指す科目を多数履修することができます。 →教養科目 P.130

- 上記は2025年度のカリキュラム（予定）です。 科目名称などが変更になる場合があります。
- 一部科目を除き専門科目は法学部生全員が受講可能です。
- 特修では必ず受講登録しなければならない科目があります。
- 「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」「社会に生きる法」「専門演習Ⅰ・Ⅱ」「卒業研究」は必ず受講登録しなければなりません。
- 特修は１回生時の成績によっては、選択できない場合があります。

科目についての詳細は オンラインシラバス 立命館 検索

カリキュラムについての詳細は ▶

外国語の選択	［必修］英語　［選択］ドイツ語／フランス語／スペイン語／中国語／朝鮮語 英語を含めた２つの外国語が必修。国際社会で通用する高度な外国語運用能力を身につけることを目標とします。
法学部英語展開プログラム	学部の専門性と英語運用能力を同時に高める法学部独自のプログラムを設置しています。

PICK UP 法学部独自の海外留学プログラム

法学・政治学に関する基礎的な知識や世界観を築き、より高次の学修へつなげることを目指す海外研修です。イギリス・ケンブリッジ大学、オーストラリア国立大学の各大学で学ぶプログラムや、アセアン諸国を訪問するアセアン・スタディがあります（2024年度現在）。いずれの科目も、現地の法や政治を学ぶことで専門領域に対する関心を高め、英語で情報を収集・発信できる英語運用能力の基礎を築くことを目指します。

※これらのプログラムは、自然災害などの影響により、オンラインでの実施もしくは中止となることがあります。

詳しくは学部 HP へ ▼

プログラム・特修

法政展開

法学・政治学の基礎をしっかり鍛えたうえで、自分に合った現代社会のテーマを選ぶ。

法学・政治学は、社会で起きる紛争や利益の対立を、公正かつ公平に解決する方法を研究する学問です。国際化やボーダーレス化、IT技術の発展などに伴って社会が複雑化するに従い、ルールの持つ意味が重要性を増しています。司法の場のみならずビジネスや行政においても、新たなルールづくりが求められる場面も少なくありません。将来、法学・政治学を軸に社会に貢献したいと考える学生を対象に5つの専門化プログラムを設け、専門領域を系統的に学修できる環境を整えています。

■現代社会の幅広いテーマに対応する5つの「専門化プログラム」

国際関係法	ビジネス・企業法	生活・環境法	刑事・人権法	政治・市民社会
国内外の法律を学び、国際的な企業活動に必要な世界経済や社会システムなどの要素を身につけます。	民間企業や金融機関で必要とされる法律知識を修得し、応用可能な基本的能力を身につけます。	市民生活に発生する環境・家族をめぐる諸問題に対して、法的に対処する基本的能力を身につけます。	国家と行政権力との間で発生する市民の人権に関わる法的問題を理解し、専門的知識を修得します。	市民社会の立場から政府や国の活動、選挙や権力の問題を学ぶとともに、マスコミが政治へ与える影響を学びます。

司法特修

早い段階から高度な専門領域を学び、法科大学院進学レベルの力をつける。

法律専門職を養成する法科大学院（ロースクール）への進学を目指す学生が主な対象です。将来の希望を同じくする学生とともに学修を進めるので、早い段階から高いレベルにまで踏み込んだ知識の修得が可能です。2回生より、法科大学院への進学に必要となる学力を身につけられるよう、特修独自の科目を履修。法務研究科（法科大学院）専任教員が担当する科目も開講しています。また、模擬裁判を行う「訴訟法務入門演習」をはじめ、法律事務所で弁護士に仕事を学ぶ「法務実習」などの科目も充実しています。

CHECK! 法学部生による模擬裁判の一部をYouTubeでご覧いただけます ▶

■法曹進路プログラム〈法曹コース〉

法学部では、司法特修に「法曹進路プログラム」を設置しています。このプログラムは、2回生以降に登録し、法律学の基礎である7法（憲法・民法・刑法・商法・行政法・民事訴訟法・刑事訴訟法）について、より効率的・効果的に学修を進めます。このプログラムの修了により、立命館大学法科大学院、中央大学法科大学院、名古屋大学法科大学院および神戸大学法科大学院の特別選抜入試の受験資格を得ることができます。早期卒業制度を利用すれば、3年で法学部を卒業し（早期卒業）、特別選抜入試での法科大学院の合格／進学により5年間で司法試験の受験にチャレンジすることもできます。新しい情報はHPをチェックしてください。

詳しくは学部HPへ ▼

公務行政特修

政治・行政の諸問題に対応できる法律の知識と政策立案能力を修得する。

将来、公務員を希望する学生が主な対象です。政策立案の領域では、2回生春学期に履修する「公務行政入門演習」で学びの土台となる基礎を固めたうえで系統的にレベルアップ。一方、キャリア実現のための取り組みとして、公務員試験合格に向けての基礎的な実力を養うことができる「公務行政学演習」および「公務行政法演習」を、2回生秋学期に受講します。市役所などで公共の仕事を体験できる科目なども設置し、実社会で活躍するための実践的な力を身につけます。

■市役所や公共機関で実務を体験。進路意識を高める「公共政策実習」

地方自治体や公共機関など公務の現場で実際の業務を体験する科目です。実習では現場が抱えている問題や、学問と行政、公共機関との関わりを学修。また、実習先から示される街づくりの課題などにも取り組んで政策提案を行います。実習とその効果をいっそう高めるための事前・事後の研修、さらに実習での発見や考察を自治体の職員と住民に対して発表する機会や実習報告会も設けて、プレゼンテーション能力の向上を図ります。実習レポートを作成することで、課題を発展的に探究し、論述する能力も養うことができます。

教員紹介・進路

[2024年度　教員・研究テーマ一覧]

詳しくはこちら ▶

安達 光治	〈刑法〉刑法における因果関係と客観的帰属の理論
安保 寛尚	〈スペイン語〉米国帝国主義下におけるキューバのナショナリズムと黒人芸術運動
石橋 秀起	〈民法〉民法不法行為法における諸問題
石原 浩澄	〈英語〉20世紀の英文学研究と文学批評の動向
植松 健一	〈憲法〉「安全」に関する憲法的考察、ワイマール議会制の研究
臼井 豊	〈民法〉デジタル遺品の法的運命、AIによる契約締結上の諸問題
Wolf Michael L.	〈英米法〉American Law, Contracts, Constitutional Law
大西 祥世	〈憲法〉企業における人権尊重責任、二院制議会における憲政と憲法
小田 美佐子	〈アジア法〉私法分野を中心とした中国法と日本法等の比較的検討
嘉門 優	〈刑法〉現代における刑事立法論、法益論の検討
川中 啓由	〈民事手続法〉倒産債権の優先順位
菊地 諒	〈法哲学〉英米の法理論・法思想
木村 和成	〈民法〉人格権をめぐる諸問題の理論的検討／大審院（民事）判決形成過程の研究
倉田 原志	〈憲法〉労働関係における人権保障
藏藤 健雄	〈英語〉形式意味論、生成文法
河野 恵一	〈日本法史〉前近代日本、特に中～近世社会における法と紛争解決のありかた
小堀 眞裕	〈比較政治〉イギリス現代政治、ヨーロッパ政治
小松 浩	〈憲法〉イギリス・日本を中心とした議会制民主主義
佐藤 敬二	〈社会法〉労働者に生じた具体的問題についての法的側面からの基礎研究
佐藤 渉	〈英語〉現代オーストラリア文学
品谷 篤哉	〈商法〉内部者取引規制、取締役の忠実義務
清水 拓磨	〈刑事訴訟法〉司法取引、えん罪の防止とその救済
清水 円香	〈商法〉企業結合と取締役の義務責任
須藤 陽子	〈行政法〉警察法理論と比例原則
高橋 直人	〈西洋法史〉近代ドイツ刑事法（学）の成立と発展
多田 一路	〈憲法〉社会的民主主義、社会的経済的権利の保障または実現
谷 遼大	〈行政法〉参加権の基礎理論、環境法における権利
谷江 陽介	〈民法〉締約強制理論に関する研究
谷本 圭子	〈民法〉契約法において消費者概念がもつ法的意味についての研究
田原 憲和	〈ドイツ語〉19世紀におけるルクセンブルク語およびルクセンブルク文化研究
出口 雅久	〈民事訴訟法〉民事訴訟のデジタル化と訴訟原則
遠山 千佳	〈日本語〉第二言語における談話構築能力の発達
徳川 信治	〈国際法〉人権の国際的保障
徳久 恭子	〈政策形成論〉現代日本政治、教育政策、コミュニティ政策
中西 千香	〈中国語〉現代中国語における前置詞の機能分化、中国語教育におけるレアリアの効果的活用
中谷 崇	〈民法〉私法上の錯誤・法律行為
西村 翼	〈現代日本政治論〉日本政治、議員・政党研究、特に議員による政治的代表
西村 めぐみ	〈国際政治学〉南コーカサスへの民主化支援と武力紛争後の移行期の正義措置
畑中 麻子	〈知的財産法〉知的財産の紛争解決に関する理論研究、現代社会における著作権法の基礎研究
樋爪 誠	〈国際私法〉国際契約法の規整方法に関する体系的研究
本田 稔	〈刑法〉刑法理論の歴史的形成過程の分析、刑事判例の批判的検討
正木 宏長	〈行政法〉行政法と官僚制
松尾 剛	〈フランス語〉第三共和制下の政治と文学
宮井 雅明	〈経済法〉独占禁止法、国際取引に対する公法的規制
宮脇 正晴	〈知的財産法〉商標法、不正競争防止法における営業上の標識保護に関する新たな基礎理論の構築
村上 剛	〈政治心理・行動学〉投票行動におけるヒューリスティクスの機能と効果
望月 爾	〈税法〉納税者の権利の確立と保護の視点からの税法研究
本山 敦	〈民法〉現代社会にふさわしい相続・遺言制度の検討・構築
森久 智江	〈刑事訴訟法・犯罪学〉修復的司法、犯罪行為者・非行少年の社会復帰と被害
安井 栄二	〈税法〉連結納税制度の研究
柳 至	〈行政学・地方自治論〉行政活動や地方自治体における公共政策に関する研究
山田 希	〈民法〉複数の契約関係における相互的な影響
山田 泰弘	〈商法〉株主代表訴訟、役員等の義務・責任、会社法制の立法史的研究
山本 圭	〈政治理論・政治思想史〉現代政治理論・民主主義論
山本 忠	〈社会保障法〉障害のある人の総合的生活保障のための法政策的研究
湯山 智之	〈国際法〉国家責任法を中心とした国際法の研究
吉岡 公美子	〈英語〉文学理論、20世紀アメリカ小説
吉次 公介	〈日本政治史〉戦後日本政治外交史
Jackson, Lachlan	〈英語〉教育学、社会言語学、国際結婚におけるバイリンガル子育て
渡辺 千原	〈法社会学〉科学、医療と裁判

より高度な学び〈大学院進学〉

法学部での学びをさらに深め、より高度な専門的知識を身につけて、それを社会で活かしたい人には、大学院へ進学するという選択肢があります。立命館大学には、学部を基礎とする法学研究科や専門職学位課程をもつ法務研究科（法科大学院）があります。

▶法学・政治学をより究める

法学研究科　博士課程

「法学研究科」では、法学、政治学の研究者を養成する「研究コース」をはじめ、企業法務のスペシャリストや司法書士・税理士・公務員などを目指す「リーガル・スペシャル・コース」、学部での学修を基に特定の課題を学問的に深める「法政リサーチ・コース」の3コースを設けています※。

研究科HP ▼

法学研究科　前期課程　2年　後期課程　3年

※2025年度から3コースに再編します。

▶司法試験合格を目指す

法務研究科（法科大学院）　専門職学位課程

「法務研究科」は、法曹となる力を着実に身につけ、司法試験を経て、社会に信頼される法律家として活躍したいと思う人のための大学院です。授業は、法律家としての実務を強く意識した内容で、実習系の科目も充実しています。

研究科HP ▼

法務研究科

学内進学入試 あり

特別選抜入試 あり

法学部

標準修業年限4年　早期卒業　飛び級

法曹進路プログラム（法曹コース）

最短学部3年
＋
法科大学院2年
の5年で司法試験合格

➔ P.019

卒業生からのメッセージ

将来は国際案件にも対応できる法務のプロとして グローバルビジネスへの貢献を目指す。

粥川 莉帆 さん
株式会社NTTデータグループ グローバルガバナンス本部法務部
（法学部 法学科 2020年卒業）

法務のスペシャリストとして、トラブルを未然に防止し、ビジネスを推進したいと考え、企業法務の仕事を志望しました。IT分野では最新技術を活用した新たなサービス・ビジネスモデルが国境を越えて生まれていますが、関連する法規制が複雑あるいは未整備であることも多く、ビジネスをアシストする企業法務の重要性が高まっています。それを実感したのは、大学のゼミナールで「プラットフォーム運営事業者の法的責任」について卒業論文を執筆したことや企業法務のインターンシップに参加したことがきっかけでした。現在は出資・取引法務チームに所属し、社会を支えるさまざまなプロジェクトに寄り添い、契約チェックやスキーム検討、トラブル対応などを担当しています。今後は国際案件にも対応できるようステップアップし、企業法務としてグローバルビジネスに貢献したいと考えています。

2016年、法学部入学、民法のゼミナールに所属。2020年3月の卒業を経て、4月に株式会社エヌ・ティ・ティ・データ（現株式会社NTTデータグループ）に法務職として入社。

ゼミナールで培ったリサーチ力や考える力が 弁護士として働く今の基礎になっている。

堂下 陽平 さん
颯総合法律事務所
（2019年法学部 法学科より法務研究科 法曹養成専攻へ飛び級により進学、2021年修了）

大学の授業で法律の面白さ、奥深さに気づき、法律に携わる仕事をしたいと考えるようになりました。弁護士を志したのは、学生法律相談部の活動で、身近なところにも多くの法律問題があることを知り、助けになりたいと思ったからです。現事務所では、契約上のトラブルや交通事故などの一般民事事件から相続などの家事事件、刑事事件まで広く扱っています。ネット上の誹謗中傷・名誉棄損に対する発信者情報の開示請求や投稿の削除請求といった案件にも積極的に携わってきました。大学のゼミナールで、法律問題について調べ上げ、レジュメを作成し、発表・議論する中で培ったリサーチ力や、説得力のある主張をするためには何が必要かを考える力が、弁護士の仕事の基礎になっています。立命館大学の魅力は、資格取得の支援体制が整っていること。ぜひそれを存分に活用し、成長してください。

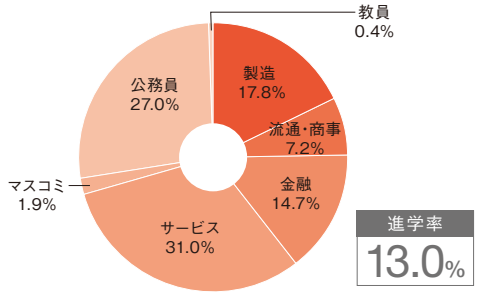
2016年、法学部入学、民法のゼミナールに所属。2019年、飛び級で立命館大学法務研究科（法科大学院）に入学。2021年3月、法科大学院修了後、9月、司法試験合格。2022年12月、司法修習を終了し、弁護士登録。2023年1月より大阪市内の法律事務所にて勤務後、2024年5月に颯総合法律事務所に入所。

進路・就職状況

法的思考力を活かし、多様な民間企業や公務員、法曹界で活躍。

卒業生は、法律の知識を活かし、幅広い分野に就職しています。
また、13.0%の学生は大学院などへ進学し、より高度な専門知識を修得し社会で活躍しています。

［2023年度卒業生　業種別進路決定状況］



◎円グラフの数値は小数点以下第二位を四捨五入により算出。
◎進学率＝[進学者／（就職者＋進学者）]。ただし、進学者には大学院だけでなくその他の進学者を含む。
◎端数処理の関係で100%にならない場合があります。

［2023年度卒業生　進路・就職先一例］

〈50音順〉

（株）IHI	（株）島津製作所	ニチコン（株）
(株)NTTデータグループ・(株)NTTデータ・(株)NTT DATA,Inc	スズキ（株）	日本新薬（株）
外務省専門職員	積水ハウス（株）	日本電気（株）（NEC）
川崎重工業（株）	ANA（全日本空輸（株））	日本生命保険相互会社
（株）キーエンス	（株）タカラトミー	野村證券（株）
一般社団法人共同通信社	東映アニメーション（株）	パナソニックホールディングス（株）
（株）京都銀行	東京海上日動火災保険（株）	（株）みずほフィナンシャルグループ
（株）クボタ	東京電力ホールディングス（株）	（株）三井住友銀行
国税専門官	東レ（株）	（株）村田製作所
裁判所職員一般職	西日本高速道路（株）	雪印メグミルク（株）
（株）滋賀銀行	NTT西日本（西日本電信電話（株））	国家公務員総合職（防衛省、国税庁）
資生堂ジャパン（株）	西日本旅客鉄道（株）	地方公務員（上級職）

衣笠キャンパス

産業社会学部

College of Social Sciences

学部HP

■現代社会学科

現代社会専攻／メディア社会専攻／スポーツ社会専攻／子ども社会専攻／人間福祉専攻

取得学位	学士（社会学）
アドミッション・ポリシー	産業社会学部のカリキュラムで学ぶために必要な、以下の能力や資質を有する者を受け入れます。 〈関心・意欲・態度〉 1 基礎的な教養と知的好奇心を有している者 2 現代の様々な社会問題の理解とその解決に強い関心を持つ者 3 他者とのやりとりを通して主体的に学びを深める姿勢を有する者 4 将来、総合的で多面的な視野を持ち国内外での活躍を希望する者 〈知識・理解〉 5 高等学校教育課程における基礎的な学力、思考能力、判断能力を有し、それらを応用することができる者

複雑多様化する現代社会の諸問題を解明し、その解決を目指す

産業社会学部の創設は1965年、社会学系では国内有数の歴史と規模を誇る学部です。現代社会は、環境問題、貧困や格差、少子高齢化、雇用問題、都市・農村格差、メディア環境と文化変容、エスニシティー、ジェンダー、福祉・教育、国際紛争などさまざまな課題を抱えています。産業社会学部は、社会学を中心にして経済学、政治学などさまざまな社会科学と関連させながら、こうした社会問題を主体的に乗り越え、解決していくことができる人間の育成を目標にしています。

産業社会学部は、社会の担い手の育成に向け、学生が主体的に学ぶことを重視しています。そのため入学当初からアクティブ・ラーニングを推進し推奨しています。主体的で能動的な学びを授業の中で、そして授業外のさまざまな場面でも学生が実践できるよう支援します。

産業社会学部では、「現代社会専攻」「メディア社会専攻」「スポーツ社会専攻」「子ども社会専攻」「人間福祉専攻」という5つの専攻をおき、それぞれに独自のカリキュラムを展開しています。学生の多様な問題関心に応じて、専攻の壁を越えて学ぶことも可能です（クロスオーバー・ラーニング）。

産業社会学部の学生は、フィールドワークを通じて地域社会の人々や組織とつながり、日々経験を重ねます。さらに地域はもとより日本、世界へと視野を広げる中で、現代社会が抱える諸問題を捉え、自らの研究テーマを見出し、卒業研究で掘り下げていきます。見えないものを見つめ、自ら考え、自ら行動する力を身につけることができる、それが産業社会学部の魅力です。

STUDENT'S VOICE

テレビ局スタッフを目指して。2028年、ロサンゼルス五輪の熱狂を伝えたい。

メディアやマスコミで働きたいという強い意欲から、産業社会学部メディア社会専攻を志望しました。講義の中で特に印象に残っているのは、「ニュース論」です。朝日放送の報道局で活躍されている方の生の言葉で報道の意義を学ぶことができ、メディア界での働き方ややりがいの解像度が格段に上がりました。

3回生の9月には「異文化理解フィールドワーク」というプログラムを活用し、アメリカのロサンゼルスへ足を運びました。滞在中にロサンゼルスメモリアルコロシアムで、南カリフォルニア大学対スタンフォード大学のアメフトの試合を観戦しました。観客動員も熱狂もアマチュアスポーツとは思えないほどのスケールでした。これをきっかけに、大学スポーツの運営方法における日本とアメリカの違いに興味を持つようになり、現在はその研究に取り組んでいます。広くメディアに取り上げてもらうための仕組みづくりをはじめ、中高生のアスリートが大学でもスポーツを続けたいと思えるような社会的気運の醸成につなげることが目的です。

また、立命館大学の体育会機関紙を発行する立命スポーツ編集局では記者として3年間活動しました。リーグ戦や練習試合では選手に直接取材し、SNSや紙面を通じて多くの読者と感動を共有しました。硬式野球部創部百周年記念号外の制作をはじめ、多くの経験が自身の成長につながっていることを実感しています。将来は、スポーツの感動を日本と世界に伝えるテレビ局のスタッフになって、2028年のオリンピックに関わることが目標の一つです。立命館大学には、日々の学びを経験に置き換える機会がたくさんあります。未知の世界に飛び込んでいくチャレンジ精神が身についたと思います。

井守 裕太 さん
産業社会学部 現代社会学科
メディア社会専攻 4回生
兵庫県立長田高校出身

専攻・特色

高い専門性と多角的な視野を養う5専攻

異なる視点から見つめ考えることで、現代社会の複雑で多様な問題の実態が見えてくる。

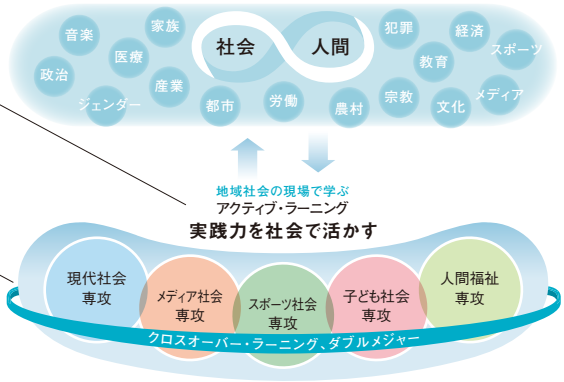
アクティブ・ラーニング ～社会に触れて学ぶ～

フィールドワークやボランティアなど、実際の社会に触れて、学生自らが主体的・能動的に学ぶアクティブ・ラーニングを重視しています。日本および海外の社会問題の現場で人と接しながら、調査・研究を進めます。

クロスオーバー・ラーニング ～専攻の壁を越えて学ぶ～

学部基礎専門科目や他専攻の専門展開科目などの履修を通して、専攻の壁を越えた多彩なテーマを学ぶことが可能です。例えば、「教育」と「福祉」、「スポーツ」と「ジャーナリズム」など複数のテーマを学ぶことで、複雑な課題を多面的に捉えることができます。

【ダブルメジャー制度】
クロスオーバー・ラーニングを実現するための一つの仕組みです。所属する専攻以外からサブメジャー専攻を一つ選び、通常は履修できないサブメジャー専攻のゼミナールや専門導入科目を履修することが可能となり、社会問題へのより深く多面的なアプローチを可能にします。



※他専攻の専門科目の単位認定における科目区分（分野）は、専門科目ではなく「発展科目」です。
※卒業するためには、教養科目・外国語科目の他に、自専攻の専門科目を少なくとも20科目程度単位取得しなければなりません。

現代社会専攻

現代社会の課題に3つの視点から迫り、真に豊かな未来を探究する。

地域の人々と信頼を築き、問題発見とその吟味、解決策を探究

自然環境と経済活動の調和を目指す「持続可能な社会」の創造や公共空間の再生、社会倫理や国際ネットワークの構築といったさまざまな課題に、「社会形成・社会文化・環境社会」の3つの領域からアプローチし、真に豊かな社会を実現するための方法を探究します。「社会形成」領域では、政治・経済・労働など社会の骨格についての論理を学び、さまざまな場面で社会変革を推進、管理できる力を養います。「社会文化」領域では、人間・文化・社会についての論理的思考を柱として、新しい生活規範を創出していきます。また、「環境社会」領域では、持続的社会の形成を目指し、自然環境の保全のみならず、住みよい社会環境の創出に主体的に関わるための力を培います。いずれの領域でも、文献学習だけでなく、フィールドワークにも積極的に取り組みます。

メディア社会専攻

メディアの機能・役割について学び、社会とのよりよい関係を創出する。

教室での学びと連動したメディア制作実践

メディア社会専攻では、社会とメディアとの「よりよい関係づくり」を目指します。新聞や放送などの社会的機能やインターネットに至る発展と歴史、またマンガや広告といった文化など、メディアと社会の関わりについて学び、各種メディアが果たすべき役割や責任について考察します。さらに情報を的確に読み解く力や発信するためのスキルも養います。現代社会におけるメディアの機能を検証する「メディア社会」、メディアと人との関わりに注目する「市民メディア」、映画、マンガといった文化としてのメディアを学ぶ「メディア文化」という3つの領域を設定しています。自分の関心や進路の希望に合わせて、1つあるいは複数の領域から多角的に学ぶことが可能です。

スポーツ社会専攻

心豊かで健康な人間社会のために、スポーツや余暇のあり方を考察する。

ゼミナールにおける「新しいスポーツ」の創作活動の様子

余暇の過ごし方や健康管理に対する関心が高まるなか、豊かな人間生活の実現のためにスポーツに注目し、活用しようという動きが顕著になっています。スポーツは私たちの生活や社会と密接に結びつき、産業の一分野として飛躍的に成長しています。スポーツ社会専攻では、社会や生活におけるスポーツの役割や、余暇、健康との関わりについて多角的にアプローチしていきます。公的機関や民間企業、ボランティアの立場から文化としてのスポーツや余暇に対する知見を深め、豊かな社会を実現する方法を模索します。基盤となるスポーツ理論の学習に加え、現地調査などを取り入れた実践的な授業を展開しています。海外研修なども活用しながら、社会でスポーツをマネジメントしていく力や余暇の新たな可能性を見出す力を養います。

子ども社会専攻

子どもたちと関わりながら、これからの学校教育について考える。

子ども・教育について実践的に学ぶ小学校の教育実習

子ども社会専攻は、子ども・若者について多面的・総合的に学べる専攻です。小学校教員養成課程を設置しているため、「小学校教諭一種免許状」を取得することができます。加えて、「中学校教諭一種免許状」「高等学校教諭一種免許状」「特別支援学校教諭免許状」も取得可能です。本専攻では、産業社会学部の特徴を生かし、社会学・心理学・スポーツ学といった領域から子ども・若者や社会課題を多面的に理解・分析したり、メディア・福祉・グローバルな視点から子どもを取り巻く社会環境について学際的に学んだりすることができます。 また実際に小学校や子ども食堂などの現場に出向いて、実践的に学ぶ機会を設けています。「少人数での学び」「免許取得に向けたサポートルームの設置と手厚い支援」「経験・知識の豊かな教員による質の高い授業」によって、子ども・若者に関する高い専門性を身につけた「子ども・若者のスペシャリスト」の育成をめざします。

人間福祉専攻

誰もが尊厳ある地域生活を送り、すべての人の「当たり前の暮らし」を支援する。

社会福祉士課程における現場実習の報告会

障がいの有無や、置かれた環境に関わらず、また子どもでも高齢者でも、誰もが尊厳を保ち地域での暮らしを営めるようにする社会づくりに貢献します。社会福祉というテーマに対し、福祉の「制度・システム系」と人に関する「ソーシャルワーク・対人心理系」という２つの領域からアプローチします。政治や社会、経済といったマクロな視点と、生活や発達、悩みや困難といった人間そのものを捉える２つの視点を正しく理解したうえで、社会保障・社会福祉の制度に関する理解から、社会的困難のある個人や家族への個別支援の知識、技術まで幅広く学びます。また、高度な専門資格である社会福祉士資格の取得に向けたサポートも行っています。福祉マインドを持って社会のさまざまな場面で活躍できるような学びを深めていきます。

4年間の学び

学問領域を越えて、アクティブに学ぶ

高い専門性を養うため、各専攻独自のカリキュラムのもと、系統的に履修を進めていくことができます。一方で専攻間の壁を低くし、他専攻の科目を学べる柔軟なシステムも用意しています。高い専門性と多角的な視野を養い、4年間の学びの成果として卒業論文を執筆します。

産業社会学部

回生	専攻を選択して入学 1回生	2回生	3回生	4回生
学びの流れ	●大学で学ぶための基礎的なスキルを習得 ●専門へのゆるやかな導入を図る	●学びのスキルを高める ●ゼミナール選択に向けて学びのテーマを見つける	●基礎的な力をもとに専門的な学修・研究を深める ●将来の進路を定める	●4年間の学びを社会で活躍する力に高める ●学びの成果を卒業論文にまとめる
軸となる科目	基礎演習Ⅰ・Ⅱ 入門社会学 情報リテラシーⅠ 専攻コア科目（○印のついている科目）	プロジェクトスタディⅠ・Ⅱ	ゼミナールⅠ・Ⅱ	ゼミナールⅢ・Ⅳ 卒業研究

主な専攻専門科目

専攻	専門導入科目	専門展開科目
現代社会専攻	○現代と社会 産業社会学 都市論 社会文化論 多文化共生論	企業社会論 家族社会学 比較政治論 比較文化論 国際社会経済学 労働社会学 社会病理学 現代経済論 比較宗教論 環境論 社会階層論 社会思想 住民自治論 資源エネルギー論 比較ジェンダー論 など
メディア社会専攻	○現代とメディア 現代メディア史 メディア技術史 メディア社会論 メディア文化論	ジャーナリズム論 活字メディア論 音声メディア論 マンガ文化論 グローバルメディア論 メディアリテラシー論 ニュース論 映画と社会 パブリックアクセス論 子どもとメディア コミュニケーション政策論 コミュニティメディア論 広告論 観光文化論 表象文化論 など
スポーツ社会専攻	○現代とスポーツ スポーツ史 ウエルネス論 スポーツ社会学 スポーツ文化論	余暇の社会史 スポーツ政策論 スポーツマネジメント論 スポーツボランティア論 スポーツメディア論 障害者とスポーツ スポーツとジェンダー グローバルスポーツ論 地域スポーツ論 武道論 生理学 スポーツ指導論 学校保健 衛生学 など
子ども社会専攻	○子どもと社会 子どもと教育の歴史 現代学校教育論 現代教職概論	道徳教育論 学校カウンセリング論 子ども・若者と社会病理 国際教育援助論 比較市民教育論 子どもと遊び いのちの教育 自我論 グローバル教育論 子どもとICT 現代若者論 児童・発達心理学 生涯学習論 学校文化・学校空間論 など
人間福祉専攻	○現代と福祉 社会福祉概論 人間発達論 地域福祉論 ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	心理学 老人福祉論 障害者福祉論 公的扶助論 福祉経営論 国際保健医療政策研究 発達障害論 国際福祉社会論 社会福祉法制 発達保障論 NPO・NGO論 障害者とコミュニケーション バリアフリー論 家族関係論 など

「ソーシャルデザインプログラム」「グローバルスタディプログラム」
プログラムの内容に即した多様な科目を配置しています。各プログラムは専攻を問わず履修できます。➔ P.28

- 上記は2024年度のカリキュラムです。 2025年度は科目の改廃や科目名称等が変更になる場合があります。
- 専攻専門科目の履修は、「専門導入科目」→「専門展開科目」を基本としつつ、学修テーマや時間割の条件に合わせて各自で設計することができます。
- 学部の専門科目とは質的に異なる、幅広い分野の知識の修得を目指す科目を多数履修することができます。➔ 教養科目 P.130

科目についての詳細は オンラインシラバス 立命館 検索

外国語の選択

［必修］英語　［選択必修］ドイツ語／フランス語／中国語／スペイン語／朝鮮語 から1言語
英語と選択必修の内の1つの言語を合わせた2つの言語が必須。国際社会で通用する高度な外国語運用能力を身につけることを目標とします。

産業社会学部の英語副専攻

学部の専門性と英語運用能力を同時に高める産業社会学部独自の副専攻を設置しています。➔ P.028

■ゼミナール・卒業研究

産業社会学部では、ゼミナールに所属し、その成果物である「卒業論文（もしくはそれに準ずる成果物）」を提出することが卒業の必要条件です（必修科目）。ゼミナールでは、専門的な学びを深めることを通じて得られた多様な知識や技法を深化させることに加え、自ら主体的・能動的に取り組むことを通じて、それらを総合させることをめざします。ゼミナールでの学習成果は、4年間の学びの集大成となる「卒業論文」としてまとめあげます。ゼミナールは産業社会学部での学びを「紡ぎ上げ」「完成させる」場です。

教員紹介

詳しくはこちら ▶

［2024年度　教員・研究テーマ一覧］

現代社会専攻	
江口 友朗	タイなど東南アジア諸国の人々での間での金銭的な違い（例えば、貧困や所得格差など）に関する調査と、世界中の人々が物質的に豊かかつ幸せに暮らしていくために必要な持続可能な社会経済システムの検討：各国の制度や政策をてがかりにして
大野 威	日米英を中心とした働き方の変遷の国際比較、女性役員登用、育児と仕事の両立
加藤 潤三	社会心理学から地域コミュニティにおける人間の行動と心理の探求（地域環境問題、地方への移住、沖縄に関する研究など）
加藤 雅俊	公共政策が国々によって異なる理由・背景に関して政治的な要因に注目して分析する（とくに、日本とオーストラリアに注目して）、紛争処理と合意形成のあり方を多角的に検討する、政治学という学問が可能になるための条件を検討する
金澤 悠介	大規模アンケート調査で人々の政治についての新たな価値観を探る、大規模アンケート調査で社会的孤立の実態と原因を探る
斎藤 真緒	ヤングケアラー・若者ケアラーおよび男性ケアラーを中心とする家族ケアに関する理論的実証的研究と当事者参画に基づく社会資源の開発、今日の若者の恋愛の動向の把握とデートDV予防プログラムの開発
崎山 治男	感情の社会学、サービス産業下でのストレスに関する感情労働論、コミュニケーション能力が求められる社会の心理主義という視点からの分析
櫻井 純理	市町村と企業・NPO等が提供している就業困難者への支援政策、日本とデンマークの比較研究
杉本 通百則	EU・ドイツの環境政策の歴史、リサイクルや循環経済の研究、大量生産・大量消費社会の国際比較
住家 正芳	宗教学、宗教社会学、宗教や宗教的なものをめぐるさまざまな思想の研究
孫 片田 晶	在日コリアンの歴史や思い、多文化共生社会、人種主義の問題
武岡 暢	歌舞伎町の都市社会学、商店街、職業のネットワーク：ホストクラブ、キャバクラ、性風俗、客引き、スカウト等
竹濱 朝美	再生可能エネルギー電源（風力、太陽光、バイオマスなど）の拡大政策、脱原発のエネルギー政策、再エネ100%を目指す企業・自治体の事例分析、電気自動車EV拡大に関する国際比較
富永 京子	・政治に対して意見を言うことや批判をすることはなぜ日本社会では嫌がられてしまうのか ・「旅行」と「DIY（Do-It-Yourself）」を社会運動として研究する
中井 美樹	生活や仕事での男女間不平等の研究、ジェンダー格差・性別役割分業、等の研究
中西 典子	地域社会と公共性（公共空間）、地域政策（地方分権、地域振興）に関する比較社会研究、京都学研究
永島 昂	日本経済・産業の歴史、モノづくりにおける中小企業の研究
永野 聡	観光と健康を融合したまちづくり、身近なところからの環境対策（SDGs）、アート活動で地域おこし?!、震災復興と国際交流の実践、UberやAirbnbが身近な社会を創るには?、高齢者に優しい社会をみんなで創るにはどうすれば良いか（海外にもトビ出そう）?
永橋 爲介	参加型まちづくりの実践、ファシリテーション・スキル（対話と熟議を円滑に進める技法）の獲得と展開、合意形成の作法と技術
樋口 耕一	ネットやマスメディアを飛びかう言葉から「社会の心」を探る研究、テキストマイニングの方法とツールの開発
平井 秀幸	刑務所のフィールドワーク、薬物依存症とその支援、セルフヘルプ・グループと当事者活動、社会批判と社会調査
三笘 利幸	マックス・ヴェーバーの思想、近現代の沖縄をめぐる思想
柳原 恵	ジェンダー研究。女性史。インタビューとミニコミ（自主制作雑誌）から見る女性運動
山口 歩	再生可能エネルギーの拡充政策　系統拡充の考察　電力自由化時代の系統接続ルール 電力消費生活のデザイン　公共空間の拡充　音響デバイスの発展過程
吉田 誠	戦後日本の企業と労働組合の歴史
リム ボン	歴史都市・京都における都市政策課題の探求
メディア社会専攻	
飯田 豊	メディア論、メディア技術史、文化社会学。とくにテレビ、ビデオ、万博などに関する研究
瓜生 吉則	マンガの読者論・メディア論、メディア文化としての競馬の歴史社会学、戦後日本社会におけるテレビの文化研究
川口 晋一	メディアの発達と観覧スポーツ文化の変容：米国レクリエーションの歴史と政治
近藤 和都	メディア論、メディア史、映像文化論（映画・テレビ・ビデオ・動画配信をめぐる受け手研究）
坂田 謙司	社会における音と声の存在を、理論とラジオ番組制作を通じてもう一度考える。特に、ジェンダーや災害、AIなどの日常生活との関わりについて、歴史を遡って考察する
住田 翔子	戦後日本の廃墟イメージの研究、アートと都市空間・都市イメージ、視覚文化論、感性文化論
高橋 顕也	コミュニケーション・メディア、メディア文化、ソーシャル・メディア、社会理論
谷原 吏	SNSとコミュニケーション、AIのガバナンス、世論と政治、定量的分析
筒井 淳也	社会的ネットワーク（家族・友人関係）、仕事と家庭の両立、国による生活や価値観の違い
浪田 陽子	メディア・リテラシー（メディアの特性を理解し、読み解き、発信する力）の獲得と学校におけるその教育実践、日本と北米の映画・テレビ番組・広告に描かれるジェンダーやエスニシティの比較分析、カナダのメディア研究
根津 朝彦	戦後日本のジャーナリズムの歴史、新聞記者・報道・ニュース研究、テレビのドキュメンタリーが迫る社会問題
日高 勝之	①「物語（narrative）」としてのメディア・映画研究 ②記憶、ノスタルジアのメディア・映画研究 ③コロナ禍・東日本大震災などの大災害・カタストロフィ後のメディア・映画研究
福間 良明	（1）戦争観の変容とその社会背景に関する戦後メディア史 （2）教養文化と格差・労働をめぐる歴史社会学
藤嶋 陽子	日本のファッション産業の歴史、ファッションメディア、SNSやECサイト（商品を売買できるウェブサイト）の登場が消費に与えた影響、ファッションとテクノロジー
柳澤 伸司	新聞活用の教育（NIE：Newspaper in Education）、メディア・リテラシー、ジャーナリズムとメディアの諸問題
スポーツ社会専攻	
市井 吉興	新しいスポーツ＝ニュースポーツを創ってみよう！そして、スポーツの魅力を探求してみよう!! でも、「新しいスポーツ」ってなんだ??
漆原 良	スポーツのパフォーマンスを含む人の運動・行動能力の潜在的可能性を引き出す方法を学際的視点から考える
岡田 桂	スポーツとジェンダー（性役割）をめぐる歴史と現状、スポーツとセクシュアリティ（LGBTQ＋）の関係性、文化としてのスポーツが社会で果たす役割
金山 千広	①障害者スポーツの普及・振興に関する研究 ②学校体育・生涯スポーツにおける「場」のインクルージョン ③対象者の状況に応じて、スポーツを工夫・展開するためのマネジメント（アダプテッドスポーツのマネジメント）
金子 史弥	①スポーツ社会学、スポーツ政策論 ②戦後のイギリスにおけるスポーツ政策（スポーツとナショナリズム／社会的包摂）に関する研究 ③オリンピック・パラリンピックをはじめとした国際的なスポーツイベントに関する社会学的研究（特にその〈レガシー〉（遺産）に関する研究）
権 学俊	近現代日本の天皇制（皇室）とスポーツの歴史 スポーツとナショナリズムに関する研究 スポーツと人種差別、排外主義に関する研究
中西 純司	①価値共創とスポーツサービソロジー（スポーツサービス学） ②地域スポーツと市民（志民）社会の形成 ③スポーツという「不便益」文化論の研究 ④スポーツ経営学の理論開発
松島 剛史	①スポーツがなぜ世界に広まったのかを探る ②ラグビーの魅力や発展がいかに社会（政治、経済、科学技術など）に支えられているかを探求する ③レジャー・スポーツを使って理想的なコミュニティや社会をデザインする
藪 耕太郎	①武道のグローバリゼーション・プロセス ②武道と他の身体運動文化との変容や混淆 ③武道の商品化（消費の対象としての武道） ④ジャパニーズ・ディアスポラと武道
子ども社会専攻	
石田 智巳	体育と認識、ナラティブ・アプローチ、体育実践記録論
大谷 いづみ	「いのち／生・老・病・死」の語り方・語られ方の分析と再考
大谷 哲弘	高校生の学校生活への適応やキャリア発達、児童生徒の大規模自然災害後のトラウマ反応
岡本 尚子	算数科の子どものつまずき、脈拍や視線などを用いた思考の分析
御旅屋 達	ひきこもり経験を有するなど、生活や就労において難しさを抱えた若者を支える仕組みについての研究 現代社会における「居場所」についての研究
角田 将士	社会科（地理歴史科・公民科）カリキュラム編成論、社会科（地理歴史科・公民科）授業構成論
景井 充	①フランス社会学を誕生させた問題意識と理論構成の解明 ②日本的近代社会の特質を炭鉱の歴史に探る研究 ③条件不利地域の社会経済的サステナビリティを実現するソーシャルデザインの探求
柏木 智子	子どもの貧困、外国ルーツの子ども、子ども食堂、学習支援活動、探究学習、ケアする学校・授業づくり、学校とICT活用、学校との連携によるコミュニティづくり
中西 仁	①史料批判、質的な調査の手法を用いた社会科授業実践の分析 ②歴史民俗学的アプローチによる都市祭礼及び京都の祭礼の研究
野原 博人	理科教授・学習論、理科評価論、学習環境のデザイン
春木 憂	国語科授業づくり、「子どもの論理」をいかした教育実践理論、幼小接続期教育およびカリキュラム開発
松岡 宏明	造形・図画工作科・美術科教育における目標と評価、美術鑑賞教育、子供と造形
人間福祉専攻	
秋葉 武	NPO・NGOの経営学（NPOがより社会的成果を挙げるためのガバナンス・クラウドファンディング・広報・人材開発・コンサルティングなど）
石田 賀奈子	児童福祉・特に虐待を受けた子どもの回復に向けた支援に関する研究、児童養護施設や里親による子どもの養育、子どもの権利擁護（アドボカシー）
呉 世雄	高齢者の地域生活を支える仕組みと実践、社会福祉施設の運営管理、ビジネス手法を用いた社会問題の解決、新たな福祉サービスの開発
岡田 まり	病気・障害・介護・貧困・差別などに直面している人の生活支援や環境改善、福祉専門職の養成や研修
川﨑 聡大	発達障害や知的障害・言語障害の背景や支援法を心理学・脳科学の観点から検証するディスレクシア（発達性読み書き障害）の支援法やインクルーシブ教育実践を可能とする評価法の研究
黒田 学	障害のある子どもと家族の地域生活支援、特別ニーズ教育および障害児福祉に関する国際比較研究（ベトナムなどの東南アジア、ポーランドなどのEU諸国）
桜井 啓太	現代日本の貧困問題。社会福祉、特に生活保護制度に関する研究
鎮目 真人	社会保障、労働、家族などに関する社会問題と日本の福祉国家に関する研究、高齢期の貧困問題と年金制度の研究
篠原 郁子	発達心理学。主に、乳幼児期の社会情緒的発達、親子関係、幼児教育・保育と子どもの発達の関連に関する研究。
田村 和宏	障害のある子ども・人たちの発達と生活・教育・労働の支援について。障害のある人の権利の侵害と保障について。家族やきょうだい支援について
丹波 史紀	貧困や災害などのリスクにさらされた個人や家族が、尊厳を保ち地域での暮らしを実現する社会政策の研究
中根 成寿	障害政策に関する調査研究 福祉事業所等のデータ分析・DX推進に関する調査研究
長谷川 千春	日本やアメリカを中心とした、医療保険や医療サービスの提供に関する医療保障システムについての研究、また医療保障システムが抱える問題についての研究
前田 信彦	教育と職業キャリアに関する社会学的研究、学校から職業への移行とキャリア教育（大学生の就職活動など）、ワークライフ・バランス研究
松田 亮三	医療と福祉の仕組みと政府の役割、いろいろな国の福祉の仕組みの比較、誰もが必要な医療・福祉を利用できるために何をすればよいか
三木 裕和	障害児教育における教育目標・教育評価論
村田 観弥	インクルーシブな社会に向けた教育のあり方についての研究
山田 宗寛	社会福祉の実践・思想・歴史、ソーシャルワーカーの専門性についての研究。子どもの福祉。障害のある人の福祉や芸術活動
言語・国際教育	
Ian Hosack	日本の中等教育におけるシティズンシップ教育（市民教育）と英語教育との関連性とその取り組み。現代社会に市民として参加するため必要な意識、スキル、価値観 など、英語教育を通してどのように育成されるかについての研究
上原 徳子	中国古典小説とそのパロディ・スピンオフ・映像化作品と読者や観客の受けとめ方についての研究
下條 正純	日本語における表現とその効果、物語（少女小説やライトノベル）に見られる発話表現と人物描写の関わりなど
武田 淳	留学や就職などで国境をこえて移動する人たちについての研究
仲井 邦佳	スペイン語文法構造の研究、ロマンス語（イタリア語、フランス語、等）との比較研究、スペイン語と日本語の対照研究
盧 載玉	韓国・朝鮮語教育（言語の機能「読む」「書く」「話す」「聞く」）を楽しく学べる教材開発、文化的背景に基づいて機能する言語力を身につけるための教材開発）
松島 綾	ポピュラー・カルチャー研究、視覚イメージと私たちの関係性、視覚的コミュニケーションの研究
宮尾 万理	第二言語学習者による文の理解と産出、思考力の育成
山﨑 遼	現代民俗学、スコットランド文学、伝承歌・物語などの口頭伝承研究、ヴァナキュラー文化研究、スコティッシュ・トラベラー研究

社会の諸課題に関連する分野を幅広く学ぶ。

■ソーシャルデザインプログラム

「社会問題の発見と解決」に関する理論と実践を体系的に学ぶプログラム。現代社会における社会問題の特性とその多様な解決方法を多角的に学び、フィールドワークを通じて社会問題の現実を学びます。プログラム修了者は、社会問題を主体的に発見・解決し、新たな地平を切り拓く人材として、社会のさまざまな分野で活躍することが期待されます。

■社会と連携した専門特殊講義（プロフェッショナルに学ぶ）

学外諸機関からゲストを迎えた専門科目。社会の第一線で活躍しているプロフェッショナルの講義はとてもパワフル。学生たちの好奇心・探求心を刺激します。

［開講例（一部）］

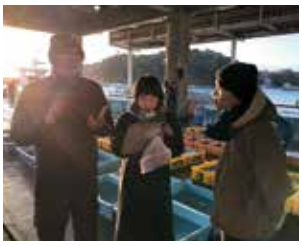
- 読売マスコミ講座
  ～メディアの公共性から21世紀の新聞とテレビの課題を考える～
- 朝日新聞・朝日放送リレー講座～メディアの現場から～
- 京都市連携講座 京都を深める～市政を知る、学ぶ、考える、創造する～
- 読売スポーツ社会学講座～スポーツ報道とそれを取り巻く環境～

■地域連携プロジェクト（社会の現場で学ぶ）

「問題の本質的な理解を持って、解決に向けた思考力と実践力を養うこと」「多様な他者とのやりとりの中から自分自身を批判的に検証・理解し、総合的な人間力を養うこと」を目指し、地域連携プロジェクトを積極的に展開しています。

［活動例（一部）］

- コミュニティ・エナジー
  “小電力発電再稼働を契機とした地域おこしの探求”
- 第三の居場所探究―シェルター／カフェ／中・高居場所づくりに着目して
  ～尼崎市・大阪市～



英語で社会学を学び、専門の学びと語学力を同時に高める。

■英語副専攻

産業社会学部の学生は、学部での学びを深めるとともに英語運用能力を高め、国際的な進路・交流の可能性を広げる「英語副専攻」を履修することができます。高度な英語運用能力だけでなく、社会学関連の専門知識を幅広く英語で学び、発信する力を鍛えます。授業はすべて英語で行い、受講生全員が、TOEIC® L&Rテスト600点（TOEFL® ITPテスト500点、TOEFL iBT®テスト61点）以上のレベルに到達することを目指します。

※TOEIC®およびTOEFL®はEducational Testing Service（ETS）の登録商標です。

■海外短期研修プログラム

海外の提携大学と学部が協働で海外短期研修プログラムを開発しています。産業社会学部のカリキュラムの中で培った外国語の総合的運用能力を基礎に、海外というフィールドで各分野の専門学修を深めます。

- Study Abroad Program（オーストラリア・サザンクイーンズランド大学）

■グローバルスタディプログラム

国内外で起きている社会諸問題について国際的な視点から学ぶことを目指す国際教育履修モデル。多文化共生・異文化理解のための知識と実践力を習得する講義科目とフィールドワーク科目、そして外国語でのコミュニケーション力を涵養する語学科目といった多様な科目を配置しています。また、ゼミナールでの報告や卒業論文において、外国語の文献を用いて研究テーマを深められるようになることを目指します。

［異文化理解フィールドワーク］

- 人間福祉専門特殊講義：
  ポーランドの障害・福祉・教育・平和を探るフィールドワーク
  現地の施設や学校などを視察
- アメリカ西海岸で
  レジャー・スポーツビジネスの最前線を学ぶ
- 韓国メディア見学
  2024年度はJTBC「知ってるお兄さん」見学予定

※開講するプログラム・渡航先は年度によって異なります。

高度な専門性を有する資格や、さまざまな教員免許の取得が可能。

■資格課程のサポート

産業社会学部では以下の資格や免許を取得することが可能です。また、社会福祉士国家試験受験資格、小学校教諭免許の取得を目指す学生には、専門スタッフと専用の資格支援室を設け、取得をサポートしています。

※所属する専攻や時間割の都合により、複数の資格課程を並行して履修することができない場合があります。

資格

- **社会調査士（定員60名）**

※定員を超えて申し込みがあった場合は選考を行います。

- **社会福祉士国家試験受験資格（人間福祉専攻のみ、定員40名）**

※社会福祉士資格課程の履修希望者には選考を行います。
※社会福祉士資格課程の履修には別途社会福祉士課程履修料（※2023年度実績 9万8千円）の納入が必要となります。

教員免許

- **現代社会専攻／メディア社会専攻／スポーツ社会専攻／人間福祉専攻**
  中学校教諭一種（社会・保健体育）、
  高等学校教諭一種（地理歴史・公民・保健体育）、
  特別支援学校教諭一種（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）
- **子ども社会専攻**
  小学校教諭一種

卒業生からのメッセージ

一歩引いて物事を見ると、違う景色が見えてくる。社会をより良くしていくための記事を書く。

石原 聖規 さん

一般社団法人共同通信社 那覇支局
（産業社会学部 現代社会学科 スポーツ社会専攻 2018年卒業）

報道記者という職業を選んだのは、いろいろな物事を自分の目で見て、経験したいと思ったからです。現在は那覇支局で、司法と米軍、防衛省沖縄防衛局を中心に取材をしています。学生時代に、根津先生のゼミナール仲間とのディスカッションで培った多角的な視点が、取材でも役立っています。また、読書や一人旅で見識を深め、さまざまな業種の人に会い、人としての幅が広がりました。沖縄に住んで日本の国土面積の約0.6%に過ぎない沖縄県に、全国の7割以上の米軍専用施設が集中していることについて改めて考えさせられました。日々の事件・事故が、安易な言葉で片付けられてしまうことにやりきれなさを感じます。それでも、「全国メディアだからこそ伝えられることもあるはず」という思いで、日夜、奮闘しています。目標は、自分にしか書けない記事、社会をより良いものにする、その一助となるような原稿を書くことです。

2014年、産業社会学部に入学。2018年3月に卒業後、一般社団法人共同通信社に報道記者として入社し、横浜支局に赴任。2019年5月に宮崎支局に異動。2022年8月から那覇支局に勤務し、主に司法と米軍、防衛省沖縄防衛局の取材に当たっている。

ゼミナール活動は私にとって人生の分岐点。多角的な視点で物事を考える姿勢が身についた。

吉田 有里加 さん

京都市役所 西京区役所洛西支所地域力推進室
（産業社会学部 現代社会学科 現代社会専攻 2023年卒業）

産業社会学部で三笘先生のゼミナールに所属したことは、私にとって人生の分岐点でした。社会で「当たり前」とされていることに疑いの目を向けること、社会の中で苦しむ人がいる事実に無関心になってはならないことを学び、社会への関心の幅を広げることができました。実践的な英語の授業や、国際交流や言語学習を中心としたグローバルコモンズのBeyond Borders Plaza（BBP）など授業以外で英語に触れる機会が多かったことも印象に残っています。このような出会いや学びを経て今は、大学の4年間で大好きになった京都で公務員として働いています。大学で学んだことをもとに、多角的な視点で物事を考えながら仕事をしています。今後もさまざまな仕事を経験して必要なスキルを磨き、どんな仕事にも必要な英語の勉強も続けたいと思います。今は学びたいことが明確でなくても、大学で多くの人と出会い、学ぶことに意味があると思います。立命館大学で素敵な4年間を過ごしてください。

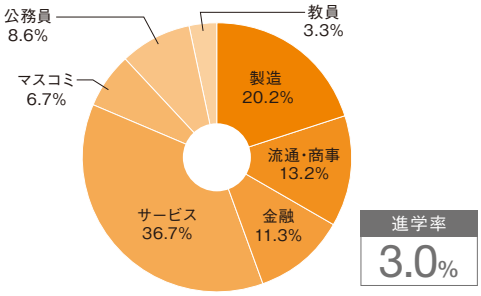
2019年、産業社会学部に入学。1回生の春休みにカナダのトロント大学へ留学。2023年3月に卒業後、京都市役所に入職。現在は、西京区役所で京都西山地域をPRするイベントの企画・運営や、市政懇談会や区長懇談会などの資料作りと当日の会場運営、スポーツイベントの運営、交通安全推進の啓発活動など多岐にわたる仕事に従事する。

進路・就職状況

培った実践力が社会で活きる。

社会学の学びや多彩な個性との触れ合いで得た幅広い視野と課題発見・解決能力を活かして、多くの卒業生が社会で活躍しています。

［2023年度卒業生　業種別進路決定状況］



◎円グラフの数値は小数点以下第二位を四捨五入により算出。
◎進学率＝[進学者／（就職者＋進学者）]。ただし、進学者には大学院だけでなくその他の進学者を含む。
◎端数処理の関係で100%にならない場合があります。

［2023年度卒業生　進路・就職先一例］

〈50音順〉

味の素（株）	（株）京都銀行	本田技研工業（株）
出光興産（株）	積水ハウス（株）	富士通（株）
因幡電機産業（株）	（株）セブン-イレブン・ジャパン	プリマハム（株）
AGC（株）	ソフトバンク（株）	（株）堀場製作所
（株）ADKホールディングス	中国電力（株）	（株）みずほフィナンシャルグループ
NHK（日本放送協会）	（株）電通	森永乳業（株）
（株）NTTドコモ	東映アニメーション（株）	（株）読売新聞東京本社
カシオ計算機（株）	東海旅客鉄道（株）	（株）ワコール
（株）カプコン	東京海上日動火災保険（株）	国家公務員一般職（財務省、厚生労働省等）
（株）キーエンス	東京電力ホールディングス（株）	国税専門官
京セラ（株）	（株）ニトリ	地方公務員（上級職）
一般社団法人共同通信社	日本生命保険相互会社	教員

衣笠キャンパス

国際関係学部

College of International Relations

学部HP

■国際関係学科

国際関係学専攻／グローバル・スタディーズ専攻

■アメリカン大学・立命館大学国際連携学科

取得学位	国際関係学科…学士（国際関係学） アメリカン大学・立命館大学国際連携学科…学士（グローバル国際関係学）
アドミッション・ポリシー	**〈国際関係学科〉** 国際関係学科では、国際社会の理解に不可欠な「言語×理論×地域」を段階的に学んでいきます。その中で、高い外国語運用能力と論理的思考力を養い、多文化を理解する豊かな知性を育んでいきます。こうした学科での学びの中で、自らの意思で主体的に行動し、行政・経済・文化・平和といった観点から社会に貢献する意欲を持つ学生を求めます。 このため、入学時点で、以下の学力と意欲を有している学生を受け入れます。 1 国際社会の諸問題を分析するために必要な基礎学力 2 国際社会の諸問題に関する高い関心、およびそれを自発的に探求する意欲 3 国際社会の諸問題を理解し、表現することができる語学力 **〈アメリカン大学・立命館大学国際連携学科〉** アメリカン大学・立命館大学国際連携学科は、キャンパスの内外で効果的なリーダーシップを発揮できるグローバルなマインドと国際社会の諸問題を分析するために必要な基礎学力を有する学生を求めています。卒業後、友好的で相互に有益な東アジアおよび日本と米国の関係発展ならびに国際社会の平和と繁栄に貢献する意欲を持った学生を受け入れます。

多文化が融合する環境で成長し、グローバルな視野で国際社会の諸問題に挑む

国際関係学部は、1988年に設立されて以来、国際協力、外交、グローバルビジネス、地域コミュニティなど国内外で活躍する8,000名以上の卒業生を輩出してきた西日本でもっとも伝統ある国際系学部です。この間、冷戦の終結、世界的な経済危機、IT革命や環境などに関する諸問題、テロリズムに代表される新しい脅威の台頭、COVID-19をはじめとした新たな感染症への対応など、国際社会はめまぐるしい変化に直面し、国際関係学部もそれらの変化に対応すべく、さまざまな進化を遂げてきました。国際関係学部では、国際社会で起こる戦争や貧困問題、民族間対立などを、政治や経済の分野に留まらず、社会学、文化人類学、歴史学などの観点から多角的に捉えようとする学びを推進しています。この複眼的な視点は国際関係学部特有の学術的アプローチです。国際社会で起こる出来事はさまざまな要因が複雑に絡み合って構成されており、このような社会に貢献するためには、物事の表面だけではなく背後に潜む社会のひずみや、一見無関係に思われる別の物事との関連性を浮き彫りにするなど、物事をより客観的かつ本質的に深く理解する力が必要となります。

学問分野を越えて物事を考察し、文化・宗教、既存の価値観（常識）を越えて、自分の価値観を再構築する。国際関係学部での学びは、さまざまな局面を自分の力で打開し国内外で活躍したいと望む人が更に成長するための、重要な一歩につながります。

JDP

学部では日本初のプログラム！

「ジョイント・ディグリー・プログラム（Joint Degree Program）」

2018年4月にアメリカン大学と立命館大学が共同で開設した「アメリカン大学・立命館大学国際連携学科」では、西欧中心に築かれた学問体系である「国際関係学」を、日本を含む非西洋の視点を取り入れた「グローバル国際関係学」へと発展させ、学部レベルでは日本初となるジョイント・ディグリー・プログラム（JDP）を始動しました。京都とワシントンD.C.でそれぞれ2年ずつ学び、両大学連名の単一の共同学位（BA in Global IR）を取得します。

詳しくはこちら

STUDENT'S VOICE

国際交渉の現場を体験的に学び、将来の目標がより明確になった。

世界の子どもたちの貧困や飢餓問題に関心があり、卒業後、そうした困難な状況の解決のために海外で働くことを視野に、英語で国際関係学が学べる国際関係学科グローバル・スタディーズ専攻を志望しました。

国際関係学の理論や概要から、世界の各地域における状況、SDGs、国際機関まで幅広い授業の中で、特に印象深かったのは、GSG※です。学生たちが国際機関、NGO、各国政府などのアクター（国際社会を担う主体）に扮し、実際の社会課題を解決するために模擬的に国際交渉を行い、それまでに得た知識を現場で活用する作業を経験します。私はユニセフの「教育および青少年育成プログラム担当ディレクター」に扮し、他の国際機関と連携して教員トレーニングや教材支援のプログラムを提案、合意に向けて各国の代表と折衝を行いました。プログラムを考えるにあたって多くの資料を読み、世界の現状、既に実施されている取り組みやその課題点などを深く理解できただけでなく、元国連職員の先生から国際機関の立ち位置や国際機関として考慮しなければならない要素、各国政府との交渉のポイントなど具体的な指導を受け、国際交渉の現場を体験的に学ぶことができたのは大きな財産です。これらの授業を通して、さまざまな事例を関連づけて考察できるようになり、理解の幅が広がったのに加え、本やWEBを鵜呑みにするのではなく、自分の理解と照らし合わせて疑問を持ち、批判的に捉える多角的な視点も身についてきたと感じています。

将来は途上国の子どもの教育推進に携わりたいと思い、夏休みには国連職員を目指す学生を対象にした講座に参加しました。現在は英語・フランス語の勉強に注力しています。

内田 有咲 さん
国際関係学部 国際関係学科
グローバル・スタディーズ専攻 3回生
宮城県仙台第二高校出身

※GSG：Global Simulation Gaming（グローバル・シミュレーション・ゲーミング）

国際関係学科 IR GS

国際問題を解決に導く人材を育てる多彩なプログラムを提供。
日本語基準と英語基準、2つの専攻の科目を幅広く学べるクロス履修システムを採用。

国際関係学（IR）専攻とグローバル・スタディーズ（GS）専攻では、国際社会の理解・課題解決に不可欠な「理論」、「地域」、「言語」を段階的に学びます。多くの科目は、同じ内容の講義を日本語と英語の両言語で開講しています。異なる専攻の科目を卒業に必要な単位数の半数近くまで履修することができる「クロス履修制度」を活用することで、国際関係学科の学生は、関心のある科目を日本語あるいは英語で学ぶことができます。

IR 国際関係学専攻

現代の国際社会が抱える問題を探究し
グローバルに活躍できる力を蓄える。

主に日本語で「国際関係学」を学びます。また、2回生からは各々の関心に沿って、4つのプログラムから一つを選択し履修します。選択できるプログラムは、政治や安全保障を中心とする「国際秩序平和」、経済や開発を学ぶ「国際協力開発」、文化の関わりなどを学ぶ「国際文化理解」、そして、国連職員や公務員を目指す「国際公務」です。それぞれの専門領域に分かれることで自身の軸となる学問分野を定め、深く探究していきます。また、クロス履修制度を使い英語で開講される科目も受講できます。グローバル・スタディーズ専攻の留学生などとともに英語で学ぶことにより、物事を捉える視点や考え方が変わり、多角的な視点で「国際関係学」への理解を深めることができるでしょう。

GS グローバル・スタディーズ専攻

世界から集う留学生とともに英語で学び
日本と世界との架け橋を目指す。

主に英語で「国際関係学」を学びます。学年の半数以上が海外からの留学生です。日本・京都に居ながらにして海外の大学と同様の環境で4年間を過ごします。世界中の国・地域から学びに来ている留学生と切磋琢磨しながら、高度な英語運用能力を養い、多様な文化や価値観に触れることで真の国際コミュニケーションや文化理解の機会を得ることができます。外国籍の同級生や多様なバックグラウンドを持つ教員との共修・交流を通じて、エキサイティングな大学生活を過ごすことができるでしょう。

また、日本語開講の科目を受講することもできるため、英語を中心としながらも、関心のあるテーマについては日本語で学修することも可能です。

アメリカン大学・立命館大学国際連携学科 JDP

アメリカン大学・立命館大学国際連携学科は、立命館大学国際関係学部とアメリカン大学 School of International Service が連携して一つの教育課程を編成し、両大学が連名で1つの学位〈学士（グローバル国際関係学）〉を授与する、学士課程レベルとしては日本で初となる学科です。本学科では、立命館大学とアメリカン大学の双方から学生を受け入れます。

「グローバル・比較ガバナンス」、「アイデンティティ・民族・ジェンダー・文化」、「平和・国際安全保障・紛争解決」などの国際関係学にかかわる各専門分野において、両大学の教員による一貫した指導のもと、4年間、両大学のキャンパスを行き来しながら、日米両方の国際関係学部で学びます。それぞれの大学の強みを活かした授業科目や、両大学が共同で開設する授業科目が一つのカリキュラムの中で提供されるため、体系的かつ効率的に履修を進めることが可能です。

アメリカン大学（American University）School of International Service:

1957年創立。国際関係学のスクールとしては全米で最大規模を誇り、約3,000名の学生が在籍。ワシントンD.C.のキャンパスには、世界約130の国・地域から留学生が集う。“Foreign Policy Magazine（2018）”の“The Best International Relations Schools in the World”では、学部で全米9位、大学院（修士課程）で同8位にランキングされている。

4年間の学び

回生	1回生	2回生	3回生	4回生
学びの流れ	国際関係学の基礎を「基礎演習」「国際関係学A・B」で学び、英語・初修外国語（または日本語）を学修。	各プログラムの専門科目・地域研究科目を受講。政策決定の場を擬似体験するグローバル・シミュレーション・ゲーミング（GSG）にも参加します。	少人数制の専門演習がスタートし、興味をもつテーマについて研究を進めます。	専門演習での研究を発展させて、4年間の学びの集大成となる卒業論文の作成に取り組みます。

国際関係学科

国際関係学専攻

基礎演習	言語学	GSG	異文化コミュニケーション論	中東研究	開発と食料	比較家族論
国際関係学	文化人類学	国際関係学セミナー	プロフェッショナル・ワークショップ	専門演習	開発政策論	卒業研究
国際連合入門	英語科目（国際関係学）	専門英語科目（国際関係学）	東南アジア研究	国際人権法	メディア・文化論	など
平和学入門	初修外国語	国際法	ヨーロッパ研究	国際機構論	文化交流史	
法学	国際経済学	国際協力論	北アメリカ研究	比較政治論	宗教と国際関係	
経済学	国際政治学	途上国政治論	東アジア研究	地域開発論	国際貿易投資論	
政治学	国際文化・社会学	欧米政治史	アフリカ研究	開発経済論	国際金融論	
社会学	地域研究論	国際ジャーナリズム論	ラテンアメリカ研究	安全保障論	環境経済論	

海外留学プログラム 海外留学プログラムについて P.133

グローバル・スタディーズ専攻

Introductory Seminar	Macroeconomics	Microeconomics	International Trade and Investment
Theories of International Relations	Global Simulation Gaming (GSG)	Global Environmental Issues	Global Civil Society and Development
Introduction to the United Nations	Global Studies Seminar	Cultural Awareness and Communication	Global Sociology
Introduction to Peace Studies	Introduction to Area Studies	Race and Ethnicity in the Modern World	International Migration
Politics for Global Studies	International Law	Advanced Seminar	Topics in Identity
Economics for Global Studies	Security Studies	Peace and Conflict Studies	Advanced Topics in International Relations
Sociology for Global Studies	Global Political Economy	International Human Rights	Graduation Research
Academic Skills (AS)	Development Studies	International Organizations	
Kyoto and the Japanese Arts	Media and Society	International Finance	

立命館大学国際連携学科 アメリカン大学・

〈立命館大学（京都）で受講する科目（例）〉

Introductory Seminar	Security Studies
Theories of International Relations	Japanese Politics
Macroeconomics	Japanese Society
Microeconomics	Japanese Economy
Japanese Culture	Japan-United States Relations
Introduction to the United Nations	Advanced Seminar
Comparative and Global Governance	Graduation Research
Introduction to Gender Studies	

※立命館大学から学修を始める際の一例。学修スケジュール、選択する分野などによって選択できる科目は異なります。

〈アメリカン大学（ワシントンD.C.）で受講する科目（例）〉

SISU-106 First Year Seminar
SISU-206 Introduction to International Relations Research
SISU-212 China, Japan and the United States
SISU-306 Advanced International Studies Research
SISU-312 Governance, Development, and Security in Asia
SISU-359 Environment, Conflict, and Peace
SISU-368 Differences and Similarities in Conflict Resolution
SISU-380 Topics in Global and Comparative Governance
SISU-393 International Relations Theory

• 上記は2024年度のカリキュラムです。 2025年度は科目名称等が変更になる可能性があります。
• 学部の専門科目とは質的に異なる、幅広い分野の知識の修得を目指す科目を多数履修することができます。 ➔ 教養科目 P.130

科目についての詳細は オンラインシラバス 立命館 検索

外国語の選択（国際関係学科）

国内入試入学者：［必修］英語　［選択必修］ドイツ語／フランス語／中国語／スペイン語／朝鮮語から1言語
留学生入試入学者：［必修］英語と日本語
アラビア語・ロシア語も学べます。

国際関係学部の特長的な学び

グローバル・シミュレーション・ゲーミング〈Global Simulation Gaming〉

2回生全員が参加する実践型科目です。受講生各々に国連の事務総長や米国大統領、難民支援NGO代表、テレビメディアといった世界の主要人物の役割が与えられ、政策立案、交渉過程、政策行使など、国際政治、国際経済の動きを実体験しながら学修します。最新の国際問題について、各々が異なる立場で発想・思考し、議論を展開する必要があり、与えられた役割の背景や現状を深く理解するとともに、議論する相手に関する知識を深めることで、グローバル社会における多角的な視野と考え方を養います。

英語運用能力・アカデミックスキルの習得

国際関係学専攻では、「国際関係学」の知見を深めるための高度な専門英語運用能力を養います。アカデミックな英語力を習得することによって、「諸問題を多角的に捉え批判的に読み解く力」と、自身の主張について「根拠を示し説得力のある説明ができる力」を養います。グローバル・スタディーズ専攻では英語でリサーチ・スキルを学び、文献レビューを行いながら、研究計画を立て、APAスタイル※のレポートや論文を作成できる力を養います。

※学術論文などアカデミックな分野の文章に使われる書式

教員紹介

国際色豊かで、多様な研究を進める教員体制

国際関係学部には、欧米、ラテンアメリカ、東アジア、東南アジア、中東、アフリカといった世界中の地域を専門とする教員、あるいはUNHCRやIMF、世界銀行といった国際機関での勤務経験がある教員などが在籍しています。教員の出身国・地域もアメリカ、イギリス、フランス、ドイツといった欧米だけでなく、中国、韓国、ハンガリーなど、多様性に富んでいます。加えて、実務の現場を知り尽くした客員教授陣が現場のリアルな感覚を伝え、国際経験豊かな教員から国際関係学を体系的に学び、国際感覚を磨くことができます。

詳しくはこちら ▶

[2024年度　教員・研究テーマ一覧]

教員	
安高 啓朗	批判的国際関係理論、国際政治経済学
足立 研幾	国際政治学、軍縮・軍備管理論
雨河 祐一郎	開発論・環境論、社会開発、農業・環境社会学、東南アジア地域研究（タイ）
五十嵐 優子	社会言語学、World Englishes、言語政策と言語教育
池田 淑子	カルチュラル・スタディーズ、記号学
石川 幸子	紛争・平和と開発、国際開発協力、人間の安全保障、ASEAN
板木 雅彦	国際経済学、国際過剰資本論
岩田 拓夫	国際政治学、アフリカ研究
植松 大輝	開発経済、貧困と格差、持続可能な開発、国際協力
大田 英明	国際金融論、国際経済論、国際開発金融、開発マクロ経済学、各国経済
大山 真司	カルチュラル・スタディーズ、メディア研究、文化・クリエイティブ産業研究
越智 萌	国際法学、国際司法、国際制度論
O'MOCHAIN Robert	ジェンダー、人権、言語と自己存在意義の関係性
夏 剛	比較文化論、日中社会比較
川村 仁子	国際関係学、政治学、規範学
河村 律子	農村社会学、農業経済学
北村 理依子	国際法、国際人権法
君島 東彦	憲法学、平和学
金 友子	社会学、在日朝鮮人史研究
KIM, Viktoriya	社会学、移民論・家族社会学・ジェンダー論
KUNSCHAK Claudia	異文化間コミュニケーション、言語教育学
KOGA-BROWES Scott P.	メディア論、テレビニュースの映像記号論分析
小林 主茂	グローバル国際関係理論、国際秩序、国際安全保障論、平和構築論、国際開発、国際機構論、ロシア外交政策、EU外交政策
佐伯 千鶴	文化外交
嶋田 晴行	開発経済、国際関係論、地域研究（南アジア、東南アジア）
白戸 圭一	国際ジャーナリズム論、アフリカ地域研究
末近 浩太	中東・イスラーム地域研究
SMITH Nathaniel M.	文化人類学、ナショナリズム、文化外交、ジャパンスタディーズ、都市学、社会運動
園田 節子	トランスナショナリズム、中国移民
孫 軍悦	日中比較文学、日本近現代文学、翻訳論
田中 聡	政治学、平和構築論、ボスニア・ヘルツェゴビナ研究
DANISMAN Idris	宗教と国際関係、イスラーム思想、トルコ研究、中東地域研究、多文化共存・共生
TAILLANDIER, Denis	カルチュラル・スタディーズ、日本SF研究
CHADHA, Astha	宗教と国際関係、インド外交政策、南アジア政治研究、インド太平洋の女性・平和・安全保障
CHEUNG, Yukman	文化・歴史社会学、ナショナリズム、都市論、日本研究、アニメ、香港研究
辻本 登志子	社会学、フィリピン移民労働者研究、ジェンダー
徳丸 浩	金融論、国際金融論
鳥山 純子	ジェンダー論、中東ジェンダー研究、文化人類学
中川 涼司	開発経済論、中国経済論
中戸 祐夫	国際政治経済学、日米経済紛争
中本 真生子	比較文化学、現代アルザス史
西村 智朗	国際法学、国際環境法
林 大祐	環境政策学、国際協力論
福海 さやか	国際関係学、安全保障論
FRENCH, Thomas W.	日本史、日本政治論、日米関係史
星野 郁	国際経済学、EU経済・通貨統合
本名 純	比較政治学、東南アジア研究
奉 鉉京	応用言語学、異文化コミュニケーション、翻訳通訳研究
益田 実	国際関係史、イギリス政治外交史
松坂 裕晃	グローバルヒストリー、人種・エスニシティ研究
松田 正彦	東南アジアにおける農業・農村開発
三井 久美子	日本語教育学、会話分析
南野 泰義	比較政治学、北アイルランド政治史
森岡 真史	経済学、経済理論、思想史
矢根 遥佳	国際経済学
山口 智美	文化人類学、日本研究、ジェンダー論
RAJKAI, Zsombor Tibor	社会文化研究、非西欧文化圏の近代化研究、家族研究
渡辺 宏彰	比較政治経済、経済政策、地域統合、国際関係理論
渡邊 松男	地域統合、経済開発、ODA国際協力、持続可能な開発、アフリカ、ボスニア、平和構築
王 通	応用ミクロ経済学、応用計量経済学、公共経済学
客員教授	
山本 忠通	元国際連合事務次長

PICK UP!

数字で見る国際関係学部

国際関係学部が誇る特色をデータで紹介します。

卒業生からのメッセージ

将来の目標は、障がいを持つ人の視点も取り入れた新しいサービスや機能の企画に関わること。

木村 春香 さん
富士通Japan株式会社 ヘルスケアソリューション開発本部
パートナーソリューション事業部
（国際関係学部 国際関係学科 2018年卒業）

インターンシップに参加し、ITの分野では自分の聴覚障がいが強みになると感じたことが入社のきっかけになりました。現在、中小病院向けに電子カルテ導入支援の企画・ツール開発などを行っています。さまざまなステークホルダーが関わるプロジェクトのサブリーダーとして、それぞれの立場を考えつつ、落としどころを見つけて調整する仕事にも携わっています。大学のゼミナール活動で、他の学生とそれぞれの観点から議論を重ね、1つのテーマに対して「この立場だったらどうするだろう？」と考えながら物事を見られるようになったことが、仕事にも活きていると感じます。将来の目標は、障がいを持つ人の視点も取り入れた新しいサービスや機能を開発する企画に関わることです。プロジェクトリーダーとして企画を進める際に必要な知識とスキルを身につけるため、関連資格の勉強にも取り組んでいるところです。

2014年、国際関係学部に入学。2回生の「海外スタディ」で国連本部を訪問、実際に見て学ぶ大切さを知る。手話サークル「歩む会」代表、学びのコミュニティ集団「つながる」副代表を務めるなど課外活動にも注力。就職活動では障害学生支援室の情報も活用。2018年、富士通Japan株式会社ヘルスケアソリューション事業本部（当時）入社。

外交官として日本を代表し、カメルーンとの関係強化に尽力する。

青木 瞬 さん
外務省 在カメルーン日本国大使館
（国際関係学部 国際関係学科 2018年卒業）

在カメルーン日本国大使館で、政務担当としてカメルーン政府との交渉や意思疎通、カメルーンの内政や地域情勢に関する情報収集、在留邦人の保護や援助に関する仕事に当たっています。12歳から17歳までベルギーで生活したため、大学入学時は漠然と世界で活躍したいと考えていましたが、大学入学後、元外務次官である薮中三十二先生の授業を受け、「日本を代表し、世界を舞台に働ける外務省の仕事に人生を賭けたい」と、目標が定まりました。薮中先生からは、異なる視点や文化を持った相手に対しても恐れずにロジックを持って自分の意見を発信することの重要性、「世界で日本は何をすべきか」「何が国際社会にとってプラスになるか」といった大局的見地に立って考えることの大切さを学びました。国際情勢が厳しさを増す中、存在感を高めるアフリカの地で、日本を代表して任国との関係強化に努めていきます。

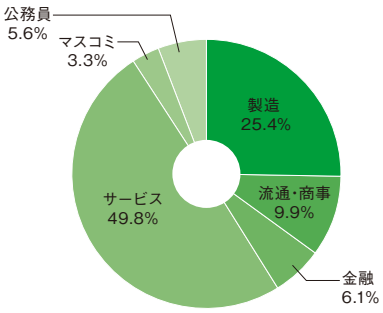
2018年9月、国際関係学部国際関係学科卒業。2019年4月に外務省入省、同年7月、外務省欧州局西欧課に配属。2021年8月～2023年5月、語学研修のためフランスに留学。国立行政学院（旧ENA、現INSP）にて国際関係学修士号を取得後、パリ第一大学パンテオン＝ソルボンヌの修士課程（政治コミュニケーション学）を専攻。2023年6月より在カメルーン日本国大使館に勤務。

進路・就職状況

グローバルな視野で世界の第一線で活躍。

世界に広がるネットワークを活かして、国際的な機関やメーカーなど企業の国際業務セクションに多く採用されています。
世界の有力大学院にも多数進学しています（ジョージ・ワシントン大学、オックスフォード大学、ジョンズ・ホプキンズ大学など）。

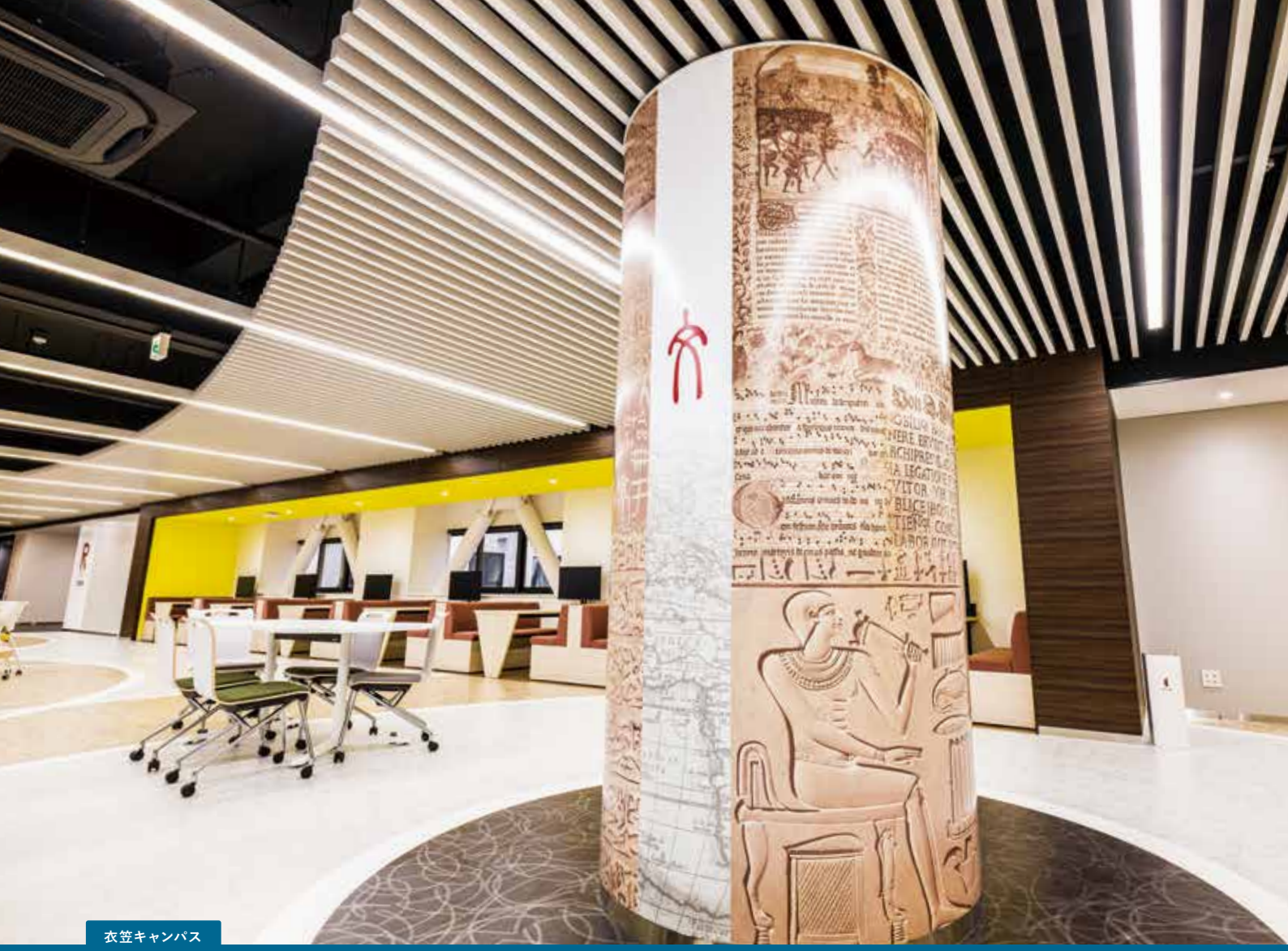
［2023年度卒業生　業種別進路決定状況］



◎円グラフの数値は小数点以下第二位を四捨五入により算出
◎端数処理の関係で100%にならない場合があります。

［2023年度卒業生　進路・就職先一例］　〈50音順〉

アクセンチュア（株）	シャープ（株）	（株）毎日新聞社
アビームコンサルティング（株）	ANA（全日本空輸（株））	（株）三井住友銀行
アマゾンジャパン合同会社	ダイキン工業（株）	三菱商事（株）
（株）エイチ・アイ・エス	東海テレビ放送（株）	三菱電機（株）
エイベックス（株）	豊田通商（株）	（株）読売新聞大阪本社
関西電力（株）	日産自動車（株）	楽天グループ（株）
京セラ（株）	日本アイ・ビー・エム（株）	（株）リクルート
（株）クボタ	日本航空（株）	ローム（株）
独立行政法人国際協力機構	日立造船（株）	（株）ロッテ
（株）サイバーエージェント	（株）ファーストリテイリング	国家公務員一般職（国土交通省）
サッポロビール（株）	富士通（株）	国税専門官
JFE商事（株）	Bloomberg L.P.	地方公務員（上級職）



衣笠キャンパス

文学部

College of Letters

学部HP

■人文学科

人間研究学域（哲学・倫理学専攻／教育人間学専攻）
日本文学研究学域（日本文学専攻／日本語情報学専攻）
日本史研究学域（日本史学専攻／考古学・文化遺産専攻）
東アジア研究学域（中国文学・思想専攻／東洋史学専攻／現代東アジア言語・文化専攻）
国際文化学域（英米文学専攻／ヨーロッパ・イスラーム史専攻／文化芸術専攻）
地域研究学域（地理学専攻／地域観光学専攻）
国際コミュニケーション学域（英語圏文化専攻／国際英語専攻）
言語コミュニケーション学域（コミュニケーション表現専攻／言語学・日本語教育専攻）

取得学位	学士（文学）
アドミッション・ポリシー	文学部では、以下のような学生を求めます。 1 人文学の分野・領域に対して深い関心と探究心を持つ者 2 人文学を学ぶために必要な基礎学力を有する者 3 学域・専攻での学びを通して幅広い知識と豊かな表現力を身につけて、人間と社会が抱える諸問題を主体的に追求・解決しようとする意欲を持つ者

幅広い領域の学問を融合して、現代社会にふさわしい人文学を創り上げる

文学部（College of Letters）は、文字（letters）によって表現される人間の精神や人間が生み出した文化を「文（もん）ずる」（研究する）学部です。哲学・文学・歴史学・地理学・言語学・芸術学など幅広い専門領域から構成される「人文学」（Humanities）の重要性は日に日に増しています。なぜなら、人文学は人間の生き方を考えるための基盤となる学問だからです。複雑で変化の激しい現代社会を生きるためには、一人ひとりが「善悪」や「人間にとって価値あるもの」についてしっかりと考えなければなりません。数千年にわたる人智の積み重ねによって構築されてきた指針を、現代社会の問題解決に向けていかに活用するか。研究に関連した分野を広範囲に学び、融合しながら、新しい学問を創り上げることが課題となります。

立命館大学文学部では、関連しあう複数の専攻を束ねた「学域」を設定し、学問の境界を越えて学べる仕組みをいち早く整えることで、時代が求める人文学に対応してきました。

さらに、幅広い人文学の専門的素養を活かして堅固なグローバル感覚を養い、国境を越えて世界に学んでいく「地球市民」の育成に力を入れています。地球市民とは、単に外国語の運用能力が高いだけでなく、さまざまな歴史や文化など、それぞれ異なったバックグラウンドをもつ人や地域、国を理解し、尊重できる人のことです。その実現に向け、マレーシア・シンガポールなどでの短期研修プログラムも開設しています。

立命館大学には、全国・世界から個性豊かな学生が集まっています。また、教員と学生が近い距離で学べる少人数教育システムも特長です。グローバルな視点と専門的素養や教養を修得しながら、「人間と文化」について学ぶのにふさわしい京都で、人文学を探究してください。

STUDENT'S VOICE

日本語教師養成課程で磨いた自己省察力を活かし、その理想像を追い求める。

日本語を母語としない人に外国語としての日本語を教える日本語教師にあこがれを抱いたのは、高校時代のことです。夢に近づくために、日本語教師養成課程を履修できる言語学・日本語教育専攻を選びました。日々の学びを通して、日本語教育に携わるために必要な知識・技能・態度を身につけることができていると感じます。特に鍛えられているのが、自らの言動をかえりみて、その善し悪しを考える自己省察力です。これは、日本語教師に求められる資質の一つである、「自身の指導や対応について客観的に振り返り、常に学び続ける態度を持つ」ことにつながるものです。

3回生からスタートする実習では、公益財団法人京都市国際交流協会の地域日本語教室で、日本語チューターを務めました。受講生のバックグラウンドは実に多彩です。一人ひとりと真摯に向き合う姿勢を大切にしながら実践経験を積む、貴重な機会となりました。実習後もボランティアで、同協会の日本語チューターとしての活動を続けています。

日本語教育業界は転換期を迎えており、日本語教師により高い専門性が求められるようになっています。2024年からは一部の日本語教育機関で、国家資格「登録日本語教員」の取得が必須となりました。こうした現状を踏まえ、私は日本語教師を目指す学生の互恵的な学びの場を設けるとともに、そのコミュニティを研究対象にしたいと考えています。アップデートされつつある日本語教育業界を目指すうえで、「学生の、学生による、学生のための学び合い」は大きな意味を持つはずです。そう信じ、主体的に関わっていく予定です。卒業後については大学院への進学を検討中です。丁寧な自己省察を繰り返すことで、日本語教師としての理想像を追求していきたいと思っています。

片桐 柚希 さん
文学部 人文学科 言語学・日本語教育専攻 4回生
新潟県立新潟高校出身

人間研究学域

人間を根源的に見つめ直し、人間であることに関わる知の可能性を切り拓く。

哲学・倫理学専攻

**人間の根源的な問題に立ち返って
よりよく生きるための指標を見つける。**

哲学・倫理学は、2600年もの歴史をもつ最古の学問です。哲学・倫理学を学ぶことは、思索の歴史をたどることであり、知の集積を自らの思考の糧とすることなのです。今、社会情勢は驚くほどのスピードと多面性をもって激しく変化しています。既存の価値観が大きく揺らぎ、新時代にふさわしい考え方が求められています。こんな時代だからこそ、「人間とは何か、どう生きるべきか、世界とは何か」という根源的な問いかけが大切です。哲学・倫理学専攻では、すべての学問の基礎となり、人生の指標を得ることにつながる哲学・現代思想と倫理学・応用倫理学を系統的に学びます。

教育人間学専攻

**人間・教育・心の3領域を連動させて
現代社会が抱える問題にアプローチする。**

教育人間学専攻では、人間形成と教育に関わるさまざまな事象を多面的に探究していく中で、人間のあり方を総合的に考えます。心身の関係、健康、意識の深み、生と死、生きる意味、自己実現といった現代社会が抱える人間の問題に迫り、解決に導く学問です。授業には実習形式をふんだんに取り入れ、体験や実践を重視しながら、人間の内面や人間関係、社会に対する理解と洞察力を高めていきます。教育と人間に関わる総合的な研究活動を通して、人間であること、教えることと学ぶことを根底から支える「生きた知」の修得を目指します。

［外国語の選択］

外国語科目		英語	ドイツ語	フランス語	中国語	スペイン語	朝鮮語	イタリア語
人間研究学域	哲学・倫理学専攻	◎／○	◎／○	◎／○	○	○	○	○
	教育人間学専攻							

第１外国語：◎　第２外国語：○

［2024年度　教員・研究テーマ一覧］

伊勢 俊彦	近代以降の世界における生命と精神のあり方に関する哲学史的・理論的研究
鵜野 祐介	伝承児童文学（子守唄・わらべうた・民間説話など）の教育人類学的研究
加國 尚志	メルロ＝ポンティ存在論における文学の位置づけ
加納 友子	心身相関的介入による心の癒しと教育
亀井 大輔	現代フランス哲学、とくにデリダ思想についての研究
川那部 隆司	日常経験から獲得される知識の解明とその教育への応用
鈴木 崇志	現象学的他者論
辻 敦子	若手教師の資質形成過程についての臨床教育学的研究
永守 伸年	近世ヨーロッパの倫理思想史ならびに現代の社会哲学
西村 拓生	「美的なもの」の人間形成的意義に関する思想史的研究
林 芳紀	現代社会の諸問題に対する倫理学的研究
福原 浩之	青年期の心の教育の理論的・実践的研究
布山 美慕	文章や物語の理解および主観的体験の認知科学研究
細尾 萌子	フランスと日本における思考力・判断力・表現力の指導と評価
山内 清郎	子どもの世界（成長・発達・不安・危機など）の人間学的・臨床教育学的研究

卒業論文のテーマなど、より詳しい情報はこちら

日本文学研究学域

伝統ある研究分野で、新たな日本語・日本文学の意義を探究する。

日本文学専攻

日本文学の故郷・京都で多様な研究成果に触れながら作品に新しい光を当てる。

古事記、万葉集、源氏物語などから近世、近現代にまで至る多様な日本文学を鑑賞し、作品に盛り込まれた意味を解明します。先人の研究をひも解くことが学びの基本となりますが、今日までの学問的蓄積を踏まえつつ、さまざまな角度から切り込む最新の手法により、作品の理解と批評に新たな光を当てていきます。多くの文学作品が生まれた京都の地の利を活かし、先人の研究成果を論文や資料で確認しながら研究に取り組むこともでき、絵画や演劇、映像分野の研究、外国文学の比較研究といった新たな研究にも挑戦できます。

日本語情報学専攻

情報技術を駆使して、日本語の多様性、現代における図書館の役割を探求する。

日本語は、千数百年以上にわたる長い歴史を持つ言語であり、地域、世代、性別などによる多様な姿を見せています。この日本語の変遷、多様な実態を解明するために、「コーパス」（大規模な言葉のデータベース）を使った日本語研究に取り組みます。

図書館は、新しい文化の創造に多大な貢献をしてきましたが、情報化の進む現代ではその役割も変わりつつあります。この専攻では、情報化社会における図書館の役割といった今日的課題にも取り組んでいます。また、図書館司書課程の授業も開講しています。

［外国語の選択］

外国語科目		英語	ドイツ語	フランス語	中国語	スペイン語	朝鮮語	イタリア語
日本文学研究学域	日本文学専攻	◎／○	◎／○	◎／○	◎／○	◎／○	◎／○	◎／○
	日本語情報学専攻							

第１外国語：◎　第２外国語：○

［2024年度　教員・研究テーマ一覧］

赤間 亮	日本演劇・美術、日本文化情報学の研究
有田 節子	推論過程を明示する言語形式に関する理論的実証的研究
小椋 秀樹	コーパスを活用した日本語の語彙、表記に関する研究
岡崎 友子	コーパスを利用した日本語文法の歴史的用法・変化に関する研究
川崎 佐知子	『源氏物語』などの平安王朝物語文学の文献学的研究・注釈書研究
久野 和子	図書館の社会的・文化的機能についての研究
小寺 未知留	マックス・ニューハウス再考、音楽心理学の歴史
田口 道昭	「明星」派文学の研究（日本の近代文学・近代短歌の研究）
内藤 由直	日本近代文学、文学とナショナリズム、近代文学論争の研究
中本 大	「京都」イメージの歴史的変遷と現在、本邦中世の禅林文学、中世近世の漢文学
花崎 育代	大岡昇平、三島由紀夫など戦後文学を中心とした日本近現代文学
藤原 享和	古代前期の歌謡と王権・儀礼との関係 ～古事記歌謡を中心に～
禧美 智章	アニメを『読む』、日本近現代文学研究

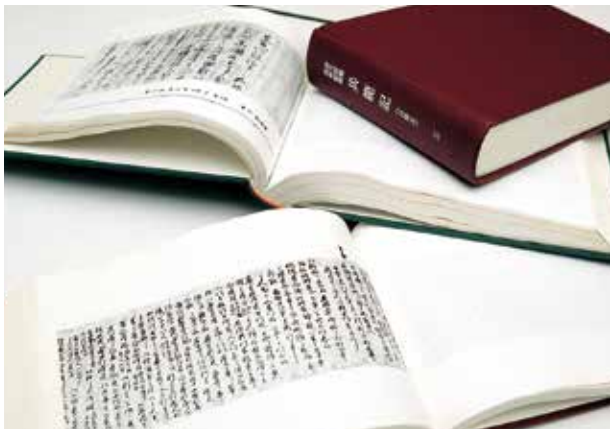
卒業論文のテーマなど、より詳しい情報はこちら

日本史研究学域

日本史から政治・社会・文化を解明、新しい時代を切り拓く。

日本史学専攻

**日本の歴史をあらゆる角度から読み解き
現代、そして未来の本質を探究する。**



積み重なった歴史がいかに現代へとつながり、これからどんな時代を創っていくのか、その本質を探究することが日本史学の醍醐味です。世界遺産クラスの社寺をはじめ多様な歴史的資産が点在する京都で、日本史を学ぶための研究技術や方法論、歴史観を学修します。充実した歴史的文献を活用しながら、国際的な歴史学、民俗学や美術史など周辺諸学の動向にも目を配り、日本の歴史を政治・社会・文化・対外関係など幅広い領域から学修・研究します。必要に応じて絵画史料、もの史料、聞き取りなども有効に活用して、幅広い視野から日本史を見つめる目を養います。

考古学・文化遺産専攻

**人類共通の財産である遺跡・遺物を
次代に継承し有効活用する方法を学ぶ。**

遺跡や遺物の研究を通じ、社会や文化の成り立ちを解明していく学問です。文字や言葉では探り切れない時代や社会の側面に触れることで、幅広い視野を身につけます。日本列島だけではなく周辺地域や世界にも目を向け、日本に対する客観的・多元的な理解を目指しています。また、遺跡・遺物の文化遺産としての価値を社会に還元するための保存と活用に関する学修も行います。実践的な調査方法や自然科学的研究を実習するとともに、学芸員課程の授業とも関連したカリキュラムで将来につながる能力を養います。古都、京都で学べることも大きな魅力です。

[外国語の選択]

外国語科目		英語	ドイツ語	フランス語	中国語	スペイン語	朝鮮語	イタリア語
日本史研究学域	日本史学専攻	◎／○	◎／○	◎／○	◎／○	◎／○	◎／○	◎／○
	考古学・文化遺産専攻							

第１外国語：◎　第２外国語：○

[2024年度　教員・研究テーマ一覧]

大田 壯一郎	日本中世史・日本宗教史
岡寺 良	日本城郭史・日本の山岳信仰の歴史
小関 素明	近代日本の主権論、立憲制、官僚制、政党政治
木立 雅朗	窯業考古学、京都の伝統工芸
田中 聡	地域資料をもとにした京都像の変容と住民の歴史意識
谷 徹也	近世的領主・領民関係の構築過程
辻 浩和	日本中世の芸能と身分・集団・女性、文化的ネットワーク
長友 朋子	弥生・古墳時代の器物生産の研究
東島 誠	〈つながり〉の精神史、南北朝・戦国等、変革期の歴史・思想
水口 幹記	日本古代史、〈術数文化〉研究、漢籍受容史、東アジア文化史
矢野 健一	縄文時代の考古学
山崎 有恒	日本の近代化・西欧化をめぐる政治過程

卒業論文のテーマなど、より詳しい情報はこちら

東アジア研究学域

ダイナミックに発展するアジア、その新時代を担う人材を育てる。

中国文学・思想専攻

文学・思想から豊かな知識を学び アジアと世界の未来を展望する。

中国で生まれた漢字は東洋の文化圏形成の核となり、中国の文化は東アジア地域全体の基盤となってきました。これからのアジアを考えるには、その豊かな文学・思想を学び、現在を見据えることが欠かせません。中国文学・思想専攻では、大学所蔵の膨大な文献を活かしながら、時代やジャンルごとのエキスパートが研究を導きます。文学と思想に息づく人間の心の本質を学び、世界で活躍するアジア発の国際人を目指します。

東洋史学専攻

歴史・文化を読み解くことを通して アジアの未来について考える。

近年、中国をはじめとするアジア諸国は急速な経済発展を遂げ、文化面でもその存在感を増しつつあります。東洋史学専攻では、アジア社会の歴史・文化を読み解き、時代や地域を視野に入れながら、その構造を理解することを目指します。アジアの経済発展や政治的紛争の要因を解明するカギもそこにあります。東アジア史の核となる中国の歴史研究は、日本の歴史を問うことにもつながります。アジアと日本の明日を考える学問です。

現代東アジア言語・文化専攻

中国・朝鮮半島の「今」を学ぶことで 新時代を担う国際人として成長する。

東アジアの人々は、革命・戦争・植民地を経験する一方で、相互の交流を通じて、その苦しみや分断を克服し平和と共同を希求してきました。今日においても解決できていない問題はありますが、他方、こうした経験や交流は、多様な文化を生み出し多彩な魅力を創出しています。本専攻では、実践的な言語の習得と、海外実習などを通じて、中国・台湾・香港・朝鮮半島や日本、さらには世界各地に暮らす東アジアに出自を持つ人びとの多様な営みや想いに寄り添うことを目指します。

[外国語の選択]

外国語科目		英語	ドイツ語	フランス語	中国語	スペイン語	朝鮮語	イタリア語
東アジア研究学域	中国文学・思想専攻	○	○	○	◎／○	○	◎／○	○
	東洋史学専攻							
	現代東アジア言語・文化専攻							

第１外国語：◎　第２外国語：○

[2024年度　教員・研究テーマ一覧]

庵逧 由香	朝鮮近現代史と日韓関係
石井 真美子	古代兵書の思想・文献的研究、銀雀山漢簡研究
井上 充幸	中国近世文化史・社会史
上野 隆三	中国・香港・台湾映画と中国古典小説
尾崎 順一郎	中国近世の学術と思想
金津 日出美	帝国日本と漢医学の歴史的展開
佐々 充昭	朝鮮近代史と現代韓国文化論
鷹取 祐司	出土文字資料を用いた秦漢時代の法律・制度の研究
萩原 正樹	詞学研究
松本 保宣	中国唐王朝の政治を宮殿の構造・機能を中心に解明
三木 貴司	第二言語学習における学習者要因の分析
三須 祐介	近現代中国演劇史・中国語圏の文学
宮内 肇	近現代中国の地域社会史

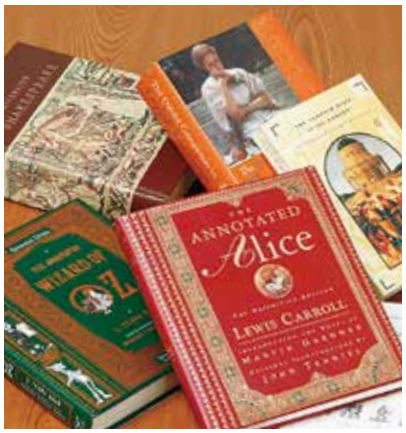
卒業論文のテーマなど、より詳しい情報はこちら

国際文化学域

多様な歴史・文化と向き合い、グローバルな課題解決能力を養う。

英米文学専攻

英語圏の文学・文化研究を通して社会と人間への考察を深める。



英米を中心とする英語圏の文学作品研究を通して、英語表現の特性、作品の文化的・歴史的背景、人間と社会の関係のあり方について考えます。さらに言語的感性を高め、異文化への理解を深めます。また、「英会話」「英作文法」「英文演習」「翻訳演習」などの演習系科目やネイティブの教員による科目を通して「読む・書く・聞く・話す」能力とともに、高度な表現力と論理的思考力、高度なコミュニケーション能力を養成します。

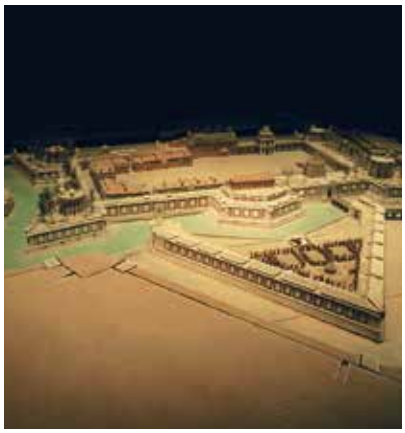
ヨーロッパ・イスラーム史専攻

ヨーロッパとイスラームの歴史からグローバル化社会の未来を構想する。

交流や対立を繰り返してきた二つの文明を視野に入れることで、現代世界の成り立ちや構造を歴史的視点から幅広く考察し、過去と現在の対比から人間社会の多様性や可能性を探求します。また自分の問題意識をもとに時代や地域を越えた広範なフィールドを研究するためのアプローチを考えていきます。歴史的視野を広げることで、混沌とする現代のグローバル化社会にも敏感に対応できる力を養い、異文化への深い洞察力と豊かな創造力を培います。

文化芸術専攻

世界中のさまざまな文化に多角的な視点でアプローチする。



さまざまな言語で展開される物語や宗教、信仰、ファッション、音楽、絵画、建築、マンガなど、多岐にわたる文化が対象です。文化人類学、芸術学、社会学、歴史学、言語学、文学など従来の学問の枠組みを越えた横断的な視点で世界が抱える多様な問題にアプローチします。世界と向き合うために必要な経験や、従来の研究方法ではたどり着けなかった新しい発見といった、かけがえのない可能性との出会いが待っています。

[外国語の選択]

外国語科目		英語	ドイツ語	フランス語	中国語	スペイン語	朝鮮語	イタリア語
国際文化学域	英米文学専攻	◎／○	◎／○	◎／○	◎／○	◎／○	◎／○	◎／○
	ヨーロッパ・イスラーム史専攻							
	文化芸術専攻							

第１外国語：◎　第２外国語：○

[2024年度　教員・研究テーマ一覧]

上田 高弘	モダン・アートの批評史的研究と批評実践
小澤 一郎	近現代西アジアの軍事史・交易史
金山 亮太	ヴィクトリア朝を中心としたイギリス小説と演劇
唐澤 靖彦	軍事史、特に近代要塞築城史
國司 航佑	ヨーロッパ（特にイタリア）の思想と文学
小林 功	6-10世紀のビザンツ帝国と地中海世界
崎山 政毅	ラテンアメリカの近現代の思想形成と文化受容
須藤 直人	太平洋諸島の比較文学・文化
竹村 はるみ	近代初期イギリスの文学・文化
千川 哲生	フランス文学、特に17世紀のフランス演劇
長澤 麻子	ドイツ現代思想
中村 忠男	グローバリゼーション時代における移動と文化変容
中村 仁美	20世紀前半のアイルランド文学
NATHANIEL H PRESTON	Cross-cultural Encounters in Literature
西林 孝浩	東洋美術における地域性と普遍性
馬場 多聞	中世西アジア・インド洋海域史
宮本 直美	ドイツ市民社会と音楽、文化政策論、宝塚歌劇研究
森永 貴子	帝政ロシアのユーラシア商業およびロシア・アメリカ会社史

卒業論文のテーマなど、より詳しい情報はこちら

地域研究学域

空間を生きる人間の営為（人文現象）を「地域」のなかで探究し、グローバル化する現代の諸問題に取り組む。

地理学専攻

地表上の現象を
空間（地域・場所・景観）の視点から解き明かす。

地表上で起こるさまざまな現象を空間的な観点から明らかにすることが目標です。自然現象はもちろん、経済や文化といった人間の営みを研究対象として、多様な手法（調査・分析）を用いてアプローチします。災害や環境問題など、地域の自然と生活とが密接にかかわる現代的な諸課題についても、フィールドワーク（現地調査）のみならず、世界でもトップクラスの研究環境を誇るGIS（地理情報システム）を活用して、積極的に取り組んでいます。

地域観光学専攻

複雑な現象である観光を
地域に注目して多角的な視座から読み解く。

観光とは、グローバルな現代社会の特徴を濃厚に映し出している現象です。地域観光学専攻では、さまざまな移動が関わり合うなかで織り成される、複雑で重層的な観光の姿を、地域に注目して読み解いていきます。文化・社会・歴史・経済などあらゆる側面に目配せしながら、フィールドワーク・質問紙調査法といった多様な調査手法を用い、世界・国・都市・集落などのいろいろな空間スケールから観光現象について考察します。

［外国語の選択］

外国語科目		英語	ドイツ語	フランス語	中国語	スペイン語	朝鮮語	イタリア語
地域研究学域	地理学専攻	◎	○	○	○	○	○	○
	地域観光学専攻							

第１外国語：◎　第２外国語：○

［2024年度　教員・研究テーマ一覧］

遠藤 英樹	ツーリズムから見えてくる社会・文化のあり方
小野 真由美	生きることをめぐるツーリズム・モビリティーズに関する文化人類学的研究
加藤 政洋	都市文化研究
河角 直美	歴史GISを活用した近代京都研究、環境史・災害史研究
河原 典史	近代の植民地朝鮮・台湾とカナダに関する歴史地理学研究
神田 孝治	観光地の形成に関する文化地理学的研究
古賀 慎二	都市の内部構造に関する地理学的研究
寺床 幸雄	農山村における産業・生活と社会関係に関する研究
花岡 和聖	ビッグデータを用いた地理空間分析
松永 光平	自然と人間との関わりの変容に関する地理学的研究
村中 亮夫	持続可能な社会のための防災と環境保全に関する地理学的研究
矢野 桂司	地理情報システム（GIS）を活用した地理学的研究
山本 理佳	文化資源化と地域社会に関する地理学的研究

卒業論文のテーマなど、より詳しい情報はこちら

国際コミュニケーション学域

英語圏文化の知識と高い英語運用能力を使い、国際社会で活躍する人を育成する。

英語圏文化専攻

英語圏の文化、社会、歴史について学び、グローバルな幅広い視野を身につける。

北アメリカやイギリス諸島、オセアニア地域やカリブ海、南アフリカといったといった英語圏地域の文化・社会・歴史について学び、研究します。英語圏地域はグローバル化推進の重要な拠点の一つとして機能するなど、政治や経済において重要な役割を果たし、文化は現代の国際社会に大きな影響を及ぼしています。英語圏の動きは世界の動きと密接な関係を持っており、そうした動きを多面的・重層的に学ぶことで、将来、世界市民として活躍する上で不可欠な、広い視野を身につけます。文化の研究は人間洞察を深めます。また学術英語（EAP）科目や英語で提供される専門科目、留学プログラムを通じて、英語の運用能力を高めます。4年間の最後には、大学でのまなびの集大成として、英語で卒業論文を書くことも特徴です。

国際英語専攻

国際語としての英語力を高め、英語の使い手としてこれからの多言語社会で活躍できる人材を目指す。

国際英語専攻では、英語を通じて、音・形・意味といったことばのしくみそのものの探求に加え、ことばの多様性や変化、ことばとアイデンティティとの関係、ことばの習得・教育などを含む、多言語環境にまつわることばの諸問題について幅広い視点から探究します。英語の使い手としてこうしたことばの本質について学び、考える経験を通じて、マルチリンガルなアイデンティティ・視点・思考力・対話力を身につけ従来の国や言語の枠を超えた、これからの多言語社会で活躍できる人材を育成します。英語教師の教員免許の取得に有利なカリキュラムでもあります。もちろん、教職志望者以外も歓迎です。また、4年間の集大成として、英語で卒業論文を書くことが大きな特徴です。

［外国語の選択］

外国語科目		英語	ドイツ語	フランス語	中国語	スペイン語	朝鮮語	イタリア語
国際コミュニケーション学域	英語圏文化専攻	◎	○	○	○	○	○	○
	国際英語専攻							

第１外国語：◎　第２外国語：○

［2024年度　教員・研究テーマ一覧］

石川 まりあ	19世紀アメリカ文学・文化研究、文学ジャンルと知の限界（the unknowable）の表象
江口 朗子	日本の英語学習者における外国語習得モデルの構築
岡本 広毅	中世イングランドの言語と文学、英語の歴史とナショナル・アイデンティティ
小川 真和子	アメリカとハワイ、日本の関係を歴史的に理解する
久屋 愛実	ことばの変異と変化に関する実証的研究
薩摩 真介	海の歴史を中心とする近世・近代イギリス史、および大西洋世界、とくに英語圏カリブ海地域の歴史
佐野 愛子	バイリテラシーの発達に資する教育
杉村 美奈	複雑述語形成メカニズムの解明
根本 浩行	社会言語学、社会文化的アプローチによる第二言語習得研究
MICHAEL JAMES DAVIES	Vocabulary Acquisition
MATTHEW THOMAS APPLE	第二言語修得における個人差（性格・スピーキング不安・動機づけ・学習方略など）についての研究
水島 新太郎	アメリカの歴史・社会・文化研究、アメリカ文学、ジェンダーと男性学研究
山本 めゆ	グローバル・サウスと〈サウス〉の変遷に関する研究

卒業論文のテーマなど、より詳しい情報はこちら

言語コミュニケーション学域

“ことば”と“コミュニケーション”にかかわる多様な問いを探究し、実践する。

コミュニケーション表現専攻

“ことば”が人と人とをつなぐコミュニケーション場面から文章・音声表現までを研究・実践する。

コミュニケーションの理論や方法を学びながら、多様な“ことば”の表現の研究・実践を目指します。教育の柱は二つ。日常的な場面からプレゼン・面接・接客・診療・演劇・スポーツまで、多様なコミュニケーションの分析と実践を学ぶ「コミュニケーション研究・実践」と、新しいメディア環境における文芸（小説・戯曲・歌・話芸）、放送（アナウンス・朗読）、広告など表現の分析と実践を学ぶ「言語表現メディア研究・実践」です。こうした学びから、自己と他者との関係性を再発見し、グローバル社会や変化するメディア環境に対応できる次世代型コミュニケーション能力を養います。

言語学・日本語教育専攻

“ことば”のもつ働きや仕組みを学び、さらに、実践を通じて異文化間コミュニケーション能力を養う。

本専攻の教育・研究は二つの柱から成ります。一つは、ことばによる思考や、ことばによるコミュニケーションを探求する「言語学」です。もう一つは、日本語を外国語として学ぶ人たちへの言語教育を、多様な言語文化背景を踏まえて実践する「日本語教育・異文化間コミュニケーション」です。言語学と日本語教育を結びつけることで、言語、価値観、文化や習慣などの違いを客観的に理解します。多様性を認め合い、新たな価値観を生み出し、協力してグローバル社会の課題を解決する力を身につけます。

［外国語の選択］

外国語科目		英語	ドイツ語	フランス語	中国語	スペイン語	朝鮮語	イタリア語
言語コミュニケーション学域	コミュニケーション表現専攻	◎／○	◎／○	◎／○	◎／○	◎／○	◎／○	◎／○
	言語学・日本語教育専攻							

第１外国語：◎　第２外国語：○

［2024年度　教員・研究テーマ一覧］

岡本 雅史	言語・非言語コミュニケーション研究、認知言語学と語用論
北出 慶子	多言語・多文化社会のコミュニケーションと言語教育
佐々木 冠	日本語方言の文法記述と理論的含意の追求
城 綾実	会話分析、身体性、同期現象、相互理解のメカニズム
田浦 秀幸	言語面・脳科学面から言語習得喪失メカニズム解明研究
滝沢 直宏	現代英語の周辺的現象および慣習的側面の研究
田中 省作	計算言語学、大規模用例集（コーパス）等を用いた言語教育・学習支援
DAVID COULSON	第二言語暗示能力の発達、流暢さの発達、第二言語ライティング指導
西岡 亜紀	比較文学・文化、日本文学・文化、声と図像のメディア、文章表現教育
平田 裕	筆記テスト時と日本語会話時の脳活動の近似性と相違性

卒業論文のテーマなど、より詳しい情報はこちら

4年間の学び

文学部	回生	学域を選択して入学 → 1回生 → 2回生進級時に専攻を選択 → 2回生 → 3回生進級時にゼミを選択 → 3回生 → 4回生 → 卒業論文を執筆
	小集団科目	「研究入門Ⅰ・Ⅱ」 文学部での学び方や専門領域の基礎を身につけます。 「基礎講読Ⅰ・Ⅱ」 専攻の専門分野について、自らの力で研究課題を構築するための方法を身につけます。 「専門演習Ⅰ・Ⅱ」(3回生ゼミナール) 自身の専門分野のテーマを設定し、研究に挑戦します。 「専門演習Ⅲ・Ⅳ」(4回生ゼミナール) 3回生の専門演習で取り上げたテーマをさらに追究し、4年間の集大成として卒業論文を執筆します。
	基礎科目	「リテラシー入門」 大学での学びの基礎を形作ります。 「情報処理入門」 情報の扱い方や処理方法を学びます。 「ライティング入門」 論文執筆のための基礎的技術を養います。 「人文学のための情報処理Ⅰ・Ⅱ」 学域・専攻の特色を踏まえた、情報技術の知識と活用方法を学びます。
	外国語科目	詳細はP.47「外国語を学ぶ」を参照
	人文学共通科目 (文学部の共通専門科目)	幅広く学び、豊かな教養と専門研究に必須の基礎的知識を育成します。 宗教学、仏教論、ギリシア語Ⅰ・Ⅱ、キリスト教思想、ラテン語Ⅰ・Ⅱ、論理と言語Ⅰ・Ⅱ、フランス現代思想、ドイツ現代思想、神話学、日本演劇論、民俗学、史学論、社会学概論、書道、地理学、人文学のための情報処理・応用、人文学講座、Lecture for Humanities、人文学のためのドイツ語、人文学のためのフランス語、人文学のための中国語、人文学のためのスペイン語、人文学のためのイタリア語、人文学のための朝鮮語、華道文化演習、茶道文化演習、人文学特別研修、英語アドヴァンストコース科目群 「クロスメジャー」 詳細はP.47を参照 「エリアスタディ」 詳細はP.48を参照

			初年次教育科目・1回生小集団科目	専攻専門科目
人間研究学域	哲学・倫理学専攻	専門科目	人間研究入門講義 研究入門Ⅰ・Ⅱ リテラシー入門	哲学概論Ⅰ～Ⅲ、倫理学概論Ⅰ・Ⅱ、哲学史Ⅰ～Ⅵ、倫理思想史Ⅰ・Ⅱ、応用倫理Ⅰ・Ⅱ、身体論、現象学、正義論、哲学特殊講義、現代哲学特殊講義、倫理学特殊講義、哲学・倫理学文献講読、哲学・倫理学外書講読
	教育人間学専攻			教育人間学概論(人間形成)Ⅰ・Ⅳ、教育人間学概論(臨床教育)Ⅱ・Ⅴ、教育人間学概論(心理健康)Ⅲ・Ⅵ、教育人間学研究法Ⅰ～Ⅵ、文化の人間学、意識の人間学、自己の人間学、変容の人間学、超越の人間学、教育臨床の人間学、教育人間学外書講読、教育人間学実習Ⅰ～Ⅳ、学校カウンセリング論
日本文学研究学域	日本文学専攻		日本文学研究入門講義 日本文献学入門 研究入門Ⅰ・Ⅱ リテラシー入門	日本文学概論Ⅰ～Ⅳ、日本文学作品研究、日本文学の内と外Ⅰ・Ⅱ、日本文学の光と陰Ⅰ・Ⅱ、日本文学応用研究Ⅰ・Ⅱ、日本文学の伝統と現代Ⅰ・Ⅱ、日本文化の周辺Ⅰ・Ⅱ、日本語情報学文献講読
	日本語情報学専攻			日本語学概論、日本語史概論、日本文学作品研究、日本語情報学文献講読、コーパス日本語学入門、現代日本語研究、日本語史研究、日本語の諸問題、図書館概論、図書館情報技術論、図書館制度・経営論、図書館サービス概論、情報サービス論、図書館情報資源概論、情報資源組織論
日本史研究学域	日本史学専攻		日本史研究入門講義 研究入門Ⅰ・Ⅱ リテラシー入門	日本史概論Ⅰ・Ⅱ、日本史学総説Ⅰ～Ⅴ、日本文化史Ⅰ・Ⅱ、日本思想史Ⅰ・Ⅱ、日本社会史Ⅰ・Ⅱ、古文書学、日本古代史料講読演習、日本中世史料講読演習、日本近世史料講読演習、日本近代史料講読演習、日本現代史料講読演習、日本史特殊講義
	考古学・文化遺産専攻			考古学・文化遺産概論Ⅰ・Ⅱ、考古学実習Ⅰ～Ⅲ、考古学・文化遺産総説Ⅰ～Ⅲ、世界の考古学・文化遺産、考古科学、文化遺産の保護と活用、考古学・文化遺産外書講読、考古学特殊講義、博物館概論、博物館経営論、博物館資料論、博物館資料保存論、博物館展示論、博物館情報・メディア論、博物館教育論、博物館・学内実習Ⅰ、博物館・館園実習
東アジア研究学域	中国文学・思想専攻		東アジア研究入門講義 東洋学のための言語入門 東アジアを知るための読解と表現 研究入門Ⅰ・Ⅱ リテラシー入門	中国文学概論Ⅰ・Ⅱ、中国思想概論Ⅰ・Ⅱ、漢文文献講読、中国文学・思想講読演習、漢文入門、中国文学史Ⅰ・Ⅱ、中国の文化Ⅰ・Ⅱ、アジアの文学、中国文学・思想研究の展開と課題、中国文献学、韓国イニシエーション実習、中国イニシエーション実習、東アジア現地実習(中国・韓国)、東洋学のための情報処理
	東洋史学専攻			東洋史概論Ⅰ～Ⅳ、東洋史学史、漢文入門、漢文文献読解、東洋史資料講読、東洋史学研究の方法、東アジア文化史の基礎知識、東アジア民族史の基礎知識、韓国イニシエーション実習、中国イニシエーション実習、東アジア現地実習(中国・韓国)、東洋学のための情報処理
	現代東アジア言語・文化専攻			現代東アジア言語・文化概論Ⅰ～Ⅲ、東アジア現代文化論Ⅰ・Ⅱ、東アジア現代史論Ⅰ・Ⅱ、東アジア遠隔講義Ⅰ・Ⅱ、東アジア言語論、現代中国研究Ⅰ・Ⅱ、現代韓国研究Ⅰ・Ⅱ、アジアの文学、現代東アジア言語・文化講読演習、現代東アジア言語・文化特殊講義、東アジア現地実習(中国・韓国)、東洋学のための情報処理、中国イニシエーション実習、韓国イニシエーション実習
国際文化学域	英米文学専攻		国際文化入門講義 研究入門Ⅰ・Ⅱ リテラシー入門 イスラーム学入門	英米文学概論Ⅰ・Ⅱ、英作文法、英文演習、英会話Ⅰ・Ⅱ、英語論文演習、翻訳演習、文芸翻訳演習、英文学史Ⅰ・Ⅱ、米文学史Ⅰ・Ⅱ、英書講読(Intermediate)、英書講読(Advanced)、英米文学特殊講義
	ヨーロッパ・イスラーム史専攻			ヨーロッパ史概論Ⅰ・Ⅱ、イスラーム史概論Ⅰ・Ⅱ、ヨーロッパ・イスラーム史文献講読Ⅰ・Ⅱ、ヨーロッパ・イスラーム史基礎文献講読、アラビア語文献講読、ヨーロッパ古代史研究、ヨーロッパ中世史研究、ヨーロッパ近代史研究Ⅰ・Ⅱ、ヨーロッパ現代史研究Ⅰ・Ⅱ、イスラーム前近代史研究Ⅰ・Ⅱ、イスラーム近現代史研究Ⅰ・Ⅱ、アラビア語入門、デジタル歴史研究、ヨーロッパ・イスラーム関係史
	文化芸術専攻			文化芸術概論、現代ヨーロッパ論、説話文学論、比較文学論、日本・東洋美術史、仏教と美術、西洋美術史、ヨーロッパの建築・デザイン、西洋音楽史、ポストコロニアル文化論、グローバルヒストリー、宗教とイメージ、テクノロジーと文化変容、言語と社会、民族と芸術、文化交流論、ジェンダーと文化、地域と移動、音楽と社会、現代美術論、表象とメディア、ヨーロッパ文化史、キリスト教文化史、フランス語圏の文学、ドイツ語圏の文学、パフォーミングアーツ論、文化人類学、翻訳と文化、色彩文化論、文化芸術特殊講義、英書リーディングⅠ～Ⅳ、外国語文献リーディングⅠ～Ⅳ、イタリアの文化とエクスプレッションⅠ～Ⅳ、イタリアの文化とコミュニケーションⅠ～Ⅳ、イタリア文化研究、イタリア文化講義Ⅰ・Ⅱ
地域研究学域	地理学専攻		地域研究入門講義 地域調査入門 研究入門Ⅰ・Ⅱ リテラシー入門	自然地理学概論、人文地理学概論、地域観光学概論Ⅰ、地誌(世界)、地誌(日本)、環境地理学、歴史地理学、村落地理学、都市地理学、経済地理学、文化地理学、リモートセンシング学、地域統計学、地理情報学、地理学調査法、地理学フィールドワークⅠ・Ⅱ、製図学および実習Ⅰ・Ⅱ、GIS理論および実習Ⅰ・Ⅱ、測量学および実習Ⅰ・Ⅱ、地理学特殊講義
	地域観光学専攻			地域観光学概論Ⅰ・Ⅱ、自然地理学概論、人文地理学概論、地誌(世界)、地誌(日本)、ツーリズム地域論、地域観光文化論、リモートセンシング学、GIS理論および実習Ⅰ・Ⅱ、地域観光学フィールドワーク(日本)、地域観光学フィールドワーク(世界)、地域観光学フィールドワーク(発展)、地域観光学調査法、地域観光学のための製図、地域観光学特殊講義
国際コミュニケーション学域	英語圏文化専攻		国際コミュニケーション入門講義 研究入門Ⅰ・Ⅱ リテラシー入門	Introduction to the Culture of English-Speaking Regions and Societies、Introduction to Multicultural Society in English-Speaking Regions、Cultural History of the English Language、Popular Culture in English-Speaking Regions、英語文献講読、翻訳研究、通訳研究、Academic Presentation Ⅰ・Ⅱ、Academic Reading & Discussion Ⅰ・Ⅱ、Academic Writing Ⅰ・Ⅱ、Thesis Writing、運用のための文法活用、国際コミュニケーション実習、大西洋世界の文化移動と展開 、Dynamism of the Pacific World 、ブリテン諸島周辺文化の多様性 、Culture and History of English-Speaking Regions、英語圏文化探究 Ⅰ・Ⅱ、Introduction to Vernacular Culture、日米関係史
	国際英語専攻			Introduction to Multilingualism、英語学概論、Introduction to Language Studies、英語教育リサーチ入門、英語文法論 、英語科教育概論、英語科指導法Ⅰ・Ⅱ、英語音声学、第二言語習得論、英語科授業発展演習、英語科授業法、Academic Presentation Ⅰ・Ⅱ、Academic Reading & Discussion Ⅰ・Ⅱ、Academic Writing Ⅰ・Ⅱ、Thesis Writing、運用のための文法活用、国際コミュニケーション実習、Englishes in Contact、English in Society、Issues in Language Education、Innovations in Language Teaching、Language and Technology、Teaching English to Young Learners
言語コミュニケーション学域	コミュニケーション表現専攻		言語コミュニケーション入門講義 研究入門Ⅰ・Ⅱ リテラシー入門	言語表現メディア概論、コミュニケーション学概論、コミュニケーション表現法基礎Ⅰ・Ⅱ、コミュニケーション表現法応用Ⅰ・Ⅱ、コミュニケーション論 、コミュニケーション表現リサーチデザイン、コミュニケーション分析、言語表現メディア作品研究、マルチモーダルコミュニケーション、文章表現基礎研究、ライティングの技法、共生コミュニケーション演習、音声表現実践演習、文章表現の編集技法、コミュニケーション探究Ⅰ・Ⅱ、言語表現メディア探究
	言語学・日本語教育専攻			言語学概論、日本語教育学概論、異文化間コミュニケーション 、応用言語学、対照言語学、日本語教育事情演習、日本語教育のための日本語文法演習、言語学探究Ⅰ・Ⅱ、共生コミュニケーション演習、日本語教授法演習Ⅰ～Ⅲ、日本語教育研修Ⅰ・Ⅱ、言語学・日本語教育リサーチデザイン、言語科学特論

• 上表は2024年度のカリキュラムです。 2025年度は科目名称等が変更になる可能性があります。
• 学部の専門科目とは質的に異なる、幅広い分野の知識の修得を目指す科目を多数履修することができます。 ➔ 教養科目 P.130

科目についての詳細は オンラインシラバス 立命館 検索

文学部の特長的な学び

充実した初年次教育
〈大学での専門の学びに必要な5つのスキルを総合的に身につける〉

大学の専門的な学びにスムーズに移行できるよう、人文学を学ぶために欠かせない基礎的な5つのスキルを身につける「リテラシー入門」と、専門の学びに備える「研究入門」という少人数制授業を開講しています。これらを連動させることで、専攻の学びを進めるために必要な知見を総合的に高めていきます。

リテラシー入門：基礎的なスキルを身につける。

スチューデントスキル
生き生きとした学生生活を送るためのスキル。

ライティングスキル
大学で必要とされる論理的な文章を作成するためのスキル。

インフォメーションスキル
さまざまなデータや情報を処理するためのスキル。

キャリアスキル
在学中から将来のビジョンを描くためのスキル。

研究入門：専門に対応するスキルを身につける。

アカデミックスキル
例えば文学と歴史学を比較しながら学び、2回生から始まる専攻での専門研究に対応するためのスキル。

→ 専攻での学びへ

外国語を学ぶ
〈外国語の履修を通じて、専門分野の学びを深化させる〉

文学部では外国語習得を重視しています。外国語を通して多様な地域の文化や考え方を学び、グローバルな世界を生きるのにふさわしい価値観の涵養が重要だと考えているからです。そのため、外国語運用能力の向上だけでなく、異文化を理解し国際的な視野を醸成することも目指しています。文学部では、外国語科目として英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・朝鮮語・イタリア語から2カ国語を履修することが必要です（選択できる語種は学域紹介ページで確認してください）。また、外国語を発展的に学ぶことができる専門科目も履修できます。

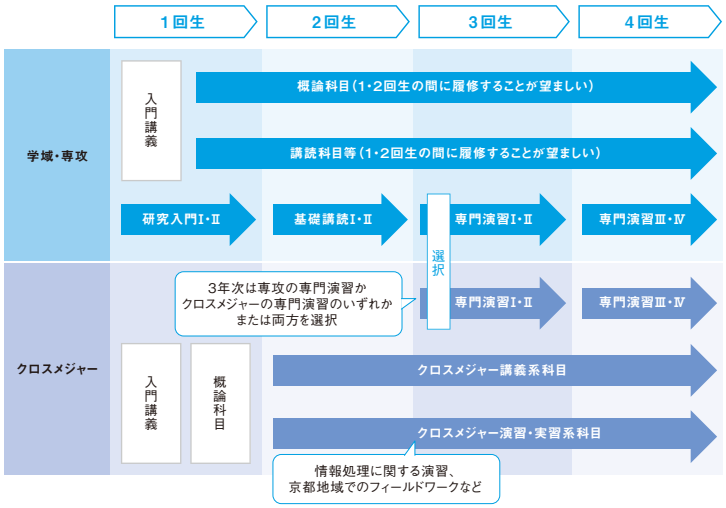
人文学を英語で学ぶ
〈日本文化の伝統と現在を京都から発信する〉

世界から注目され、日本の縮図とも言うべき「京都」について、文学・歴史・地理・言語の観点からの考察をテーマとして、授業をすべて英語で開講する科目を設置しています。多様な日本文化の歴史、変容、グローバル化について、英語で理解し説明できる能力を養うため、ゲストスピーカーによる講義やグループディスカッションなども行われ、英語での研究成果発表の場も設けられます。学術英語の基本をマスターするとともに、人文学視点で日本について京都から世界に発信する力を育てます。

クロスメジャー
〈学域・専攻を基盤に、新領域を応用的に学ぶ〉

フィールドワーク型実習やインターンシップを通じて、京都の歴史・地理・文学などを複合的に学ぶ「京都学」と、人文学の多様な分野が持つテーマや素材、資源に対して、デジタル技術を活用・応用し、ビッグデータや精密な情報から人文学を探究する「デジタル人文学」の2つのコースから構成されます。2回生以上の希望者を対象に、専攻の学びに加える形で、クロスメジャーの科目を履修します。3・4回生ではクロスメジャーの専門演習（ゼミナール）を受講し、卒業論文を執筆することができます。なお募集時期は1回生秋学期で、定員は各コース約30名。履修希望者多数の場合は選考があります。

［クロスメジャーの構成］



卒業論文
〈体系的に人文学の学びを積み重ね、集大成として卒業論文に取り組む〉

文学部では、卒業論文が必修科目となっています。進級とともに専門性を高め、研究の具体的手法を身につけながら、自身の設定した研究テーマについて、専攻の担当教員の指導のもと「卒業論文」に取り組みます。体系的な学びとして、知識・情報処理能力・論理的思考力・判断力・表現力を鍛え、総合的に駆使できる能力を養います。なお、国際コミュニケーション学域は英語で卒業論文を執筆します。

文学部の特長的な学び

エリアスタディと海外留学プログラム
〈文学部の海外留学プログラムで世界の学びを体験する〉

文学部の幅広い専門分野を活かした「エリアスタディ」は、世界の特定の地域についての理解を目指し、講義受講、実習、フィールドワークや現地大学生との交流にも参加できる履修プログラムです。また、その学びをさらに充実させることができる韓国、中国、台湾、マレーシア・シンガポール、イタリアなどへの海外留学・実習のプログラムも設置しています。京都や日本国内の学びに留まらず、国境を越え多様な地域の人々や文化に触れ、文学部の学びをより深化させることができます。

[文学部独自の海外留学プログラム一覧]

プログラム名	国もしくは地域（機関）	実施時期	派遣期間
韓国イニシエーション実習	韓国（ソウル・釜山）	夏期休暇期間中	約1週間
中国イニシエーション実習	中国（深圳・広州・香港または桂林）	春期休暇期間中	約1週間
海外エリアスタディ実習（マレーシア・シンガポール）	マレーシア・シンガポール	夏期休暇期間中	約10日間
海外エリアスタディ実習（台湾）	台湾	春期休暇期間中	約10日間
東アジア現地実習（韓国）	韓国（高麗大学校）	夏期休暇期間中	約2週間
東アジア現地実習（中国）	中国（桂林、程陽、北京または上海）	夏期休暇期間中	約4週間
海外エリアスタディ実習（イタリア）	イタリア（トリノ大学）	春期休暇期間中	約4週間
海外エリアスタディ実習（ハワイ）	アメリカ合衆国（ハワイ大学　マノア校）	春期休暇期間中	約4週間
人文学特別研修（マレーシア）	マレーシア・ペナン（Penang Heritage Trust）	春期休暇期間中	約4週間
日本語教育研修Ⅰ※1	韓国（祥明大学校）	夏期休暇期間中	約4日間
考古学実習Ⅲ※2	韓国（韓国伝統文化大学校）	夏期休暇期間中	約10日間
延世大学校グローバル創意融合大学国語国文学科との学生交流プログラム	韓国（延世大学校・未来キャンパス）	春学期もしくは秋学期（あるいは両方）	1学期間もしくは1年間
ディズニー・バレンシア国際カレッジプログラム	アメリカ合衆国（バレンシア大学）	春学期もしくは秋学期	1学期間

※2019年度実施分を含む過去の実績であり、派遣先国・地域を含むプログラム内容や実施時期、派遣期間等が変更になる場合があります
※1 言語学・日本語教育専攻の学生のみ参加可能　※2 考古学・文化遺産専攻の学生のみ参加可能

資格課程
〈教職課程に加え学芸員や図書館司書の資格課程も〉

中学・高等学校教員の教職課程のほか、博物館や美術館で働くための学芸員資格課程や、図書館で働くための図書館司書課程の履修と資格取得が可能です。

学芸員課程科目の授業風景

平井嘉一郎記念図書館 レファレンスカウンター

[主な資格課程一覧]

教員免許（※1）	文学部では、中学校の国語・英語・社会、高等学校の国語・英語・地理歴史・公民の教員免許状を取得するための教職課程を履修することができます。
学芸員	日本史研究学域の考古学・文化遺産専攻では、専門科目の中に学芸員課程科目が含まれており、専攻での専門分野と学芸員課程を並行して学ぶことができます。
図書館司書（※2）	日本文学研究学域の日本語情報学専攻では、専門科目の中に図書館司書課程科目が含まれており、専攻での専門分野と図書館司書課程を並行して学ぶことができます。

（※1）「英語」の履修は、英米文学専攻および国際コミュニケーション学域以外に所属する学生は選考による事前許可制です。
（※2）日本語情報学専攻以外に所属する学生は選考による事前許可制です。

大学院進学プログラム
〈大学院進学を視野に入れた教育プログラム〉

学部在籍中に大学院進学を希望する学生を対象に、大学院（文学研究科）の授業を一部受講できるプログラムを用意しています。3回生時にプログラムへの出願を行い、選考に合格すれば4回生から大学院科目を受講できます（成績要件有）。その後大学院（文学研究科）に進学した場合、4回生時に修得した大学院科目の単位は、大学院進学後に大学院で必要な単位として単位認定されます。大学院進学プログラムで早期に大学院の単位を修得することにより、最短1年間で前期課程を修了（修士学位取得）することも可能です。

卒業生からのメッセージ

文学部ホームページでは、
さらに多くの卒業生からの
メッセージを紹介しています。

文学部で培った柔軟な思考力を活かし、自動車業界の大変革期に対応。

吉岡 拓真 さん
マツダ株式会社　購買本部
（文学部 人文学科 2018年卒業）

自動車メーカーの部品バイヤーとして、主にエンジンの冷却やオイル潤滑のためのポンプと高圧燃料配管の調達を担当し、コスト、品質、供給体制の改善に努めてきました。近年自動車業界がCASE※による変革期に入り、ガソリンエンジン用の部品を造ってきた取引先が現在の形で存続することに陰りが出てきました。そのため協力してEVでも使用できる部品の開発を進めており、現在は、そうした改革の全体構想の策定と実行、設計部門と取引先の橋渡しという役割も担っています。こうした難局にあって、バイヤーには膨大な情報を整理して方向付けし、その方向を変化に応じて修正しつつ社内外の関係者を巻き込んで業務を進める能力が求められます。文学部で多角的な考え方を学び、先生や学友の多様な考えに触れる中で養われた、物事を多面的に捉える力と柔軟な思考を活かし、新しい時代に果敢に挑戦していきたいと思っています。

2014年、文学部国際文化学域に入学。2018年4月、マツダ株式会社に入社し、2019年に購買本部・プログラム統括部に配属。2021年、第3部品購買部へ異動し、部品バイヤーとして主にエンジンの冷却やオイル潤滑のためのポンプと高圧燃料配管の調達を担当している。

※CASE：「Connected：コネクテッド」「Autonomous：自動運転」「Shared & Service：シェアリング・サービス」「Electric：電動化」の頭文字をもとにした造語。

大学の国際交流活動で培った国際感覚と多角的な物の見方が海外営業に活きている。

吉田 彩乃 さん
京セラ株式会社 プリンティングデバイス事業本部
（文学部 人文学科2023年卒業）

日本のモノづくりを支える企業で、海外を舞台に大きな仕事をしたいと思い京セラに入社しました。現在は、レシートやネームカードを印刷するプリンターの基幹部品を海外の顧客に販売する仕事をしています。国によってビジネスのやり方はまさに千差万別です。文化の異なる人々を相手にする海外営業で、大学時代の国際交流活動で培った多角的なものの見方や柔軟性が役立っています。大学では、入学早々留学生サポート制度に参加しました。英語で議論する科目を履修して英語力を磨く一方、留学生に寄り添った日本語の使い方を習得しようと日本語教師の資格も取得、さらに国際寮にRM※として入寮し留学生との共同生活も体験しました。こうした学内での国際交流、さらにはイタリアへの語学留学を通してさまざまな価値観に触れたことで視野が広がり、今に活きる国際感覚が身につきました。

2019年、文学部日本文学研究学域に入学。2023年4月、京セラ株式会社に入社。プリンティングデバイス事業本部に配属。主にシンガポールとインドを担当し、現地社員の営業活動を支えて市場の分析、新規引き合いの獲得、顧客の問題解決を行うとともに、製造部門と顧客との橋渡しの役割も担う。

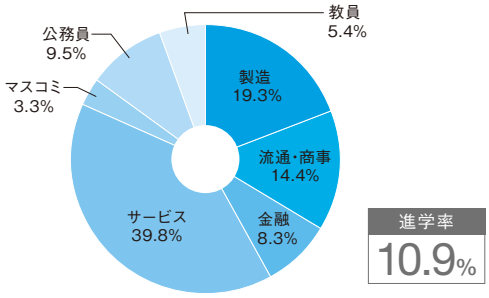
※RM：入寮者が安心して快適な生活を送れるよう大学・管理人と協力して活動を行うスタッフ。

進路・就職状況

さまざまな現代社会の問題解決に取り組む人材として、幅広い分野で活躍。

多角的かつ総合的な人間理解力を身につけた卒業生が社会で活躍しています。
約10.9%の学部生は進学し、より専門的な知識の修得を目指しています。

［2023年度卒業生　業種別進路決定状況］



◎円グラフの数値は小数点以下第二位を四捨五入により算出。
◎進学率＝[進学者／（就職者＋進学者）]。ただし、進学者には大学院だけでなくその他の進学者を含む。
◎端数処理の関係で100%にならない場合があります。

［2023年度卒業生　進路・就職先一例］

〈50音順〉

アサヒ飲料（株）	SCREENホールディングス（旧：大日本スクリーン製造）	（株）ブリヂストン
味の素（株）	セガサミーホールディングス（株）	（株）プロダクション・アイジー
出光興産（株）	積水化学工業（株）	みずほ証券（株）
（株）NTTドコモ	（株）ZOZO	三菱電機（株）
（株）カプコン	大成建設（株）	吉本興業ホールディングス（株）
関西電力（株）	大日本印刷（株）（DNP）	（株）読売新聞東京本社
キヤノン（株）	TIS（株）	（株）リクルート
京セラ（株）	西日本旅客鉄道（株）	（株）りそな銀行
（株）クボタ	日本通運（株）	（株）良品計画
KDDI（株）	日本航空（株）	国家公務員一般職
（株）JTB	パナソニックホールディングス（株）	地方公務員（上級職）
資生堂ジャパン（株）	（株）ファーストリテイリング	教員

大阪いばらきキャンパス

経営学部

College of Business Administration

学部HP

■国際経営学科

■経営学科

取得学位	学士（経営学）
アドミッション・ポリシー	経営学部は、学部の教育目標を達成するためのカリキュラムで学ぶために必要な、以下の能力・資質を有するものを求めます。 1 経営学に強い関心を持ち、高い意欲と目的意識を持って学習を行おうとしている 2 学部の掲げる人材育成目的・教育目標を理解し、経営学部での勉学を強く志望している 3 広く高等学校卒業レベルの基礎学力を有している 4 大学での学びに必要な日本語運用能力を有している また、各分野あるいは将来の進路に関わって、下記のような人材をより積極的に求めます。 5 経営学分野における高度な専門的能力を獲得し、戦略、マーケティング、組織、会計・ファイナンスの各分野で活躍をめざしている 6 会計分野における高度な専門的能力および関連する資格の獲得をめざしている 7 将来、広い意味での起業家（アントレプレナー）や事業の継承（承継）をめざしている 8 高い外国語運用能力を獲得し、将来、広く国際ビジネスの分野において活躍をめざしている 9 アジアビジネスに興味を持ち、将来、アジアを舞台に活躍をめざしている

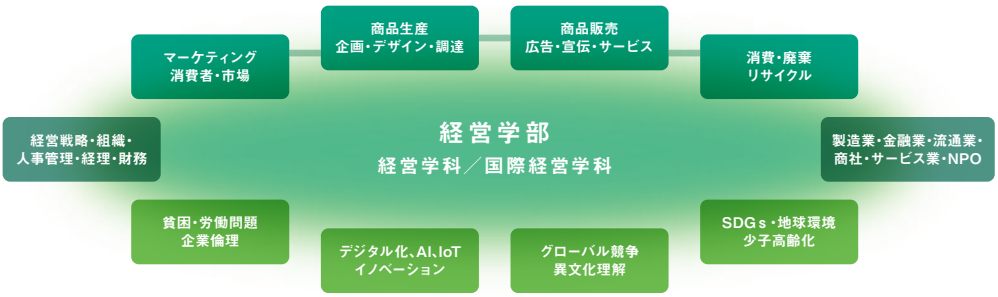
ビジネスを発見し、ビジネスを創造する経営学

立命館大学経営学部は、1962年に創設、1996年には、「ビジネスを発見し、ビジネスを創造する経営学」という学部理念を確立し、ビジネスの視点から社会的課題を発見し、創造的な問題解決を目指す経営学の研究と教育を進めてきました。その特徴は、社会生活で実際に役立つ「実学」を提供していることです。特に今日は、貧困や労働にかかわる問題、SDGs（持続可能な開発目標）の観点からの社会的課題の解決や、ソーシャルビジネスも重視しています。

2006年に国際経営学科を開設してからは、将来的なグローバル人材（グローバルキャリア）としての活躍を目指し、異文化・多文化の理解や国内外の学生が日本と海外で学びあう教育の国際化、学部独自の留学プログラムや英語開講専門科目の提供によって「英語で国際的な経営を学ぶ」機会を提供しています。2015年には、外国語やインテンシブプログラムを充実させるとともに、小集団教育を中心に据えて大阪いばらきキャンパス（OIC）に移転しました。

2022年には、キャンパス移転後の学内外の変化をふまえてカリキュラムを刷新しました。徹底した小集団教育を通じて、主体的にグローバルな企業社会の問題発見・解決能力を磨くカリキュラムへと精緻化し、卒業論文やビジネスレポートを集大成とする学びの体系を明確にしました。さらに国際経営学科では、1回生から段階的に英語で国際経営を理解する仕組みを構築しました。

経営学部では、大学の教学理念「平和と民主主義」と経営学部の教学理念のもとで、高い教養と経営学の専門知識をもち、社会・経済の変化に対応して自ら考え、実践することにより未来を切り拓くチャレンジ精神に満ち、高い倫理観とグローバルな視野で異文化を相互に理解し尊重する人材の育成を目指しています。



STUDENT'S VOICE

自主性・能動性を重んじる「大学の学び」によって、学修意欲が倍増。

マーケティングに興味があったことと、関西に住んでみたいという思いから、立命館大学経営学部を選びました。入学して一番驚いたのは、大学と高校までの「学び」の違いです。例えば、1回生の基礎演習では、グループごとにテーマを決め、メンバーで協力して研究し、学年末に発表をするのですが、先生は学生が提案したどんなテーマも否定せず、むしろ別の視点やヒントを与えて後押ししてくれます。一方的にただ聞くだけの受動的な授業になじめなかった私にとって、学生の意見・関心が尊重され、自分たちで研究を進めることができる「大学の学び」はとても新鮮で、この演習をきっかけに意欲的にいろいろな勉強に取り組めるようになりました。

2回生からはマーケティングコースに所属し、経営論から会社法まで幅広く受講しています。中でも、消費者が実際にモノを購入するまでの「購入意思決定プロセス」を分析する「消費者行動論」は、消費者がどのような思考回路をたどって消費行動に至るのかを知ることができ、興味深く学んでいます。こうした授業を通して、論理的・分析的な考え方が養われ、ビジネスや宣伝などに対してもマーケティング・経営的に考察する視点が身についてきたと感じています。専門演習（ゼミナール）では「音楽サブスクリプションが楽曲制作に与える影響について」をテーマに、さまざまなプラットフォームの登場が、サプライヤー（商品供給者）側にどのような影響を与えるのかという視点で研究しています。12月のゼミナール大会で発表したところ、先生からも高評価をいただきました。卒業後は、気に入った関西で、マーケティングの学びを活かせる仕事に就きたいと思っています。

林 万緒 さん
経営学部 経営学科 4回生
東京都立戸山高校出身

学科紹介

経営学部では、国際経営学科と経営学科の２学科制を採り、４年間の学びをそれぞれ「学びを知る」「学びを広げる」「学びを深める」「学びをまとめる」期間と位置づけています。ビジネス環境の変化に対応できるよう、理論と実践をバランスよく修得します。経営学科では、２回生から将来の目標に合わせて専門分野を系統的に学べる４つのコースを設け、各コースの専門能力を修得します。国際経営学科では、経営学の基礎知識を備えながら、国際的な経営やビジネスを理解するための高度な外国語運用能力と国際理解力を修得します。そのために、海外留学を強く推奨しており、英語で開講される経営学科目を豊富に設けています。

国際経営学科

英語

1回生で英語の４技能のスキルを習得したうえで、2回生以降は留学を目指したアカデミック英語と、グローバルビジネスでの活躍を目指したビジネス英語を学修します。

※希望者は英語に加えてドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、朝鮮語を学ぶこともできます。

英語で経営学

1回生から段階的に英語開講科目を受講できる仕組みを提供します。2回生からは、やや易しめの英語による専門科目、3回生以上では中長期留学から帰国した水準の学生を対象とした英語開講専門科目を提供します。

国際経営

経営学分野を幅広く学びながら国際的な経営やビジネスを理解し、2回生で専門基礎科目、3回生以上では専門展開科目を受講してグローバル企業の経営に関する知識を深めます。

世界経済論担当：宮田幸子教授 ▶

海外留学

経営学部独自のプログラムや全学対象の留学プログラムに参加することで、グローバルビジネスで活躍できる異文化理解力や高度な外国語コミュニケーション能力、および国際経営の専門知識を修得し、国境を越えてビジネスの課題を発見し、創造的に問題解決する力を磨きます。

経営学科

組織コース

企業や非営利組織の形態や歴史、組織の経営管理や仕組みを理解します。リーダーシップや人材育成、中小企業や事業継承、企業倫理や環境経営など多様な学びもこのコースの特徴です。

経営組織論担当：小久保みどり特命教授 ▶

戦略コース

企業が目標を達成するための経営戦略と、そのための手段や方法を理解します。商品の開発・生産・販売にかかわる技術経営や、アントレプレナーシップ、情報システムや経営統計についての学びもこのコースの特徴です。

オペレーションズ・リサーチ担当：佐野宏樹准教授 ▶

マーケティングコース

顧客ニーズを正しくつかみ、価値ある商品を創造するためのマーケティングを体系的に理解します。企業経営におけるデザイン・マネジメントや交通システム、サービス分野についての学びもこのコースの特徴です。

デザイン経営論担当：八重樫文教授 ▶

会計・ファイナンスコース

企業を取り巻くお金の流れとその仕組みを理解します。利害関係を持つ企業外部との渉外や企業内部の管理運営、さらには金融市場と金融制度についての学びもこのコースの特徴です。

原価計算論担当：大浦啓輔教授 ▶

PICK UP 徹底した小集団教育。分野ごとに特色あるゼミナールで仲間と学びあう。

国際経営学科

永島正康教授ゼミナール／日本企業の国際経営を考える

日本企業の国際経営（国境を越えて、人、モノ、金、情報といった資源をいかに上手く使いこなすか）について、現場観察を通して実践的に考えます。本ゼミナールでは学生の主体性を重んじているため、具体的なスケジュールや運営方法は、全てゼミナールで話し合い、決定します。

経営学科

菊盛真衣准教授ゼミナール／マーケティングと消費者の関係を解き明かそう

ゼミナールではマーケティングと消費者行動をテーマとしており、学生たちは製品や価格、広告等のマーケティング要素が消費者の心理・行動にどんな影響を与えるのかを研究しています。消費者にまつわる様々な現象が「なぜ」起きたのか、その問いを大切にするように教えています。

4年間の学び

2回生進級時にコースを選択（経営学科生のみ）　3回生進級時にゼミナールを選択

経営学部	1回生 学びを知る	2回生 学びを広げる	3回生 学びを深める	4回生 学びをまとめる
学びの流れ	基礎演習を通じて大学での「学び」を知ります。また、経営学の基礎科目を履修し、基礎的な知識や考え方、分析方法を修得します。	学科・コース指定専門科目を履修し、経営学の基礎を固めます。また、興味・関心や専門的な力量形成を目指し、「プロジェクト研究」や3つの「インテンシブプログラム」での学びを通して、経営学を広く知り、多様な学びに挑戦します。	学科・コース展開科目を履修します。あわせて、ゼミナール（専門演習）の履修を開始し、講義と小集団科目での学修を通じて、専門性を深めます。	ゼミナール（専門演習）を継続的に履修し、より専門性を深めつつ、4年間の学びの集大成として「卒業論文」の執筆を行います。
国際経営学科・経営学科共通	〈総合基礎科目〉 企業と経営 企業と会計 マネジメント論 マーケティング論 経済学入門			
国際経営学科		国際経営論　Integrated Marketing International Business 異文化マネジメント論 英語経営学入門Ⅰ・Ⅱ Corporate Accounting アジア経済論　近代アジア経済史	国際マーケティング論　Strategic Marketing 国際経営戦略論　International Strategic Management 国際人的資源管理論　Managing Multinational Enterprise　Cross Cultural Management Reswarch 企業文化論　International Corporate Culture International Accounting　日中ビジネス論　アジア経営論 オペレーションズ・リサーチ　国際金融論	
経営学科 組織		組織行動論　経営史 異文化マネジメント論 アジア経済論　近代アジア経済史 企業論　International Business	経営組織論　人的資源管理論　国際人的資源管理論 非営利組織論　企業倫理論　環境経営論　企業文化論　International Corporate Culture 比較経営史　Cross-Cultural Management Research 比較企業論　中小企業論　日中ビジネス論　アジア経営論	
経営学科 戦略		経営戦略論　事業開発論 経営統計論　情報システム論 技術経営論　産業技術論 アントレプレナーシップ論　ベンチャー企業論	企業ネットワーク論　イノベーション戦略論　戦略経営論　国際経営戦略論　Managing Multinational Enterprise オペレーションズ・リサーチ　経営情報論 生産システム論　技術革新論　International Strategic Management ベンチャーファイナンス	
経営学科 マーケティング		マーケティング・リサーチ 流通論 交通システム論 デザイン経営論	マーケティング・マネジメント　製品開発論　消費者行動論 国際マーケティング論　Strategic Marketing 観光システム論　サービス・マーケティング論 メディア・デザイン論　広告論	
経営学科 会計・ファイナンス		会計学　企業分析論 会計制度論 金融論　資金調達論	管理会計論　原価計算論　監査論 財務会計論　連結会計論　International Accounting 証券投資論　コーポレートファイナンス 国際金融論	
国際経営学科・経営学科共通	〈学部共通専門科目〉 簿記入門Ⅰ・Ⅱ　情報処理　日本経済論　世界経済論 基礎統計　ミクロ経済学　マクロ経済学　組織の経済学 経営のための数学Ⅰ・Ⅱ　英文簿記Ⅰ　英文簿記Ⅱ 情報処理演習　民法Ⅰ・Ⅱ　会社法　商法　金融法　税法　労働法　国際取引法 BSAⅠ（留学）　BSAⅡ・Ⅲ・Ⅳ（留学）　テクニカル・ビジット　ビジネス・インターンシップ			
国際経営学科・経営学科共通	インテンシブプログラム（アジアビジネスプログラム、産学協同アントレプレナーシップ教育プログラム、会計キャリアプログラム、産官学連携事業継承教育プログラム）			
小集団	基礎演習　プロジェクト研究 プロジェクト研究（GBL型）	プレゼミ	専門演習Ⅰ・Ⅱ	専門演習Ⅲ・Ⅳ・卒業論文・ビジネスレポート

- 上記は2024年度のカリキュラムです。2025年度は科目名称等が変更になる場合があります。
- 学部の専門科目とは質的に異なる、幅広い分野の知識の修得を目指す科目を多数履修することができます。 ➔ 教養科目 P.130

科目についての詳細は　オンラインシラバス　立命館　検索

外国語の選択

〈国際経営学科〉英語コース：[必修] 英語 ／ 2言語英語重視コース、2言語初修重視コース：[必修] 英語　[必修] 下記初修外国語から1言語
〈経営学科〉英語コース：[必修] 英語 ／ 2言語コース：[必修] 英語　[必修] 下記初修外国語から1言語
【初修外国語】ドイツ語／フランス語／スペイン語／中国語／朝鮮語

詳しくはこちら ▶

[2024年度　教員・研究テーマ一覧]

東 健太郎	企業の社会環境報告
池田 伸	新領域のマーケティング：クリエイティブ産業、デジタル化、ビジネスモデル
石井 隆太	マーケティング戦略と流通チャネルの実証分析
石川 亮太	韓国の経済と社会
石崎 祥之	国際観光マーケティングの諸問題
猪口 真大	新興国・途上国の金融システムおよび国際資本移動
今井 まりな	新製品開発に関する研究と実践
林 永周	PBL（課題解決型学習）とまず動くことにより、新しい価値創造に必要な能力を身に着け、アントレプレナーになる
植田 展大	地域から考える経営史 中長期的な視野で地域の産業・企業に潜在する課題を捉え、解決策を探る
大浦 啓輔	管理会計システムと会計情報の有用性
金森 絵里	日本企業の財務諸表分析
菊盛 真衣	マーケティングと消費者行動における理論と実証
岸田 未来	国際比較から考える日本企業での働き方
木下 明浩	環境変化のなかでの顧客価値創造
桐畑 哲也	ベンチャーキャピタル
金 昌柱	「クリエイティブ・マーケティング」はどのように企業の成長エンジンを加速させるのか？
黒木 正樹	アントレプレナー（起業家）とイノベーション
久保田 典男	中小企業の経営について現場から学ぶ ―中小企業の経営課題を把握し事業展開の方策を考える―
小久保 みどり	変動する企業組織と働く人々の心理と行動
小島 愛	少子高齢化時代における公共・非営利セクターの貢献
後藤 智	デザイン的思考と組織開発
小林 麿美	コーポレートガバナンスとコーポレートファイナンス
近藤 宏一	サービス・マネジメントの基礎理論と応用
呉 懿	財務報告書で読み解く国際経営
齋藤 雅通	グローバル・マーケティングの国際比較研究―日系企業の製品・ブランド戦略を中心に―
佐藤 典司	デザインによるブランドづくり
佐野 宏樹	国際性に付随するオペレーションズ・マネジメントの諸問題
ソリンガ	国際人的資源管理、中小企業の国際化
瀧 博	会計基準・監査基準のオントロジー工学による分析
田中 力	統計データによる地域の経営と社会の分析―衣食住を中心に地域の社会的分業をとらえる―
谷川 智彦	組織で活動する個人に関する研究
陳 晋	アジア・中国市場における企業の開拓戦略
土橋 力也	プラットフォーム企業の競争戦略
寺﨑 新一郎	人々の認知や感情、行動の背後にある心的メカニズムを読み解く
徳田 昭雄	「経営ストーリー×システム＆デザイン思考×PBL」で課題解決
中村 志保	海外進出日本企業の国際人的資源管理 ―グローバル人材の育成―
中村 真悟	顧客・社会・環境に配慮した生産活動とは
永島 正康	日本企業の国際経営を考える
西岡 正	構造変革期のものづくり企業・地域企業の経営を考える
西谷 順平	USCPA（米国公認会計士）試験を通した米国会計監査研究
范 鵬達	コーポレートファイナンス（コーポレートガバナンス、ESG）
堀井 悟志	管理会計からみた経営実践の理解
松浦 総一	会計・経営のデータ分析
三谷 英貴	コーポレートファイナンスを通して企業経営を考える
宮田 幸子	途上国・新興国（主にアジア）におけるビジネス・経済活動の実証分析
苗 苗	新しいビジネスの在り方から国際マーケティングを学ぶ
守 政毅	アジアの新興市場をめぐる企業の国際経営戦略
守屋 貴司	現代社会の「働き方」と「働かせ方」に関する研究 ―就活PBLと事業継承教育―
森 祐介	ゲーム理論と組織の経済学
八重樫 文	「メディアをデザインすること」で何ができるか：現代社会の諸問題に挑み、経営学におけるメディアデザインの有用性を明らかにする
山崎 敏夫	企業経営の国際比較研究 ―日本とドイツの戦後を読み解く―
山崎 文徳	技術経営の視点からビジネスや社会の課題にアプローチする
横田 明紀	情報システムまたは情報と企業および社会
依田 祐一	顧客価値を創造するビジネスシステム（ビジネスモデル）の研究
RAUPACH Sumiya Joerg	Strategic Sustainability Management
SCHLUNZE Rolf Dieter	Constructive Intercultural Management

経営学部の特長的な学び

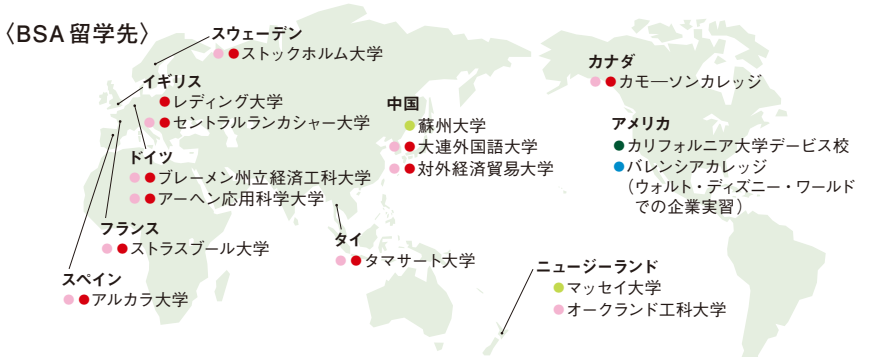
海外で国際経営を学ぶ　経営学部独自留学プログラム「BSA（Business Studies Abroad）」

欧米、アジア、オセアニアの大学（主にビジネススクール）でビジネスに特化して学ぶ経営学部独自の留学プログラムです。外国語のレベルや目的別に、短／中／長期の留学と、海外インターンシップの4タイプを設けています。

経営学部からの海外留学派遣者数は、大学主催のプログラムも含め、合計239名（短期：110名、中長期：129名）であり、全学では2番目の実績でした（2019年度）。短期、長期のプログラムを組み合わせて複数回留学する学生もいます。

詳しくはこちら

〈BSA 留学先〉



※2024年1月時点

選べる4タイプ　※いずれのプログラムも4年間での卒業が可能です。

●BSA Ⅰ
（期間：約1カ月間）

主に1回生の夏期休暇に実施。海外の大学で語学や基礎的な経営学を学びながら現地企業見学などを行います。また、国際交流や異文化理解も体験できます。引率教員も同行するため、海外が初めてでも安心して参加できます。

●BSA Ⅰ Plus
（期間：約1カ月間）

1回生から参加できるプログラムで、夏期休暇の約1か月を利用して、ビジネス英語やグローバルビジネスについて英語でのディスカッションやケーススタディなどの学習を行い、専門科目を英語で理解できる能力を磨きます。

●BSA Ⅲ
（期間：約6カ月間）

2回生から参加できるプログラムで、英語でビジネスに関する授業を受講するとともに、アメリカ・フロリダ州のウォルト・ディズニー・ワールドなどの企業にて実務研修を行い、国際社会で必要とされるビジネス感覚と語学力を養います。

●BSA Ⅱ　●BSA Ⅳ
（期間：1セメスター～1.5年間）

2回生から参加できるプログラムで、ビジネススクールや経営学部を有する海外の大学で経営学に関する専門科目を他言語で受講し、仕事で使える高度なコミュニケーション能力や国際経営の専門知識の修得を目指します。

グローバルに活躍できる人材を育成する4つの「インテンシブプログラム」

会計キャリアプログラム

公認会計士や税理士などへの登竜門である「日商簿記1級」合格を目指すとともに、系統的学習プログラムを通して、企業の経理・会計部門で即戦力となる技能を習得します。本プログラムにおいて、2023年度では、日商簿記1級に3名が合格しました。公認会計士試験では38名（うち、13名が経営学部の在学生・卒業生）が合格しました（全国9位、西日本4位）。

詳しくはこちら

アジアビジネスプログラム

将来的にアジアのビジネスに精通し、新しいビジネスを発見し創造できる人材を育成します。通常の講義に加えて、留学生とともに学ぶセミナー授業、短期間の海外企業訪問、海外インターンシップで構成されています。

産学協同アントレプレナーシップ教育プログラム

産業界や官公庁と大学が連携し、起業家の育成を目指します。実践を通じて学ぶアクティブ・ラーニングを実施し、日本国内だけでなく海外でも活躍できる人材を育成します。

産業界との太いつながりを持つ本学の特色を最大限に活かし、多くの企業でのインターンシップや企業と連携して実践的に学ぶアクティブ・ラーニングを実施しています。

産官学連携事業継承教育プログラム

中小企業経営の真髄と事業継承の課題とポイントについて学びます。同時に、立命館大学経営学部事業継承塾を開講し、春学期は、自分と家業との関係を知る自分史コンテストと今の中小企業経営の切迫する課題解決にチームで挑む中小企業経営課題解決コンテストを実施します。

卒業生からのメッセージ

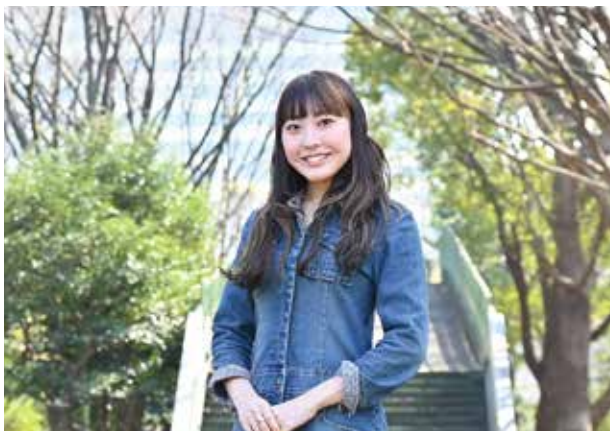
学生時代に身につけた行動力や分析力を発揮し誰もがわくわくできる社会づくりに貢献したい。

羽田 茜 さん
株式会社シグマクシス インダストリーシェルパ
（経営学部 国際経営学科 2021年卒業）

多様な企業や組織と仕事ができるコンサルタントに興味を持ち、当社を選びました。現在は製造業のクライアントの事業転換プロジェクトに携わり、新しいビジネスを推進する上で高めるべき専門能力の定義や評価制度の設計を担当しています。立命館大学は国際経営学科や留学制度、英語での授業などグローバルな環境に魅力を感じて志望しました。ゼミナールでは経営学や経営の奥深さを知り、フランスのビジネススクールへの留学を通じて、世界に視野を広げることができました。講義や卒業論文の作成を経て培った、国内外問わず数ある情報から示唆を導く力は、現在の仕事に直結しています。「社会をよりよく / 楽に / わくわくさせる仕組み作り」への興味から、クライアントとともに目の前のプロジェクトに邁進すると同時に、生涯をかけられるようなテーマを見つけるべく、現在も対話や自己探求を続けています。

2017年、経営学部国際経営学科入学。大学時代は立命館大学応援団吹奏楽部に所属。学部の交換留学制度を利用し、2018年9月から翌年4月までストラスブール大学EM ストラスブールビジネススクールに留学。フランスならではのラグジュアリーマネジメントなどを学ぶ。2021年、株式会社シグマクシスに入社。インダストリーシェルパに所属。

大学で培った積極果敢に挑む姿勢を大切に新しい事業の創出に貢献したい。



西村 友里 さん
株式会社博報堂 DXソリューションデザイン局
（経営学部 経営学科 2022年卒業）

現在は、次代の当社の軸となるような新しい事業の構想や戦略をつくる仕事に携わっています。既存の事業の枠にとらわれず、社会課題の解決につながるような事業の創出に携われるのが、やりがいです。立命館大学の魅力は、自ら学ぼうとすれば、多くの機会が揃っているところです。大学時代経営学部ではスペイン語を選択していました。さらに国際的な視点を得るために、高校時代のカナダ留学に留まらず、大学でも留学プログラムを積極的に活用しました。スペインでの異文化理解セミナー、また中国で現地のビジネスについて学ぶ経営学部独自の留学プログラムに参加したことも印象に残っています。自力でチャンスを掴み取る経験を積んだことが、今、自ら意思表示し、主体的に仕事に取り組むことにつながっています。これからも積極的な姿勢を大切に、一生活者である私らしい視点やアイデアを提供し、自社や社会に貢献できるよう頑張りたいと思っています。

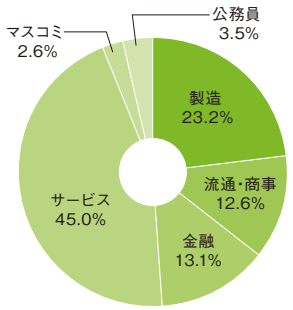
2018年、経営学部経営学科入学。大学時代は、スペインや中国への短期留学プログラムに積極的に参加し、視野を広げる。ゼミナールでは企業のビジネスモデルを研究。2022年、株式会社博報堂に入社。DXソリューションデザイン局で、ストラテジックプランニング職として、新規事業の創出に携わる。

進路・就職状況

専門知識を活かし、地方から国際社会まで多様な環境で活躍する。

学部での専門知識を活かし、新たな価値の創造ができる人材として、多くの卒業生が国際社会の幅広い分野で活躍しています。

［2023年度卒業生　業種別進路決定状況］



◎円グラフの数値は小数点以下第二位を四捨五入により算出。
◎端数処理の関係で100%にならない場合があります。

［2023年度卒業生　進路・就職先一例］

〈50音順〉

有限責任あずさ監査法人	Zホールディングス（株）	野村證券（株）
EY新日本有限責任監査法人	ANA（全日本空輸（株））	パナソニックホールディングス（株）
（株）ADKホールディングス	ソニーグループ（株）	（株）阪急阪神百貨店
（株）NTTデータグループ・（株）NTTデータ・（株）NTT DATA,Inc	（株）ソニー・ミュージックエンタテインメント	ピー・アンド・ジー（株）
エン・ジャパン（株）	東京海上日動火災保険（株）	（株）日立製作所
（株）キーエンス	東レ（株）	（株）ファーストリテイリング
京セラ（株）	有限責任監査法人トーマツ	（株）三井住友銀行
（株）京都銀行	トヨタ自動車（株）	三菱重工業（株）
（株）サイバーエージェント	西日本旅客鉄道（株）	（株）村田製作所
サントリーホールディングス（株）	日本銀行	（株）リクルート
（株）JTB	（株）日本政策金融公庫	国家公務員一般職（厚生労働省）
住友商事（株）	（株）日本M&Aセンター	地方公務員（上級職）

大阪いばらきキャンパス

政策科学部

College of Policy Science

学部HP

■政策科学科

政策科学専攻／Community and Regional Policy Studies 専攻

取得学位	学士（政策科学）
アドミッション・ポリシー	政策科学部では、解決が必要とされている政策課題に対して、実践レベルに踏み込み、よりよい社会を創造するための学びを展開しています。こうした学びにチャレンジする学生を求めていることから、入学時点において以下の学力、関心を有することを求めます。 1 高等学校などの教育によって修得した基礎的な学力を有していること 2 それらの知識に基づく問題解決のための思考や態度、能力習得に関心があること 3 広く社会的な課題の解決に向けた実践や構想に意欲があること

21世紀を生きる新しい学問
それが政策科学

政策科学部は1994年に設立されました。現在国内の政策系学部・学科・専攻は80以上ありますが、「政策科学部」と称するのは立命館大学のみです。なぜ政策科学という名にこだわるのか？それは、政策科学という新しい学問を探究していくからです。人文・社会・自然科学を問わず、学問の世界では細分化が進んでいますが、これでは21世紀の日本や国際社会が直面する複雑な問題には対処できません。既存の学問の壁を乗り越えた視点から、問題を発見し、現状を分析し、政策を提言する力が必要になります。そのためには、複眼的で多角的な視野が求められます。政策科学部では、こうした視野で学術的な調査、分析、提言のできる人材の育成を目指しています。このような視野の獲得には、国内外のさまざまな課題に直面し、課題の解決に取り組んでいる人々と知識や知恵を共有し、問題の原因・背景を深く掘り下げることで、有効な解決策を導き出す実践的な学びが不可欠です。

21世紀に入り、さまざまな分野と次元でグローバル化が進んでいます。政策科学部にはカリキュラムが全て英語で行なわれるCommunity and Regional Policy Studies（CRPS）専攻が用意されており、さまざまな国や地域の学生が集まったCRPS専攻開講科目を履修することができます。また、英語以外のヨーロッパ言語とアジア言語の計10語種から選択して学ぶことができます（LGA / Languages for Global Actions科目）。社会的に解決しなければならない課題は、国内外の至るところにあります。政策科学という学問的営み、政策科学の視野は、国境を越えて広がります。

入　学
自分のやりたいことを発見し、行動できるアクティブな学生を求めています。

卒　業
企業、行政、NPOなどの企画・政策の立案・実施部門で活躍できる人材を送り出します。

STUDENT'S VOICE

起業家×大学教授、目標は創造的ダブルワーカー。

貧困問題について学ぶためにこの学部を選びました。飢餓に苦しむ子供の写真や海外のスラム街動画を見たことをきっかけに、中学生の時から問題意識を強めてきました。貧困問題の背景にはさまざまな要因が潜んでおり、解決へ導くには多角的な視点を養うことが必要だと考えます。横断的な学びにより多角的視点を身につけ、こうした視点で問題分析・政策提言することを目指す立命館大学政策科学部の学びに共感しました。

連携企業に提案を行う「コーオプ演習」では初めてチームリーダーを経験しました。対話する機会を増やしてメンバーの強みが発揮できる関係づくりに努めたことで、チーム力の向上に貢献できたと考えています。提案を分かりやすく説明することや、アンケート調査・ヒアリングから潜在的なニーズを把握することなど、苦労もしましたが論理的思考力を高める機会になりました。

現在は「人為介入なしで自発的な賃上げを促進する方法」をテーマに研究を進めています。日本の実質賃金は30年にわたり変動していませんでしたが、ウクライナ侵攻やコロナ禍の影響で物価は上昇を続けており、消費者は負担にあえいでいます。日本の雇用制度や労働組合などの問題に触れながら、事業者が「自発的な賃上げができるような仕掛け」の提案につなげたいと考えています。

目標は起業家、そして大学教授になることです。教授としてビジネスや経済、また自身が取り組むビジネスについての専門知識を深めることで事業を発展させ、起業家として事業の現場で得たリアルな知見を日本や海外の大学生に教え、学生自身の可能性を拡げたいと考えています。立命館大学で身につけた学びの姿勢をもとに社会経験を積んで視野を拡げ、プランを明確にしていくつもりです。

羽崎 舞衿 さん
政策科学部 政策科学科 4回生
岡山県立岡山城東高校出身

学びの特色

社会の問題について深く考え、政策構想力・実践力を身につける。

政策科学とは、社会における問題の原因を明らかにし、多様な利害関係者の立場を考慮しながら最善の解決策を提示する「問題解決型の学問」です。政策科学の研究では、問題の本質を見極め、解決策を提示することが重要です。そのため、社会科学の基礎を幅広く学び、現場で実践し、そのプロセスで得た知見と理論を交互にフィードバックして学びを深めます（政策科学部ではPBL（Project / Problem - Based Learning）型実践教育を取り入れています）。また、豊かな経験と役立つスキルを駆使して研究を推進する政策実践力と、さまざまな情報を収集し大局的な視点から将来ヴィジョンを描ける政策構想力を身につけます。

学際的な学び

さまざまなバックグラウンドを持った教員

政策科学部は、社会科学分野だけでなく、自然科学、環境、都市計画、経済・経営学、福祉、政治・ガバナンス、法学などさまざまなバックグラウンドを持った教員で構成され、多角的視野で問題解決へのアプローチを実践すると共に、学生の皆さんが興味関心を持ったさまざまな分野に対応できる体制となっています。

「探究」と政策科学部

高校では学習指導要領の改訂により2022年度から「総合的な探究の時間」（探究）が必修科目となりました。「探究」は複雑化する現代社会に生きる私たちにとって不可欠な学習です。世界が2030年までに達成すると定めたSDGs（持続可能な開発目標）では、環境、福祉、まちづくり、産業、労働、教育など17の目標を掲げています。これらはいずれも人類の英知を結集して解決すべき問題です。

複雑な社会問題に取り組むためには、政策研究の柱である合理的な思考が不可欠です。それは①社会における問題を発見する（問題発見）、②問題の解決に必要な知識と技能を身に付ける（問題解決）を二つの柱としています。これらは「総合的な探究の時間」の目的であると同時に、政策科学部が長年取り組んできた教育内容にほかなりません。

政策科学部では、「探究」の力をつくりあげるカリキュラムと授業に基づき、未来社会を切り拓く優れた人材を育てていきます。

実践を通した学び

科学的な調査・分析能力を身につけて、研究に活用する〈分析技法の修得〉

政策課題や政策争点の背景にある社会状況を分析したり、問題解決のために必要な政策案の効果を予測したり、過去に実施した政策の効果を測定したりするためには、科学的な分析技法や調査方法の修得が必要になります。政策科学部では、情報機器やソフトウェアの基礎的スキルはもちろん、より高度な情報処理の技法を学び、調査・研究・政策分析に活用できる力量を育成する科目を用意しています。

実践を通じて政策科学の視点を学ぶ〈PBL（Project / Problem-Based Learning）科目〉

政策科学部では、社会科学を中心とする諸科学の基礎を総合して、海外を含むフィールド（現場）で実践し、そのプロセスで得た知見と理論を交互にフィードバックすることで学びを深めていく、PBL（Project / Problem-Based Learning）を重視しています。1回生時にPBLの基礎となる批判的思考力や論理的表現力などを修得します。2回生時には企業や行政機関、NGOなど政策課題に取り組む現場で、学生が自主的にグループを組んで研究の素材や方法、課題を見つけ出し、調査活動を実施します。フィールド調査を重視し、学外の資料を閲覧したり、実社会で活躍する個人や団体と接触したりすることで、政策現場の体験を学びに取り込みながら解決策を模索します。これらの経験を礎として3回生での「政策構想演習」（ゼミナール）、4回生での「学士論文」を通じて卒業論文の執筆に取り組み、政策構想力と政策実践力を涵養し修得することを目指します。

［2024年度「研究実践フォーラム」特定プロジェクト（2回生配当科目）］（実施予定）

淡路島の地域振興、宇治、南信州、日韓相互理解、日台共通課題探求、インドネシア、カナダ、タイ、フィリピン、ベトナム

タイプロジェクト

フィリピンプロジェクト

少人数グループで調査研究を進め、その成果を競い合う〈PSアカデミック・フェスタ〉

政策科学部では、学生が小集団に分かれてその研究成果を発表する機会を豊富に設けています。なかでも12月に行われる「PSアカデミック・フェスタ」では、各回生に配置されたプロジェクト科目やゼミナールの最優秀グループの発表やコンペティションなどが行われます。発表の内容はもちろん、政策を実現に導くためのプレゼンテーション能力、グループのチームワークも試され、政策科学部の一年の学びの集大成となるイベントです。

2023年度 PSアカデミック・フェスタ受賞テーマ（一部抜粋）

■3・4回生「政策構想演習」「学士論文」CRPS 専攻「Policy Seminar」最優秀賞
- Young Consumers' Perceptions of and Preferences for Alternative Meats: An Empirical Study in Japan and China

■2回生「研究実践フォーラム」最優秀プロジェクト
- 夏季休暇中の茨木市民の規範意識と安全な自転車交通政策の浸透具合に関する事例研究

■1回生「プロジェクト入門」最優秀賞
- 地域の防災力と町内会の衰退に関する研究―衰退の要因と改善策の検討―

■CRPS 専攻1回生「Introduction to Academic Research」最優秀賞
- Addressing Water Pollution in Khlong Toei: Enhancing the Quality of Life for Low-income Settlements

■茨木市長賞
- 精神障害の親を持つ子どもが障害を知ること

国際的な学び

２つの専攻

政策科学部では、政策科学専攻（日本語基準）とCommunity and Regional Policy Studies（CRPS）専攻（英語基準）があります。CRPS専攻では、さまざまな国や地域の学生が集まりそれぞれの国や地域が抱える諸課題を共有しながら学びを深めていきます。日本語基準学生も一定の語学基準があれば受講することができ、グローバル・ダイバーシティな環境を提供しています。

多言語を学習し、言語バリアを意識しないバイタリティを身につける〈外国語教育〉

政策科学部の外国語教育は、チャレンジ精神を持ち、英語を含む複数言語を用い、世界で活躍できるグローバル人材の育成を目指しています。最近では、英語でのコミュニケーションを基礎として、現地語でコミュニケーションがとれることも重要な要素となりつつあります。政策科学部では、英語で政策科学を学ぶ科目「政策英語科目（EPS）」と英語以外の初修外国語としての科目「グローバル言語科目（LGA）」を設置しています。EPS科目では、講義を英語のみで行う科目や、講義を通して公表に値する英語の成果物を作成する科目があります。また、LGA科目では、５つのアジア言語（中国語、朝鮮語、ベトナム語、タイ語、インドネシア語）と５つのヨーロッパ言語（フランス語、ドイツ語、スペイン語、ロシア語、イタリア語）の科目を開講しており、いずれの言語も政策実践の現場に関わる実用言語・教養言語として学びます。

※語種により開講科目数は異なります。

国際的視野の獲得

政策科学を学ぶうえで国際的視野は不可欠です。政策科学部では、国際的視野を獲得するためのカリキュラムを４年間の学びの中に組み込んでいます。

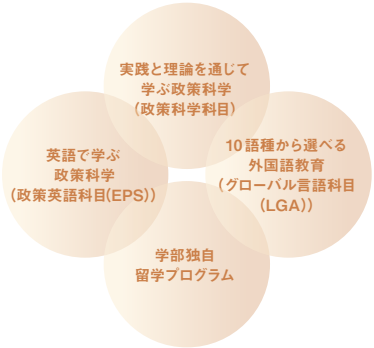
政策科学部では、

◆英語を学ぶのではなく、英語で政策科学を学びます（政策英語科目（EPS））。

◆英語以外の言語については、10語種から選択して学ぶことができます（グローバル言語科目（LGA））。

◆海外フィールドワークを２回生演習科目（「研究実践フォーラム」「オンサイト調査演習」）で選択できます。

◆言語科目・演習科目と連動した学部独自留学プログラム（2週間・半年間・1年間）を提供しています。
言語・フィールド・留学を有機的に積み上げながら政策科学を学ぶことができます。



その他に、

- 政策科学部の英語基準コース生（CRPS専攻生）と交流しながら学ぶ科目（「Cross Border Policy Issues」）もあります。
- 英語運用能力が一定基準を満たせば、CRPS専攻科目（英語基準）を受講して要卒単位に含めることができます。

4年間の学び

政策科学専攻	回生	1回生［発見］	2回生［調査］	3回生［探究］	4回生［発信］
	学びの流れ	多角的な視点を養う	フィールドワークで現場を調べる	ゼミナールで興味のあるテーマを探る	学びの成果を社会へ発信する
学術俯瞰科目（MLC）Meta-Learning Courses ／ ヴィジョン科目	ヴィジョン基礎科目	災害と安全 APU 交流科目 EPS Foreign Area Studies Reading 法学基礎Ⅰ・Ⅱ EPS Vision Broadening	比較制度 Area Studies Reading	社会思想史	
	ヴィジョン展開科目	全学共通科目のうち政策科学部が認めるもの			
	VB特殊講義	ヴィジョン特殊講義			
	情報技法科目（IM）Information and Methods	政策情報処理 統計学 プログラミング フィールド調査法 調査分析技法入門 情報科学入門 データ分析	社会調査法 ゲーミング＆シミュレーション 地域空間分析 情報技術マネジメント	地域環境調査Ⅰ・Ⅱ	
	政策科学基礎科目（MP）Meta-policy	政治学Ⅰ・Ⅱ 現代経営学入門 サステイナビリティ学入門 公共政策 ミクロ経済学入門 政策工学入門 まちづくり入門	憲法 政策過程論 環境科学 国際学入門 政治過程論 マクロ経済学入門	公共哲学 政治文化論	
	グローバル言語科目（LGA）Language for Global Actions	LGA特殊講義 LGA入門 LGA Special Seminar	○○・基礎1 ○○・基礎2 ○○・展開1 ○○・展開2	○○で学ぶ文化・社会1 映像・CALLで学ぶ○○1 ○○・異文化コミュニケーション1 ○○で学ぶ文化・社会2 映像・CALLで学ぶ○○2 ○○・異文化コミュニケーション2	
			※○○には、Chinese、Korean、Vietnamese、Thai、Indonesian、French、German、Spanish、Russian、Italian 各言語名称が入ります。 ※「○○で学ぶ文化・社会」及び「映像・CALLで学ぶ○○」は全ての語種で開講されるものではありません。		
政策科学科目（PLC）Policy Learning Courses	公共政策		民法Ⅰ・Ⅱ 国際機構論 比較文化論 情報社会論 グローバルガバナンス 国際学入門 Policy Science Reading Ⅰ 行政法Ⅰ 日本政治史 政策評価 日本と東南アジアの地方自治体 国際公共政策 国際政治経済論	行政法Ⅱ 行政学Ⅰ・Ⅱ 政治意識論 Policy Science Reading Ⅳ 現代政治理論 地域政策論 債権法	
	社会マネジメント		財政学 雇用政策論 非営利組織論 比較福祉社会論 国際経済学 社会保障政策 マーケティング政策論 Policy Science Reading Ⅱ 公共経済学 コミュニティ福祉論 戦略経営論 都市経済論 開発経済論 金融論 経済政策 企業組織論	消費者行動論 ビジネスプラン パブリック・マネジメント論 社会的企業論 戦略分析 Policy Science Reading Ⅴ 地域経済論 社会福祉政策 福祉経済論 地方財政論 組織ネットワーク論 財務分析	
	環境開発	減災政策	都市計画 都市マネジメント論 環境経済学 資源エネルギー論 コミュニティ政策論 国際環境政策 Policy Science Reading Ⅲ 住宅政策論 エコライフ政策 都市景観論 地域デザイン調査 計画理論 政策分析	コミュニティ防災論 都市・環境法 政策分析 交通計画 Policy Science Reading Ⅵ システム科学 環境社会学 戦略的環境アセスメント 環境経営論	
	（公共政策・社会マネジメント・環境開発系共通）演習 実習 特講	政策科学入門 基礎演習 プロジェクト入門 政策科学特別実習1 PLC特殊講義 Contemporary Issues in Policy Science Ⅰ・Ⅱ Academic Workshop Introduction to Social Sciences Ⅰ・Ⅱ EPS Project Ⅰ・Ⅱ EPS Special Seminar Ⅰ・Ⅱ Research Workshop など	研究実践フォーラムⅠ・Ⅱ オンサイト調査演習 政策科学特別実習2 Field Research Work Shop Policy Studies Ⅰ・Ⅱ EPS Project Ⅲ・Ⅳ など	政策構想演習Ⅰ・Ⅱ 政策科学特別実習3 EPS Project Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ Policy Studies Ⅲ	政策構想演習Ⅲ 学士論文 EPS Project Ⅷ

- 上記は2024年度カリキュラムです。2025年度は科目名称等が変更になる可能性があります。
- 学部の専門科目とは質的に異なる、幅広い分野の知識の修得を目指す科目を多数履修することができます。 ➔ 教養科目 P.130
- 各科目分野において、特殊講義が開講される場合があります。

科目についての詳細は オンラインシラバス 立命館 検索

外国語の選択

［必修（EPS）］：英語
［必修選択（LGA）］：中国語／朝鮮語／ベトナム語／タイ語／インドネシア語／フランス語／ドイツ語／スペイン語／ロシア語／イタリア語　から一言語

詳しくはこちら ▶

［2024年度　政策構想演習（ゼミナール）担当教員・研究テーマ一覧］

飯田 未希	消費文化とジェンダー・セクシュアリティ
石川 伊吹	企業の競争優位とイノベーションのダイナミクス研究
稲葉 光行	学習コミュニティと情報技術
上原 拓郎	環境問題の政策科学
大塚 陽子	ジェンダー平等は福祉社会の持続性をどう高めるのか
小田 尚也	政策科学的視点から分析する開発途上国の課題とサステイナビリティ
角本 和理	情報通信技術の発展と民法政策
鐘ヶ江 秀彦	Society5.0時代におけるスマートシティのプランニング領域に関する研究
上久保 誠人	現実的・学際的に政策に挑む「リアリスティック・ポリシー・サイエンス」
城戸 英樹	先進国の政治と行政
岸 道雄	少子高齢化時代の雇用、賃金と社会保障制度の研究
蔡 秀卿	行政法の視点から公共政策を考える
坂西 明子	地域経済と観光に関する研究
桜井 良	環境問題や教育に関する政策科学
式 王美子	都市空間・居住・格差に関する政策研究
SCHROEDER MARTIN	政策科学的視点から分析する国際経済：グローバル・バリュー・チェーン
田林 葉	文化研究と研究成果の国際発信
豊田 祐輔	政策科学からアプローチする防災
中野 勝行	ライフサイクル思考に基づいた環境影響評価
西村 陽造	国際金融から考える政策課題
服部 利幸	政府と企業
藤井 禎介	現代の政策課題と政治理論
藤原 智栄美	多言語・多文化社会におけることばとコミュニケーションの問題に迫る
舟橋 豊子	企業のグローバル・マーケティング
宮脇 昇	平和と安全保障の政策科学
森 隆知	情報システムの構築およびその活用に関する研究
森 道哉	戦後日本の行政と政治
安江 則子	グローバリゼーションをめぐる政策課題
吉田 友彦	都市空間から考える都市政策論

卒業生からのメッセージ

持続可能なビジネスモデルの構築を推進し社会的な価値の創造に努めたい。

谷 直樹 さん

オムロン株式会社 グローバル戦略本部
（政策科学部 政策科学科 2018年卒業）

地元である関西を盛り上げたいという思いから、関西の企業を中心に就職活動を行いました。オムロン株式会社に入社を決めたのは、政策科学部での学びと調和するビジネス展開に魅力を感じたからです。現在は戦略企画部門で健康経営アライアンスの立ち上げなどに携わっています。実現のプロセスには多くの壁が存在し、乗り越えるには政府や研究所など、協力的なパートナーとの連携が欠かせません。政策科学部で学んだ公共政策の知識や、社会問題へ取り組んだ経験によって、利害関係者の立場を考慮しながら、最善の解決策を提案することができていると感じています。今後は社会的な課題に取り組み、持続可能なビジネスモデルを築くことが目標です。身につけてきた経営知識を実務で活用し、社会的な価値を創造する努力を続けたいと考えています。

2014年4月、政策科学部入学。2016年、カリフォルニア大学デービス校に約半年間留学。2018年3月の卒業を経て、オムロン株式会社入社（グローバルプロセス＆IT革新本部）。2021年、Hult International Business School MBA入学（2023年卒業）。2022年、オムロン株式会社グローバル戦略本部。

金融行政のエキスパートとして人々の生活基盤や公正な取引を支えていきたい。

鳥取 歩実 さん

金融庁 証券取引等監視委員会事務局取引調査課
（政策科学部 政策科学科 2020年卒業）

国の中心に近いところで働いてみたいと考えるようになり国家公務員を目指しました。特に人々の生活基盤である金融を支える仕事に就きたいと考え、金融庁を志望しました。現在は、庁内にある証券取引等監視委員会事務局で不公正取引の調査を行っています。不公正取引の有無を調査し、取引を行った者や上場企業に対して立ち入り検査や質問調査を行う仕事です。立命館大学を選んだのは、キャンパスの設備やカリキュラムが充実し、学ぶ環境が整っている点に魅力を感じたからです。学生同士で学び合えるラーニング・コモンズの設備も充実しており、グループワークやディスカッションにも熱心に取り組みました。調査の仕事は対話力が不可欠です。政策科学部での経験が今の職務に役立っています。今後は、多岐にわたる業務を経験し、金融行政により深く携わっていきたいと考えています。

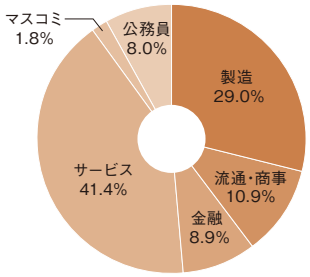
2016年4月、政策科学部入学。2020年4月、金融庁入庁。証券取引等監視委員会事務局取引調査課では、不公正取引の有無を調査し、違反行為が認められた場合は内閣総理大臣及び金融庁長官に課徴金納付命令勧告を発出。金融行政のエキスパートとして社会を支える。

進路・就職状況

社会人基礎力を身につけ高い就職率を実現。

社会学の学びや多彩な個性との触れ合いで得た幅広い視野と課題発見・解決能力を活かして、多くの卒業生が社会で活躍しています。

［2023年度卒業生　業種別進路決定状況］



◎円グラフの数値は小数点以下第二位を四捨五入により算出。
◎端数処理の関係で100%にならない場合があります。

［2023年度卒業生　進路・就職先一例］

〈50音順〉

国税専門官	KDDI（株）	日本航空（株）
国家公務員一般職（法務省）	（株）コーセー	パナソニック（株）
国家公務員一般職（経済産業省）	JFEスチール（株）	パナソニックホールディングス（株）
労働基準監督官	（株）JTB	PwCコンサルティング合同会社
地方公務員（上級職）	ジョンソン・エンド・ジョンソン（株）	富士ソフト（株）
アビームコンサルティング（株）	住友生命保険相互会社	富士通（株）
（株）伊藤園	住友電気工業（株）	本田技研工業（株）
（株）エイチ・アイ・エス	積水化学工業（株）	（株）マイナビ
（株）NTTデータグループ・（株）NTTデータ・（株）NTT DATA,Inc	大和ハウス工業（株）	三菱電機（株）
オリックス（株）	トヨタ自動車（株）	（株）三菱UFJ銀行
（株）キーエンス	日本通運（株）	（株）村田製作所
京セラ（株）	（株）ニトリ	（株）リクルート

大阪いばらきキャンパス

総合心理学部

College of Comprehensive Psychology

学部HP

■総合心理学科

取得学位	学士（心理学）
アドミッション・ポリシー	総合心理学部では、本学部の人材育成目的と教育目標に共感し、本学部で学ぼうとする強い意志を持った学生を求めます。このため、入学時点において以下の学力、関心などを有することを求めます。 1 高等学校などの教育によって修得した基礎的な学力を有していること 特に、国語と外国語に関する知識、理解力や表現力を有していること 2 数学、社会、理科などの分野における知識や思考力を有していること 3 人間の心と行動、現代における人間の在り方についての問題に関心を有していること

「人間」そのものを深く知り、社会のさまざまな課題を解決する力を身につける

一般に「心理学」というと、個人の悩みを対象としたカウンセリングや性格分析などが主にイメージされます。しかし、それはごく一面にすぎません。心理学は、個人はもとより家庭、学校、一般企業、地域、国際社会など、さまざまな場で発生する「人間」そのものに起因した課題について、総合的かつ現実的にアプローチする学問です。

近年、グローバル化の進展やソーシャルネットワークサービス（SNS）等の普及とともに、社会と個人とのつながり方が大きく変化してきました。それに伴い、現代の複雑な課題を発見・解決するために、人間についての科学的・実践的知見を有した人材がますます必要となってきています。

総合心理学部では、基礎心理や応用心理などの心理学の諸分野を総合的に学べるようにするため、ユニット制による自由度の高い履修体系としています。学生は履修モデルに沿って自分の進路を考えながら、人間の心と行動、成長による心の発達の様相、そして心と社会・文化との関係についての専門的知見の形成と、臨床や産業の現場で発揮できる実際的応用力の修得を目指します。

卒業後の進路は、心理専門職をはじめ、行政や企業、そしてグローバル化する現代社会に貢献できるさまざまな職種を想定しています。

STUDENT'S VOICE

心理学を通じて人の心の機微や世の中の趨勢を解き明かす喜び。

脳の働きについて興味がありました。進路を決める段階で出会ったのが立命館大学の総合心理学部です。カウンセラーを目指すような臨床系の学びを主とする一般の心理学部と比べ、心理学から派生した広範な分野の知見に触れられることに魅力を感じ、入学を志望しました。「これも心理学？」と思えるような知的発見に日々興味を掻き立てられています。

2回生全員が受講する「展開演習」は、卒業論文作成に向け、研究法をより深く学ぶために調査法別にクラスが分かれています。私は質問紙法と呼ばれる調査を選択しました。質問紙の作成に際しては、初めに「答えたくない質問があればその時点で中断しても構わない。それによって回答者に不利益が生じることはない。」といった内容を明記しなくてはいけないことを学びました。心理学では、このように研究倫理に配慮しないといけない場面が少なくありません。実生活においても、自分の発言や行動が周囲の人に与える影響について考える習慣が身についたと感じています。

一方、所属人数が150人を超える軽音楽サークルでは、ライブのスケジューリングなどを担当しました。コロナ禍を経て学内ライブや大阪いばらきキャンパス、びわこ・くさつキャンパスでの学園祭への参加も復活しました。空白期間が長かったため手探りでの取り組みとなりましたが、皆と協力しながら問題を解決していったことで自身も成長できたと感じています。何よりも心理学と社会との深いかかわりに気づけたことが、立命館大学での学びの価値です。日々視野を広げ、幅広く学ぶことを意識して講義や実習と向き合っています。心理学を活かせる仕事に就くことが将来の目標です。

岡 颯希 さん
総合心理学部 総合心理学科 3回生
広島市立基町高校出身

4年間の学び

ユニットによる学びで総合力を養成。

自分の進路を考えながら履修モデルに沿って、複数の科目から構成される科目のまとまりであるユニットを組み合わせて履修します。

専門科目は３つの専門ユニット（認知・行動ユニット、発達・キャリアユニット、社会・文化ユニット）と６つの領域（知覚・認知領域、行動・科学領域、発達・支援領域、キャリア・組織領域、社会・共生領域、文化・共生領域）から構成されており、心理学の専門分野を系統的に学びます。

認知・行動ユニット

知覚心理学や認知心理学、行動分析学、認知行動療法をはじめとする領域の専門的知識を学修します。実験的な手法を用いて、特に量的なデータを扱った研究ができる学生を育成します。

発達・キャリアユニット

人間の生涯発達や組織行動、行動経済学をはじめとする領域の専門的知識を学修します。高度な統計手法や行動観察法を用いて、質的、量的なデータを扱った研究ができる学生を育成します。

社会・文化ユニット

コミュニティワーク、多文化コミュニケーション、法と倫理などの領域の専門的知識を学修します。フィールドワークや行動観察法、会話の分析などを用い、質的、量的なデータを扱った研究ができる学生を育成します。

総合心理学部	回生	心理学を知る 1回生		基礎と応用を学ぶ 2回生		知識と実践を深める 3回生		研究をまとめる 4回生	
	学びの流れ	人間を総合的に理解するための基礎的な素養を修得します。人間理解や自己理解、対人関係の基本、多様な心理学の基礎知識を学びます。		応用的な学びに臨む素地を形成します。また、心理学における実験の手法と基礎的概念などを学ぶほか、広い人間理解を基盤にした専門的な知識と技術を体系的に学修します。		心理学の専門科目や隣接する領域の学びを深め、専門的な学力とともに、コミュニケーション能力を養い、幅広い応用力を身につけます。		4年間の学びの集大成として「卒業研究」を実施。論文作成の過程や成果を発表する機会を通して、自身の考えをまとめ、情報を発信する実践的な技術を身につけます。	
	外国語ユニット	英語P1 英語S1	英語P2 英語S2	英語P3 英語S3	英語P4 英語S4				
	基礎ユニット	リテラシー入門 総合心理学入門 心理学統計法Ⅰ 心理学概論 社会の中の心理学	心理学史 心理学研究法 認知心理学概論（知覚・認知心理学） 発達心理学概論（発達心理学） 社会心理学概論（社会・集団・家族心理学）	精神疾患とその治療 プログラミング入門 臨床心理学概論	医学総論（人体の構造と機能及び疾病）	公認心理師の職責	関係行政論		
専門科目	認知・行動ユニット 知覚・認知領域			認知科学 知覚心理学 学習・記憶心理学	神経・生理心理学 応用認知心理学 思考心理学	色彩論			
専門科目	認知・行動ユニット 行動・科学領域			行動分析学（学習・言語心理学） 認知行動療法論（心理学的支援法）	応用行動分析学（学習・言語心理学） 心理的アセスメント	障害者・障害児心理学			
専門科目	発達・キャリアユニット 発達・支援領域			乳幼児心理学 児童心理学 青年心理学 中高年心理学	進化心理学 発達臨床心理学 教育・学校心理学 福祉心理学	言語発達論	学校カウンセリング論（心理学的支援法）		
専門科目	発達・キャリアユニット キャリア・組織領域			経済と人間 組織行動論（産業・組織心理学） 国内フィールドスタディ	組織と人間 行動経済論	キャリア形成論			
専門科目	社会・文化ユニット 社会・共生領域			司法・犯罪心理学 コミュニティ心理学	実験社会心理学	感情・人格心理学 ナラティブ療法論（心理学的支援法） 健康・医療心理学	芸術療法論（心理学的支援法） 家族療法論（心理学的支援法）		
専門科目	社会・文化ユニット 文化・共生領域			メディア心理学	家族と人間 文化心理学	人間観の探求 政治と人間 ジェンダー心理学	現代人間論		
アドバンスド科目	英語アドバンスドユニット			海外フィールドスタディ		専門英語（心理学）Ⅰ	専門英語（心理学）Ⅱ		
アドバンスド科目	研究法アドバンスドユニット		心理学統計法Ⅱ	量的研究法 心理学データ解析法Ⅰ	質的研究法 心理学データ解析法Ⅱ 心理調査法概論	心理学統計法特殊講義			
アドバンスド科目	プロジェクト研究ユニット	プロジェクト研究Ⅰ	プロジェクト研究Ⅱ	プロジェクト研究Ⅲ	プロジェクト研究Ⅳ	プロジェクト研究Ⅴ	プロジェクト研究Ⅵ	プロジェクト研究Ⅶ	プロジェクト研究Ⅷ
アドバンスド科目	特殊講義ユニット			総合心理学特殊講義Ⅰ 総合心理学特殊講義Ⅲ	総合心理学特殊講義Ⅱ				
小集団科目	実験・実習ユニット		心理学実験Ⅰ	心理学実験Ⅱ			臨床・実践演習（心理演習）	臨床・実践フィールドワーク（心理実習）	
小集団科目	演習・卒業研究ユニット	基礎演習Ⅰ	基礎演習Ⅱ		展開演習	専門演習Ⅰ	専門演習Ⅱ	専門演習Ⅲ 卒業研究	専門演習Ⅳ

→ 人間科学研究科

- 上記は2024年度のカリキュラムです。
- 学部の専門教育とは質的に異なる、幅広い分野の知識の修得を目指す科目を多数履修することができます。 ➔ 教養科目 P.130

科目についての詳細は オンラインシラバス 立命館 検索

外国語の選択

［必修］英語
グローバル化が進んでいる心理学分野において、英語が国際レベルの研究活動、研究交流、研究の主要語であることから英語専修にしています。

学びの特色

実践的な学びを通じて、課題解決力を身につける

①実感を伴うアクティブラーニングで課題にアプローチ

学生自らが課題を発見し、調査・研究を通じて解決にはたらきかけ、論文作成や発表・議論につなげるプロジェクト型の学びを実施します。さらに、充実した実験施設を活用した実験・実習や地域・臨床現場と連携したフィールドワークを通じ、より実感と深い理解を伴った実践力を養います。

②プロジェクト発信型英語プログラムで運用能力を高める

グローバル化の進展により、さまざまな国や文化とのかかわりがより密接になりつつあります。総合心理学部では、相手を正しく理解し、自分の考えを伝えることができるよう実践的な国際教育プログラムを整備しています。その代表であるプロジェクト発信型英語プログラムでは、学生自身が興味・関心を持った分野やテーマについて、世界中から情報を集め、リサーチやディスカッションを行い、その成果を英語で発信します。国際的に活躍できるプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を養成します。

〈臨床実践教育〉実践・実習を通じて心理学のスペシャリストを目指す

臨床心理学の基礎知識を学ぶとともに、実習を通じて対人援助の実践方法を学びます。具体的には、対人援助の領域で活躍されている方々との対話を通じて、臨床実践のあり方を学び、適性を知るとともに、カウンセリング面接・グループ面接・認知行動療法・家族療法などのロールプレイで具体的な技法や知識を学びます。

〈卒業論文〉体系的に学びを積み重ね、集大成として卒業論文に取り組む

学生は全員、自身の設定した研究テーマについて、担当教員の指導のもと「卒業論文」に取り組みます。「卒業論文」作成を通じて知識・情報処理能力・論理的思考力・判断力・表現力を鍛え、それらを総合的に使うことができる能力を養います。

[2023年度卒業論文テーマ一覧（総合心理学部一部抜粋）]

- 心理専門家への非来談に関わる個人的、環境的、経験的要因の探索的研究
- 認知的負荷のかかる作業時における音楽刺激が時間評価に及ぼす影響：テンポとドラム演奏に着目した実験的検討
- 無断転載への接触がファン活動に及ぼす影響 —コンテンツへの金銭と時間の消費に焦点をあてて—
- 「中性」性自認者のライフストーリーと自己解釈：—セクシュアリティのグラデーション性の探求—
- アバタデザインと自己意識並びに自己呈示の関連 —アバタを閲覧する他者とその関係性に注目して—
- 色字共感覚における言語別共感覚色の違い 日本語・英語・イタリア語の比較から共感覚色を可視化する
- 顧客のホスピタリティにおけるプロセス研究—学生を対象に—
- 踊りの教え合いが動作系列の習得と運動有能感に及ぼす効果 —「覚えられない」という支援ニーズに応える意味と原理の説明のあり方—

[2024年度　教員・研究テーマ一覧]

詳しくはこちら ▶

岩壁 茂	心理療法のプロセスと効果の研究、心理療法の統合、感情、臨床家の訓練と職業的成長 心理療法と文化・社会
宇都宮 博	青年期から成人期にかけての人格発達と家族・社会関係
大石 衡聴	言語を理解している間の脳活動についての研究
岡本 直子	音楽の効用を心理的介入に最大限に活かすための日米共同研究、芸術療法、TFT（思考場療法）の実践および研究
神島 裕子	社会正義論、道徳感情論
川野 健治	コミュニティづくり、予防・促進プログラムの開発と評価
北岡 明佳	錯視とだまし絵の実験心理学的研究
吉 沅洪	表現療法、こころのケアと文化、スクールカウンセリング
サトウ タツヤ	文化心理学、ものづくり質的研究、心理学史、復興／まちづくり心理学
佐藤 洋輔	LGBTQ+のメンタルヘルスに関する調査研究、ポジティブ心理学に基づく予防的アプローチ
澤野 美智子	医療と家族に関する文化人類学
首藤 祐介	こころの健康増進、依存症への支援、精神障害を持つ人への認知行動療法／臨床行動分析に基づく支援
鈴木 華子	多様性、メンタルヘルスとウェルビーイング、予防的支援、世界のメンタルヘルス
髙橋 潔	AIを活用した心理ビジネス、心理的資産経営
高橋 康介	知覚、認識、行動、感性、およびその多様性に関する認知心理学研究
髙松 里江	ジェンダーとキャリアについての調査研究
土田 宣明	実行機能とその加齢変化に関する実験的研究
竇 雪	メディア心理学およびオンラインメディアの効果研究とその応用
永井 聖剛	社会的コミュニケーションと認知、動作および身体と認知、動的シーンの知覚
中鹿 直樹	行動分析学に基づいた障害のある個人のQOL向上のための援助
野田 実希	ナラティヴ・語り研究、職業人のメンタルヘルス、病いを抱える方への心理的支援、質的研究方法論
服部 雅史	推論・意思決定・問題解決の心理学
林 勇吾	認知モデリング、社会的認知、協同問題解決、対人コミュニケーション、学習支援、創造的認知、感性情報処理、学習支援、メディアイクエーション、対話エージェント（対話ロボット）、バーチャルリアリティ
増田 梨花	学校現場におけるピア・サポート、絵本と音楽を活用した臨床心理学的介入法
三田村 仰	カップルセラピー、親への移行期の夫婦支援、認知行動療法の文脈的アプローチ
宮口 幸治	発達障害・知的障害への包括的支援、非行臨床、精神医学など
村本 邦子	DV・虐待・性暴力など女性支援、災害・戦争など歴史のトラウマ、土地と文化に根差した土着心理学
村山 綾	対人過程、集団内過程、集団間過程に関する社会心理学的研究
森 知晴	行動経済学の応用（労働・教育・税金・保険・ギャンブル）
安田 裕子	生殖から始まるlifeサイクルにおける危機と回復のナラティヴ研究、質的研究法TEA、司法面接における心理臨床の役割
矢藤 優子	乳幼児と養育者の行動発達研究、科学的根拠に基づく育児支援システム構築のための縦断調査と東アジア諸国間の比較研究
山本 博樹	学習支援に活かす説明表現の教育心理学
若林 宏輔	社会を規定する法の人間的問題に対して心理学的にアプローチする研究

学びの特色

全国有数の規模を持つ実験・実習施設とアクティブ・ラーニングを支える学習空間

■動物行動実験室
ハトを使った動物心理学の研究を通じ、人間と人間以外の動物の心の共通性などを探ります。

■脳機能画像分析装置
近赤外分光法を用いて脳活動を調べる装置です。fMRIよりも自由度の高い実験が可能です。

■NAO（人型ロボット）
人間の知的な振る舞いをプログラミングすることで、人間の心の動きについて理解を深めます。

■面接実習室
カウンセリングの実習やインタビュー調査、また箱庭セットによる心理療法の実習などを行います。

■プレイルーム
おもちゃや砂場を配備し、主に子どもの心や行動を調べるための実験や観察を行います。

■生活行動実験室
キッチンや応接セットなどを配備し、日常生活における行動の特性や援助が必要な場面を探ります。

［大学院進学 ―人間科学研究科―］

社会の中に活きる心理学・人間科学の創造を通して、学術と社会の発展に貢献する人材を育成。

人間科学研究科は、基礎心理学から臨床心理、対人援助（福祉・教育・カウンセリングなど）まで幅広い研究領域を網羅する大学院として2018年に設置されました。全国随一の院生数と教員数を誇り、学術と実務の垣根を越えた、産学協同による研究と実践でさまざまな学びをサポートします。心の内だけでなく、人間を総合的に知るために分野を超えて学び、専門性をさらに深め、総合心理学部での学びをさらに発展させ追求していく環境が整っています。

特色ある多様な研究領域

人間科学に関する多様な研究により、院生が自らの学問的関心を中心に捉えて、さらに周辺領域へ融合・発展させることができるカリキュラムや研究機会を用意しています。

社会人院生在籍によるアカデミックとプロフェッショナルの融合

博士前期課程、後期課程ともに社会人院生が在籍し、実務からの課題解決研究とアカデミックな視点からの研究が並存し、学術界と実社会の融合を起こします。

国家資格『公認心理師』の認定プログラムに対応

医療保健領域から教育、福祉、産業、司法、被災者支援、社会福祉と幅広い領域における課題に対応する公認心理師。人間科学研究科では認定プログラムに対応するとともに、アカデミックな角度からのアプローチも行います。

【公認心理師に求められるもの】
ー公認心理師には、知識以外に技能・態度の修得が求められていますー

- ▶心理査定、心理面接、地域援助、教育研究という従来の職務に加えて、状況を適切に把握し、事実を的確にアセスメントし即応した支援を行うことができる技能・態度
- ▶多次元にわたり、交錯する要因がかかわる困難な問題の増加→多職種との共同体制
- ▶良いチームワークとフットワークの軽いアウトリーチ

※公認心理師試験受験資格取得は、大学・大学院において省令で定める科目を履修し、卒業・修了する必要があります。

【修了後の進路】
現代・未来を見据えながら、社会から求められる各領域のスペシャリストを養成し、分野を問わず、さまざまな場面での活躍が期待されます。

進路例		
●臨床心理士	●産業カウンセラー	●スクールカウンセラー
●警察官	●司法	●福祉
●教育	●医療	●高齢者介護
●障害者援助	●看護師	●保健師　など

卒業生からのメッセージ

より快適で暮らしやすいまちづくりを志し 会計の知識と広い視野を身につけたい。

加悦 朋佳 さん
西日本鉄道株式会社 経理部主計課
（総合心理学部 2023年卒業）

現在の主な業務は、決算や予算をまとめて各部署の業務を可視化し、事業計画立案をサポートすることです。総合心理学部で学んだ統計法の知識が役立っています。将来、交通サービスと住宅や商業施設のサービスをつなぎ、より快適で暮らしやすいまちづくりの事業に関わりたいと考えています。社内での勉強会にも積極的に参加し、会社全体の経営状態を見る広い視野を身につけています。大学では、主に発達心理学を学びました。卒業論文では、両親の離婚を経験した大学生への調査など難しい内容にも挑戦しました。仲間と意見を交わし合いながら研究を進めた結果、学部の優秀論文賞に選んでいただきました。答えのない問題について議論を重ねることで身につけた、多様な意見を受け入れ、自分の意見を言葉にする力は、どんな仕事にも活かせる力だと感じています。

2019年、総合心理学部入学。卒業論文のテーマは「離婚に対する社会的まなざしを両親の離婚を経験した青年はどうとらえるか」。2023年、総合心理学部卒業、西日本鉄道株式会社に入社。将来は、MaaSアプリの普及によるシームレス移動の実現や、駅前や高架下の用地を活用した商業施設の運営事業などに携わることを目指している。

インサイドセールス職のモデルケースになることと アメフト選手としてチームを日本一にするのが目標。

西田 健人 さん
パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社 マーケティング本部
近畿電材営業部
（総合心理学部 2023年卒業）

私は、お客様に感動を与える商品を提案したいという思いを持ち、営業所では初のインサイドセールス職として勤務しています。営業実績のとりまとめ、説明資料や見積りの作成など、デスクワークで日々奮闘しています。また、パナソニックインパルスの一員としてアメリカンフットボールの活動にも打ち込んでいます。大学のゼミは、犯罪心理学をテーマに選びました。どのような環境や条件で犯罪不安が高まるのか、毎回ゼミに参加される大学院生の方からも意見をいただきながら研究を進めました。並行してアメフト部で日本一に向けて練習を積み、3・4回生の時には全国学生のトップ11人に選出されました。整った環境の中で、学問とスポーツの両立に全力を注ぎました。この経験を職場でも活かし、インサイドセールスのモデルケースになること、そしてアメフト選手としてチームの日本一に貢献することが今の目標です。

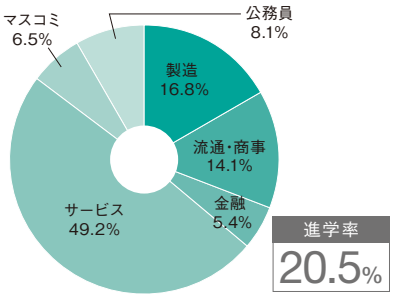
2019年、総合心理学部入学。2023年4月、パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社 マーケティング本部 近畿電材営業部に所属し、インサイドセールス（内勤営業）を担当するとともに、同社のアメリカンフットボール部パナソニックインパルスの一員として活動中。2024年1月のライスボウルでもDBとして活躍した。

進路・就職状況

多角的かつ総合的に人間を理解し、グローバル化する現代社会で活躍する人材を育成。

「社会で生きる心理学」を身につけ、個性と多様性を尊重しつつ他者と協働し、問題解決に貢献する人材を養成します。

［2023年度卒業生　業種別進路決定状況］



◎円グラフの数値は小数点以下第二位を四捨五入により算出。
◎進学率＝［進学者／（就職者＋進学者）］。ただし、進学者には大学院だけでなくその他の進学者を含む。
◎端数処理の関係で100%にならない場合があります。

［2023年度卒業生　進路・就職先一例］

〈50音順〉

あいおいニッセイ同和損害保険（株）	スミセイ情報システム（株）【住友生命グループ】	（株）ニトリ
（株）アイシン	住友生命保険相互会社	（株）博報堂プロダクツ
アマゾンジャパン合同会社	ダイキン工業（株）	日立建機（株）
（株）エス・エム・エス	TDK（株）	富士フイルムビジネスイノベーションジャパン（株）
（株）NTTデータグループ・（株）NTTデータ・（株）NTT DATA,Inc	東京海上日動火災保険（株）	（株）ベネッセコーポレーション
（株）カプコン	東京書籍（株）	株式会社読売新聞東京本社
九州電力（株）	東京電力ホールディングス（株）	（株）LIXIL
（株）近鉄百貨店	TOTO（株）	（株）りそなホールディングス
（株）ケーズホールディングス	（株）西松屋チェーン	（株）ワコール
コニカミノルタ（株）	（株）日本政策金融公庫	裁判所職員総合職（家庭裁判所調査官補）
サイボウズ（株）	日本電気（株）（NEC）	大阪市人事委員会
（株）JTB	日本発条（株）	京都市役所

大阪いばらきキャンパス

グローバル教養学部

College of Global Liberal Arts

学部HP

■グローバル教養学科

取得学位	立命館大学学士（グローバル教養学）、オーストラリア国立大学学士（アジア太平洋学）
アドミッション・ポリシー	立命館大学グローバル教養学部では、建学の精神の「自由と清新」及び教学理念の「平和と民主主義」のもとで、人材育成目的と教育目標に共感し、本学部で学ぼうとする強い意志を持った学生を日本全国および世界各地から求める。このため、入学に際して以下の素養と資質、学力、関心などを有することを求める。 1 知識・理解 高等学校などにおける教育を通じて、人文学および社会諸科学の幅広い教養を学ぶ上で必要な学力および英語力を有していること 2 思考・判断 学知の基礎となる論理的および批判的思考力を持ち、グローバル社会における倫理的判断力を持っていること 3 関心・意欲・態度 ・人間社会への多様性、グローバルな視点から俯瞰した歴史、科学・技術の進歩と社会の変容に関心を持っていること ・様々な境界を越えて、他者と協働し、リーダーシップを持って、問題発見・問題解決を目指す意欲・態度を持っていること 4 技能・表現 情報を適切に収集・分析する能力や自らの考えを明確に表現し、議論する能力を持っていること

英語を話すその先へ、
リベラル・アーツを身につけてグローバルに活躍する。

皆さんは、GLA（グローバル教養学部：College of Global Liberal Arts）と聞いて、どんな学部を想像するでしょうか。本学部の最大の特長は、名門オーストラリア国立大学とのデュアル・ディグリー・プログラムにあります。オーストラリアでの1年間の留学では、世界中から集う優秀な学生と共に、アジア太平洋の国際関係学を専門的に学びます。今日の国際政治と世界経済を分析するための一流の知識、留学で得られるリアルな異文化体験、そしてそこで育む世界につながる豊かな人脈は、そのまま卒業後のキャリア形成に大きなアドバンテージを与えるでしょう。

それだけではありません。GLAの魅力と強みは、日本で学ぶ3年間にこそあります。皆さんはここで、文理にまたがる幅広い知識を実際の社会の発展に役立てていく具体的な方法論 ＝リベラル・アーツを、ディスカッション・ベースの実践的な少人数教育で徹底的に鍛えていきます。リベラル・アーツとはもとより、既存の社会構造や古い考えから人々を「解放 Liberate」し、より良い社会と未来を創造する知の「技法 Arts」のことなのです。

世界は今、そうしたリベラル・アーツを身につけ、グローバルに活躍する社会のリーダーを求めています。英語を話すその先へ、GLAは、皆さんのグローバル・キャリアを全力で応援します。

STUDENT'S VOICE

国際問題に取り組むことで、他国とのネットワークを育みたい。

父がオーストラリア人、母が日本人である私にとって、オーストラリア国立大学と立命館大学の両方で学び、2つの学位取得ができるGLAのプログラムはとても魅力的でした。すべて英語で授業が受けられること、留学生や帰国子女が多い点も志望の決め手になりました。GLAでは自分が受講したいクラスを自由に選択できます。私は経営に興味があるので、Introduction to Market EconomyやExcelの応用方法などを学べるIntroduction to Scientific Thinkingの科目を受講しています。興味がある分野の専門知識を深められるだけでなく、新しい興味の対象にも出会えて視野が広がるのが、この学部の魅力だと思います。

ANU留学では、アジア太平洋学を通して、歴史や文化の面から日本とアジア太平洋諸国の関係性を考察できるのが楽しみです。私は、国家間の関係性を読み解くために最も重要なのは歴史だと考えています。国家間の軋轢は、現在の問題ではなく歴史上の出来事が原因になっていることが多く、また、相手を理解するには相手の文化を知る必要があり、文化を知るには歴史を知ることが不可欠だからです。留学中は現地企業でのインターンシップや、海に関するボランティアも経験したいので、今、情報を収集中です。卒業後は海外での就職を希望している私にとって、現地の情報を調べること自体が、将来のためにもなっています。

私の目標は、外交官のような、さまざまな文化と触れ合う機会のある仕事に就くこと。貧困の解決や地域の平和促進などの国際問題に取り組むことで、他国とのネットワークを育み、国家間の安全保障を担えるような人になりたいと思っています。

マイネハン ブランドン真 さん
グローバル教養学部 グローバル教養学科 2回生
愛知県・名古屋国際高校出身

4年間の学び

4年間の学びの特長

■オーストラリア国立大学（ANU）とのデュアル・ディグリー・プログラム（DDP）

立命館大学（RU）とANUのCollege of Asia and the Pacificと提携し、全て英語による4年間の授業を通じて、両大学の所定の条件を満たし単位を取得すると、卒業時にRUの学士（グローバル教養学）とANUの学士（アジア太平洋学）が取得できます。4月入学の場合は2回生の秋学期から3回生の春学期まで、9月入学の場合は3回生でANUに留学予定ですが、留学前後のセメスターでは、大阪いばらきキャンパス（OIC）で、RUとANUの授業を同時に受講します。

■知識を活かすための知の技法を学ぶ、世界に通ずるリベラル・アーツの学び

GLAのカリキュラムでは、「リベラル・アーツ」の名のとおり、文理にまたがるさまざまな学問の基礎が体系的に学べます。哲学や歴史学、政治学、経済学、社会学、文化研究、国際関係論、情報工学、経営学、デザイン学、心理学、持続可能な社会などの学びを通じて、知識を社会発展や問題解決に活用するための力を徹底的に鍛えます。

■全ての授業を少人数・対話型で実施

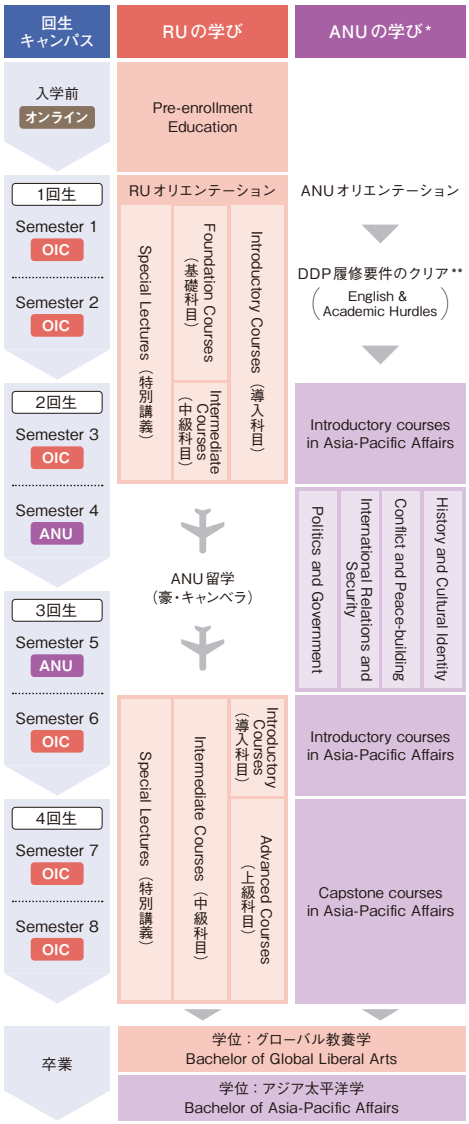
GLAの全ての授業は、教員とのコミュニケーションを重視した講義形式と、世界中から集まった学生同士のディスカッションやグループワークを主体としたチュートリアルとを組み合わせた少人数（1クラス25名以下）のアクティブ・ラーニング型で実施されます。

■全ての学生にアカデミック・アドバイジング

学生が自分の興味・関心・目標に応じて計画的にリベラル・アーツの学びが進められるように、GLA専属のアカデミック・アドバイザーが、長期的な視点に基づいた学修計画のアドバイスとサポートを行います。

グローバル教養学部の学びの流れ［4月入学の場合の例］

*詳細はANUウェブサイトでご確認ください。



立命館大学（RU）：College of Global Liberal Arts

■Pre-enrollment Education（入学前教育）

大学での学びに備える

- 教員によるオンラインレクチャーと先輩学生との交流会（2月下旬）
- English Hurdle クリアに向けたTOEFL iBT® / IELTS対策講座（1月中旬～3月末 / 対象者のみ）
- Basic Academic Writing Program（2月中旬～3月中旬 / 対象者のみ）

■Foundation Courses（基礎科目）

学びの技法（Academic Skills）を修得する

College Writing 1&2/ Critical Thinking 1&2/ Foundations in Research Skills 1&2

■Introductory Courses（導入科目）

各学問領域の導入的知識を修得する

Introduction to Art History/ Innovation and Knowledge Management/ Algorithms and Programming/ Cultural Studies/ Communication Design/ Market Economy/ Education/ Historical Methods/ Global History/ Japanese History/ Journalism/ Literature/ Religion/ Anthropology/ Scientific Thinking/ Science and Technology/ Biology/ Physics/ Philosophy: Values and Society/ Philosophy: Knowledge and Reality/ Politics/ International Relations/ Psychology/ Research Methods in Social Sciences/ Sociology/ Historical Sociology

■Intermediate Courses（中級科目）

各学問領域の応用的知識を修得する

Global Art History/ Histories in Modern and Contemporary Art/ Global Management Studies/ Applied Data Curation/ Computational Musicology/ Technology and Environmentalism in Culture Studies/ Human Factors in Interaction Design/ Institutionalism and Economic Growth/ History Workshop/ Asia and the World in Historical Perspective/ Historiography/ Material Culture and Global History/ Ocean and Society: The Blue Bridge in the Asia Pacific/ Global Media Cultures/ Issues in Ethics/ Japanese Philosophy/ Contemporary Japan/ Neuroscience/ Cognitive Psychology/ Classical Social and Political Theory/ Contemporary Social and Political Theory/ Global Historical Sociology

■Advanced Courses（上級科目）

リベラル・アーツの学びをまとめ上げる

Research Seminar/ Thesis

■Special Lectures（特別講義）

学問領域を越えた特別なテーマを学び、斬新な視点を修得する

Special Lecture (Arts and Humanities)/ Special Lecture (Social Sciences)/ Special Lecture (Science and Technology)

■Japanese Language Courses（日本語科目）

■Others（その他の科目）

Liberal Arts Experience/ Career Design 1&2/ Internship 1&2&3

オーストラリア国立大学（ANU）：College of Asia & the Pacific

■Introductory courses in Asia-Pacific Affairs

The Origins of Political Order in Asia/ Understanding Peace and Conflict/ Pacific Encounters: An Introduction to Pacific Studies/ Introduction to International Security Studies

■Politics and Government

The Politics of China/ Asia's Changing Politics in Comparative Perspective/ Taiwanese Society and Politics/ Indonesia: Politics, Society and Development, etc.

■International Relations and Security

International Relations in the Asia-Pacific/ US Foreign and Security Policy in Asia/ (In)Stability on the Korean Peninsula/ The Politics of Nuclear Weapons/ Theories of War: An historical and global perspective, etc.

■Conflict and Peace-building

Human Rights in Asia/ Gender and Cultural Studies in Asia and the Pacific/ Peace and Conflict Studies/ Australia and Security in the Pacific Islands, etc.

■History and Cultural Identity

Asian Economies/ Islam in Southeast Asia/ Culture and Modernity in Asia: Anthropological Perspectives/ Pacific Studies in a Globalizing World/ Australia in Oceania in the 19th and 20th centuries, etc.

■Capstone courses in Asia-Pacific Affairs

Humanitarianism: Principles, Politics and Practice/ Global Governance in the Asia-Pacific/ Politics and Development in the Contemporary Pacific/ Australia's Security in the Asian Century

**ANUの科目を履修するためには、アカデミックハードルとイングリッシュハードルをクリアする必要があります。詳細はグローバル教養学部ウェブサイトでご確認ください。

デュアル・ディグリー・プログラム体験記

RUの学び

**自分なりのレンズを通して、
国際関係を考えられるようになった。**

佐々木 春菜 さん
グローバル教養学部 グローバル教養学科 3回生
滋賀県・立命館守山高校出身

RUの授業では、アジア太平洋諸島の文化や歴史を学んで自分の持つ先入観に気づき、国際安全保障を学んで、現在の国際関係について自分なりのレンズを通して考えられるようになりました。高校時代はディスカッションやプレゼンテーションが苦手でしたが、今は積極的に発言し、グループワークを引っ張る存在にもなっています。現在進行中の紛争を学び、調べ、自分なりの解決策を提案する学びを通して、自身の成長を感じるとともに、外交官という夢を叶える鍵も得られたと思っています。ANU留学では、各国の安全保障の仕組みや世界のリアルな問題を学びたいです。多様な文化的背景を持つANUの学生の中で自分がどのようにアップデートされるのか、楽しみです。

ANUの学び

**固定観念に捉われずに、
物事を解析できるようになった。**

神谷 夏生 さん
グローバル教養学部 グローバル教養学科 4回生
愛知県・名古屋国際学園（名古屋インターナショナルスクール）出身

ANU留学中は、オーストラリアの観点で、アジアや太平洋諸島の歴史・政治・文化・オーストラリアとの交流について学び、他国から見た日本の姿や、この地域ならではの問題などを知りました。オーストラリアでは常識でも私にとっては未知の情報も多く、新しい価値観を得られたのがANUでの重要な学びでした。ある教授から「文化や考え方が多様な国々を、「西洋」「東洋」などの言葉で一つにくくってはいけない。」と教えられたことは、私の研究の基礎になりました。現在、歴史をベースにした研究をしています。さまざまな観点から歴史を捉えるスキルは重要です。固定観念に捉われずに物事を解析できるようになったことが、GLAのDDPを通して得た財産だと思っています。

[2024年度　教員・研究テーマ一覧]

詳しくはこちら ▶

教員名	研究分野名	Keywords of research theme
石原 悠子	哲学、日本哲学・現象学	Kyoto School Tradition, Phenomenology, Comparative Philosophy, Philosophy of Play
小木曽 左枝子	外国語・第二言語教育、日本語教育	Foreign/Second Language Education, Japanese Language Education, Second Language Vocabulary Learning
JOHNSON CHRISTOPHER MORGAN	哲学、政治哲学・公共哲学	Moral Philosophy, Political Philosophy, Philosophy of Sport
THOUNY CHRISTOPHE	比較文学、日本視覚文化、都市学	Cultural Studies, Modern Japanese Visual Culture/Literature, Urban Studies, Ecocriticism, Critical Theory
BATOOL SAEEDA	開発経済、男女格差	Development Economics, Gender Inequality, Health Economics
志村 真弓	国際関係論・国際政治学、平和研究	Intersection of International Politics and International Law, Peace Studies
廣野 美和	現代中国論、国際関係論	China, Peacebuilding, Peacekeeping, Humanitarianism, Disasters, Conflict, East Asia, Developing Countries, Foreign Policy
藤田 加代子	日本史、グローバル・ヒストリー	History of Japanese Foreign Relations, Maritime Asian History, Global History of Material Culture
CAPKOVA HELENA	芸術学、美術史	Interdisciplinary Visual Art Studies, Exhibition Curating, Japanese Art History, Architecture and Design History
HAIMES PAUL	美学、インタラクティブアート	Design Studies, Digital Design, Interaction Design (IxD), Human-Computer Interaction (HCI), Aesthetics, Interactive Art
堀江 未来	教育学、異文化間教育・教育政策行政論	Education, Intercultural Education, Educational Policy and Administration
前川 一郎	世界史、帝国主義史、植民地主義史	History of British imperialism, colonialism, and decolonization
MARQUEZ GIAN POWELL	海洋科学、再生可能エネルギー研究	Biomass and Bioenergy, Sustainability Science, Marine Science, Environmental Biotechnology, Systematic Innovation
山岸 典子	認知心理学、脳科学	Cognitive Psychology, Cognitive Neuroscience, Psychological Sciences, Vision, Attention, Emotion, Brain Science
山下 範久	歴史社会学、社会理論	Historical Sociology, Social Theory, Historiography
RASIT HUSEYIN	政治社会学、社会理論	Revolutions, State-Building, Ideologies, Media and Propaganda, Social and Political Theory, Middle East Studies

キャンパスライフ（寮生活）

OIC グローバルハウス

OIC グローバルハウスは、大阪いばらきキャンパス（OIC）内に2019年に竣工した分林記念館の中にある国際寮です。グローバル教養学部の学生が中心となって入寮し、「キャンパスの中で、共に学び、共に暮らす」生活を送っています。個室タイプの寮室を200室用意するとともに、茶室・日本庭園・能舞台を備えた多目的ホールなど、日本文化が感じられる多様な国際交流の場を設けています。

寮生の声

多彩な共有スペースが交流・コミュニケーションを後押ししてくれます。

OIC グローバルハウスは、寮生同士のコミュニケーションが取りやすい、オープンな環境が魅力です。とりわけ交流を促進してくれるのが多彩な共有スペースです。入寮して間もないころ、ビリヤードを通してほかの寮生と親しくなり、寮生活に馴染むことができました。共有キッチンで調理に挑戦したのも貴重な体験でした。入寮するまで自分で料理をしたことがなく、包丁を握るのも怖かったのですが、道具の使い方から手順、味付けの仕方まで寮生が教えてくれたおかげで、得意料理もいくつかできました。今後はオーストラリアに1年間留学する予定です。自炊できるようになったことは、外国で自立した生活を送る上で、大きな支えになるはずです。また、寮がキャンパス内にあるため、タイムマネジメントがしやすい点も魅力です。大学の授業は高校とは違って、履修の仕方によって空き時間ができるのですが、そのようなすきま時間にも寮の部屋に戻って学習したり友人と卓球の練習をしたり、有意義な時間を過ごすことができます。

アメリカ・カリフォルニア州で育った私にとって、グローバルな環境で暮らせることが、国際寮の一番の魅力だと思っています。さまざまな国・地域出身の寮生とともに暮らす中で、多様な文化・価値感に触れることで自分の成長につながっていると感じています。

松尾 航太郎 さん
グローバル教養学部 グローバル教養学科 2回生
東京都・工学院大学附属中学高等学校

ANU Accommodation

*ANUウェブサイトはこちら ▶

ANUのCollege of Asia and the Pacificの一部であるCoral Bell School of Asia Pacific Affairsの学舎は、オーストラリアの首都キャンベラにあり、公園のようなキャンパスの中にあります。また、ANUには食事付き・無しなどのさまざまなタイプの学生寮があり、留学時はその中の一つに入寮することになります。詳細は、ANUウェブサイト*をご確認ください。

卒業生からのメッセージ

好きなことを探究できた4年間が“ワクワク”を届ける仕事の原動力になっている。

桂 萌乃 さん

株式会社電通 ラジオテレビ局
（グローバル教養学部 グローバル教養学科 及び
オーストラリア国立大学 アジア太平洋学部 2023年卒業）

“推し”がもたらす“ワクワク”は、日常や人生における大きな支えとなります。その“ワクワク”を人々に届ける仕事に就きたいと考え、電通に入社しました。現在の業務は、テレビCM売買の橋渡し役です。どの番組で、どのCMを、何回放映するのか、企業の意向を確認した上でテレビ局に伝えて調整します。担当企業のCM数は数万に上るため、緊急報道番組などに変更されCM編成が変わった際は、放映の有無・回数の確認など多くの業務に追われます。どんなに大変な状況でも楽しく取り組めているのは、大学時代の経験があるからこそです。オーストラリア国立大学と立命館大学、両方の学位を得るためにハードな日々を送りましたが、Research Seminarなど、好きなことを自由に探究できる科目や学びの環境があったので、楽しみながらやり遂げることができました。これからもこのスタンスを大切にし、何事も楽しみながら仕事に励んでいきたいです。

2019年、グローバル教養学部に入学。RUではHistory of the Modern World、Human intelligence等を、ANUではCulture and Modernity in Asia、Pacific Encounters等を履修。4回生のResearch Seminarでは、“Relationship Between Plant Growth and Words”（ポジティブ／ネガティブな言葉が植物の成長に及ぼす影響について）を研究した。自身もファンであるアイドルグループがもたらす無限大の可能性を人々に伝えることを目標に、株式会社電通へ入社。

国際寮で培った英語力とマネジメント力が常に学び、挑戦する今に活きている。

山本 理湖 さん

アマゾンジャパン合同会社 AMZL 尼崎デリバリーステーション
（グローバル教養学部 グローバル教養学科 及び
オーストラリア国立大学 アジア太平洋学部 2023年卒業）

大学で培った英語力を生かしながら、常に学び、挑戦できる刺激的な環境で自己成長していきたいと考え、アマゾンジャパン合同会社に入社しました。現在は、お客さまに商品を届ける配送の仕組みをサポートする業務を担当しています。立命館大学とオーストラリア国立大学の両方の学位を取得できること、また国際的な環境で学べることに魅力を感じ、本学部を志望しました。大学時代に注力したのは、国際寮のマネジメントです。国籍もバックグラウンドも異なるメンバーとの共同生活で、自分にとっての当たり前が他の人の当たり前ではないと気づかされました。その中で皆が気持ちよく暮らすためにメンバーの話を聞いたり、解決策を話し合った経験は、仕事でチームをマネジメントしたり、物事を決断する際に活かされています。今後は事業開発に挑戦し、部下の育成にも貢献したいです。

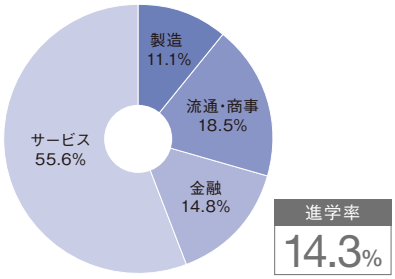
2019年、グローバル教養学部に入学。RUではDesign and Society、Evolution of the Market Economy等を、ANUではAsia-Pacific Human Migration、Gender and Conflict Studies等を履修。4回生のResearch Seminarでは、“Research on Psychological Changes in Students' Experiences through Job Hunting”（日本の就職活動がメンタルヘルスに与える影響について）を研究した。培った英語力で生活の裏側を支える仕事がしたいと思い、アマゾンジャパン合同会社へ入社。

進路・就職状況

自分らしく、世界で活躍する。

デュアル・ディグリー・プログラムの学びで得た圧倒的な英語でのコミュニケーション力、思考力、課題発見・解決力で、グローバルに展開する大手企業に採用されています。また、世界有数の大学院にも進学しています。

［2023年度卒業生　業種別進路決定状況］



◎円グラフの数値は小数点以下第二位を四捨五入により算出。
◎端数処理の関係で100%にならない場合があります。

［2023年度卒業生　進路・就職先一例］

〈50音順〉

アクセンチュア（株）	スイスポートジャパン（株）	日本郵船（株）
伊藤忠商事（株）	ソフトバンク（株）	（株）プログリット
岡三証券（株）	デジタルアーツ（株）	メルセデス・ベンツ日本（株）
オリックス（株）	東海東京フィナンシャル・ホールディングス（株）	ロバート・ウォルターズ・ジャパン（株）
ジャパンマテリアル（株）	長瀬産業（株）	
シンガポール航空会社	日本通運（株）	

GLA Youtubeチャンネルで、2023年度卒業生へのインタビュー動画をご覧いただけます。

https://youtube.com/@glaritsumeikanuniversity8299

大阪いばらきキャンパス

映像学部

College of Image Arts and Sciences

学部HP

■映像学科

取得学位	学士（映像学）
アドミッション・ポリシー	映像学部では、芸術（アート）的、経済（ビジネス）的、工学（テクノロジー）的な要素を備える様々な科目を通じて、映像に関する「理論」と「実践」を繰り返し学んでいきます。こうした学びの中で、多様化する映像を社会の様々な場面で利活用できる「プロデューサー・マインド」を身につけ、未来の映像文化および映像産業を担う強い意志を持つ学生を求めています。具体的には、以下の資質を備えている学生を求めます。 1 映像を学ぶことに関わる総合的な学力を備えている者 2 映像を表現し、理解するための知識と技能を身につける意欲を備えている者 3 映像を通じて広く人類と社会に貢献していく強い意思を備えている者

あらゆる分野をつなぎ、社会に貢献する「映像」

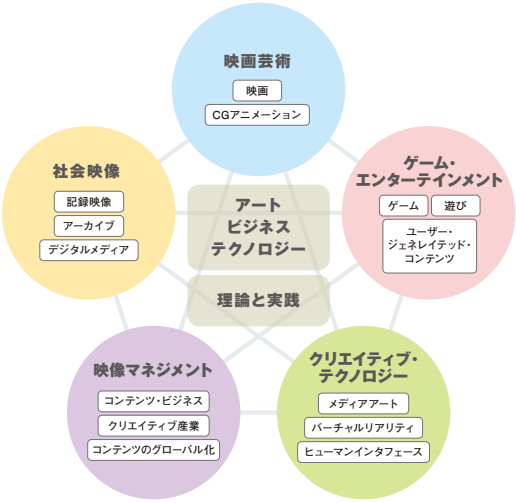
「映像」という言葉に、みなさんは何を思い浮かべますか。

ワクワクするような冒険が繰り広げられる映画やCGアニメーション、手に汗握るアクションゲームが身近な映像であると考える人もいるかもしれません。映像学部では、それだけではなく、映像を用いた社会課題の解決とその基盤となる多様な文化的価値の創造を目指しています。

映像関連のテクノロジーはめまぐるしく発展し、生活文化も著しく変化させています。いつもポケットやカバンに入っているスマートフォン、勉強や仕事で使うパソコン、街中や電車の中に設置されたモニター広告。もはや、わたしたちの生活は映像で溢れかえっています。

こうした背景をふまえ、映像学部では、「映画芸術」「ゲーム・エンターテインメント」「クリエイティブ・テクノロジー」「映像マネジメント」「社会映像」といった5つの学びのゾーンを軸に、多様な映像分野を開拓し、映像を通じて広く人類と社会に貢献していく人間を育成していきます。

なお、映像学部・映像研究科は、2024年4月、大阪いばらきキャンパスに移転しました。これにより、大阪・京都を軸とした関西圏の映像文化の発展に貢献するとともに、映像制作・研究を通じて、社会の変化を先取りする、創造性豊かなクリエイター、イノベイターを育成します。



立命館映像展　立命館大学映像学部卒業制作・大学院映像研究科修士制作合同展示・上映会

「立命館映像展」は、映像学部生・研究科生の卒業研究・修士研究の成果を、展示・上映、ポスター発表という形で社会に発信する最大の機会です。学内外の方々に、これらの成果を直接見て・触れて・体験していただける場でもあります。2023年度は、2月に京都駅前のシネマコンプレックスのシアターホールと展示スペースにおいて開催しました。上映33作品、展示59作品を発表し、多くの方にご視聴いただきました。

STUDENT'S VOICE

実践的な授業で映像スキルを習得し、映像表現に対する理解を深める。

入学してからしばらくは、「映像学部で何がしたいのか、どういう映画を作りたいのか」迷っていましたが、大学の図書館のAVコーナーで、ミヒャエル・ハネケ監督の「71フラグメンツ」という作品に出会いました。登場人物が描き出す不穏で神経質な世界が心に響き、創作の方向性が明確になりました。短い脚本を与えられてその日の授業時間内に撮影する「映像演出実習」、映画監督や先生から指導を受けながら実際に映画制作を行う「映画制作論」など、直接映画・映像制作につながる実践的な授業を受講しています。これらを通して、演出法や具体的な映像スキルが習得できたのに加え、忍耐力や最後までやり切る力がついたと感じています。同時に、チーム作業である映画制作を進めていくためにはコミュニケーションが大切であり、監督を引き受けたからといって強引にメンバーを引っ張っていくのではなく、対話を重ねて皆の気持ちをまとめていく責任があるということも学びました。２回生の冬に、映像制作を行う企業とコラボレーションをして、キャンパスでプロジェクションマッピングを行ったことも良い経験です。こうした産学連携の企画に参画できることも、立命館大学の魅力です。

３回生からは望月ゼミナールに所属し、「人と映像コンテンツの間の双方向的なコミュニケーションの探究」をテーマに、どうすれば双方向的なコミュニケーションが成り立つか、プログラミングをはじめさまざまな方法でアプローチしています。学習や読書に励み、映像表現に対する理解を深めるとともに、さまざまな経験を積んで、人生の機微を描く滋味のある脚本を書くのが目標です。小規模であっても、今後も映画を撮り続けられたらと思っています。

近藤 圭 さん
映像学部 映像学科 4回生
大阪府立茨木高校出身

4年間の学び

映像学部	1回生	2回生	3回生	4回生
学びの流れ	読解力や表現力、マネジメント力を少人数授業で修得し、映像に関する知識を広げます。また映像制作の手法を実践的に身につける実習授業や、プロデュース能力を磨く講義も履修できます。	映像の理論や歴史、マーケティングなど専門領域を学ぶ授業が本格的に始まります。自身で選択したゾーン別の演習クラスに所属するとともに、映像に関するプロフェッショナルを招く特別講義を通して、キャリア形成の意識を高めます。	基礎を応用する学びへとステップアップします。ゼミナール（映像文化演習）で、高度な映像制作や歴史的、芸術的、社会的、国際的な諸問題に関する理論的、実践的な研究が始まります。さらに提携企業でのインターンシップを通して、実践力と職業観を養います。	映像文化演習を通じて、キャリアを意識した自身の研究を深め、4年間のトータルな学びを集大成する「卒業研究」に取り組みます。
映画芸術	映像制作実習Ⅰ 映像基礎演習Ⅰ・Ⅱ シナリオ基礎 CG概論 映画研究 映像制作実習Ⅱ 世界映画史Ⅰ・Ⅱ	学外映像研修 映像学入門演習 物語理論 アニメーション映画史 映像制作実習Ⅲ 映画上映演習 CG実習Ⅰ・Ⅱ 映像演出実習 映像撮影照明実習 映像編集実習	映像文化演習Ⅰ・Ⅱ 映像音響実習 広告映像実習 CG実習Ⅲ	映像文化演習Ⅲ・Ⅳ 卒業研究
ゲーム・エンターテインメント	遊戯史概論 メディアナラティブ創作論 デッサン基礎演習 ゲーム制作実習Ⅰ プログラミング演習Ⅱ ゲームデザイン論	ゲーム作品研究 エンターテインメントと音楽 ゲーム制作実習Ⅱ DAW制作演習	インタラクティブ空間デザイン演習 ゲームクラフト実習 3Dインフォグラフィックス実習	
クリエイティブ・テクノロジー	映像学基礎 メディアアート クリエイティブ数学 映像と心理 プログラミング演習Ⅱ	社会連携プログラム クリエイティブリーダーシップセミナー バーチャルリアリティ 映像理論 クリエイティブメディア機器 クリエイティブテクノロジー実習Ⅰ・Ⅱ クリエイティブメディア処理	映像作品研究 ヒューマンインタフェース 映像論文献講読Ⅰ・Ⅱ	
映像マネジメント	プログラミング演習Ⅰ クリエイティブビジネス概論 プロジェクトマネジメント概論 知的財産論 映像産業論	リサーチベーシックス リサーチアドバンス プロデュース実習 クリエイティブブランドマーケティング 京都文化創造産業論 クリエイティブ産業論 クリエイティブマネジメント文献講読	グローバルトランスメディアマネジメント クリエイティブファイナンス 映像文化資源マネジメントアドバンス 映像文化資源アーカイブ文献講読	
社会映像	社会映像リテラシー 映像社会論 映像デザイン演習 フィールドワーク演習	映像デザイン論 デジタルメディア論 デジタルアーカイブ論 映像人類学 ドキュメンタリー映像史 映像人類学実習 デジタルアーカイブ実習	放送メディア論 グローバル映像社会論	
外国語科目	Oral Communication Ⅰ・Ⅱ Basic English Ⅰ・Ⅱ	Discussion Ⅰ・Ⅱ Media English Ⅰ・Ⅱ Reading Skills Ⅰ・Ⅱ	Oral Interpretation Ⅰ・Ⅱ Subtitle Translation Ⅰ・Ⅱ	

• 上記は2024年度のカリキュラムです。　• 上記の科目は、各ゾーンの代表的な科目を掲載しています。　• 一部の科目は衣笠キャンパスで開講します。
• 網かけなしは「理論」系、　は「実践」系の科目です。　•　は小集団で行う科目です。映像学部では、4年間を通してきめ細かな小集団教育を行います。
• 学部の専門科目とは質的に異なる、幅広い分野の知識の修得を目指す科目を多数履修することができます。 ➔ 教養科目 P.130

科目についての詳細は
オンラインシラバス　立命館　検索

外国語の選択　［必修］英語

詳しくはこちら ▶

［2024年度　教員・研究テーマ一覧］

天野 圭二	ポップカルチャー論、コンテンツ産業史、企業の社会的貢献
飯田 和敏	アート（ゲームグラフィックス）、ゲーム制作
板垣 静香	PBLに基づく英語学習、英語教育におけるユニバーサルデザイン、バイリンガリズム
井上 明人	ゲームの現象論、ゲームの社会応用
大崎 智史	映画研究、視覚文化論
大島 登志一	人工現実感（バーチャルリアリティ）、複合現実感（ミクストリアリティ）
小川 明子	メディア論　コミュニティ・メディア研究
奥出 成希	ゲームプログラミング
亀井 伸幸	映画監督、広告映像：CM・PV・MV企画演出、脚本
川村 健一郎	映画史、博物館論
北浦 寛之	映像学、メディア研究
北野 圭介	映像理論、表現文化論
北原 聡	CGアニメーション
北村 順生	メディア社会学
斎藤 進也	人文社会情報学、インフォグラフィックス、ソーシャルコンピューティング
鈴木 岳海	映像人類学、記録映像制作
宋 基燦	映像人類学、マイノリティ研究
竹田 章作	ゲームデザイン、ゲーム制作、ゲームシナリオ
武田 港	ゲームデザイン、インタラクティブ・デザイン、漫画シナリオ
竹村 朋子	メディア利用行動
谷 慶子	映画シナリオ
永田 彰子	メディア論、メディア文化研究
中村 彰憲	国際経営、クリエイティブ産業論、ブランド戦略論
深沢 伸行	映画撮影
福田 一史	図書館情報学、人文情報学
藤岡 幹嗣	映画演出
古川 耕平	CG、デジタルアーカイブ
朴 真理子	応用言語学、語用論、映画台詞・字幕研究、異文化間コミュニケーション
LYONS Michael	オーディオビジュアルパーセプションと表現、マルチモダリティ、京都メディアアート
松陰 信彦	映画サウンドデザイン
松本 ヨシユキ	映画撮影
望月 茂徳	インタラクティブメディア
毛利 仁美	デジタルアーカイブ、情報資源組織論、博物館学、ゲーム史
山口 記弘	映画産業論・京都文化論・キャラクター産業論
山崎 由佳	CGアニメーション
山本 浩史	映画編集
渡辺 修司	ゲームデザイン、ゲーミフィケーション、ゲーム制作
客員教授	
熊切 和嘉	映画監督
島村 漱	キャメラマン
浜村 弘一	株式会社KADOKAWA デジタルエンタテインメント担当シニアアドバイザー
藤幡 正樹	メディア・アーチスト 東京藝術大学名誉教授
松岡 錠司	映画監督
AKIHITO	Special Effects Make-up Artist

学びの特長

「5つの学びのゾーン」を理解すると、映像学部がもっと見えてくる。

■「5つの学びのゾーン」の特長

映画芸術ゾーン

映画の表現技法およびその関連領域の技能と知識を習得します。具体的には、シナリオ、演出、撮影、編集、録音、制作など、実写映画の制作工程において必要とされる技術、CGアニメーションの創作技術、映画の理論や歴史を学び、映画芸術の創造と理解を目指します。

ゲーム・エンターテインメントゾーン

従来型のエンターテインメント作品から、産業では挑戦し得ない芸術的・実験的作品までを範囲とし、『遊び』を誘導するための知識と技法を学習していくゾーン。遊戯の理論と歴史、難易度工学、世界観設計、シナリオ（ナラティブ）、グラフィックデザイン、プログラミング、ソーシャルメディア構築、ハードウェアの実装を学ぶことができます。

クリエイティブ・テクノロジーゾーン

メディア表現に関わる理論を活用し、メディアアートやバーチャルリアリティなどのテクノロジーに裏打ちされた新しいクリエイティブなメディア表現を創造することを目的とします。学生はクリエイティブなメディア表現の知識やプログラミング技術、映像分析方法などを学び、リサーチとクリエイションを結びつけていくことを目指します。

映像マネジメントゾーン

クリエイティブ経済のダイナミズムを理解し、国や自治体の文化政策を学びます。さらに、グローバルな視点とローカルな視点の両方から、映像を「文化資源」として新たに捉え直す理論と実践を深く学びます。

社会映像ゾーン

映像を通してヒト・モノ・コトを発見し、研究し、社会と関わることを目指すゾーンです。フィールドワークを通じて記録映像などの制作や映像アーカイブの実践に関する技能と知識について学修します。ドキュメンタリー、映像人類学、メディア社会学、デジタルアーカイブなどを学ぶことができます。

きめ細やかな学びのガイド

映像学部では、多様な映像分野を横断しながら学生それぞれの課題意識に応じて自らの学修を円滑にすすめていくことができるよう、振り返りと目標設定をおこなう演習科目を設置しています。

1回生	**学びの基盤を形成** 「映像基礎演習」
2回生	**5つのゾーンへの展開** 「映像学入門演習」
3回生	**基礎を応用する学びへ** 「映像文化演習Ⅰ・Ⅱ（ゼミナール）」
4回生	**4年間の学びの集大成** 「映像文化演習Ⅲ・Ⅳ（ゼミナール）」 「卒業研究」

■「5つの学びのゾーン」をまたぐ豊富なキャリア形成科目

学外映像研修

映像関連会社、映像制作会社、ゲーム関連会社など、多様な企業・団体の現場で業務の一端を体験する授業です。

特殊講義「びわ湖ホール連携講座」

びわ湖ホール内の劇場や舞台裏の見学、プロスタッフによる体験講習を経て、自ら企画した舞台映像美術を制作します。

クリエイティブリーダーシップセミナー

映像関連分野のクリエイター、プロデューサー、経営者などによる講演、キャリア・マネジメント関連講義で構成する授業です。

映像学部における５つのゾーンの学びの事例

映像学部では、「映像学入門演習」（2回生）、「映像文化演習（ゼミナール）」（3回生）（4回生）、「卒業研究」（4回生）などの演習科目を５つのゾーンに設置しており、映像に関わる知識と技術を高めます。以下は学びの具体的な事例です。

映画芸術

映画「BOY MEETS HOME」
永井 哲太さん、飯田 裕次郎さん

志望企業に全落ちし、内定がいまだにない就活生のカズヤ。駅のベンチに座っていると隣にやってきた男性が「俺、未来からやってきたお前って言ったら信じてくれるか？」サラリーマン、バイセクシャル、引きこもり。全く別の世界線の「私たち」がカズヤと出会う。

CG実習Ⅰ
静止画課題「餃子パーティー」
小林 友香さん

2人でささやかなホームパーティーを開いている様子をイメージし、夕飯を食べる直前の団欒のひとときを制作した。夕方の光の温かさを感じられるライティングを目指して光の強さや色を調整した。

ゲーム・エンターテインメント

ASCENSION
辻 翔馬さん

本作品は、人々が行き交う雑踏の中での射殺というショッキングな事件から始まる。その被害者はなんと主人公自身であった。事件の瞬間、世界の時間が止まる。彼は真相究明のため静止した世界を探索し、事件の真相に迫っていく。

Lovely Room
KIM Johnghoさん

紛失したアパートの鍵をめぐるデジタルゲーム。プレイヤーの選択次第で恐ろしい結末を迎える。シャープなイラストレーションと臨場感あるサウンドの演出によって、プレイヤーはこの世界に引き込まれ、緊迫感ある物語を体験する。

クリエイティブ・テクノロジー

ぐにゃ音
米田 菜々穂さん

スマートフォンやタブレットの画面を上下左右や円状など様々になぞることで、音とイメージの変化や相互作用を体験できるインタラクティブ作品をプログラミングを用いて制作した。

MR BLS: ミクストリアリティを利用した一次救命処置訓練体験の拡張についての研究
山根 瑞生さん

ビデオシースルー型複合現実感（Mixed Reality；MR）による現実空間と仮想空間との視覚融合体験を基盤として、詳細な指示に従いながら一次救命処置の訓練を行うシミュレーターを開発した。

映像マネジメント

プロデュース実習

プロデュース実習では1期生である瀧川元気監督による映画『鬼ガール！！』の上映を記念し、オンライン凱旋講演を行った。受講生は瀧川監督とリモート会議で講演内容を決定。宣伝、運営も全て自ら行った。

映像の記憶想起効果に関する産学協同研究
上山 千夏さん、長谷川 涼香さん

映像CM制作企業と協働して、「実写」・「アニメ」・「声に特徴のある映像」のそれぞれが映像の記憶想起においてどのような特性を持っているかをテーマとした研究を実施。

社会映像

中国の「女書」から見る現代フェミニズムの課題に関する研究と映像制作
ZHANG Anqiさん

中国湖南省江永県に伝わる「女書」は、世界で唯一女性によって作られた女性だけの文字体系である。現地に赴き、「女書」の伝承・保存活動を記録し、家父長制への抵抗と包摂をめぐるフェミニズムの課題を確認した。

日本海海戦における戦艦三笠のデジタルアーカイブ
木下 直矢さん

日露戦争の日本海海戦における勝因について諸説ある中、旗艦三笠の性能をその勝因とする説を取り上げ、専門的な知識が無くても興味理解が促進されるよう、CGによる再現を用いた映像アーカイブ作品である。

2023 年度「JUN × CAREE」出展作品はこちらの QR コードから確認できます。▶

■「JUN × CAREE」（EIZO JUNCTION × キャリアフェア）

「JUN×CAREE」は、映像学部生・研究科生の作品制作・研究の成果を学内外の方々に向けて発表する場です。企業関係者や現場で活躍されているクリエイターの方々をお招きし、学部生・院生との交流をとおして、作品制作・研究活動への意欲やキャリア意識の向上を促す、映像学部・研究科ならではの一大イベントです。

2023年度は10月に衣笠キャンパスで開催し、53作品を発表して約230名もの方々にご参加いただきました。

卒業生からのメッセージ

多くの人や考え方に触れ、分野を超えた仲間をつくる。将来の自分を支える大きな財産に。

濵田 未来 さん
太陽企画株式会社 総務室
（映像学部 2021年卒業）

当社はテレビCMの企画・制作を手がける総合映像制作会社です。入社後は制作部で実制作に携わり、3年目から総務室で社内改善業務やSDGsアクションの実行を進めています。小学生のころから映像の世界に興味を持ち始め、同時に映像に留まらない広範的な学びを得たいと考えて立命館大学映像学部を選びました。大学時代にプロ同様の設備で技術を習得しながら作品制作やグループワークを積み重ね、さらに映像以外の専門的な学びに触れた正課・課外活動が、ゼロからものごとを構築する力や対応力を育ててくれました。現在は、制作部時代の経験値と視野を存分に活かして、制作現場に寄り添いつつ、QOLを大切にした働き方や、効果的・効率的なオフィスづくりにおいてクリエイティブを追求したいと思い、やりがいを持って働いています。

2017年、映像学部入学。2018年から新入生支援団体で活動。2021年に映像学部卒業、太陽企画株式会社入社。2022年プロデュース戦略センター（制作部）配属・SDGsチーム参加。2023年より総務室配属。現在は制作部的な観点から社内リソースの改善企画・運営を担当し、制作現場との橋渡し役を担う。

AIをはじめ最先端の映像スキルを身につけ日本を代表するクリエイターを目指す。

西村 拓也 さん
株式会社サイバーエージェント インターネット広告事業本部
（映像学部 2021年卒業）

映像学部で得た知見を活かして課題解決したいと思い、インターネット広告業界のトップランナーである当社を志望しました。現在はAIの活用を通じてクライアントの広告効果を最大限に引き出すプロダクトマネージャーを務めています。立命館大学を選んだ理由は、映像を芸術として捉えるだけでなく、それをビジネスとして活かせるスキルを得られると感じたからです。映像学部には、「伝える」ことを前提にアウトプットを考える学びがあり、私の志向にも適していました。クライアントの商材とユーザーをつなぐストーリーを描き、広告を通して実現させることが広告クリエイターの重要な仕事であり、映像学部での経験のすべてがバックグラウンドになっています。将来の目標は、日本を代表するクリエイターになること。可能性にあふれた最先端の環境で、新しい分野の学びを進めていきたいと考えています。

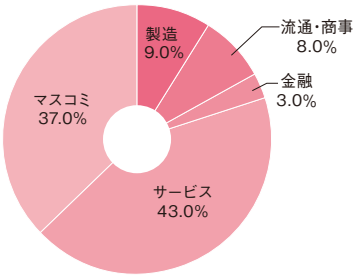
2017年、映像学部入学。2021年、株式会社サイバーエージェントに入社。国内外の大手企業の広告企画を担当。2023年、AIプロダクトマネージャーに着任し、ChatGPTや画像生成AIなどを用いた広告プランニング及び制作を担当。2023年11月から立命館大学生の就職を支援する公認キャリアアドバイザーとしても活動。

進路・就職状況

社会のあらゆる分野で「プロデュース能力」を活かす。

学部で培った専門知識や経験は現場で活きる実践力。映像関係やゲーム業界をはじめ、社会のさまざまな分野で卒業生が活躍しています。

［2023年度卒業生　業種別進路決定状況］



◎円グラフの数値は小数点以下第二位を四捨五入により算出。
◎端数処理の関係で100%にならない場合があります。

［2023年度卒業生　進路・就職先一例］

〈50音順〉

アクセンチュア（株）	（株）セプテーニ	（株）ニトリ
（株）アミューズ	（株）中電シーティーアイ	（株）ネイキッド
エイベックス・ピクチャーズ（株）	（株）円谷プロダクション	パナソニックホールディングス（株）
（株）ADKホールディングス	（株）TBSテレビ	（株）バンダイ
NHK（日本放送協会）	（株）TYO	（株）ビジブル
オリックス生命保険（株）	テレビ愛知（株）	（株）プロシップ
（株）Donuts	デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザリー合同会社	（株）MAPPA
Joshin（上新電機（株））	（株）電通九州	丸紅ITソリューションズ（株）
信金中央金庫	（株）電通ライブ	ヤマハ（株）
（株）スピード	東映（株）	（株）USEN-NEXT HOLDINGS
（株）セガ	（株）東北新社	ユーフォーテーブル有限会社
セコム（株）	（株）日テレアックスオン	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団

大阪いばらきキャンパス

情報理工学部

College of Information Science and Engineering

学部HP

■情報理工学科

システムアーキテクトコース／セキュリティ・ネットワークコース／社会システムデザインコース／実世界情報コース／
メディア情報コース／知能情報コース／Information Systems Science and Engineering Course

※情報理工学部では、授業を受けるためにご自身のノートパソコンが必携となっています（Information Systems Science and Engineering Course除く）。
ノートパソコンの仕様については2025年2月頃に学部WEBサイトで案内します。

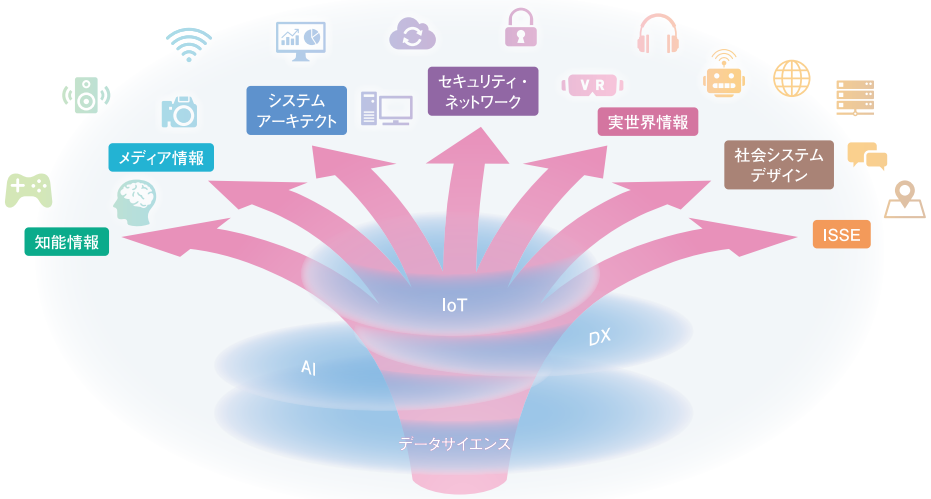
取得学位	学士（工学）
アドミッション・ポリシー	情報理工学部は、情報科学技術の基礎から応用までの幅広い領域において、中核となる知識や技術から最先端の内容に及ぶ教育・研究を行います。コンピュータを利用して、新しい問題に対して実践的かつ創造的な解決策を導くことのできる経験と知識を備え、情報技術分野の組織の一員として中核的な役割を果たすとともに、多様な組織のリーダーとしてグローバルに活躍できる技術者・研究者を育成することを目指します。このような人材を育成するために、本学部では下記のような人物が入学することを期待しています。 1 論理的な思考を行うことができ、情報科学を学ぶために必要な数学や自然科学に関する基礎知識を備えている 2 日本語で学ぶ6つのコースについては、日本語の文章を作成および理解する十分な能力と、英語に関する基礎学力を備えている 英語で学ぶ1つのコースについては、英語の文章を作成および理解する十分な能力を備えている 3 大学での幅広い学びを理解するための基礎的な教養を備えている 4 情報技術に関わる学問分野に、幅広く、強い関心・興味を持っている 5 基礎的なプログラミングを学習する強い意欲を持っている 6 専門的な知識・技術、正しい倫理観、リーダーシップを獲得することに強い意欲を持っている 7 問題を発見・解決する能力、コミュニケーション能力の重要性を認識し、その向上に励む意欲を持っている

目指すのは、新たな未来の創造。
「情報」の力で社会をより便利に、より楽しく、より安全に

情報理工学部は、情報通信技術（ICT）にかかわる広範な領域を網羅する情報系学部として、2004年4月にびわこ・くさつキャンパス（BKC）に設置され、最先端のICTを学べる学部として国内外から注目を集めています。また、2017年4月より1学科7コース体制に改組し、入学後の1回生秋学期に希望コースを選択する制度も導入しました※1。すべての授業を英語で学ぶISSE（Information Systems Science and Engineering）コースも開設しており、世界で活躍できる国際性を備えた次代を担う技術者・研究者を育てています。

そして、2024年4月より大阪いばらきキャンパス（OIC）へ移転し、各コースにおける高い専門性を軸として幅広い情報技術分野における知識の修得を目指した「ユニット」を導入しました※2。有益な知見をデータから引き出すデータサイエンス、コンピュータが自ら判断を行うAI、ビジネスや組織の活動・内容・仕組みをデジタル技術により再構築するDX、様々な機器をインターネットに接続するためのIoT等、新たな未来社会に必要不可欠な知識を習得し、様々な専門分野に挑戦することで、世界にインパクトを与える研究に取り組みます。

※1 ISSEコースのみ入学時にコースを決定します。　※2 ISSEコースでは2028年度よりユニットを導入予定です。



STUDENT'S VOICE

情報処理技術の知識やスキルを身につけ、多様な分野で活躍できる人材に。

情報理工学部の研究環境に魅力を感じ、特に「人間情報学及びその関連分野」の科学研究費助成事業の採択件数が全国トップクラスであることから立命館大学を志望しました。近年注目を集めているVR分野の研究室の存在も大きな魅力でした。2〜3回生時に履修した「実世界情報実験」では、開発プロジェクトとして、メンバーと協力してVRアプリケーションを制作しました。そこでは、プログラミングやモデリングの技術だけでなく、仕事の配分や意見の調整、スケジューリングといったマネジメントに関する課題も多くありましたが、仲間と連携し困難を克服することで、得難い経験を積むことができました。他にも、この科目ではソフトウェア開発や電子工作などを経験し、他の科目含めた学習全体でのインプットとアウトプットを結びつける良い機会となりました。

研究のテーマは「VR空間における触覚提示デバイス」です。VR分野での触感覚提示デバイスの多くはHMD向けですが、タブレットやスマートフォンが依然として主流です。そこで私の研究グループでは、より広範な利用が見込まれるデバイスとして「SPIDAR-Pad」（タブレット装着型ハプティックデバイス）の開発に取り組んでいます。SPIDAR-Padは糸の張力を用いて、ユーザーの指先に実際に仮想物体と触れたような力覚情報の提示を行います。触感覚をうまく表現することでVR最大の魅力である没入感を高め、よりリアルな体験をユーザーにもたらすことができるのではないかと考えています。

将来の抱負は、ITに関する広範な知識を身につけ、幅広い分野に対応できる人材になることです。そのためにも立命館大学の大学院に進学し、友人らと切磋琢磨しながら研究に励んでいます。学部に引き続き優れた環境で研究ができることが、研究の質を高めるものと期待しています。

平井 陽香 さん
情報理工学研究科 情報理工学専攻
人間情報科学コース 博士課程前期課程 1回生
兵庫県立小野高校出身

4年間の学び

［特長1］1回生では情報科学分野全般の基礎を学修し、春学期終了時に各自の興味や将来のビジョンを考慮してコースを選択します。
［特長2］1回生秋学期から配属されたコースで専門分野を学びます。
［特長3］3回生春学期に所属する研究室を決定し、秋学期から1年半をかけて卒業研究に取り組みます。
［特長4］各自の目的意識に合わせてユニットを選択し、コース横断的な学びを深めることもできます。

上記の学びを通じて、専門分野に関する深い知識や、自ら問題を発見し解決できる実力が身につき、大学院へ進学した場合も、より深く高度なレベルからスタートすることが可能になります。

7つのコース

時代の要請に合わせた各専門領域を深く学ぶ日本語基準の6つのコースに加え、さまざまな分野の知識を横断的に活用してグローバルな環境で問題解決を実践する英語基準のコースを設置しています。情報分野を取り巻く新たな社会状況に対応できる人材の育成を目指します。

※カッコ内はコース名称の略称です。

システムアーキテクトコース（SA）

今まで誰も作ったことのない情報システムを構築できる「建築家（アーキテクト）」を目指し、ハード、ソフトの基礎的な技術から、ビッグデータ解析、IoTまで情報システム技術全般を学び、システム開発・運用のための実践的能力を獲得します。

セキュリティ・ネットワークコース（SN）

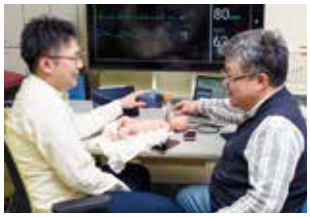
現実世界と仮想世界が高度に融合する現代社会では、その礎となる情報インフラの重要性は日々高まっています。本コースでは、情報インフラを構成するセキュリティ、ソフトウェア、ネットワークの知識や、安心・安全な情報システムの構築技術が身に着きます。

社会システムデザインコース（SSD）

膨大なデータの分析とモデル化を行う技術、具体的な社会システム・サービスを設計・実装する技術、人々と社会・システムを高度に交流させる技術を学び、人間とICTが共生する未来の社会・システムを創造・実現する実践的能力を身につけます。

実世界情報コース（実世界）

ICTを通じて人間と外界を結ぶヒューマンインタフェース、臨場感の高い仮想世界を体感するバーチャルリアリティ技術やミクストリアリティ技術、身の周りのモノをネットワークにつなぐIoT、機械システムの知能化を実現するロボット技術を学びます。

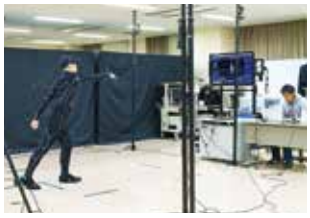


メディア情報コース（メディア）

画像や音などの多様なメディアデータを活用する情報処理手法を学べます。特に、CG、情報可視化、VR/AR、画像処理・認識、音声認識・合成、音響情報処理、信号処理などの分野で最先端AI技術も駆使した研究に携わることができます。

知能情報コース（知能）

自然現象や社会現象の計測データの解析をはじめ、数理モデル、シミュレーションやAIなどを運用する総合的な知識と技術を体系的に学びます。また、生体情報などの実データの取得と情報の抽出を通じ、知能情報システムを工学的に実現する能力を修得します。



Information Systems Science and Engineering Course（ISSE）

情報工学分野に精通し、多種多様なコミュニティにおけるチームの一員として、グローバルに活躍できる人材を育成。授業はすべて英語で実施されており、学生が自ら問題を発見し解決していく課題解決型学習が根幹となっているのが主な特長です。

4つのコース横断ユニット

各コースにおける高い専門性を軸として幅広い情報技術分野における知識の修得を目指した「ユニット」を導入します。前述のコース選択にかかわらず、右記4つのユニットを自由に選択し、コース横断的に学びを深めることができます。各ユニットの科目群を履修し修了要件を満たすことで、認定証が授与されます。

※ユニットの選択と履修は卒業要件ではありません。
※ISSEコースでは2028年度よりユニットを導入予定です。
※ユニットの種類や履修科目は今後変更となる場合があります。

ユニット名	主な履修科目
①データサイエンスユニット	確率・統計、データモデル論
②AIユニット	情報基礎数学、人工知能、機械学習
③DXユニット	情報倫理と情報技術、ソフトウェア工学
④IoTユニット	ネットワークセキュリティ、センシング工学

※Information Systems Science and Engineering Courseのみ入学時にコースを決定

情報理工学部	回生	1回生 コース選択※		2回生		3・4回生	
	セメスター	第1セメスター（春）	第2セメスター（秋）	第3セメスター（春）	第4セメスター（秋）	第5・7セメスター（春）	第6・8セメスター（秋）
	学びの流れ	共通カリキュラムで 情報科学技術の基礎から学び、 1回生秋学期にコース配属※		コース専門科目で 専門分野の知識を深める		3回生秋学期より卒業研究で 最先端の研究に取り組む	
基礎専門科目	数学科目	数学1 数学3 数学演習1	数学2 数学4 数学演習2				
基礎専門科目	数理科目	Engineering Mathematics 1 情報基礎数学	Engineering Mathematics 2 Engineering Mathematics 3 確率・統計 フーリエ解析	Introduction to Differential Equations Introduction to Probability and Statistics 多変量解析	Engineering Mathematics 4 Statistical Analysis, Simulation, and Modeling 離散数学 数値解析	Optimization and Control Theory Applied Informatics 1	Applied Informatics 2
共通専門科目	情報科目	情報理工基礎演習 情報理論 情報倫理と情報技術 計算機科学入門 Introduction to Information Systems Engineering Professional Ethics Introduction to Experimentation	論理回路 Experimental Design	ソフトウェア工学 コンピュータネットワーク デジタル信号処理 計算機構成論	データベース オペレーティングシステム ネットワークセキュリティ コンピュータグラフィックス 人工知能		
共通専門科目	グローバルIT科目			Information Science in Action	Presentation Plus 401 Writing for Publication 402		
共通専門科目	卒業研究科目					卒業研究2	卒業研究1 卒業研究3
専門科目	コースごとに固有の演習科目、実験科目がほぼ全セメスターにあり、さまざまなテーマで演習・実験を行います						
専門科目 / 固有専門科目	システムアーキテクトコース		プログラミング演習1 システムアーキテクト演習 プログラミング言語 電気電子回路	プログラミング演習2 計算機科学実験1 データ構造とアルゴリズム ユーザビリティ工学	システムアーキテクトプログラミング演習 計算機科学実験2 計算機アーキテクチャ オブジェクト指向論	コンピュータプログラミング論 システムアーキテクト実験 メディア処理実験 データモデル論 IoT ヒューマンインタフェース	データサイエンス ソフトウェア開発論 暗号理論 データ線形分析法
専門科目 / 固有専門科目	セキュリティ・ネットワークコース		プログラミング演習1 プログラミング言語 電気電子回路 セキュリティ・ネットワーク概論	計算機科学実験1 プログラミング演習2 セキュリティ・ネットワーク開発演習 データ構造とアルゴリズム ユーザビリティ工学	計算機科学実験2 計算機アーキテクチャ オブジェクト指向論	コンピュータプログラミング論 セキュリティ・ネットワーク学実験 データモデル論 インターネット技術 システムソフトウェア構成論	暗号理論 システムセキュリティ データ線形分析法 ヒューマンインタフェース データサイエンス
専門科目 / 固有専門科目	社会システムデザインコース		プログラミング演習1 プログラミング言語 社会システムデザイン概論	プログラミング演習2 社会システムデザイン創成1 データ構造とアルゴリズム オブジェクト指向論	実践プログラミング演習 テキストマイニング Web情報技術概論 ヒューマンインタフェース	Webアプリケーション 社会システムデザイン創成2 情報アクセス論 データマイニング基礎 機械学習	Webコンピューティング 社会デザイン論 知識工学 センシング工学 データ線形分析法 データサイエンス
専門科目 / 固有専門科目	実世界情報コース		実世界情報演習1 プログラミング演習1 プログラミング言語 電気電子回路	実世界情報実験1 プログラミング演習2 データ構造とアルゴリズム オブジェクト指向論	実世界情報実験2 実世界情報演習2 センシング工学 実世界情報処理	実世界情報実験3 実世界情報演習3 機械学習 ユビキタスコンピューティング 最適化数学 ロボティクス	心理物理学 コンピュータグラフィックス応用 音声音響情報処理1 パターン認識
専門科目 / 固有専門科目	メディア情報コース		プログラミング演習1 メディア計算機演習 プログラミング言語 電気電子回路	プログラミング演習2 データ構造とアルゴリズム メディア基礎数学 画像情報処理1	メディア実験1 メディアプロジェクト演習1 音声音響情報処理1	メディア実験2 メディアプロジェクト演習2 パターン認識 音声音響情報処理2 機械学習 オブジェクト指向論	コンピュータグラフィックス応用 画像情報処理2 実世界情報処理 Web情報技術概論
専門科目 / 固有専門科目	知能情報コース		プログラミング演習1 知能情報基礎演習 プログラミング言語 電気電子回路	プログラミング演習2 知能情報処理演習 データ構造とアルゴリズム 生体生理工学 オブジェクト指向論	知能情報学実験 シミュレーション工学 センシング工学	心理物理学 知能情報システム創成 最適化数学 ロボティクス 機械学習 ヒューマンインタフェース データモデル論	脳機能情報処理 データ線形分析法 色彩工学 実験データ解析論 データサイエンス
専門科目 / 固有専門科目	Information Systems Science and Engineering Course	PBL1: Problem Analysis and Modeling Introduction to Programming Introduction to OOA, OOD, and UML	PBL2: Team-based Design Programming Practice 1 Programming Language	PBL3: Creative Design Programming Practice 2 Data Structures and Algorithms	PBL4: Team-based Creative Design Imperative Programming Network Systems Human Interface Imperative Programming Practice	PBL5: Design Evolution Distributed Systems Web Information Engineering Image Processing Systems Ergonomics	Introduction to Robotic Systems Data Science Data Visualization Pattern Recognition and Machine Learning
専門科目 / グローバル・キャリア養成科目	キャリア養成プログラム		情報と職業 連携講座				
専門科目 / グローバル・キャリア養成科目	グローバルITプログラム		海外IT英語研修プログラム 海外IT専門研修プログラム			グローバルインターンシップ	
専門科目 / グローバル・キャリア養成科目	情報系資格取得プログラム			情報技術実践1	情報技術実践2	情報技術実践3	
専門科目 / グローバル・キャリア養成科目	MOT入門プログラム			技術経営概論 技術経営特論	イノベーション論 ファイナンス入門	ITを活用した業務改革入門 技術の事業化構想入門 ICT価値探求デザイン演習	プロジェクトマネジメント基礎

〈大学院進学〉情報理工学研究科 情報理工学専攻

- 上記は2025年度のカリキュラム（予定）です。
- 上表はカリキュラムの一部です。詳細は、学部ウェブサイトをご参照ください。
- 上記の科目に加えて、学部の専門科目とは質的に異なる、幅広い分野の知識の修得を目指す科目を多数履修することができます。➔ 教養科目 P.130

科目についての詳細は オンラインシラバス 立命館 検索

外国語の選択

［必修］英語
情報科学においては英語運用能力が重要とされるため、英語を専修とし、情報科学分野で国際的に活躍できる人材の養成を目指します。

研究活動紹介

「ものづくり」をテーマに学び 知識の集積だけではない実践力を養う。

情報理工学に関わるさまざまな最先端の研究を行っています。知識を集積するだけではなく、活用し、実際に作って検証するというものづくりの実践を通じ、技術者として必要なIT技術の適格性を見極める力やシステム開発能力を養います。主体性・創造性を伸ばすことに加え、企画・管理・運営能力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力の向上を目指します。

KEYWORD データサイエンス／ビッグデータ

関連コース SA SN SSD メディア 知能 ISSE

研究例 ヒトの認知・理解・感情を表す生理データを分析する

ヒトが仕事に成功するときには計画を立てて進めていると言われています。計画性をもっているかを調べるために「カーブしている車」をパッドに描いているときの仰角、方位角、速度など電子ペンの筆遣いを記録しました。計画性の有無でどんな特徴があるかを分析しています。

KEYWORD ソフトウェア開発

関連コース SA ISSE

研究例 安心安全で便利なソフトウェアの開発

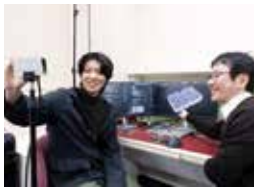
スマートフォンのアプリや銀行のシステム、家電の制御など、我々の身の回りはソフトウェアがあふれています。これらソフトウェアを安心安全に使えるために、バグの検出や予測、自動で修正する仕組み、複雑なデータの可視化、開発者の支援などを行っています。

KEYWORD IoT

関連コース SA SN 実世界 メディア ISSE

研究例 現実世界を正しく認識して人々の安心安全な生活を支援

現実世界のあらゆるモノ（家電、車、センサーなど）に通信機能を拡張し、インターネットに接続する技術の総称がIoTです。IoTにより様々なモノから情報を集めることで、現実世界で活動する人々や周辺の状態を正しく認識でき、生活をより安心安全とする支援が可能となります。



KEYWORD 情報セキュリティ

関連コース SA SN

研究例 コンピュータの動作原理をつく攻撃には動作原理で対抗

情報セキュリティをおびやかす攻撃の中には、コンピュータの基本ソフトウェア（OS）やハードウェアの動作原理の弱点を悪用するものも増えてきています。このような攻撃を場当たり的ではなく本質的に防ぐため、対抗策側も動作原理から変えていくような研究を行っています。

KEYWORD 情報デザイン

関連コース SSD ISSE

研究例 人とAIの協力で未来社会をデザインする環境を作る

人口減少や新しい技術によって変化する社会のより良い姿を創造する必要があります。社会データやAI技術を駆使したシミュレーション技術と、誰もがシミュレーションを操作可能とするインタフェース技術を組み合わせ、人とAIが協働して未来の社会をデザインする研究をしています。

［2024年度　教員・研究テーマ一覧］

システムアーキテクトコース（SA）	
越智 裕之	FPGAと再構成可能アーキテクチャ、超低消費電力システム、集積回路設計自動化のためのアルゴリズムとデータ構造
島川 博光	データ工学、データサイエンス、ユーザビリティ工学、教育工学
高田 秀志	協調学習・協調作業支援、分散システム、ネットワークサービス
西尾 信彦	IoT、知的環境、組込みシステム、自動運転システム、位置情報システム
双見 京介	人間拡張工学、ヒューマンコンピュータインタラクション、ウェアラブル、ユビキタス、行動変容
槇原 絵里奈	ソフトウェア工学、プログラミング教育、行動分析、教育データマイニング
丸山 勝久	ソフトウェア工学、ソフトウェア開発環境、プログラミング言語
村尾 和哉	ウェアラブル、ユビキタス、センシング、行動認識、生体情報
山下 茂	次世代計算方式、量子コンピュータ、量子回路設計、バイオチップ
吉田 則裕	ソフトウェア工学、IoT、セキュリティ
魯 希琴	Programming learning assistant system, software engineering
セキュリティ・ネットワークコース（SN）	
穐山 空道	メモリシステム、近似計算、仮想マシン、オペレーティングシステム、メモリセキュリティ
上原 哲太郎	システムセキュリティ、システム管理、デジタルフォレンジック
上山 憲昭	コンピュータネットワーク、キャッシュ配信、ネットワークセキュリティ、IoT
西村 俊和	計算機仲介コミュニケーション、インターネットワーキング
野口 拓	アドホックネットワーク、IoT、センサネットワーク、コネクテッドカー
野島 良	暗号、耐量子計算機暗号、秘密計算、機械学習
宮地 秀至	安全な暗号方式の構成、ブロックチェーンシステムの構成
毛利 公一	オペレーティングシステム、仮想化技術、コンピュータセキュリティ、組込みシステム
山本 寛	IoT、センサネットワーク、ブロックチェーン、機械学習、組込みシステム
吉田 政望	アドホックネットワーク、IoT、センサネットワーク、ネットワークコーディング
社会システムデザインコース（SSD）	
泉 朋子	認知工学、ヒューマンコンピュータインタラクション、思い出工学、感性工学
大津 耕陽	ヒューマンコンピュータインタラクション、知覚情報処理、感性工学、対話エージェント
來村 徳信	知識工学、知識共有、オントロジー、人工知能
桑原 和宏	知識処理、コミュニケーション支援
西原 陽子	ヒューマンコンピュータインタラクション、自然言語処理、情報可視化、コミック工学
服部 宏充	マルチエージェントシミュレーション、社会システムデザイン、人工知能、議論・対話支援
福本 淳一	自然言語処理、情報抽出、質問応答、対話
前田 亮	ディジタル図書館、情報検索、多言語情報処理、人文情報学
村上 陽平	サービスコンピューティング、コミュニケーション支援、人工知能、デザイン学
Mondheera PITUXCOOSUVARN	コンピュータ支援協調作業、異文化コラボレーション、協調学習
単 駿杰	人工知能応用、ヒューマンコンピュータインタラクション、自然言語処理
吉添 衛	議論・対話支援、マルチエージェントシミュレーション、自然言語処理、人工知能
実世界情報コース（実世界）	
安藤 潤人	メカトロニクス、柔軟ロボット学、触覚テクノロジー、ファブリケーション
木村 朝子	実世界指向インタフェース、バーチャルリアリティ、複合現実感
柴田 史久	モバイルコンピューティング、複合現実感、マンマシンインターフェース
島田 伸敬	ロボットインターフェース、コンピュータビジョン、機械学習、ヒューマンコンピュータインタラクション
高橋 治輝	ヒューマンコンピュータインタラクション、ディジタルファブリケーション
Dinh Tuan TRAN	画像処理、機械学習、コンピュータビジョン、ロボティクス
中村 文彦	ウェアラブルコンピューティング、ヒューマンインタフェース、表情認識、人間拡張
野間 春生	バーチャルリアリティ、触覚インタフェース
藤井 康之	水上ロボット、自律移動ロボット
松村 耕平	ヒューマンコンピュータインタラクション、ヒューマンロボットインタラクション、遊びによる介入、身体性認知科学
満田 隆	ソフトロボティクス、認知心理学
森 佳樹	ソフトロボットの機構と制御、システムインテグレーション
森田 磨里絵	バーチャルリアリティ、知覚情報処理、VR心理
李 周浩	知能ロボット、空間知能化、人工知能、ヒューマンインタフェース
メディア情報コース（メディア）	
岩居 健太	音響信号処理、能動騒音制御、音響エコー抑圧、適応信号処理
櫛田 貴弘	コンピュータビジョン、画像センシング、物理ベースビジョン

SA システムアーキテクトコース　SSD 社会システムデザインコース　メディア メディア情報コース　ISSE Information Systems Science and Engineering Course
SN セキュリティ・ネットワークコース　実世界 実世界情報コース　知能 知能情報コース

KEYWORD インタラクション
関連コース SA SSD 実世界 メディア 知能 ISSE

研究例 遊び心のある介入で社会問題を解決する

人が面倒だなあ、大変だなあ、なんか難しそうだなあと感じてしまうようなことを、情報システムに「遊び心」を導入することで解決するインタラクション手法を研究しています。

KEYWORD 脳科学
関連コース 知能

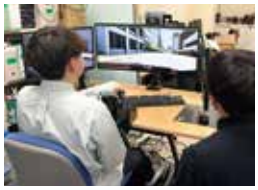
研究例 脳活動（脳波）から思考を取り出し機械を操作する

思考を行った時に生じる神経の電気活動を頭皮から計測した信号である脳波を解析することで、どのような思考を行なったかを推測し、その得られた情報を用いて機械を操作する脳－機械直結型インターフェースについて研究しています。

KEYWORD VR/AR/MR
関連コース SA SSD 実世界 メディア 知能 ISSE

研究例 DR技術で自動車の運転をより安全にする

複合現実感（MR）を発展させた隠消現実感（DR）技術を活用して安全運転を支援するシステムの実現に取り組んでいます。周辺車両によって生じる死角をDR技術で可視化し、事故を未然に防ぎます。運転シミュレータを用いてその効果について検証しています。



KEYWORD 最適化
関連コース SA SN SSD メディア 知能 ISSE

研究例 最新データをもとにベストな意思決定を与える

最適化は、生産や輸送計画など多様な現場で古くから発展してきた分野ですが、リアルタイムのデータによる予測や、数理手法が使えない複雑な問題にも有効な計算機アルゴリズムなど最新の情報技術で、エコや労働条件などの各種要求にも応えるベストな選択を導く研究を行っています。

KEYWORD 画像処理／CG
関連コース SA SN 実世界 メディア 知能 ISSE

研究例 CG技術が医療の進歩を加速する

テレビゲームで使用されるCG（コンピュータグラフィックス）の技術は、エンタテインメントにとどまらず、工業や医療分野でも役立っています。人の臓器をCGで再現して診断に活用する、または血液の流れをコンピュータで計算して治療の参考にするための研究活動を進めています。

KEYWORD 人工知能
関連コース SA SN SSD 実世界 メディア 知能 ISSE

研究例 視覚情報工学のための人工知能

人工知能（AI）に基づいて視覚データを見たり理解したりできるコンピューターが、社会で重要な役割を果たし始めています。私たちは、特に人間の知覚に焦点を当て、次世代のイメージング、分析、処理、可視化技術を推進することができるAIアルゴリズムを研究・開発しています。

耿 毓庭	音響信号処理、ビンスポットオーディオ
徐 剛	画像処理、ロボティクス、機械学習
竹本 有紀	画像処理、深層学習
田中 賢一郎	コンピュテーショナルイメージング、コンピュータビジョン、光学センシング、機械学習
田中 覚	CG、可視化、3次元計測、デジタルヒューマニティーズ、ビッグデータ可視化
陳 延偉	知的画像処理、医用画像解析、コンピュータビジョン
仲田 晋	コンピュータグラフィックス、計算機シミュレーション
西浦 敬信	音響信号処理、イマーシブオーディオ、ビンスポットオーディオ、ノイズキャンセリング
福森 隆寛	音声・音響信号処理、音声認識、騒音抑圧
満上 育久	コンピュータビジョン、ヒューマンインタフェース、画像処理、VR/AR、人物行動解析
山下 洋一	音声認識、音声合成、音信号処理
李 印豪	画像処理、コンピュータビジョン、深層学習
李 亮	画像処理、バーチャルリアリティ、コンピュータグラフィックス、可視化
劉 家慶	マルチモーダルAI、映像メディア処理、感情・認知・行動認識
知能情報コース（知能）	
柏原 考爾	生体情報工学、人間医工学、脳神経科学
北野 勝則	脳の計算理論、ニューラルネットワーク
篠田 博之	視覚情報処理、色彩工学、心理物理学
宋 裕	コンピュータビジョン、深層学習、マルチモーダル大型モデル
園田 耕平	複雑系科学、動物行動、認知科学
谷口 彰	機械学習、人工知能、知能情報学、知能ロボティクス、パターン認識
坪 泰宏	脳情報理論、神経活動計測、統計モデリング、複雑ネットワーク
遠里 由佳子	計算生物学、機械学習、バイオ画像解析、時系列解析、データ駆動科学
西川 郁子	知能システム、機械学習、最適化
Ruck THAWONMAS	ゲームAI、シリアスゲーム、視聴者参加型ゲーム
Information Systems Science and Engineering Course（ISSE）	
Igor GONCHARENKO	Digital Human Modeling, Human Movement Analysis, Scientific Visualization, Sensory Data Analysis
Uwe SERDÜLT	Digital Governance Systems, Digital Democracy, E-Government Applications, E-Participation
Valentinus Roby HANANTO	Data Science, Natural Language Processing, Business Intelligence, Software Development
Eric W.COOPER	Interactive Intelligent Systems, Kansei Engineering
問 宇	STEM Education Support Systems, Machine Learning, Signal Processing, Kansei Engineering
Shady SALAMA	Data Science, Machine Learning, Production Management.
Damon CHANDLER	Visual Information Engineering, Computational Perception, Image and Video Quality Assessment
Nicko CALUYA	Augmented reality, Human factors, Perceptual information processing
Victor KRYSSANOV	Data Science, IoT, e-Society, Statistical Modeling and Simulation, Smart City and Smart Farming
Mate KOVACS	Data Science, Deep Learning, Natural Language Processing
Mikhail SVININ	Robotics, Haptics, Machine Intelligence
劉 文斌	Human-Robot Interaction, Rehabilitation Robots, Multi-agent Control
コア教育部門	
Jeremy WHITE	Mobile Assisted Language Learning, Mobile Language, Digital Literacy
杉野 直樹	第二言語習得論、英語教育学
杉森 直樹	英語コーパス言語学、英語教育学
谷村 緑	英語教育学、コミュニケーション研究
Harry DAUER	TESOL, Intercultural Communication
加藤 正輝	特殊関数論
平岡 敬浩	整数論：クリフォード代数を用いた2次形式の算術理論
吉川 達	日本語教育学、第二言語習得論

学びの特色

充実の大学院

情報理工学研究科は、情報理工学部の教育と研究の基盤の上に「ICTの最先端領域における教育と研究を展開」しています。情報処理、ネットワークおよびシステムの構築といった基盤技術、情報メディアや人、知能におよぶ応用技術、情報技術の最先端領域に至る理論と技術・倫理に関する知識などに加え、創造的発見能力を兼ね備えた国際的に活躍できる研究者、高度専門職業人を養成しています。教員規模や研究実績は全国トップクラスを誇り、修了生の多くが国内外でグローバルICT人材として活躍しています。

大学院での研究活動の様子

国際性豊かな学び

ICTの分野で活躍するためには、専門性に加えて英語運用能力やグローバル感覚が不可欠です。情報理工学部では、独自でアメリカ、オーストラリア、インド、中国などの大学・研究機関と協定を結び、海外IT研修プログラムや海外インターンシップ・プログラムを実施しています※。また、英語基準コースであるInformation Systems Science and Engineering Course（ISSE）や、中国の大連理工大学との共同学部では、アジアを中心に様々な国・地域から留学生を受け入れています。国際性豊かな学びを通じて世界に通じた技術者の育成に取り組んでいます。

※プログラムの内容は年度によって変更・中止となる場合があります。

海外インターンシップ（インド）の様子

留学生受け入れの様子

多様な学びをサポートする学習施設・環境

リアルとバーチャルを融合した情報理工学部の新しい学びをサポートする環境として、「コネクティッドラーニングコモンズ（CLC）」を開設しています。CLCは、従来のリアルな学びをサポートするラーニングコモンズ機能を拡張し、メディアを活用した新しい授業などバーチャルな学びにも積極的に活用可能な次世代学習環境です。また、学生の学びや研究成果を広く発信・社会還元する目的で「見せる試せるラボ」も開設しています。このラボでは、学生の日々の発信をリアルとバーチャルの両面からサポートします。

※画像はイメージで、実際とは異なる場合があります。
※「コネクティッドラーニングコモンズ」「見せる試せるラボ」は全学共用の施設です。

コネクティッドラーニングコモンズ

見せる試せるラボ

課外活動での学び

情報理工学部の公認課外活動団体「PJ（プロジェクト）連合」は、Ri-one（人工知能開発）、RiG++（ゲーム開発）、RiPPro（競技プログラミング）、RiST（セキュリティ）など様々な分野で活動する4団体により構成されています。情報系の学生として日々新しい技術、知識に挑戦し、成長を目指します。Ri-oneでは、自律移動型ロボットの世界的な競技大会RoboCupにて上位入賞を果たすなどの華々しい活動成果もあげています。連合には、200名を超える情報理工学部生が在籍し、コロナ禍においても常に活発な活動が行われています。

RiSTによるセキュリティ勉強会

RiG++が制作したレースゲーム

卒業生からのメッセージ

サイバー攻撃に対峙し、組織のサイバーレジリエンス向上を支援するコンサルタントとして活躍中。

阿部 拓真 さん

デロイト トーマツ サイバー合同会社 サイバーアドバイザリー
（情報理工学研究科 博士課程前期課程 情報理工学専攻 計算機科学コース 2021年修了、情報理工学部 情報システム学科 2019年卒業）

サイバーセキュリティ分野のコンサルティングサービスを提供する企業において、主にサイバー攻撃の被害を受けた組織に対するインシデント対応の支援業務や、被害状況の把握のための解析業務を担当しています。大学・大学院の授業で得た情報技術に関する幅広い基礎知識と、研究室で学んだサイバーセキュリティやデジタル・フォレンジック※に関する専門的知識が、そのような組織をサイバー攻撃による脅威から守ることにつながっています。目標は、サイバー攻撃を受けた組織に対する包括的なコンサルティングの分野において、業界を代表するようなプロフェッショナルになることです。現在は、難易度の高い業務への挑戦やサイバーセキュリティに関する難関資格の取得を目指しています。

2015年、情報理工学部入学。2019年、情報理工学研究科に進学。2021年、博士課程前期課程を修了し、デロイト トーマツ サイバー合同会社に入社、サイバーアドバイザリー職に就く。主に、サイバー攻撃の被害を受けた組織への解析業務やインシデント対応全般に関するコンサルティング業務を担当。

※ デジタル・フォレンジック：インシデント対応などにおいて、電磁的記録の証拠保全及び調査・分析を行う一連の科学的調査手法・技術。

夢は感情認識技術で心豊かな社会を実現すること社会人学生として博士号取得を目指し勉学中。

大澤 まゆ子 さん

トヨタ自動車株式会社 デジタルソフトウェア開発センタ 電子ハードウェア開発部 サウンド電子システム開発室
（情報理工学研究科 博士課程前期課程 情報理工学専攻 人間情報科学コース 2022年修了、情報理工学部 メディア情報学科 2020年卒業）

当社を志望したのは、車載音声対話システムの開発・改善に、探究してきた音声感情認識の研究を活かせると思ったからです。現在は、車載音声対話システムや車載緊急通報システムで利用されるマイクやスピーカーの開発に携わっています。この仕事には、学部・大学院での学びに加え、学会発表で得た「細かいことに疑問を持つ力」や、留学生支援活動によって培った「現状に満足せずに行動する力」が活かされていると思います。なかでも、情報理工学部留学生支援団体（FSS）の副会長に就任し、後輩や留学生と協力して支援体制の充実を実現したことは、行動力の大切さを再認識する大きな契機となりました。感情認識技術によって社会を心豊かにすることが夢です。2023年には大学院博士課程後期課程に進学し、社会人学生として仕事をしながら博士号取得を目指して勉学に励んでいます。

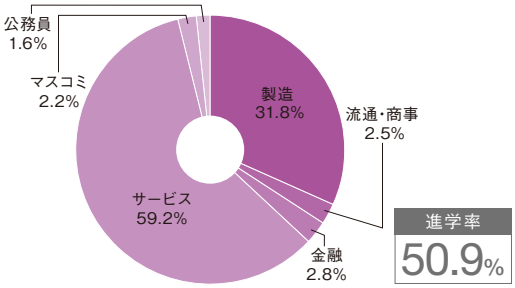
2016年、情報理工学部に入学。2020年、情報理工学研究科に進学。2022年に博士課程前期課程を修了し、トヨタ自動車株式会社に入社、デジタルソフトウェア開発センタ 電子ハードウェア開発部に配属。2023年4月、博士号の取得を目指し，大学院博士課程後期課程に社会人博士枠で進学。

進路・就職状況

専門知識を活かして、幅広い分野・企業で情報化社会の未来を担う。

多くの卒業生が、身につけた高度な情報技術の知識やマネジメント能力、プレゼンテーション能力を、社会とつながりの深いさまざまな分野で活かしています。

［2023年度卒業生　業種別進路決定状況］



◎円グラフの数値は小数点以下第二位を四捨五入により算出。
◎円グラフには研究科を含む。
◎進学率＝[進学者／(就職者＋進学者)]。ただし、進学者には大学院だけでなくその他の進学者を含む。
◎端数処理の関係で100%にならない場合があります。

［2023年度卒業生・大学院修了生　進路・就職先一例］

〈50音順〉

アクセンチュア（株）	Zホールディングス（株）	（株）野村総合研究所（NRI）
アビームコンサルティング（株）	（株）デンソー	（株）博報堂
アマゾンウェブサービスジャパン（株）	東京都	パナソニックホールディングス（株）
（株）NTTデータグループ・（株）NTTデータ・（株）NTT DATA,Inc	TOPPANホールディングス（株）	東日本電信電話（株）
（株）NTTドコモ	トヨタ自動車（株）	富士通（株）
花王（株）	NTT西日本（西日本電信電話（株））	本田技研工業（株）
キヤノン（株）	日本製鉄（株）	マツダ（株）
京セラ（株）	日本電気（株）（NEC）	（株）村田製作所
（株）クボタ	ニデック（株）	楽天グループ（株）
（株）サイバーエージェント	日本アイ・ビー・エム（株）	国家公務員一般職（警察庁）
シャープ（株）	日本テレビ放送網（株）	国家公務員総合職（総務省）
（株）セガ	任天堂（株）	地方公務員（上級職）

びわこ・くさつキャンパス

経済学部

College of Economics

学部HP

■経済学科

国際専攻／経済専攻

取得学位	学士（経済学）
アドミッション・ポリシー	経済学部は、経済学を基軸に社会科学を総合的に学ぶことで、多様性理解力とグローバルな視野を有し、経済センスに裏打ちされた論理的思考力をもって経済社会の諸課題に取り組み、その解決に貢献できる人材を育成することを目的としています。こうした人材育成目的に向けて設定された教育目標とカリキュラムで学ぶため、入学時点において以下の学力、意欲、興味を有することを求めます。 1 経済・社会の問題を分析するために必要な基礎学力 2 経済・社会の問題に対する関心と問題解決に主体的に取り組む意欲 3 他者と協力しながら、ものごとに取り組む意欲 4 論理的なものの見方・考え方に対する興味

「多様性理解力」と「経済的センス」を磨き、国際社会で活躍できる力を培う

世の中には経済学や現実経済に関する多くの書物が出回っています。標準的なテキストから、行動経済学など現在進行中の研究を紹介した啓蒙書、米中貿易戦争など現実の経済活動についての解説書までさまざまあります。つまり、単に経済学や現実経済についての知識を得るだけなら、これらの書物を読めば済み、わざわざ大学に行く必要はありません。では、経済学を大学で学ぶ意義はどこにあるのでしょうか？ 一つ目は、先生や友達など他者との対話を通して、身近な問題に対しても議論を深めることで、さまざまな局面で妥当な判断を下す能力が身につきます。二つ目は、論文やレポート作成を通して、ある社会問題を分析する際、集めたデータをどのように処理し、どの理論を適用し、どのように考察したらよいか、という一連のノウハウが身につきます。三つ目は、異なる考え方に多く触れることで、さまざまな活動で気づいた疑問から「問いを立てる能力」を培うことができます。

上記の能力を養うために、経済学部では次のメニューを用意しています。（1）4年間の小集団教育（基礎演習、実践経済演習、演習、卒業研究）を通して、他者との学びあいを促進します。その集大成として独自のテーマによるゼミナール大会発表や卒業論文作成を行います。（2）自らの興味関心に合わせて受講できるユニット制を通して、皆さんが自発的に学修に打ち込める環境を提供しています。（3）異文化に触れ、複眼的な視野を培う留学プログラムを提供しています。これに外国語で開講される科目を加えた履修プログラム（G-ALPs）も用意しています。（4）キャリアを意識した公務・行政プログラム、財務・会計プログラムを提供しています。（5）学業で培った力を就職活動に活かすためのキャリア支援（メントレ）を多くの卒業生の協力を得て行っています。

経済学部での学びを通して、皆さんも一生涯の友や恩師と出会い、共に学び、充実した学生生活を送られることを願っています。

STUDENT'S VOICE

研究にも、公認会計士試験対策にも全力で取り組みたい。

経済学部を選んだのは人・社会に役立つことを学びたいと考えたからです。専門科目は主にファイナンス分析やビジネス戦略に関する科目を多く履修しています。特に面白いと感じるものの一つが、企業経営における効率的な資金の調達・管理・運営の仕組みや手法を知ることができるコーポレートファイナンスです。ゼミナールでは、「製薬企業の収益性・効率性は労働環境の整備で向上するのか？」をテーマとして論文を執筆しました。最近注目されているESG活動のなかでも、女性管理職比率の向上や在宅勤務制度の導入などの労働面に着目しています。収益性・効率性の上昇のために、どのようなESG活動が必要なのかをデータ分析した結果、フレックスタイム制の導入が有効であることが分かりました。その過程では、授業で得たさまざまな知識を活かすことができ、日々の学びが力になっていることを実感しています。卒業論文は、他の業種にも視野を広げて研究を進めたいと考えています。

課外活動では、入試広報学生スタッフとしての活動に参加しており、オープンキャンパスの運営に携わりました。人前で話す機会が増え、以前よりも堂々と話すことができるようになったほか、想定される出来事を事前に考えるなど視野が広がり、自分自身の成長を感じています。大学に入り、公認会計士試験合格という目標を見つけることができました。社会に必要とされる存在となることを目指して、授業やゼミナール、そして目標達成に向けて、努力し続ける人でありたいと思います。

中村 栄理香 さん
経済学部 経済学科 4回生
富山県立富山中部高校出身

専攻紹介

国際専攻

「外国語＋経済学教育＋海外経験」で、世界で通用する国際人を育成する。

グローバル化の進む経済・社会に対する洞察力・分析力を養うため、独自の外国語プログラムを展開し、海外留学や海外フィールドワークの機会を提供します。特に外国語教育では、英語と中国語のインテンシブコースを設置し、入学直後から現地で「使える」外国語を集中的に学ぶことができます。 ※留学プログラムや海外フィールドワークは内容が変更となる場合があります。

経済専攻

「理論＋現実＋実践」で、現代社会の諸問題を解決する人材を育成する。

社会生活の基盤となっている経済活動のメカニズムや市場の法則を解き明かし、より豊かな社会を創造していくために必要な考え方や手法の基礎を学びます。経済学を中心に法律や経営など他の社会科学や教養までを含めて段階的かつ総合的に学ぶことができます。

詳しくはこちら ▶

［2024年度　教員・研究テーマ一覧］

青木 芳将	経済政策
青野 幸平	ファイナンス、時系列分析、マクロ経済学、金融政策
安達 有祐	都市経済学、地域経済学、応用計量経済学
池脇 信一郎	租税法、税務会計
市野 泰和	国際貿易理論、応用ミクロ経済学
稲澤 泉	政策過程分析論（環境・エネルギー分野）、環境政策学、国際金融論
VIXATHEP Souksavanh	経済発展論、東南アジア経済論、ミクロ経済学
大川 隆夫	応用ミクロ経済学
大塩 量平	西洋経済史、近代ドイツ語圏社会経済史、文化・芸術の経済史
大野 敦	国際政治経済学、開発学、国際経済学
大橋 陽	アメリカ経済史・金融史、アメリカ経済論
小田巻 友子	社会政策
柿中 真	国際経済学
金丸 裕一	近現代中国史、東アジア経済史、アジアの神学
川岸 岳人	マクロ経済学、動学マクロ理論
河音 琢郎	財政学、予算論、租税論
紀國 洋	産業組織論
木原 彩夏	会社法、商法
栗原 由紀子	家政・生活学一般、地域研究、経済統計
黒川 清登	開発経済学、地域経済学、防災経済学
桒田　但馬	地方行財政論、地域経済論、財政学
後閑 洋一	マクロ経済学、マクロ動学の理論、経済成長論
小林 美月	多国籍企業、国際経営、自動車産業、ソフトウェア開発アウトソーシング
言美 伊知朗	マクロ経済学、国際金融論
笹尾 俊明	環境経済学、廃棄物の経済学、循環経済
佐藤 隆	社会経済学、経済理論
佐藤 卓利	社会政策論
佐野 聖香	農業経済学、開発経済学
篠田 剛	財政、公共経済
島田 幸司	環境政策、統合環境評価、環境行動分析

申 雪梅	統計学、財政学、中国経済
杉田 伸樹	日本経済、経済政策
須佐 大樹	公共経済学、公共選択論（政治経済学）
関 麻衣	開発経済学、実証ミクロ計量経済学、教育の経済学、労働経済学
曹 瑞林	中国経済論
高野 剛	社会政策
高屋 和子	現代中国経済研究
竹内 あい	実験経済学、ゲーム理論
寺脇 拓	環境経済学、農業経済学、非市場評価
徳丸 夏歌	社会経済学、経済哲学、実験経済学
中本 悟	アメリカ経済論、国際経済論、国際政治経済学
新形 敦	国際金融論
新田 耕平	経済政策、実験経済学
野村 良一	ミクロ経済学
橋本 貴彦	社会経済学、経済統計学
秦 劼	投資理論、行動ファイナンス
林 裕明	比較経済システム論、ロシア経済論
播磨谷 浩三	金融論、産業組織論
細谷 亨	日本経済史
堀 一三	契約理論
MASWANA JEAN-CLAUDE	開発マクロ経済学、開発理論と政策、グローバル開発課題
松尾 匡	理論経済学
松本 朗	社会経済学、貨幣信用論、国際価値論
峯俊 智穂	観光経済、地域観光学、観光人材育成、世界遺産保護
宮本 十至子	税法、国際課税、EU税法
桃田 朗	マクロ経済学、人口経済学
山井 敏章	近現代ヨーロッパ（特にドイツ）、社会経済史
吉岡 真史	マクロ経済学、日本経済論、開発経済学
LEE Kangkook	経済発展論、国際金融論、東アジア経済

ゼミナール大会

〈研究成果発表を通して、社会で通用する力を鍛える〉

学生同士の知識の深め合いや研究意識の向上、また学部全体での研究力の向上を目的に、例年12月に開催される学術イベントです。毎年100チーム以上、約400名を超える学生が参加します。日ごろの調査・研究の成果を論文としてまとめてプレゼンテーションを展開します。コンテスト形式で評価され、会場は熱気にあふれた雰囲気に包まれます。自らが設定したテーマについて徹底的に研究し、経済の専門家である教員や多くの学部生の前で成果を報告することにより、社会で役立つ課題発見・分析・解決の能力、プレゼンテーション能力を養います。

4年間の学び

経済学科

回生	専攻を決めて入学	1回生	2回生	3回生	4回生
学びの流れ	大学での学び方と経済学の考え方を学ぶとともに、現実の経済事情に触れます。	経済学の基礎を固め、関心ある専門分野の導入科目を学びます。小集団科目を通じて、その後のゼミナール選択につなげます。	ゼミナール「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」「演習Ⅲ」での学修・研究を学びの主軸に置き、計画的かつ主体的にユニット科目を学修することで、自らの学びをつくりあげます。		4年間の学びの集大成「卒業研究」の履修により、課題発見力・課題解決力を養います。
小集団科目	基礎演習	実践経済演習Ⅰ	実践経済演習Ⅱ	演習Ⅰ 実践経済演習Ⅲ 演習Ⅱ 実践経済演習Ⅳ 演習Ⅲ	卒業研究 リクワイヤード経済学Ⅰ・Ⅱ
外国語 国際専攻	英語インテンシブコース 中国語インテンシブコース				
外国語 経済専攻	英語コース 2言語コース				

専門科目

入門科目
- 経済学入門
- 経済史入門

コア科目
- 基礎ミクロ経済学
- 基礎マクロ経済学
- 社会経済学初級α
- 社会経済学初級β

ツール科目
- 分析ツール／経済数学Ⅰ
- 経済数学Ⅱ
- 経済数学Ⅲ
- 情報処理演習
- 基礎統計学
- 情報処理

経済基礎
- 経済学史
- 経済統計Ⅰ
- 計量経済学Ⅰ
- 計量経済学Ⅱ
- ゲーム理論
- 財政学
- 社会経済学Ⅰ
- 日本経済史Ⅰ
- 日本経済史Ⅱ
- 日本経済論
- マネジメント論
- ミクロ経済学Ⅰ
- ミクロ経済学Ⅱ
- 民法Ⅰ
- 民法Ⅱ
- 経済統計Ⅱ
- 社会経済学Ⅱ
- マクロ経済学Ⅰ
- マクロ経済学Ⅱ
- 会計学
- 金融論

ユニット基礎
- 環境経済概論
- 国際政治経済学
- 企業論
- 社会調査論
- 経済政策論
- 社会保障論
- 国際経済学
- 西洋経済史Ⅰ

ユニット展開
- グローバル経済 ユニット
- ビジネス戦略 ユニット
- 経済政策 ユニット
- 環境政策評価 ユニット
- 労働・社会保障 ユニット
- 地域マネジメント ユニット
- ファイナンス分析 ユニット
- 歴史・思想研究 ユニット

国際基礎
- 海外アカデミックプログラム
- 海外フィールドワークプログラム
- 海外インターンシッププログラム

➔ P.092

- 英語ワークショップⅠ
- 英語ワークショップⅡ
- 英語ワークショップⅢ
- 英語ワークショップⅣ
- Introductory International Economics
- Introductory International Political Economy
- International Business
- Introductory Macroeconomics
- Introductory Microeconomics
- Introductory Political Economy
- 中国語経済学入門
- 中国語経済学
- 中国語ワークショップⅠ
- 中国語ワークショップⅡ
- 中国語ワークショップⅢ

キャリア科目
- 簿記入門Ⅰ
- 簿記入門Ⅱ
- キャリアデザイン
- アドバンストミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ
- アドバンストマクロ経済学Ⅰ・Ⅱ

• 上記は2024年度のカリキュラムです。 2025年度は科目名称等が変更になる場合があります。
• 学部の専門科目とは質的に異なる、幅広い分野の知識の修得を目指す科目を多数履修することができます。 ➔ 教養科目 P.130

ユニット制〈多様な経済学分野を体系的に学び、深い専門的知識を身につける〉

経済学が持つ多様な分野をわかりやすくするために、一定の関連性と系統性を持つ科目をパッケージ化しました。学生はゼミナール教員による履修指導のもと、ゼミナールの学修内容と深く関係するユニット科目を履修することで体系的に学ぶことができます。複数のユニットを並行して履修することも可能です。

グローバル経済（18科目）
- Applied Economics
- 開発経済学
- Development Planning and Public Policy 国際開発プロジェクト・マネジメント
- Eurasian Economy
- 国際金融論
- EU経済論
- 国際法
- Japanese Economy
- 国際貿易論
- アジア経済論
- 多国籍企業論
- アメリカ経済論
- 中国経済論
- エリアスタディ特殊講義
- 比較経済論
- オープンマクロ経済学
- 国際課税

経済政策（10科目）
- 貨幣・信用論
- 税法
- 環境経済学
- 経済成長論
- 経済変動論
- 公共経済学
- 行政法
- 商法
- 地域経済学
- 地方財政論

労働・社会保障（9科目）
- 医療経済論
- 企業と雇用システム
- 行政法
- 社会政策
- 生活経済論
- 地域福祉論
- 福祉経済論
- 労働経済論
- 労働法

ファイナンス分析（12科目）
- 会社法
- 保険経済論
- 企業税務論
- リスク管理論
- 金融市場分析実習
- 行政法
- 金融法
- 行動経済学
- コーポレートファイナンス
- 財務諸表論
- 商法
- ファイナンシャルエコノミクス

ビジネス戦略（12科目）
- 会社法
- 商法
- 企業税務論
- 税法
- 行政法
- 組織と制度の経済学
- 経済法
- マーケティング論
- 国際課税
- 行動経済学
- 財務諸表論
- 産業組織論

環境政策評価（9科目）
- 環境経済学
- 食糧経済論
- 環境科学
- 農業経済論
- 環境経営論
- 環境経済評価論
- 環境政策
- 環境評価システム
- 環境法

地域マネジメント（8科目）
- 観光経済論
- 文化経済学
- 行政法
- 地域経済学
- 地域福祉論
- 地方財政論
- 都市・地域マネジメント
- 農業経済論

歴史・思想研究（4科目）
- 社会思想史
- 西洋経済史Ⅱ
- 東洋経済史Ⅰ
- 東洋経済史Ⅱ

科目についての詳細は オンラインシラバス 立命館 検索

外国語の選択

〈国際専攻〉英語インテンシブコース：[必修] 英語 ／ 中国語インテンシブコース：[必修] 中国語、英語
〈経済専攻〉英語コース：[必修] 英語 ／ 2言語コース：[必修] 英語 [選択必修] 中国語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、朝鮮語から1言語

G-ALPs（Global and Active Learning Programs）

経済学部では、外国語運用能力の向上と経済的なセンスを磨くことに重点を置いています。外国語教育や経済学教育に加えて、海外留学やフィールドワークを通じて、国際化した経済・社会に対する洞察力を磨く体系的な国際教育プログラムを用意しています。具体的には、All English（中国語）科目などを含む科目群やグローバル経済ユニットからの受講や、海外留学プログラムへの参加、また異文化交流の機会や留学経験者の体験談を聴講する機会（G-ALPs企画）などがあります。国際専攻以外の方も受講登録可能となっており、経済学部全体での国際教育のレベルアップを目指します。

■経済学部生のための独自留学プログラム

海外アカデミック・プログラム

海外で外国語を学び、
外国語で経済学を学ぶ。

海外の大学などで外国語を集中的に学ぶとともに、現地経済事情を外国語で学ぶことができます。プログラムへの参加を通じて国際分野で通用するコミュニケーション能力や専門性を身につけます。

［2024年度派遣先（予定）］

派遣先国	派遣先機関
オーストラリア	ホーソン・メルボルン英語学校
ニュージーランド	マッセイ大学
アメリカ	ポートランド州立大学
中国	大連外国語大学
中国	東北財経大学

海外フィールドワーク・プログラム

フィールドワークを通じて、
開発や環境の実態に触れる。

経済学部で学んだ知識を活用し、海外で調査・研究・発表に取り組みます。現地の人々と触れ合いながら、プログラムごとに設定されるテーマ（地域格差是正やツーリズム、環境と開発など）に関するフィールドワークに取り組みます。

［2024年度派遣先（予定）］

派遣先国	派遣先機関
タイ	在タイ日系企業
英国	JETRO（日本貿易振興機構）、在英国日本国大使館 他
中国	上海対外経貿大学 他

海外インターンシップ・プログラム

海外ビジネスの現場から、
現代社会の経済を学ぶ。

日本企業・団体の海外オフィスや現地企業で実施するインターンシップです。多様な背景を持つ社員との就業体験や交流、世界の最前線のビジネス経験により、海外で働くことについて体験的に考えることができます。

［2024年度派遣先（予定）］

派遣先国	派遣先機関
アラブ首長国連邦	日系・現地石油開発会社

※年度によって実施プログラム・派遣先が変更となる可能性があります。

専門キャリアプログラム

高度な専門性を求められる分野に関して、専門的キャリアの意識付けを行うために、2つのプログラムを設置しています。学びの集団を形成し、難関試験に挑む学生を支援します。

財務・会計プログラム

税理士や公認会計士、国税専門官、企業の財務担当職など高度な専門職を目指す人材を養成するプログラムです。簿記2級の資格取得を目指す科目などを用意しています。

公務・行政プログラム

行政において求められる知識と能力を高めるとともに、高い志を持って公務に携わることが出来る人材を養成するプログラムです。予想される進路は国家公務員や地方公務員などがあります。

■卒業生による経済学部就職活動応援企画「メントレ」を実施

社会の第一線で活躍する卒業生の協力を得て、学生の就職活動を組織的に支援。

年間を通じて「自己の価値を社会の中でどう活かすか」について考える経済学部独自のキャリア企画です。特に2日間にわたり全国から多くの卒業生を招き、自己分析の深堀り、エントリーシートの添削、面接の指導など、就職活動に必要な準備を行います。先輩だからこそできる熱血指導に学び、参加者は就職活動において抜群の成果を上げています。

卒業生からのメッセージ

ライフステージごとに異なる
幅広いニーズに対応できる、ジェネラリストへ。

川越 萌美 さん

三井住友信託銀行株式会社 金沢支店 コンサルティング営業課
（経済学部 2022年卒業）

留学制度をはじめ学生を支援する仕組みが充実しているところに魅力を感じて立命館大学を志望しました。1回生の時、海外フィールドワーク・プログラムに参加しました。イギリスで働く方の話を聞く機会があり、やりたいことがまだ見つかっていなかった私にとって、将来について考えるきっかけとなりました。大学時代に力を入れたのはゼミナールでの研究活動です。グループで外食産業2社を比較・分析し、論文にまとめ、プレゼンテーションを行いました。集団で1つのことに取り組むことで、各々の長所を活かしながら、より良いものを生み出すプロセスを体感できたことは大きな収穫でした。現在、資産の形成・運用・管理、相続など多様なサービスを提供する業務に従事していますが、各分野のスペシャリストと連携する場面でゼミナールでの経験が役立っています。

2018年、経済学部に入学。2020年、学部横断の課題解決型プログラムに参加。異なるバックグラウンドを持つメンバーとの議論を通して多様な考え方に触れる。2022年4月、お金に関わるニーズにワンストップで対応可能なところに惹かれて、専業信託銀行である三井住友信託銀行株式会社に入社。

未来の子どもたちが安心して暮らせる
安定的な食料供給を目指して。

村岡 孝紀 さん

農林水産省 輸出・国際局 輸出支援課
（経済学部 2022年卒業）

農林水産物・食品の輸出を円滑化するための業務に携わっています。小学生の時に食料自給率について学んだことを機に食料安全保障への興味が芽生え、日本の「食」を支える仕事に就きたいと思い続けてきました。その実現に向け力となったのは、2回生の時に受講したエクステンションセンターの公務員講座です。仲間と切磋琢磨しながら効率的に勉強できたことで、3回生の時、国家公務員総合職試験に合格し、志望していた農林水産省への入省がかないました。大学のゼミナールでは、日本の農業が抱える問題やその解決策について、仲間と活発に議論を交わしました。業務遂行の過程では自分の意見を求められますが、授業で身につけた専門知識やゼミナールでの経験が活きています。目標は、日本の食料安全保障について自分なりの答えを見いだすことです。さまざまな観点から食料供給について考えられるよう、学び続けていきます。

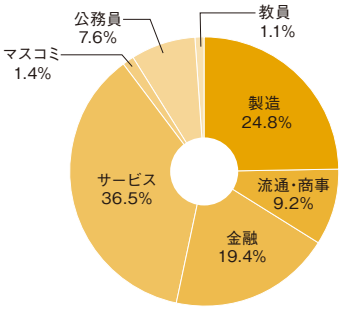
2018年、経済学部に入学。農業への強い興味から農業経済ゼミナールに所属し、「滋賀県での農業従事者における法人化の状況と問題点」の研究に取り組む。2022年4月、「生命を支える『食』と安心して暮らせる『環境』を未来の子どもたちに継承する」という理念に共感し、農林水産省へ入省。

進路・就職状況

経済学で培ったセンスと分析力を活かして、多様なフィールドで活躍。

多くの卒業生が、世界と日本の経済の仕組みに精通する人材として、幅広い分野で活躍しています。

［2023年度卒業生　業種別進路決定状況］



◎円グラフの数値は小数点以下第二位を四捨五入により算出。
◎端数処理の関係で100%にならない場合があります。

［2023年度卒業生　進路・就職先一例］

〈50音順〉

有限責任あずさ監査法人	トランスコスモス（株）	（株）ベイカレント・コンサルティング
川崎重工業（株）	NTT西日本（西日本電信電話（株））	（株）みずほフィナンシャルグループ
関西電力（株）	西日本旅客鉄道（株）	（株）三井住友銀行
（株）キーエンス	（株）日本政策金融公庫	三井住友信託銀行（株）
（株）京都銀行	日本年金機構	三菱重工業（株）
独立行政法人国立病院機構近畿グループ	（株）ニトリ	（株）村田製作所
（株）JTB	日本生命保険相互会社	リコージャパン（株）
（株）滋賀銀行	野村證券（株）	ローム（株）
シャープマーケティングジャパン（株）	パナソニックホールディングス（株）	国家公務員一般職（独立行政法人 造幣局）
大和証券グループ	（株）ファーストリテイリング	国税専門官
有限責任監査法人トーマツ	富士通（株）	地方公務員（上級職）
トヨタ自動車（株）	（株）船井総合研究所	教員

びわこ・くさつキャンパス

スポーツ健康科学部

College of Sport and Health Science

学部HP

■スポーツ健康科学科

取得学位	学士（スポーツ健康科学）
アドミッション・ポリシー	スポーツ健康科学部は、スポーツ健康科学の教育・研究における智の融合を通して、人々の健康、幸福な社会、ならびに平和な世界を創造するとともに、志高く未来を拓く人材を育成することを目的としています。この目的を実現するために、以下のような素養を有した学生を求めます。 1 論理的に考える基礎的素養を身につけ、スポーツ健康科学分野を学ぶために必要な学力を有する学生 2 多様な価値観を持った人々及び異分野の人々と融合した学びに、意欲的に取り組むことができる学生 3 社会課題の解決及び社会貢献のために、スポーツ健康科学分野の学びに主体的に挑戦する意志を持つ学生 4 自身の持ち味を理解し、自身の持っている人間的魅力を発揮する意欲を持つ学生

「ヒト・ひと・人」を科学し、健康と幸福、世界平和に貢献する

スポーツ健康科学部では「ひと」が健康的で豊かに暮らすことを実現するため、生物学的な「ヒト」の最小単位である細胞や遺伝子から、臓器、人体、さらに「人」の集合体である集団まで、社会の幅広い課題について、多様な学問分野を連携させ、科学的に解決策を導き出していきます。例えば、世界規模の課題である肥満、生活習慣病といった健康の諸問題に対し、運動・身体活動効果のメカニズムを学んだ上で、地域の方々を対象にした運動教室を開催して健康を保つためのプランを提案するなど、実践的な研究を通して社会貢献を行っています。また、地域単位での運動やスポーツ習慣の定着・継続といった喫緊の課題に対する取り組みとして、教育学やマネジメント分野の知見を活かし、さまざまな組織・チームを専門的な観点から教育、マネジメントするといった実務的な視点からの学びを実践しています。さらに、スポーツ競技力の向上のために不可欠な、最先端の科学的手法の確立やサポートについての学びなど、「スポーツ」や「健康」を総合的に学修することが可能です。

これらの学びにより、人々の健康、幸福な社会、平和な世界を創造することを目指し、その実現のために“CREA”というビジョンを掲げ、これを実現できる学生を育成したいと考えています。“CREA”とは、「産む、創造する、引き起こす」などの意味をもったラテン語“creare（クレアーレ）”を語源にもつ現代イタリア語で「創造」を意味し、それぞれの頭文字には、「Collaboration（異分野を紡ぐ）」「Resiliency（主体的に挑む）」「Edge（智を極む）」「Attraction（ひとと組織が輝く）」という想いが込められています。

STUDENT'S VOICE

米国公認アスレティックトレーナー資格取得に向け、GATプログラムで米国の大学院へ。

「アスリートの怪我に関してサポートをする仕事がしたい」。漠然とそう考えて大学選びをしていた時に見つけたのが、米国公認アスレティックトレーナーの医療従事者と、その資格を目指せるスポーツ健康科学部のGATプログラム※です。日本にいながらアメリカの大学のアスレティックトレーニングに近い内容が学べることに惹かれて、立命館大学スポーツ健康科学部を志望しました。

正課の授業では、興味のある人体に関して、解剖学や生理学、スポーツ医学を学んでいます。他にも、栄養学や心理学などのさまざまな分野をスポーツの観点から学べるのが、この学部の魅力です。アスレティックトレーニングについて、実践を交えながら英語で学ぶ授業もあります。

学びを通して、スポーツ健康科学に関する知識が深まったのはもちろんのこと、論文を読んだり、情報を収集したりする機会が多いことから、情報の信頼性を見極める力もついたと感じます。英語論文を読み、英語で発表する機会も多いので、英語運用能力も向上しました。

GATプログラムでは、主にアスレティックトレーニングに関連する内容と英語を学んでいます。大学に在籍するアスレティックトレーナーのもとでオブザベーションを行う機会もあるので、実際の仕事の様子を知り、授業での学びを実践で活かすこともできる恵まれた環境です。

将来の目標は、アスレティックトレーナーになり、人々がけがで苦しまずにスポーツや身体活動を行えるようサポートすることです。そのため、アメリカの大学院に進学して米国公認アスレティックトレーナーの資格を取得し、プロスポーツや大学スポーツで経験を積みたいと思います。スポーツ以外の、例えばパフォーマンスの現場なども経験してみたいと夢はふくらんでいます。

長谷川 貴子 さん
スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科 3回生
京都市立西京高校出身

※GAT（Global Athletic Training）プログラム：立命館大学の学士号と提携先米国大学院の修士号を取得し米国公認アスレティックトレーナー（BOC-ATC）の資格取得を目指す独自の留学プログラム → GATプログラム P.097

4年間の学び

多様な学問分野を連携させ、科学的に解決策を導く

系統的なカリキュラムで低回生時には基礎的学力を鍛えるだけでなく、1回生秋学期より専門的な科目を学び始め、高回生時には多様な関心や目指す進路に応じて学びを深めます。4つの領域（スポーツサイエンス領域・健康運動科学領域・スポーツ教育学領域・スポーツマネジメント領域）からなる専門科目を、所属に縛られることなく横断的に学び、その学際的な学びを応用し「分野を超えた挑戦」を実践します。

スポーツ健康科学部	回生			1回生		2回生		3回生		4回生	
	セメスター			春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
	学びの流れ			将来へ向けて視野を広げ、経験する 大学へ入学し、設定した目標や夢を実現するために基礎力を養う時期です。高校での学修を基礎とし、新しい学びに触れることができます。		「進路」へのイメージを掴む 「自分のテーマでスポーツ健康科学する」を実行し、PBL科目で主体性を磨きます。社会との関わりを通じて、掲げた目標達成のために挑戦をします。		進路選択へ向けてキャリアを考える 就職活動や教員採用試験等、卒業後の進路が明確化されていく時期です。また、ゼミナールに所属し、興味のある分野を深めることができます。		キャリア形成の確立・研究成果の発信 「卒業論文」の執筆に向け、実験や調査を繰り返していく時期です。少人数制のゼミナールのため、教員と一体となって研究を進めることができます。	
	基礎科目	外国語科目		英語P1 英語S1	英語P2 英語S2	英語P3 英語S3	英語P4 英語S4				
	専門科目	基盤科目	講義	スポーツ健康科学原論 ヒト・ひと・人の倫理と哲学 身体の構造と働き ヘルスプロモーション （衛生学および公衆衛生学を含む）	スポーツ健康科学とデータサイエンス スポーツ健康科学と未来						
			演習	基礎演習Ⅰ	基礎演習Ⅱ						
		領域科目	スポーツサイエンス領域		スポーツサイエンス概論	バイオメカニクス論	スポーツ生理・生化学	トレーニング科学 パフォーマンス測定評価方法論	スポーツ情報科学		
			健康運動科学領域		健康運動科学概論	健康運動栄養・生理学（基礎健康科学）	運動・栄養処方論（応用健康科学）	健康運動評価方法論 スポーツ医学	生活習慣病論		
			スポーツ教育学領域		スポーツ教育学概論	インクルーシブ体育・スポーツ論	スポーツコーチング論	スポーツ栄養教育学 スポーツ心理学	スポーツ教育実践学		
			スポーツマネジメント領域		スポーツマネジメント概論	組織心理学	ビジネス戦略論	マーケティング論 リサーチメソッド	ソーシャルイノベーション論		
			演習					専門演習Ⅰ	専門演習Ⅱ	専門演習Ⅲ	専門演習Ⅳ 卒業論文
		融合科目	講義・演習			PBLⅠ	PBLⅡ				
		プロフェッショナル・キャリア形成科目		簿記入門		スポーツ健康科学セミナー インターンシップ（国内） インターンシップ（海外） サービスラーニング クリニカルAT インターンシップ（国内） クリニカルAT インターンシップ（海外）	エクササイズプログラミング実習Ⅰ	学校保健学 エクササイズプログラミング実習Ⅱ スポーツ指導実習A（球技：ゴール型） スポーツ指導実習A（球技：ネット型） スポーツ指導実習A（武道） スポーツ指導実習B（器械運動） スポーツ指導実習B（陸上競技） スポーツ指導実習B（水泳） スポーツ指導実習B（ダンス） インクルーシブ体育・スポーツ実習 インターンシップ（健康運動指導士）			

• 上記は2024年度のカリキュラムです。2025年度は科目名称等が変更になる可能性があります。
• 学部の専門科目とは質的に異なる、幅広い分野の知識の修得を目指す科目を多数履修することができます。 ➔ 教養科目 P.130

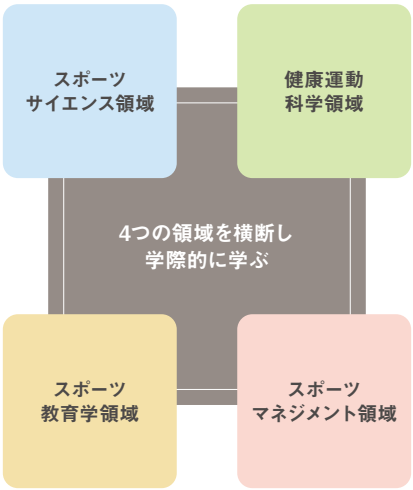
科目についての詳細は オンラインシラバス 立命館 検索

外国語の選択

［必修］英語
スポーツ健康科学分野において国際レベルの研究活動の主要言語である英語を専修とし、英語運用能力とコミュニケーション能力の向上を目指します。

■4つの領域を融合したスポーツ・健康科学を学ぶ

理学・工学・保健衛生学・医学・体育学・教育学・経済学・経営学・栄養学など総合的・学際的な領域である、スポーツ・健康科学分野を幅広く学びます。



スポーツサイエンス領域

- 生理学
- トレーニング
- スポーツ情報科学
- バイオメカニクス

スポーツパフォーマンス向上に資する生理学／生化学／力学／工学領域の最先端知見やその融合について学びます。スポーツパフォーマンスの向上に資する専門的知識と実践力を身に付け、加えて他領域の学びとの連携の中でスポーツ健康科学の未来を拓きます。

健康運動科学領域

- 運動・栄養処方
- 生活習慣病予防
- スポーツ医学
- 健康増進

人々の幸福、豊かな生活を実現する上で「礎」となる健康科学の理論と実践を担う学問領域です。健康の維持・増進に関する運動・身体活動や栄養の効果およびメカニズムを学んだ上で、個人や地域社会における健康問題、健康ニーズを把握し、人々の生活の質（QOL）の向上や疾病および傷害予防に貢献します。

スポーツ教育学領域

- スポーツ心理学
- インクルーシブ
- コーチング
- スポーツ栄養教育学

文化・歴史・哲学・倫理などの人文学とスポーツ教育学・コーチング学・スポーツ心理学・栄養スポーツ教育学等の社会科学におけるスポーツ教育学分野に関する理論や最新の知見を学びます。スポーツ教育の実践を基盤としながら、人と社会を他者や他分野と共に育みます。

スポーツマネジメント領域

- マーケティング
- ビジネス戦略
- ソーシャルイノベーション
- 組織心理学

社会や組織、スポーツ、人がつながり合う・紡ぎ合うために必要な哲学・考え方やストラテジーについて学びます。新しい社会や組織のあり方、そしてスポーツの新展開を「創造」し、それを「発信・実現」します。

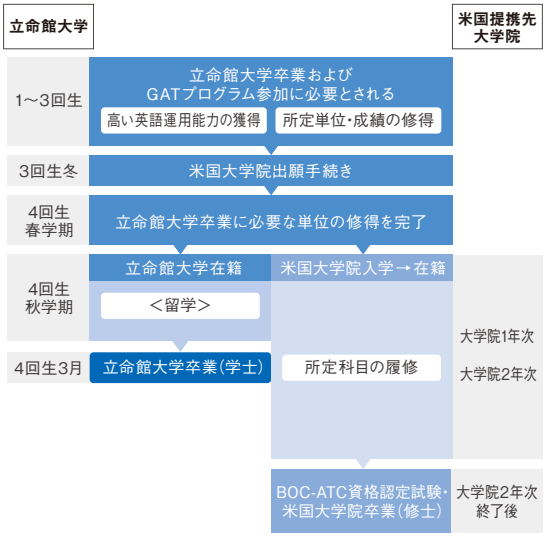
国際的に活躍できる米国のアスレティックトレーナーの資格取得を目指す

〈グローバル・アスレティックトレーニング（GAT）プログラム〉

GATプログラムは、BOC-ATC（the BOC credential of “Athletic Trainer Certified”：米国公認アスレティックトレーナー）という資格取得を積極的に支援する、本学部独自の画期的な留学プログラムです。米国公認アスレティックトレーナーは、プロスポーツ選手から一般の人々の、活動（運動）中に起こる外傷の救急措置、傷害や疾病の予防・認知・評価、そしてリハビリテーションなどに関わる専門職であり、理学療法士や看護師などと同じ準医療従事者です。BOC-ATCの資格を得るためには、CAATE※1公認のカリキュラムを持つ大学院を修了し、BOC※2による資格認定試験に合格する必要があります。

本プログラムは、CAATE公認のカリキュラムを備えた大学院を持つ米国の大学院※3と提携し、4回生の春学期終了時までに立命館大学の卒業に必要な単位の修得を終え、夏頃から同大学院へ留学し、立命館大学の学士号と同大学院の修士号の双方を取得することで、BOC-ATCの受験資格を得られるよう設計されています※4。また、GATプログラム参加を目指す皆さんを支援する「GAT Step-Upコース」を用意し、立命館大学在学中から、専門性、高い英語運用能力及びグローバルな視野を獲得し、国際的に活躍できるアスレティックトレーナーの育成を目指しています。

※1 CAATE：The Commission on Accreditation of Athletic Training Education
※2 BOC：Board of Certification, Inc.
※3 2024年3月現在の提携先：East Stroudsburg University of Pennsylvania（ESU）・Spalding University（SU）・The University of North Carolina at Greensboro（UNCG）
※4 所定の基準を満たした場合にのみ申請可能な早期卒業制度を利用した場合は、フローが異なります。



※上記は一例であり、大枠を記載した略図です。
実際の詳細なスケジュールは立命館大学及び米国提携先大学院の学年暦に準じます。
※本学入学後、最終的に2つの学位を取得するには、
少なくとも5年数カ月を要することとなります。

GAT プログラム 詳細はこちら ▶

自分のテーマで主体的に学ぶ

PBL科目

PBL（Project/Problem Based Learning）は、スポーツ健康科学部で学んだ知識とスキルを実践の現場で活用する授業です。2回生の1年間を通じ、自分のテーマを持ってプロジェクトをつくり上げていきます。実際のスポーツ競技のパフォーマンス分析や健康指導に関わるアセスメント、運動実施に伴う生理応答や運動と認知機能の関係、子どもたちにスポーツを教えるプロジェクトやチーム・マネジメントを実践するプロジェクトなど、各自の関心のあるテーマを突き詰め、社会的・学術的に意義のあるプロジェクトを生み出すことを目標としています。さらに、このプロジェクトの経験を3・4回生の専門演習（ゼミナール）・卒業研究に結実させていくことができます。

キャリア形成と学びの融合

プロフェッショナル・キャリア形成科目

スポーツ健康科学分野におけるより高度な専門性を身につけ、習得した知識とスキルを実践で活かします。また、スポーツ健康科学分野に関連する資格取得や実践に不可欠な知識とスキルを身につけ、自らのキャリアを切り拓くために必要な知覚と感性を磨きます。

■ 国内・海外でのインターンシップ

現場での就業体験を通して、学んだ理論をどのように活用できるのかを実感できるインターンシップを国内外にて実施。「クリニカルATインターンシップ（海外）」では、米国公認アスレティックトレーナーのもと、英語で専門的な研修を積み、コミュニケーション能力や実践力を高めます。

■ スポーツ指導実習

教職を目指す学生が体育授業やスポーツにおける指導方法を学び実践します。指導者の視点に立ち、対象者の動きを「観察→分析→解釈→指導（表現）」することを学びます。

最先端の教育・研究を実現する

スポーツ健康科学部の実験・研究施設は、「インテグレーションコア」という建物に集中しており、最先端の機器や設備を導入した、可能性に満ちた教育環境です。多様な実習科目や研究活動で利用します。

■スポーツパフォーマンス測定室

ハイスピードカメラやモーションキャプチャなどで運動動作の計測・解析を行います。

■栄養調理実習室

競技力向上につながるメニューを実際に調理でき、「食育」の実践にも活用します。

■低酸素実験室

低酸素下でのトレーニングが身体に与える影響を解析します。

■MRシステム

体内の状態や脳内の働きを調べ、高度な研究に活用します。

■エネルギー代謝測定室

1日のエネルギー消費量を正確に測定することが可能です。

■トレーニング指導実習室

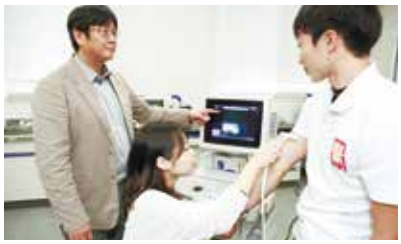
機器を使ったトレーニング指導技術を習得することができます。

■スポーツ健康指導実験室

筋パワーや持久力を測定する装置や、人間の体型を3次元で解析する装置などがあります。

■超音波診断装置

運動前後の血管の健康状態や筋肉・脂肪の厚さなどを測定します。



■BKCスポーツ健康コモンズ

日本水泳連盟公認の室内温水プールや流水プールがあり、学んだ「理論」を実地確認できます。

詳しくはこちら ▶

[2024年度　教員・研究テーマ一覧]

スポーツサイエンス	
家光 素行	運動および栄養摂取の効果と機序解明に関する研究
伊坂 忠夫	スポーツ競技力ならびに日常活動を高めるための応用バイオメカニクス
後藤 一成	競技力向上および健康増進のためのトレーニングやコンディショニングに関する研究
塩澤 成弘	スポーツ・健康・医療分野の生体計測センサ／デバイスに関する研究
長野 明紀	人体の運動制御のメカニズムに関する研究、運動機能向上のための工学的支援
藤田 聡	効率的な骨格筋肥大を目的とした運動と栄養摂取に関する研究
健康運動科学	
真田 樹義	生活習慣病および介護予防のための運動処方研究、異分野の連携がもたらす価値創造
篠原 靖司	機能解剖学的アプローチによるスポーツ傷害に関する研究
清家 理	1. 認知症の人と家族に対する非薬物介入と効果検証（認知症や抑うつ進行予防） 2. Community design for Diversity & Inclusion and Well-being
橋本 健志	競技力向上や健康増進のための有効な運動・栄養処方の開発に関する研究
眞下 苑子	スポーツ傷害の予防とパフォーマンス向上
村上 晴香	運動行動誘発を通した健康づくりに関する研究

スポーツ教育学	
上田 憲嗣	子どもの身体と運動の発育発達と体育・スポーツ指導に関する研究
海老 久美子	栄養的支援と食教育の効果についての研究
大友 智	スポーツ指導場面・体育学習場面における教授・学習に関する研究
河井 亨	「大学生の学びと成長」に関する理論的・実証的・実践的研究
笹塲 育子	競技力向上を目的としたメンタルトレーニングの効果およびスポーツにおける対人援助に関する研究
永浜 明子	「ひと」についての問い、インクルーシブおよびアダプテッド体育・スポーツのあり方、運動が苦手な児童・生徒の体育づくり
山平 芳美	諸外国におけるスポーツおよび体育科教育に関する研究
スポーツマネジメント	
安 邦	スポーツ消費者経験のビジネスおよび社会的アウトカムに関する研究
種子田 穣	プロスポーツビジネスモデルの研究
長積 仁	スポーツとまちづくりの相互補完的関係に関する研究
平井 祐理	企業におけるデータ利活用に関する研究、オープンイノベーションに関する研究
山浦 一保	信頼ベースのリーダーシップとチーム力向上に関する心理学的研究
英語科目担当教員	
祐伯 敦史	言語理解や習得のプロセスについて研究・解明する

卒業生からのメッセージ

「健康」という壮大なテーマと出会い 健康価値を世界に提供できる人材を志す。

西澤 侃 さん

カゴメ株式会社 広域営業統括部広域営業一部営業1グループ
（スポーツ健康科学部 2014年卒業）

スポーツが好きで選んだ学部でしたが、入学後は「健康」という壮大なテーマに出会いました。人々の健康な暮らしを実現するためには「食」と「運動」のアプローチが必須であることを学んだことが、食品メーカーであるカゴメに就職するきっかけとなりました。現在は全国の小売店に新商品や販売促進の提案を行う営業を担当しています。就職活動時には講師の招聘や他学部の内定者と交流するプロジェクトを自ら立ち上げました。問題の核心を推察する能力や課題解決を推進する実行力など、自身の強みを自覚できる機会になったと感じています。プロジェクトの立ち上げにつながったのは、挑戦者を応援する風土が学部にあったからこそです。国内外から集まる多様な人材や夢中になれる学びとの出会いも、日々の仕事を支える大きな力になっています。商品企画を通じて市場を拓き、海外での事業拡大に貢献することが将来の目標です。

2010年、スポーツ健康科学部に一期生として入学。先輩がいないため自ら立ち上げた就活対策プロジェクトは、現在も学部独自の就活対策プロジェクトとして継続中。2014年、カゴメ株式会社入社。全国の小売店に向けた営業を担当し、新商品や販売促進の提案を通じて商品の価値を伝え、PB商品の開発も手がける。

スポーツの力で世界中の人々を幸せにしたい。 いつかは地球規模の課題に取り組む研究者に。

今井 彩乃 さん

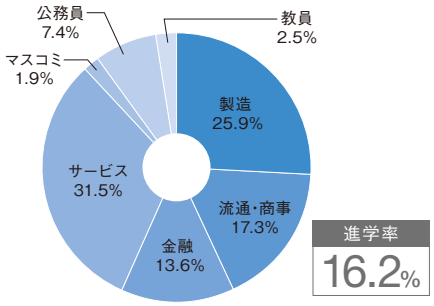
株式会社アシックス スポーツ工学研究所 人間特性研究部
（スポーツ健康科学研究科 博士課程前期課程 2023年修了、
スポーツ健康科学部 2021年卒業）

水泳競技を続けてきた経験から、日本のスポーツの発展に貢献したいと考えてスポーツ健康科学部に進学しました。学部での4年間は、研究と競泳部での活動の両立のために努力と工夫を重ねました。アスリートを支える仕事に就きたいと考えるようになったのは3回生の時です。研究機関のインターンシップでトップアスリートをサポートしたことがきっかけです。大学院では、スポーツ競技者のパフォーマンス向上を目的とした低酸素トレーニングの研究に注力。国内外の学会で研究発表を行いました。現在は世界的なスケールで事業展開しているアシックスのスポーツ工学研究所で、幅広い年齢層を対象にしたサービス開発などを担当。学生時代に身につけた、自身の知見を論理立てて相手に伝えるスキルや相手の意見を吸収する柔軟性が活かされています。「スポーツの力で世界中の人々を幸せに」をテーマとして日々研究に取り組んでいます。

2017年、スポーツ健康科学部に入学。2021年、スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻に進み、2023年3月に修了。同年、株式会社アシックス入社。現在はスポーツ工学研究所人間特性研究部人間特性研究チームで、ウェルネス基礎研究などに携わっている。

進路・就職状況　確かな専門知識とグローバルな視野を備えた人材には、多様な進路が広がっている。

［2023年度卒業生　業種別進路決定状況］

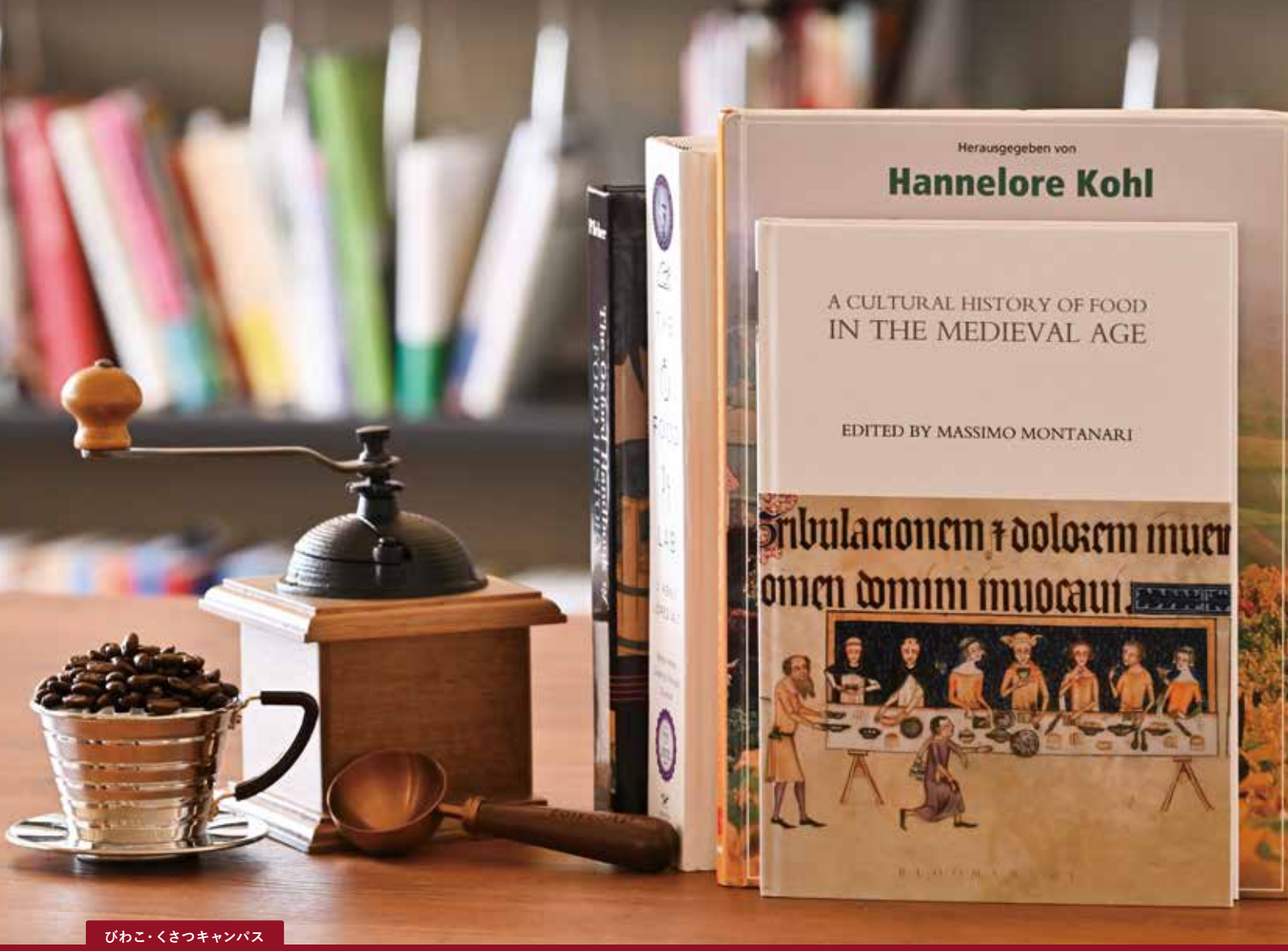


◎円グラフの数値は小数点以下第二位を四捨五入により算出。
◎進学率＝[進学者／（就職者＋進学者）]。ただし、進学者には大学院だけでなくその他の進学者を含む。
◎端数処理の関係で100%にならない場合があります。

［2023年度卒業生　進路・就職先一例］

〈50音順〉

アクセンチュア（株）	第一生命保険（株）	丸大食品（株）
アルフレッサ（株）	（株）日本アクセス	ミツカングループ（(株)Mizkan J plus Holdings）
（株）アルペン	日本電気（株）（NEC）	三菱電機（株）
ウエルシア薬局（株）	（株）ニトリ	森永乳業（株）
（株）NTTドコモ	日本生命保険相互会社	ヤンマーホールディングス（株）
キユーピー（株）　総合職	野村證券（株）	ユニ・チャーム（株）
京セラ（株）	久光製薬（株）	（株）リクルート
グンゼ（株）	（株）ファーストリテイリング	（株）りそな銀行
興和（株）	富士ソフト（株）	（株）ローソン
（株）J-オイルミルズ	富士フイルムメディカル（株）	国家公務員一般職（財務省）
（株）滋賀銀行	（株）ベイカレント・コンサルティング	地方公務員（上級職）
ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ	北海道旅客鉄道（株）	教員



びわこ・くさつキャンパス

食マネジメント学部

College of Gastronomy Management

学部HP

■食マネジメント学科

取得学位	学士（食マネジメント）
アドミッション・ポリシー	食マネジメント学部の人材育成目的に共感し、食についての幅広い興味や関心を抱き、社会と関わる食についての諸分野を統合的に学び、現代社会において実践的な行動力を発揮できる者を募集します。具体的には次の通りになります。 1 食に関わる分野について強い興味や関心を抱き、食科学を主体的に学ぶ知的好奇心を有する者 2 経済・経営への興味をもち、食マネジメント学部に関わるマネジメント、カルチャー、テクノロジーの諸科目を理解するために必要となる基礎的な知識および技能を有する者 3 5教科（国語、外国語、数学、理科、社会）、さらにそれ以外の教科も含めて、社会や文化に関連する内容や自然現象に関連する内容に関心を持ち、幅広く基礎的な学習をしてきた者 4 文化多様性への理解を示し、修得した統合的な知性を、国内外において積極的に受発信し実践する意欲と、そのための思考力・判断力・表現力・コミュニケーション能力を持つ者

食を多面的に捉え、広く深く理解する。

人間社会に広く深く結びついている食。食マネジメント学部では、食を「フードマネジメント」、「フードカルチャー」、「フードテクノロジー」の3つの観点から多面的に捉えます。3つの観点全てを総合的に学ぶことで、食への広く深い理解を促します。

グローバル化する食の供給・消費のしくみや地域の役割、経営技法を学びます。社会に最適な政策や食に関わる組織のあり方を考えます。

文化的・地理的・歴史的な視点から食を学びます。食の多様性と奥深さを知り、食と人の織り成す文化を理解します。

人の認知の側面と、栄養学や調理科学の側面から食にアプローチ。人が安全においしく食べるとはどういうことかを科学的に理解します。

例えば、コーヒーを提供するカフェを経営するには…

- うまみ成分、香り、音や色彩がおいしさに繋がるメカニズムを理解し、幸福感・充実感に結び付くコーヒー作りや店の内装を考える。
- 日本や世界各地のコーヒーの飲み方、歴史など、多様なコーヒー文化を理解し、このカフェでどのような文化や価値を創造するのか考える。
- 以上を踏まえて、出店場所、仕入れ、調度品、豆や機器、焙煎方法、容器、提供価格などを決定する。

このようにコーヒーやカフェへの多面的な知識と理解により、顧客に愛されるカフェを「マネジメント」することが可能になります。

STUDENT'S VOICE

「世界をおいしく、おもしろく」する医療食のスペシャリストを目指す。

10代で大きな病気を経験したことで、食が健康に与える影響を肌で感じました。食を通じて健康を支える商品やサービスを提供できる専門家になりたいと考えるようになり、立命館大学の食マネジメント学部へ入学しました。食を「マネジメント」「カルチャー」「テクノロジー」の三領域から学べることが選択理由の一つです。印象に残っているのは「食品学」。例えばリンゴの糖度を糖度計や吸光度で比較したり、ゲル化を利用したこんにゃく作りを行ったり、食品の特性を実際に体感できる興味深い講義です。「コーオプ演習」では連携企業に対する企画立案とプレゼンテーションに挑戦。困難でしたが自信をもって提案できたことはうれしい経験になりました。

もともと料理をすることや食べることが好きだったのですが、学部での学びを通じて食の可能性はもちろん、将来的な課題も膨大であることを知りました。なかでも食糧不足は深刻ですが、代替食品で対応していくには消費者の心理的なハードルや規制の整備など、乗り越えるべき壁もたくさんあり、1つの可能性を広げていくことの大変さについても講義を通して学ぶことができました。

現在は、生体内の生理機能に関わる必須のミネラルである「リン」が食事における摂取でどのように機能するかについて研究しています。健常者、病床者を問わず適切なリン摂取を提案することで健康的な食の推進の一端を担うことができるはずです。学部のコンセプトにもある「世界をおいしく、おもしろく」が示すように、食は本来、身体だけではなく心も満たすものです。将来は医療食の分野へ進み、食を通して病気などで苦しむ人々の身体と心、両方に健康を届けたいと考えています。大学院進学を視野に、食の生理的な機能について研究を進めていくつもりです。

天藤 真琴 さん
食マネジメント研究科 博士課程 前期課程 1回生
埼玉県立浦和第一女子高校出身

学部の学び

「フードマネジメント」、「フードカルチャー」、「フードテクノロジー」の総合的な学びと実社会に通じたアクティブな学びで、課題解決力・実践力を身につけます。

■ ガストロノミックスタディプロジェクト

企業、地方自治体や海外の教育機関などとの連携のもと、グループ活動を通じて課題を見出し、実践する科目です。課題解決力や、異文化理解能力、コミュニケーション能力を磨きます。

プログラムテーマ（一例）

- SNS時代の食のコミュニケーション
- 食とサステナビリティ
- 食のブランディングと観光まちづくりへの応用
- 茶席菓子、門前菓子を作る

■ 総合講義

食文化、ビジネス、地域経営、起業、ジャーナリズム、国際展開などをテーマに、食に関わる現場で活躍する実務家、企業の役員の方、研究調査を行っている方など多様なゲストを招くリレー講義です。食の持つ可能性に視野を広げ、学部での学びが現場にどのようにつながるかを総合的に理解することができます。

学部独自の海外プログラム

希望者を対象に、専門科目「ガストロノミックスタディプロジェクト」において、海外プログラムを実施します。各国・地域の食文化や食産業・ビジネスについて学ぶ実践的なプログラムです。

［開講予定プログラム］

オーストラリア、イタリア、ベトナム、シンガポール、ブルガリア

専門演習（ゼミナール）

3回生から始まる「専門演習（ゼミナール）」は、1・2回生までの学びや知識を担当教員の下で、より深めることができます。所属クラスは多種多様な演習テーマの中から、個人の問題意識や興味・関心に基づき、自分自身で選択します。専門演習で身につけた知識や経験が卒業研究に繋がっていきます。

PICK UP! 高田ゼミ

「食による地域デザイン」を演習テーマとしている高田教授の専門演習（以下、高田ゼミ）では、三重県伊勢市の中心市街地を対象にフィールドワークや研究活動を行っています。毎年、高田ゼミの3回生が伊勢やまだ大学（伊勢市商店街連合会）と連携し、近年は、コロナ後の新たな賑わい創出を目指すワークショップやカフェなどの社会実験に取り組みました。4回生になると、3回生での経験を活かして、各自の関心がある「食」と「地域」についてテーマを決定し、卒業研究に取り組んでいます。

高田教授のコメント

私のゼミでは、一つのプロジェクトを協力して成し遂げることの大変さと楽しさを経験してほしいと思っています。そして「食」が地域活性化の重要なコンテンツになることも実感してください。

［所属ゼミ生からの声］

フィールドワークや卒業研究でのヒアリング調査、中間発表を通して、「話を聞き出す力」や「疑問を見つける力」、「論理的に組み立てる力」を身につけることができました。

地域の方々とのディスカッションを通じて、インターネットで調べるだけでは得られない“生の声”をたくさん聴くことができました。そして、地域のことを内側から深く知ることができました。

就活体験談や卒論の進め方の発表などを通してゼミ内の先輩と後輩が交流する機会があり、先輩が経験してきたことを学べることはとても貴重でした。

その他の正課・正課外活動について詳しくはこちら ▶

卒業研究

卒業研究は4年間の学びの集大成として位置づけています。各自が興味関心をもとにテーマ設定をして、専門演習（ゼミナール）を中心に研究を進めます。

［2023年度優秀論文者のテーマ（一例）］

フードマネジメント

- 日本の農業におけるダイレクトマーケティング導入の可能性と課題
  ―北海道富良野市の寺坂農園を事例として―
- 多様化するこども食堂の在り方と活動の意義
  ―奈良県のこども食堂における取り組みについての考察―
- 「無添加」情報は食品の購買行動に影響を及ぼすのか
- 介護食の現状と課題

フードカルチャー

- 中国語 SNS による日本ジビエの普及促進
  ―リストランテコンテを事例とした中国人観光客向けのプロモーション戦略―
- 富山の民話とそれに関する食文化の形成
- 「レシピ本から見たアフリカの食文化～食文化の継承と栄養改善～」
- 家庭料理・飲食店からみるすだちの特徴

フードテクノロジー

- 冬眠時に増加するビタミンD化合物が筋分化機能発現に及ぼす影響
- 動物性食品と共通する風味特性に着目した植物性食品の食味の計測と評価
  ―ビーフシチューを試料とした検討―
- 食品添加物が創出する価値の社会的影響
- 大学女子陸上競技選手における居住形態別にみた栄養素等摂取量および競技レベルの比較

4年間の学び

食マネジメント学部

回生	1回生	2回生	3回生	4回生
学びの流れ	〈学びの転換期〉大学での学修習慣を身につけ、必修科目を通じて基礎的素養を身につけます。 〈入門期〉フードマネジメント科目の基幹科目と、フードカルチャー、フードテクノロジーの各領域を学ぶために必要となる基礎的知識の科目を学修します。	〈基礎期〉食科学の3つの領域の専門科目を、基礎から発展の段階に応じて学びます。	〈発展期〉食科学の3つの領域を関連付けて総合的に理解し、演習につなげていきます。	〈総合期〉4年間の学びの集大成としての卒業研究を行い、思考力・判断力を身につけます。
英語	Study Skills α 1 Study Skills α 2 Study Skills β 1 Study Skills β 2 CALL1 CALL2	English Workshop English for Career Development		
第2外国語（イタリア語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、中国語、朝鮮語から1語種選択）	第2外国語基礎1 第2外国語基礎2 第2外国語展開1 第2外国語展開2			
専門科目 フードマネジメント科目 基幹科目	経済学入門（※） 経営学入門（※） 統計学入門（※） 食科学入門（※） 食科学概論 ミクロ経済学 マーケティング論 マネジメント論 簿記入門	エコノメトリックス 行動科学 マクロ経済学 市場調査法 アカウンティング		
専門科目 フードマネジメント科目 展開科目		意思決定論 食と環境 経営組織論 経営戦略論 マーケティングマネジメント論 食の安全 食と現代社会	行動経済学 国際経済学 ファイナンス 資源循環論 農業経済学 人的資源管理論 組織行動論 管理会計論 食の生産管理 フードデザインマネジメント論 アグリビジネス 流通論 消費者行動分析 サービスマーケティング論 食品開発 食品安全管理 パブリックヘルス 美食ビジネス 食と嗜好飲料	
専門科目 フードカルチャー科目	食科学のための資史料論	食科学のための フィールドワーク論 食の地理学 食の文化人類学 食の歴史学	食のエリアスタディⅠ 食のエリアスタディⅡ 食と民族 食と郷土	食の思想と文芸 食の世界史 食の日本史
専門科目 フードテクノロジー科目	食科学のための生物学	食科学のための化学 おいしさの調理学 栄養学 食品学 食と心理学	食と健康 応用栄養学 食事機能科学	官能評価学 食認知科学 食行動科学
専門科目 総合科目	総合講義Ⅰ（世界の食と経済） 総合講義Ⅰ（日本の食と経済）	総合講義Ⅱ（食ビジネスの現在） 総合講義Ⅱ（食ビジネスの国際展開）	総合講義Ⅲ（地域経営） 総合講義Ⅲ（起業）	総合講義Ⅲ（食とジャーナリズム）
専門科目 小集団科目 専門外国語科目		Gastronomic Sciences Ⅰ Gastronomic Sciences Ⅱ	Gastronomic Sciences Ⅲ Gastronomic Sciences Ⅳ	
専門科目 小集団科目 プロジェクト科目		ガストロノミックスタディプロジェクトⅠ	ガストロノミックスタディプロジェクトⅡ ガストロノミックスタディプロジェクトⅢ	
専門科目 小集団科目 演習科目	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ	入門演習Ⅰ 入門演習Ⅱ	専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ	専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ
専門科目 小集団科目 卒業研究				卒業研究（※）

（※）は必修科目

- 上記は2024年度のカリキュラムです。今後、科目名称等が変更になる可能性があります。
- 学部の専門科目とは質的に異なる、幅広い分野の知識の修得を目指す科目を多数履修することができます。 ➔ 教養科目 P.130

科目についての詳細は オンラインシラバス 立命館 検索

外国語

[第一外国語] 英語
[第二外国語] イタリア語／フランス語／スペイン語／ドイツ語／中国語／朝鮮語 から1語種

詳しくはこちら ▶

[2024年度 教員・研究テーマ一覧]

フードマネジメント	
天野 耕二	食をめぐる資源循環や環境影響
井澤 裕司	食選択の構造、食文化形成における行動経済学的分析
太田 達	文理融合の観点から食の経営戦略における分野横断的かつ新たな学問領域の開拓
小沢 道紀	地域の食に関わるマーケティングおよびマネジメント
金井 壽宏	働く個人も組織も幸せになるための組織行動
工藤 春代	食のリスク管理、フードシステム研究
酒井 絢美	食関連企業の財務会計・監査に係る研究
嶋田 敏	サービスプロセスの品質管理に向けたサービス工学、サービスマネジメント
高田 剛司	都市・産業政策、観光まちづくり、フードツーリズム、商業エリア活性化
谷垣 和則	食を含むグローバル企業の展開、グローバル化と各国文化の尊重
西村 直子	行動・実験経済学、食品などのリスク選択、持続可能性のためのフューチャーデザイン
張本 英里	アジアにおける日系食品企業のマーケティング戦略、伝統的市場での流通戦略
松原 豊彦	カナダの穀物・油糧種子産業とアグリビジネス、日本農業・農村の第6次産業化
吉積 巳貴	持続可能な地域づくり、住民参加型環境管理、持続可能な発展のための教育（ESD）
SUR PRAMOD KUMAR	開発経済学、労働経済学、食を含む発展途上国での問題に関する研究
フードカルチャー	
荒木 一視	食の地理学、フードシステム、フードチェーン、大規模災害、食の安全保障
阿良田 麻里子	食文化の人類学的研究、インドネシアの食文化、ハラール、グローカル化
石田 雅芳	イタリア食文化、スローフード運動、イタリア近代美術史
鎌谷 かおる	漁業史、人と自然の関係史、近江国の歴史、食の日本史
木村 裕樹	食と地域に関する民俗学的研究、日本の職人と民具
南 直人	ドイツを中心としたヨーロッパの食の歴史研究、食文化研究全般
安井 大輔	食と農の社会学的研究、フードスタディーズ、食に関する社会調査の方法論
YOTOVA MARIA Ivanova	文化人類学、経営人類学、食のナショナル・アイデンティティ化
フードテクノロジー	
國枝 里美	食品における匂いの役割と人の味嗅覚の役割、官能評価、消費者調査
筒井 俊之	疫学的アプローチを用いた食の安全に関する研究
増山 律子	骨・カルシウム恒常性維持に必要な栄養条件の検討
保井 智香子	健康教育、栄養教育、健康スポーツ科学
山中 祥子	食物に対する潜在認知、食行動変容、食育
和田 有史	人間の五感による感覚・知覚メカニズム、消費者認知
英語科目担当教員	
宇佐美 彰規	グローバルビジネスの現場における英語での異文化間コミュニケーション問題
大和田 和治	英語教育学、異文化遠隔教育
清水 裕子	英語教育学、言語テスト、English for Academic/Specific Purposes
中国語科目担当教員	
加部 勇一郎	中国文学、物語と図像、児童文化

施設・プログラム

学部独自の施設

人の味覚や嗅覚、食品リサイクル、調理に関するフードテクノロジー関連授業で使う実習室をはじめ、アクティビティやグループ学習のためのスペースなど、学部独自の施設・設備を揃えています。

■官能評価実習室

食品フレーバーの特徴や違いについて人の感覚や嗜好を測定できる実習室です。

■ライブラリーギャラリー

学部の学びを深める展示や書籍のある学習スペースです。

■ハーブガーデン

食べられるハーブや実験に使用する果樹類を栽培しているガーデンです。

■ラボキッチン

授業での調理実習のほか、授業外のアクティビティにも使えるキッチンです。

■ナポリのピッツァ窯

講習会などの課外活動で利用するナポリのピッツァ窯をキャンパス内に設置しています。

■調理学実習室

食材をよりおいしく調理するための知識・技法を学びます。

グローバル・カリナリーアーツ・アンド・マネジメント・プログラム

文化と料理の関係を考察するガストロノミーやホスピタリティマネジメントの国際的な教育機関、ル・コルドン・ブルーと立命館大学が共同で展開するプログラムです。食マネジメント学部で開講する指定12科目と、ル・コルドン・ブルーが本プログラムのために開講する7科目を修了し、食マネジメント学部の卒業要件を満たすことにより、国際的に通用する修了資格、“Advanced Diploma of Culinary Arts and Management”が授与されます。日本国内の大学でル・コルドン・ブルーとの本格的な提携をしたのは、食マネジメント学部が初めてです。

本プログラムではガストロノミーについて、文化的・科学的背景を含めた知識の修得や、キッチンオペレーション・食品安全・調理などの技術修得が可能です。また特徴的な講座として、テイスティングを含むワイン学や、将来のキャリア形成に活かすことができる食関連企業などでのインターンシップがあります。

※本プログラムはカリキュラムとは別の「課外プログラム」です。大学の学費とは別に、プログラム受講料、ユニフォーム費などが必要です。
※2025年の開講については改めてお知らせします。不明点があれば食マネジメント学部事務室（077-561-4801）までお問い合わせください。

受講生の声

食の現場で身につけた実践的マネジメント能力が将来の可能性を広げる。

私は自身のマネジメント能力を高めたいと考え、このグローバル・カリナリーアーツ・アンド・マネジメント・プログラムの受講を決めました。このプログラムでは、調理現場での実習など、さまざまな経験を通じて、調理技術のみならず社会人として必要なマネジメント能力を養うことができます。緊張感ある調理現場を体験できたのは私にとって貴重な財産となりました。座学では決して学ぶことのできない経験をできるのがこのプログラムの魅力です。私はこのプログラムを通じて、「自己のマネジメント」と「チームのマネジメント」という2つのマネジメント能力や、物事を論理的に進めるための「ロジカルシンキング」の能力を身につけることができたと考えています。これらの能力は、食業界のみならずあらゆる分野で発揮できるものであり、自分の将来の可能性を大きく広げることができたと思います。

喜田 大輝 さん
食マネジメント学部 食マネジメント学科 4回生
大阪府・清教学園高校出身

卒業生からのメッセージ

食に関する専門知識を活かし、おいしさと健康の両面から食の楽しさをより多くの人に伝えたい。

甲斐 美琴 さん

森永乳業株式会社 営業本部 食品素材統括部 広域営業グループ
（食マネジメント学部 食マネジメント学科 2023年卒業）

私は食べることが大好きで、夢は食品関連企業で働くことでした。森永乳業の「人々に食を楽しんでもらいたい」という理念に共感し、志望しました。現在は、レストランやスイーツ店、コンビニなどに生クリームやチーズなどの原料製品を販売する営業を担当しています。社名は商品に表示されませんが、多くの人々の食に影響を与えていることにやりがいを感じています。大学受験では、食について幅広く学べるのはここしかないと思い、食マネジメント学部を志望しました。ゼミナールを横断したプロジェクトでは、梨パフェの商品開発とキッチンカーでの販売を行い、モノづくりから食べた人の笑顔に至るストーリーを体感しました。食に関する専門用語や法律、またフードビジネスの流れなど、学生時代に身につけた知見は今の仕事に活きています。これからもより多くの人に食の楽しさを伝えたいと考えています。

2019年4月、食マネジメント学部に入学。ゼミナール「食の心理学」和田有史教授。2回生の時にフードロスをテーマとしたレシピ提案コンテストで優秀賞。2023年3月、食マネジメント学部を卒業し、4月に森永乳業株式会社入社。営業本部 食品素材統括部 広域営業グループに配属。

専門性の高い業務と多様な経験で日本の大動脈をサポートするアソシエイト職の中心的人材に。

宮川 愛璃沙 さん

東海旅客鉄道株式会社 関西支社管理部人事課
（食マネジメント学部 食マネジメント学科 2023年卒業）

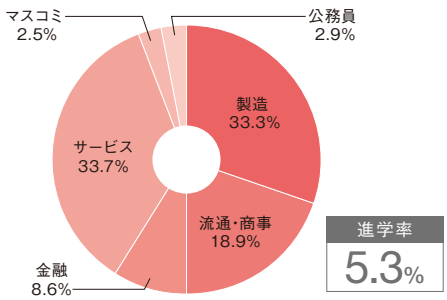
私がJR東海を選んだのは、日本の大動脈を支えるという社会貢献度の高さはもちろん、さまざまな業務経験を通じて知識の幅や視野を広げることができるアソシエイト職に惹かれたからです。現在は、関西地区の新幹線関係の運行管理や営業等に関わる関西支社管理部人事課に所属し、社員を人事面からサポートしています。経営学と食、異なる興味から進路に迷っていた受験期、立命館大学に食マネジメント学部が新設されたことを知り入学を決めました。最も力を注いだのはインターンシップです。食品ロスの削減と規格外野菜の商品化に向けた改善策を模索しました。商品の試作や販売先の調査、販売イベントなどの取り組みを通じ、自分で考え行動する力とチームワークの重要性を実感しました。立命館大学で培った広い視野や自主的な行動力、そして経験のすべてが現在に活きています。異なる仕事に挑戦し、知識と視野をさらに広げていきたいと考えています。

2019年4月、食マネジメント学部に入学。インターンとして規格外野菜の6次化製品開発と販売、食品ロス削減に取り組む。2023年3月に卒業した後、東海旅客鉄道株式会社に入社。現在は、関西支社管理部人事課に所属。新幹線関係の運行管理や営業に関わる社員の給与や昇進、降格、休職、退職などの人事基準の運用を担当。

進路・就職状況

高度なマネジメント能力と実践的な行動力を身に付けて、食業界に限らず、幅広い分野で活躍しています。

［2023年度卒業生　業種別進路決定状況］



◎円グラフの数値は小数点以下第二位を四捨五入により算出。
◎進学率＝[進学者／（就職者＋進学者）]。ただし、進学者には大学院だけでなくその他の進学者を含む。
◎端数処理の関係で100%にならない場合があります。

［2023年度卒業生　進路・就職先一例］

〈50音順〉

アイリスオーヤマ（株）	サッポロビール（株）	（株）平和堂
赤城乳業（株）	（株）ゼンショーホールディングス	（株）星野リゾート・マネジメント
アサヒビール（株）	大和証券グループ	マルハニチロ（株）
味の素AGF（株）	（株）ニップン	ミツカングループ（(株)Mizkan J plus Holdings）
（株）伊藤園	日本通運（株）	（株）村田製作所
（株）イトーヨーカ堂	（株）ニトリ	山崎製パン（株）
（株）NTTドコモ	日本食研ホールディングス（株）	ヤマザキビスケット（株）
（株）オイシス	はごろもフーズ（株）	（株）ゆうちょ銀行（日本郵政グループ）
（株）神戸屋	（株）日立システムズ	ユニ・チャーム（株）
コーセー化粧品販売（株）	（株）ファーストリテイリング	（株）LIXIL
コカ・コーラボトラーズジャパン（株）	フジパングループ本社（株）	（株）りそな銀行
国家公務員総合職（消費者庁）	（株）ブルボン	（株）ローソン

びわこ・くさつキャンパス

理工学部

College of Science and Engineering

学部HP

［数学物理系］■数理科学科（数学コース／データサイエンスコース）
■物理科学科

［電子システム系］■電気電子工学科
■電子情報工学科

［機械システム系］■機械工学科
■ロボティクス学科

［都市システム系］■環境都市工学科
■建築都市デザイン学科

取得学位	数学物理系…学士（理学）、電子システム系・機械システム系・都市システム系…学士（工学）
アドミッション・ポリシー	理工学部は、数学と理科の確かな学力と論理的思考力を兼ね備えた、以下のような意欲的な学生を求めています。 1 旺盛な好奇心と鋭い問題意識を持ち、物事の本質をよく理解し、課題を見つけようと努力する者 2 科学技術や社会の動向に関心を持ち、幅広い視野から創造的に物事をとらえようとする者 3 他人の立場が理解でき、寛容な精神を持ち自己を律することができる者 4 確かな自分の意見を持ち、新しいことに挑戦する気構えがある者

確かな基礎と幅広い応用力を身につけて、技術開発の第一線で活躍

めまぐるしいスピードで科学技術が変化・進展を続ける今、最先端の知識・技術を身につけても、短期間で時代遅れとなります。大切なのは、未知の理論や新技術を探求し応用する力であり、それらを自分のものとして修得するために必要な理工系共通の基礎的な学力と、論理的思考力・分析力を身につけていることです。確かな基礎を築いておけば、新しいことも専門分野以外のことも吸収して、研究開発の第一線で長期にわたって活躍できます。理工学部でこうした基礎および対応力を身につけることは、将来、自らのキャリアを多方面に展開することにつながり、強みとなります。イノベーションは、従来の理論や技術の延長だけではもはや難しく、自身の専門と異なる分野を横断的に眺める機会を持つことこそが、新価値創造に向けての目を養う訓練になります。それができるのも理学から工学まで、ハードウェアからソフトウェアまで幅広く学問分野を持っている理工学部だからこそ。

今後、科学技術の研究・開発を担う人材は、高いレベルの外国語運用能力が必要です。高い次元での外国語によるコミュニケーション能力を身につけるため、専門分野をより意識した学科独自の外国語教育を充実させています。

さらに、学部から大学院までの6年間を見据えた一貫性のあるカリキュラムを展開し、専門領域の学びを基礎から応用へと深める教育を行っています。4回生から所属する研究室では、学部生と大学院生がチームで研究を行い、知識と技術の修得を確かなものにするとともに、技術者・研究者に必要なコミュニケーション能力を磨きます。

STUDENT'S VOICE

医療への貢献を目標に、集積回路の設計に取り組む。

中学生の頃から電気の分野に興味があり、将来的に集積回路の勉強がしたいと考え、理工学部電気電子工学科に入学しました。大学院への進学は、理系に進むと決めた時から視野には入れていたのですが、４年で研究室に入り、本格的に研究に携わる中で、「好きなことを学ぶのに1年では物足りない、研究をもっと深めたい」という思いが強まり、決意しました。

現在の研究テーマは「細胞インピーダンス計測のためのCMOS（シーモス）集積回路設計」です。この研究が成功すれば、難病の治療を手助けできるかもしれません。というのも、難病患者の新規治療法開発をはじめとした医学薬学分野での研究開発において、細胞を傷つけずにその状態を計測する方法である、「細胞インピーダンス計測」技術が有効な手段となりうるからです。私が主に取り組んでいるのは、この計測に用いるアナログデジタル変換回路（ADC）の設計です。すでに研究は最終段階に入っており、シミュレーションでの動作確認も終了しました。これから実証実験を行う予定です。開発したものが医療の現場で用いられることを目標にしてきたので、その夢に少しずつ近づいている実感はあります。しかしここで満足しているわけではありません。さらなる成長を目指し、研究を続けていくつもりでいます。

学部時代に電子回路以外にもパワーエレクトロニクスや通信工学、光システムなど幅広い分野の専門知識と技能を系統的に習得できたことが、大学院での医療分野に資する回路の研究につながりました。電気工学は医療、環境・エネルギー、化学など多様な方面に応用でき、イノベーション創出にも貢献できる学問なので、多くの人に興味を持って学んでほしいと思っています。

北原 可奈子 さん
理工学研究科 電子システム専攻
博士課程前期課程 2回生
静岡県立韮山高校出身

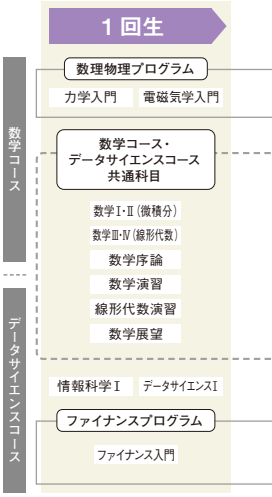
数理科学科（数学物理系）

※2020年度より、数理科学科は数学コースと、データサイエンスコースの2コース制となりました。

幅広い領域での数学の研究・活用を通して人類の福祉と発展に貢献する。

海外からの招聘教授による講義

本学数理科学科は、前身の数学物理学科の時代から、研究者・教員・公務員・技術者などの幅広い領域で活躍する卒業生を輩出してきました。数学という普遍的性格をもつ学問を学ぶことで身につく論理的思考力と発想力が、それぞれの現場で活かされています。特に、確率論・数理ファイナンスの教育カリキュラムによって金融関連分野を得意とする卒業生が多いことが本学科の著しい特長です。2020年度より導入されている2コース制でも現代数学の修得が軸となっており、低回生で学ぶ線形代数と微積分学を基礎として、より専門的な代数学・幾何学・解析学を学んでいきます。さらに、データサイエンスコースでは、確率論・数理ファイナンスを軸としてデータサイエンスを基礎から学べます。また、数学コースでは、教員・研究者志望者を対象とした少人数ゼミや数理物理学を系統的に学べるプログラムが配置されています。



物理科学科（数学物理系）

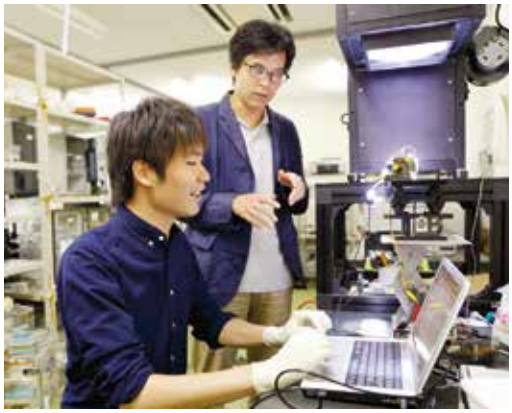
すべての自然科学と工学の中心に、物理学がある。

最先端の専門的研究に取り組む

物理学は、自然現象に潜む法則性を明らかにし、宇宙・地球・物質・生命・社会などの「この世界はどのように成り立っているのだろうか」という本質的な問いに答えようとする学問です。めまぐるしく変化し多極化する現代社会を生き抜くための、普遍的で強靭な知的基盤を修得できるのが物理科学科です。本学科では、系統的な専門科目の学修を通じて、全ての自然科学と工学を支える、力学、電磁気学、熱統計物理学、量子力学などの基礎概念を修得します。さらに、多彩な物理学実験、データ計測・処理・解析、プレゼンテーションなどを通じて、論理的かつ定量的な思考力とその実践的な応用力を身につけます。自然の仕組みに関する深い洞察力を養い、科学と技術を架橋する広々とした学問的視野を身につけることで、より良い社会の創出に貢献する人材を育成することが、物理科学科の教育目標です。

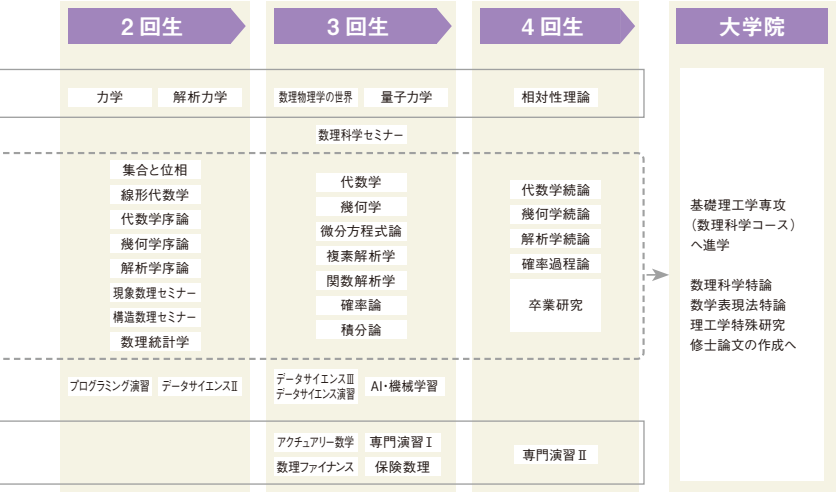
電気電子工学科（電子システム系）

電気電子工学の技術の進化に寄与する、想像力豊かなグローバルリーダーを目指す。



卒業研究の様子（新型太陽電池の性能評価）

電気電子工学は、エネルギー・情報通信などの社会基盤を支える極めて重要な分野です。本学科は、電気電子工学をはじめとする科学技術全般の発展ひいては現代社会の福祉・発展に貢献し、次世代をリードする技術者・研究者の輩出を目標としています。専門知識・技能の修得のためのカリキュラムを整えるとともに、新技術の創造に繋がる研究の場を提供しています。本学科の学生は、数学、物理、情報を根幹とする基礎を学んだ後、「電子デバイス」「電子システム」「光システム」「通信システム」「環境・エネルギーシステム」「情報」に関する科目群を通じて専門知識と技能を系統的に修得します。さらに研究活動を通じて、技術の急速な進歩・多様化にいち早く対応し新技術を開発できるための創造性・問題解決能力を養います。

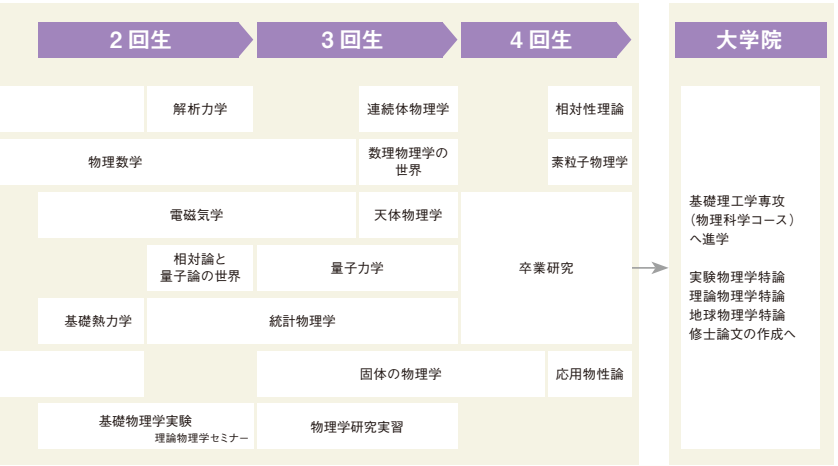


・上記は科目名ではありません。　・「卒業研究」は必修です。卒業には上記以外も学ぶ必要があります。
・上記は2024年度のカリキュラムです。

［2024年度　教員・研究テーマ一覧］

◆ 青井 久	フォンノイマン環の構造解析
★ 赤堀 次郎・鈴木 良一・小山 翔平・田村 勇真	確率論
◆ 大坂 博幸・水口 洋康	関数解析、作用素論、作用素環論
● 加川 貴章・林 太郎	代数学（整数論、代数幾何学）
★ KOHATSU-HIGA Arturo・中川 卓也	金融など多様な分野に応用できる新しいシミュレーション方法
★ 佐藤 寛之	数理最適化
■ 多羅間 大輔・本永 翔也	力学系理論、幾何解析とその応用
■ 野澤 啓・高橋 典寿・野本 統一	力学系、群作用、微分幾何
■ 福本 善洋	ゲージ理論のトポロジーへの応用
◆ 藤家 雪朗	微分方程式の漸近理論
★ 安富 健児	確率論及び数値解析
◆ 渡部 拓也	複素領域における微分方程式

●代数系／■幾何系／◆解析系／★応用数学系

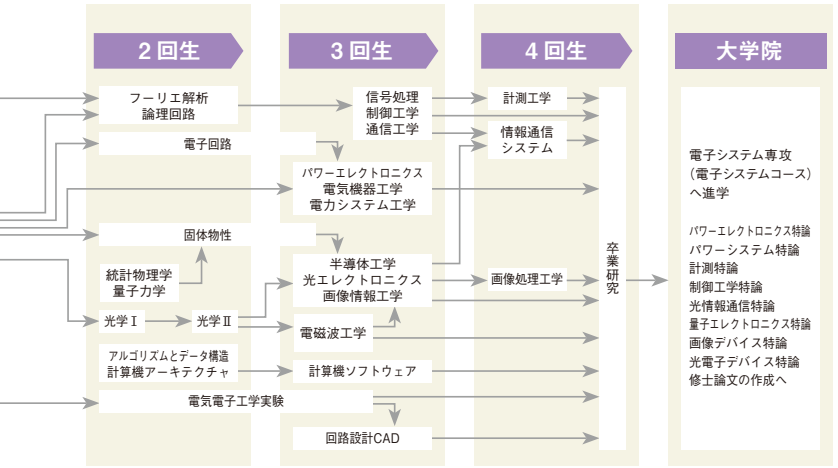


・「卒業研究」は必修です。卒業には上記以外も学ぶ必要があります。　・上記は2024年度のカリキュラムです。

［2024年度　教員・研究テーマ一覧］

● 池田 浩章	高温超伝導体、新しい量子相の発見を目指して
■ 今田 真・中田 惟奈	電子状態の分光によるスピン物性の機構解明
◆ 川方 裕則	地震発生メカニズム・地震波の伝わり方
■ 是枝 聡肇・根間 裕史	先端的レーザー分光法を用いた誘電体素励起の励振と精密測定
● 清水 寧	非線形動力学　原子分子の運動に潜む非統計性
● 菅原 祐二・横山 修一	超弦理論（超ひも理論）と素粒子の統一理論
■ 滝沢 優	放射光励起による原子軌道状態制御
■ 中田 俊隆	メゾ領域の相転移、界面現象の研究
■ 平井 豪	実験物理学・物理実験教育
◆ 根本 泰雄	観測地震学・理科教育
■ 深尾 浩次・吉岡 潤	ソフトマターの構造形成とダイナミクス
■ 森 正樹・川内 紀代恵	高エネルギー天体物理学、系外惑星を主とした光赤外線天文学
● 藪 博之	場の量子論による研究、ミクロからマクロまで
◆ 吉田 晶樹	地球内部ダイナミクスの数値シミュレーション
● 和田 浩史	生命の動き、かたち、パターンを物理と数学で解き明かす

●理論物理学／■実験物理学／◆地球物理学



・「卒業研究」は必修です。卒業には上記以外も学ぶ必要があります。　・上記は2024年度のカリキュラムです。

［2024年度　教員・研究テーマ一覧］

▲ 荒木 努	21世紀を担う最先端の半導体エレクトロニクス研究
● 今井 茂	単電子デバイスの動作に関する理論研究
● 宇野 重康	ナノエレクトロニクス技術とそのバイオ応用
■ 岡野 訓尚	サイバーフィジカルシステムの解析、設計、制御手法
▲ 柿ヶ野 浩明	電力供給システムへのパワーエレクトロニクス応用
▲ 川畑 良尚・清水 悠生	インテリジェントパワーエレクトロニクス
★ 久保 幸弘	衛星測位およびその応用技術に関する研究
★ 佐野 明秀	光ファイバ通信システムに関する研究
■ 高山 茂	センシングネットワークによる計測システムの応用展開
■ 鷹羽 浄嗣	大規模ネットワークシステムのモデリング、推定、制御
◆ 瀧口 浩一	光信号処理技術と光・THz帯通信、センシングへの応用
■ 田口 耕造・中本 トラン	環境発電デバイスの高性能化に関する研究
◆ 沼居 貴陽	光と電子の相互作用の工学への応用
● 野坂 秀之	6G時代のアナログ新回路アーキテクチャの研究
■ 福水 洋平	安全・安心社会のためのマルチメディア応用技術
▲ 峯元 高志・河野 悠	高効率薄膜太陽電池の研究と屋外実証評価
● 毛利 真一郎	原子層半導体の物性解明と次世代デバイス応用
◆ 渡邊 歴	光を利用した加工、センシング、イメージングへの応用

●電子デバイス／■電子システム／◆光システム／★通信システム／▲エネルギー

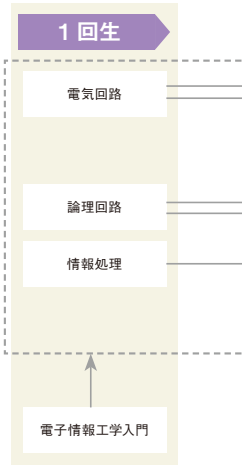
［全学科共通］学部の専門科目とは質的に異なる、幅広い知識の修得を目指す科目を多数履修することができます。 → 教養科目 P.130

電子情報工学科（電子システム系）

「エレクトロニクス」「コンピュータ」「情報通信」3つの分野のプロフェッショナルとして世界で活躍する。

AIを組み込んだ電子情報システムの設計

「エレクトロニクス」「コンピュータ」「情報通信」は、安心・安全な社会基盤を実現するための重要な技術分野です。電子情報工学科では、これら3分野を柱とする幅広い専門領域において教育・研究を実践しています。近年の、エネルギー、地球温暖化など地球規模の問題から、医療、情報セキュリティなど個人レベルの問題まで、それらを解決するには、数学や物理学の根本原理を理解し、電気・電子回路、コンピュータやソフトウェアなどの専門知識、ネットワーク通信やシステムLSIに関する応用知識を身につけ、電子回路設計やプログラミングなどの実践的な技術を磨くことが必要不可欠です。あらゆる分野で必須となるこれらの専門知識・技術を身につけ、国際的にも活躍できる、我が国を支える技術者を育成します。



機械工学科（機械システム系）

最先端のテクノロジーを学んで産業・工業のあらゆる分野で人間生活を支える。

ナノテク材料の評価実験

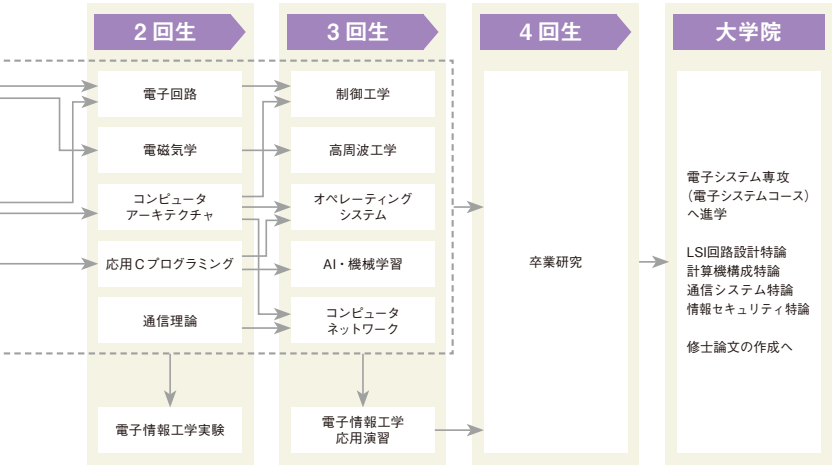
機械工学はものづくりの「原点」を担う学問であり、新素材、高効率エンジン、マイクロ・ナノスケールでの超精密加工技術、人間の頭脳のような判断力を持った制御システムといった先端技術を含めた、産業・工業のあらゆるフィールドを支えています。本学科では、材料、設計・生産、制御・システム、環境・エネルギー、ナノテクノロジーといった分野をしっかりと学ぶことで、工学の研究に欠かすことのできない基礎を修得できます。工学分野の事象を多角的に捉えられるように、幅広い視点と知識を身につけることができる教育・研究を展開しています。機械工学や関連する学際領域における最先端の研究に向けて、高度な専門知識を身につけ、研究開発を通じて、実践的なスキルの修得を目指します。

ロボティクス学科（機械システム系）

工学分野を広範囲に学び幅広い領域で活躍するロボット開発に挑む。

飛行ロボットとその産業応用に向けた研究

1996年に設立された、日本初のロボティクス学科です。現在、1,600名を超える卒業生が、機械、電気、情報、医療・福祉などの幅広い分野で活躍しています。ロボティクス学科のカリキュラムでは、ロボットの基本である機械工学をはじめ、電気・電子工学、情報技術や、今後ますます重要となる人間支援技術の基礎をバランス良く学修します。さらに、センサ、アクチュエータ、コンピュータ等の要素を統合してロボットを構築するための科学と技術を修得します。多様な先端テクノロジーに精通し、それらを統合して、産業用の製造ロボットをはじめ、宇宙・海洋開発や原子炉内の点検、家事や医療・福祉などの新しいロボット開発に活かせる問題発見能力・問題解決能力を持った技術者・研究者の育成を目指しています。このような幅広い知識を有する人材は、産業界からも強く求められています。

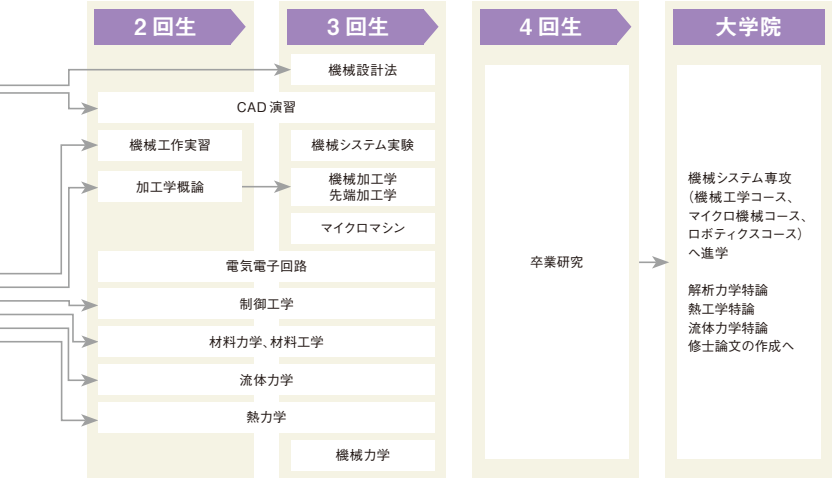


・「卒業研究」は必修です。卒業には上記以外も学ぶ必要があります。　・上記は2024年度のカリキュラムです。

[2024年度 教員・研究テーマ一覧]

■ 泉 知論	“やわらかいハードウェア”とその応用
◆ 久保 博嗣	安全・安心をサポートする無線通信システムの実現
● 熊木 武志	独創性のある集積回路の研究とそれを利用した マルチメディアシステムの開発
◆ 佐保 賢志	レーダー技術を基盤とする運動情報解析システム
● 田中 亜実	低電力センシングシステムの開発
■ 冨山 宏之	システムオンチップや組込みシステムの設計方法論
◆ 中山 良平・檜作 彰良	画像処理、解析基礎技術の開発と医用画像への応用
● 藤田 智弘	知能情報処理システムの開発
■ 藤野 毅・吉田 康太	コンピュータのセキュリティ応用
◆ 馬杉 正男	環境情報および生体活動に関する信号計測処理、 生体活性化技術に関する研究
■ 孟 林	画像認識・高性能計算・人工知能の研究と応用
● 大倉 俊介・吉田 康太	イメージセンサとそのIoT応用の研究

●エレクトロニクス／■コンピュータ／◆情報通信

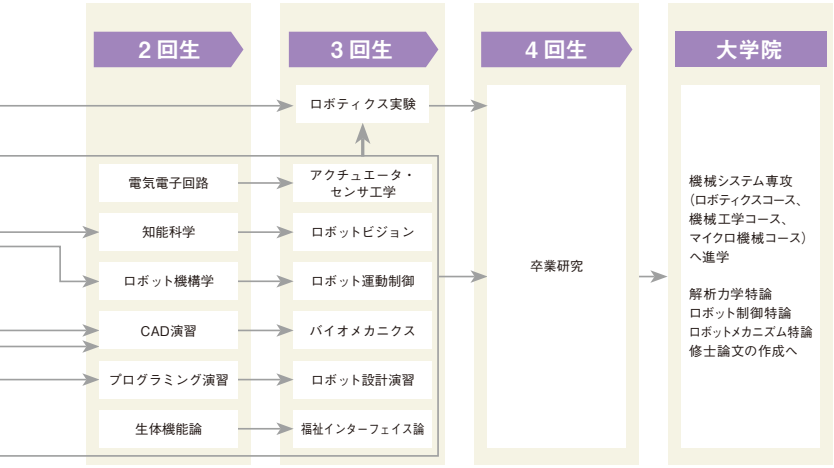


・「卒業研究」は必修です。卒業には上記以外も学ぶ必要があります。　・上記は2024年度のカリキュラムです。

[2024年度 教員・研究テーマ一覧]

■ 安藤 妙子	極微細ものづくりとその基盤・応用技術の研究
■ 磯崎 瑛宏	微小デバイスの創出とバイオへの応用
● 伊藤 隆基・何 磊	多軸負荷における機械材料の強度および信頼性評価
◆ 上野 哲・趙 成岩	磁気浮上・磁気軸受システムの開発
◆ 大上 芳文	効率的な流体運動解析法の開発と工学的応用
● 日下 貴之・高 崇	機械構造物の強度設計と健全性評価
■ 小西 聡	小さな機械（MEMS）の新機能創成とその応用
■ 小林 大造	薄膜材料の機械電子物性の研究
● 村田 順二	機能性材料の精密表面プロセス技術の研究
■ 徳田 功・顔 聡	リズム機構の解明と工学応用
■ 鳥山 寿之	マイクロマシーニング技術を応用したマイクロ機械設計
● 藤原 弘・久野 智子	ミクロ構造制御による次世代高機能材料の開発
◆ 山末 英嗣	エネルギー・資源循環とリサイクルに関わる文理融合型研究
■ 山根 大輔	マイクロマシン技術のセンシングおよび発電への応用
◆ 吉岡 修哉	流体工学に基づく環境技術の研究
● 渡辺 圭子・木内 真人	衝撃波を伴う高速衝突現象の解明
◆ 渡部 弘達	燃料電池エネルギーシステムと電極設計

●材料・構造・加工分野／■マイクロ機械分野／◆熱・流体・制御分野



・「卒業研究」は必修です。卒業には上記以外も学ぶ必要があります。　・上記は2024年度のカリキュラムです。

[2024年度 教員・研究テーマ一覧]

◆ 植村 充典	未知環境で活躍できる軽量ロボットや環境認識法
■ 岡田 志麻	新しい生体機能の解明と医療・福祉分野への 工学の応用研究
★ 加古川 篤	屋外で利用可能なロボットやアクチュエータの研究開発
● 玄 相昊	ヒューマノイドロボットと油圧制御技術
■ 下ノ村 和弘	ビジョンを中心としたロボットのセンサ・知能化技術
◆ 手嶋 教之	障害者・高齢者のための福祉機器の研究開発
★ 永井 清	医療福祉ロボットと超高速ロボットの開発
◆ 野方 誠	診断治療ロボット、高機能小形医療機器
◆ 平井 慎一	ソフトロボティクスに関する研究開発
◆ 王 忠奎	柔軟物ハンドリング用ロボットシステムに関する研究

●コントロール／■センサ／◆システム／★メカニズム

[全学科共通] 学部の専門科目とは質的に異なる、幅広い知識の修得を目指す科目を多数履修することができます。 ➔ 教養科目 P.130

学科紹介

環境都市工学科（都市システム系）

環境問題の解決と社会基盤の防災を通して、SDGsの実現に貢献する。

土壌分析のための凍結乾燥処理

複雑化する環境問題の解決や、激甚化する自然災害への備え、そして歴史や文化を守りつつ老朽化し空洞化する都市を再構築するためには、確かな知識を持った技術者の存在が欠かせません。環境都市工学科では、環境科学や計画理論の基礎を学んだ上で、2回生から環境システム工学コース・都市システム工学コースのいずれかを選択し、専門性を高めていきます。また「環境工学デザインプログラム（JABEEプログラム）」を履修することで、修習技術者（技術士補相当）の資格が得られます。卒業後は技術系公務員をはじめ、環境産業・鉄道・高速道路・建設会社・コンサルタントなど、よりよい社会基盤の発展に係わる人材として活躍することが期待されます。豊かな環境や歴史文化とともに快適な生活を目指す本学科は、高校までに学んだ教科すべての知識を応用して活かすことができます。

1回生

環境都市工学概論
環境都市デザイン実習
環境基礎科学
計画理論

建築都市デザイン学科（都市システム系）

美しく健全な国土の実現を目指し、建築と都市をデザインする。

卒業設計の公開講評会における学生プレゼン

建築・都市に関する歴史や文化のコンテクストを読み取り、地域の個性を活かしながら、建築・都市文化を継承・創造する理論と方法を理解するために、必要な技術に関する教育研究を行います。そして、建築や都市のデザインに関する新しいニーズ、複合的な課題に応えうる人材を育成します。美しく健全な国土の実現を目指して、人に身近な「建築」と、その総合的環境である「都市」をデザインする能力を養うため、設計製図、歴史・意匠、都市・景観、建築計画・法規、環境・設備、構造、建築材料・生産施工、情報技術といった各専門領域を統合する教育を展開し、「建築」「都市」を創造する能力を身につけます。1回生より各専門領域の選択必修科目を配置し、専門領域を系統的に学修します。

1回生

図学・製図演習

設計製図演習

建築都市デザイン概論

建築史
建築計画

建築環境工学概論

理工学部の海外留学プログラム

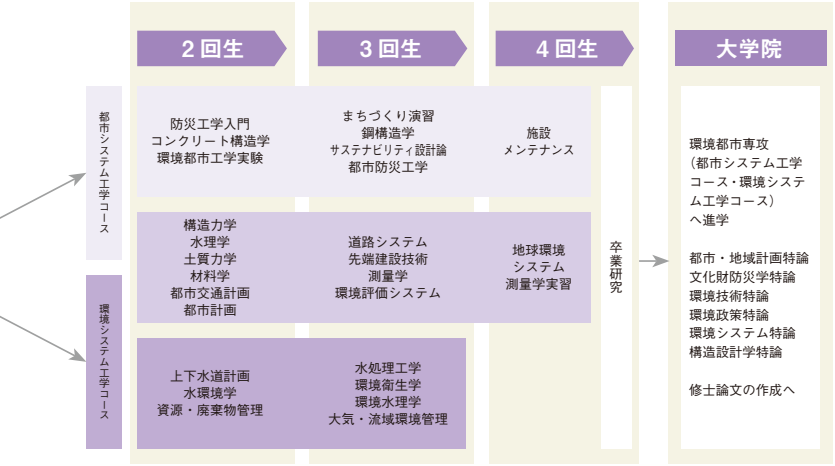
理工学部では、海外から留学生を受け入れるとともに、日本人学生を海外に派遣しています。また、協力協定を締結している海外の大学は年々増加しており、理工学部の国際的ネットワークは拡大を続けています。海外へ留学する学生をサポートする体制も整えており、毎年多くの学部生・大学院生を海外の大学や企業に送り出しています。

国際的視野を持った理工系人材の育成

理工系2学部・研究科では、異文化・多様性社会の中で活躍できる高度理工系人材の育成を目指して、課題解決型のプログラムを実施。インドにおける課題を事前に調査し、解決策を現地研修先にて英語を用いてプレゼンテーションを行います。

課題解決案の中間発表

インド現地研修

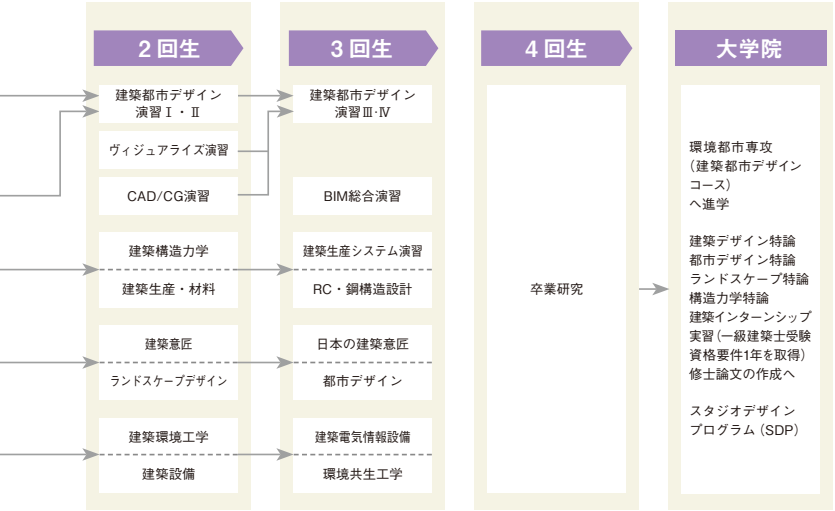


・「卒業研究」は必修です。卒業には上記以外も学ぶ必要があります。　・上記は2024年度のカリキュラムです。

［2024年度　教員・研究テーマ一覧］

●	市木 敦之	環境管理計画策定のための現象解析及び政策分析手法に関する研究
■	伊津野 和行	人や社会基盤構造物を地震から守る
■	WELLS John Craig	洪水など水災害を防ぐための基礎研究
■	大窪 健之	歴史都市の防災まちづくり計画と、伝統文化を活かした防災環境のデザイン
◆	岡井 有佳	持続可能な都市の構築・マネジメントのための都市計画
◆	小川 圭一	都市交通計画のための交通行動分析と交通現象分析
●	神子 直之	安全な水道水のための物理化学的処理方法の研究
◆	川崎 佑磨	社会基盤施設の防災と未来に繋がるコンクリートの研究
◆	金 度源	魅力的なまちづくりのためのアーバン・コミュニティデザイン手法の研究
■	小林 泰三・伊藤 真一・唐 佳潔	地盤工学のデジタルトランスフォーメーション
●	佐藤 圭輔	気候変動による水資源・沿岸域の脆弱性評価と統合的流域管理手法の構築
■	里深 好文	河川流域のあるべき姿を探求する
◆	塩見 康博	持続可能な社会の創成に向けた交通システムの実現
●	重富 陽介	持続可能なライフスタイルとそれを支える社会システムの見える化
●	沈 尚	微生物とゲノム解析から解き明かす湖沼・流域の環境問題
●	惣田 訓	微生物や植物を用いた水質浄化と資源回収に関わる技術開発
◆	野阪 克義	社会基盤施設（主に鋼構造）の設計・維持・管理（造る・守る）
◆	野村 泰稔	都市基盤の維持管理と建設分野の情報化のためのマネジメント技術開発
●	橋本 征二	循環型社会の評価手法とシステムデザイン
●	樋口 能士	大気質・悪臭の評価と制御
■	藤本 将光	山地・河川の自然環境への理解を深め、安全な暮らしを追求する
●	三浦 陽介	気候変動と陸域水循環の相互作用を明らかにする研究

●環境を創造する／■災害を防ぐ／◆都市を見守る



・「卒業研究」は必修です。卒業には上記以外も学ぶ必要があります。　・上記は2024年度のカリキュラムです。

［2024年度　教員・研究テーマ一覧］

■	青柳 憲昌	日本の建築の歴史に関わる研究と歴史的建築の保存
●	阿部 俊彦	都市と建築をつなぐデザイン・まちづくりアクションリサーチ
■	遠藤 直久	木質構法の発展と応用
●	木村 智	ランドスケープ論、建築論、テクトニック的西洋建築史
◆	近本 智行	建築・都市環境工学、建築設備、環境共生
■	平尾 和洋	建築設計プロセス・建築意匠（防災意匠含む）・古民家再生
★	福山 智子	鉄筋コンクリート構造物や建築材料の耐久性評価・診断
◆	本間 睦朗	光環境計画とその周辺技術、照明デザイン、建築電気設備設計
■	宗本 晋作	新しい設計方法と被災地におけるまちづくりの実践
★	持田 泰秀	モノ造りと新しい材料や工法の開発
■	山田 悟史	建築情報学による人と建築都市デザインの拡張と高度化
★	吉富 信太	力学原理に基づく建築構造物の合理的設計
◆	李 明香	建築環境工学、建築設備、省エネルギー建築、住環境の快適性評価

●都市・景観／■設計・計画・歴史／◆環境・設備／★構造・生産・材料

［全学科共通］学部の専門科目とは質的に異なる、幅広い知識の修得を目指す科目を多数履修することができます。 ➔ 教養科目 P.130

～ハワイ大学留学プログラム～

2、3回生を対象とした4週間の留学プログラムです。ハワイ大学で本プログラムのために特別に用意された講座（理工系の内容の講座、ハワイの文化に関する講座）や英語学習の講座を受講します。その他にも、各種フィールドトリップやハワイ大学の学生との交流など、盛り沢山の企画が用意されています。引率は、理工学部の英語専任教員が担当します。

本プログラムを通して、英語の総合的・実践的運用能力を培い、国際社会の一員として積極的な役割を担うべく、皆さんの将来展望をより具体的なものとしてください。

ハワイ大学マノア校での授業

上記以外にも理工学部独自にグローバルエンジニアプログラム（全学科対象）、海外スタディプログラム（都市システム系対象）、パリ・ラ・ヴィレット建築大学（ESAPLV）への交換留学（都市システム系対象、大学院）等と多彩な留学プログラムを用意しています。詳細は各プログラムの募集要項で案内します。

外国語の選択	［必修］英語（1～2回生）　［選択］英語／ドイツ語／フランス語／中国語より1言語（3回生）

学びの特色

自発的学びへ導く

■ 物理駆け込み寺・数学学修相談会

物理・数学に関するよろず質問相談所

予約不要で、物理・数学に関する様々な質問・悩みに答えてくれるサポートルームを常時開設しています。理工学部の教員だけでなく3回生から大学院生までさまざまな学科の学生講師が、個別に質問に対応し、単に答えを教えるのではなく、考え方を議論するなど学びあいの場として機能しています。

物理駆け込み寺

■ 低回生研究室体験制度

早期の研究室体験による学修意欲の向上

低回生時に研究室を体験でき、教員指導の下、研究の一端に触れる制度です。簡単な実験や先輩学生との交流の経験は、4回生の研究室配属に向けて自身が深めたい専門分野を考えるきっかけになります。また低回生で学ぶ専門科目の内容が、今後の学修や実際の社会にどのように関わるのかイメージを膨らませることができ、学修の意欲を高めることができます。

研究室で大学院生とドローンの動作検証を行う低回生

技術に触れる

■ 技術者のキャリア

リレー形式で行う技術者の講演

理工系学生の進路とされる業種の技術者を招き、リレー形式で行う科目を配置しています。技術者から、最新の技術開発動向や、技術者に求められる資質等を講演頂きます。将来の職業観や職業適性についての意識を高めます。

■ ワークショップラボ（工作センター）

設計・制作・加工を通じた実践力育成

さまざまなものづくりに必要な旋盤、フライス盤、NC工作機械などの設備を備え、道具や作業工程に関するアドバイスを受けることができます。

NC工作機械

■ AIOL（アイオーラボ）

ハード・ソフト・システムを統合した次世代ものづくりの実践

学生が自主的に学び、機械加工・電子工作のみならずAIやIoTなど仕組みを含めたハードとソフトの垣根を超えた「ものづくり」が一箇所で行える施設です。学生および院生は設備や部材を基本的に無償で利用できます。設計、試作などを相談できる学生スタッフおよび専属教員が複数常駐しており、これらの実践を通じて新たな価値創造のマインドを醸成します。

視野を広げる・主体性をのばす

■ 専門ゼミナール

学科横断型の専門科目

学科・回生横断型の「専門ゼミナール」では、専門の異なる学生同士がグループで多角的な視野で調査、分析、提案を行います。他学科の学生と議論してさまざまな専門分野に触れることで、自身の専門分野の理解をより深め、多面的な課題解決能力を身につけることができます。また上回生と下回生が回生を超えてつながり、学生同士の学びあいを進めています。

「テーマ：IoTセンサ技術の革新と起業家マインド」での様子

■ ピアラーニングスタジオ

学生による学びあい

学生・院生が、学科や専攻の枠を越えて、共に学ぶためのスペースとしてピアラーニングスタジオを設置しています。留学生との交流イベントや英語の学習会など、学生スタッフが主体となって、学生がともに学びあうさまざまな企画を実施しています。

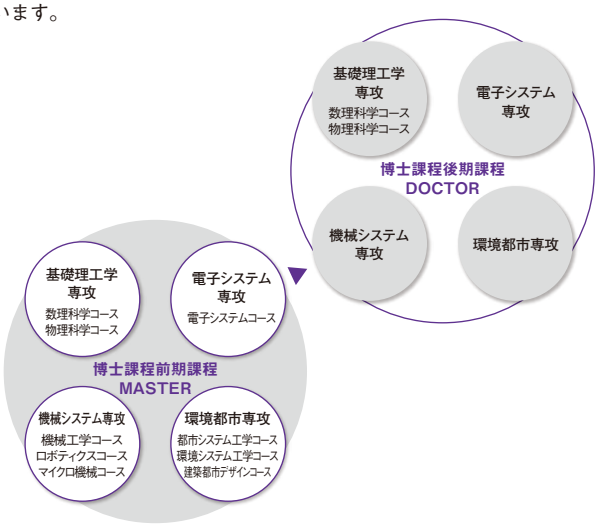
オリジナルアンプの製作会

専門性を高める

■ 大学院進学

高度理工系人材として、活躍できる力を身につける

理工学部では、理工学研究科（大学院）への進学を推奨しています。理工学研究科では専門領域における問題設定・解決能力をもって科学技術の発展に寄与し、社会を健全な形で維持・改善していくために研究を進めています。そして、社会が抱える多様な問題の解決に貢献すべく、理工学の専門領域における高度な知識と技術に加え、創造的な発見・研究能力を兼ね備えた研究者、高度専門職業人の育成を目指しています。



卒業生からのメッセージ

社会インフラを支える、その実感がやりがい。将来は山岳トンネルの難工事に挑む作業所長に。

勝田 つかさ さん

大成建設株式会社 中国支店 鍵掛峠道路トンネル北工事作業所
（理工学研究科 博士課程前期課程 創造理工学専攻 2009年修了、
理工学部 環境システム工学科 2007年卒業）

大規模なプロジェクトに携わり、社会に貢献できる仕事に就きたいという思いから社会インフラを支える建設業を選びました。大成建設に入社した理由は、自由な社風と学部ＯＢの先輩の活き活きとした仕事ぶりに惹かれたからです。現在は、山岳トンネル工事の施工管理を担当し、監理技術者として安全かつ迅速な工事進行に取り組んでいます。学生時代は橋梁の耐震解析を行う研究をし、社会インフラの現場も見学しました。大学院ではティーチングアシスタントとしての活動や研究を通じて課題の発見や解決策の導出に取り組んだ経験は、現在の仕事を後押ししてくれていると実感しています。目標は、山岳トンネル工事の作業所長になることです。資格取得をはじめ、マネジメント力や判断力、コミュニケーション力を磨きながら成長していきたいと考えています。

2003年、理工学部環境システム工学科（現 環境都市工学科）に入学。2007年、理工学研究科進学。2009年、大成建設株式会社入社。第二京阪道路小路トンネル工事作業所や新名神高速道路原工事作業所を経て2015年、本社土木本部企画室。2021年、鍵掛峠道路トンネル北工事作業所に勤務。

共同研究で学んだ対話の重要性 経験を活かしてプロジェクトを推進。

森本 孝 さん

日本航空株式会社（整備本部付 株式会社JALエンジニアリング　品質保証部企画グループ 出向）
（理工学研究科 博士課程前期課程 創造理工学専攻 2008年修了、
理工学部 機械工学科 2006年卒業）

現在、品質保証部にて航空機の整備士が保有する社内認定の整備士資格を認定、維持、管理する業務の電子化プロジェクトを担当しています。DXの力を用いて作業を自動化し、資格管理プロセス全体を変革するのが目的で、将来を見据えた新たな仕組みにしようと、関連部署や協力会社の方々と議論を交わしながら進めています。大学院では、外国人研究者と共に気体、液体両用マイクロポンプの設計・開発に関する研究を行っていました。その過程で、人とともに物事を成し遂げるには、相手に自分の考えを明確に伝え議論することが重要だと学びました。この経験から得た自信が、プロジェクト推進の支えになっています。今は、空飛ぶクルマが飛び交う未来に向けて、制度構築に取り組んでいるところです。2025年の大阪・関西万博で、空飛ぶクルマの運航を予定しています。

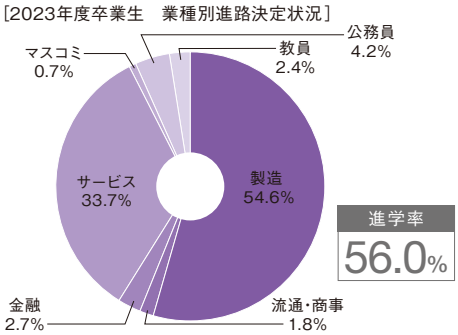
2002年、理工学部機械工学科入学。2006年、理工学研究科進学。2008年、日本航空株式会社入社。JAL航空機整備成田への出向、株式会社JALエンジニアリングへの出向を経て、2013年10月から日本航空株式会社 整備本部に勤務。2021年3月、株式会社JALエンジニアリングに出向。

進路・就職状況

科学技術の専門知識を現代社会の課題解決に役立てる。

学部の学びや研究を通して得た高度な専門知識・技術を活かして、多くの卒業生が社会で活躍しています。

［2023年度卒業生　業種別進路決定状況］



◎円グラフの数値は小数点以下第二位を四捨五入により算出。
◎円グラフには研究科を含む。
◎進学率＝[進学者／(就職者＋進学者)]。ただし、進学者には大学院だけでなくその他の進学者を含む。
◎端数処理の関係で100%にならない場合があります。

［2023年度卒業生・大学院修了生　進路・就職先一例］

〈50音順〉

数理科学科	電子システム系	機械システム系	都市システム系
TDK（株）	（株）NTTドコモ	（株）クボタ	（株）大林組
スズキ（株）	関西電力（株）	ソニー（株）	鹿島建設（株）
第一生命保険（株）	京セラ（株）	ダイキン工業（株）	清水建設（株）
（株）みずほフィナンシャルグループ	住友電気工業（株）	トヨタ自動車（株）	（株）竹中工務店
明治安田生命保険相互会社	ダイキン工業（株）	日本電気（株）（NEC）	西日本高速道路（株）
物理科学科	トヨタ自動車（株）	パナソニックホールディングス（株）	（株）日建設計
京セラ（株）	NTT西日本（西日本電信電話（株））		日本工営（株）
ダイキン工業（株）		（株）日立製作所	東日本旅客鉄道（株）
中部電力（株）	三菱電機（株）	三菱電機（株）	国家公務員総合職（国土交通省）
三菱電機（株）	（株）村田製作所	（株）村田製作所	
ヤマハ（株）	ローム（株）	国家公務員総合職（特許庁）	地方公務員（上級職）

びわこ・くさつキャンパス

生命科学部

College of Life Sciences

学部HP

■応用化学科

■生物工学科

■生命情報学科

■生命医科学科

取得学位	応用化学科…学士（工学）または学士（理学） 生物工学科…学士（工学） 生命情報学科…学士（理学）または学士（工学） 生命医科学科…学士（理学）
アドミッション・ポリシー	生命科学部は、「基礎学力に加え、論理的思考能力、問題発見・解決能力およびコミュニケーション能力を有し、生命科学部で学ぶことに対し、積極的姿勢を持つ学生」を求めています。具体的には、「生命科学の世紀」といわれる21世紀において、生命科学の学術としての発展に寄与し、人類の幸福と、自然と調和した持続可能で豊かな社会の実現に貢献しようという強い意志を持つことに加えて、下記の3点の能力を持つ者を求めます。 1 大学での学修の前提となる確かな基礎学力を有する者 2 真理を探求するために必要な論理的思考能力を有する者 3 課題を推進していくために必要な問題発見・解決能力やコミュニケーション能力を有する者

ライフサイエンスの可能性を拡げ、21世紀の人類共通の課題に挑む

21世紀は生命科学（ライフサイエンス）の時代といわれ、人の健康と社会に大きな変革をもたらす科学技術として注目されています。2001年に発表されたヒトゲノムの解明を皮切りに、生命科学は急速な発展を遂げ、科学の力で生命の謎や多くの病気の解明に迫ろうとしています。ナノテクノロジー・バイオテクノロジーを基盤にした現在の生命科学は、医療・健康分野にとどまらず、人口増に伴う食糧確保や食の安心・安全の問題や再生可能エネルギーの創成、地球温暖化への対応などのSDGsに関わる課題にも活用されています。環境、エネルギー、食糧、健康が人類共通課題となるなかで、生命科学の果たすべき役割は今後ますます大きくなっていきます。

生命科学は総合科学です。あらゆる科学の領域を含み、研究対象やテーマに応じて、多様な科学の知識を活用します。扱うべき領域は1つの分野には収まらず、物理学、化学、生物学、農学、工学、医科学、薬学、情報科学全体に広がります。立命館大学生命科学部では、総合大学の特色を活かした学問領域を超えた学びが可能で、幅広い視点から生命科学を探究することができます。

生命科学部では、生命科学の基礎となる生体物質の機能の解明と新規な化合物や材料の創製（ナノテクノロジー）を目指す「応用化学科」、バイオテクノロジーで食糧、資源・エネルギー、環境の諸課題に挑む「生物工学科」、生命の設計図であるゲノム情報の取得と解析を通じて生命の仕組みを解き明かし、農業や医療、創薬に貢献する「生命情報学科」、分野・領域を超えたさまざまな手法を用いて医科学・医療の革新を追究する「生命医科学科」の4学科を設置しています。

STUDENT'S VOICE

食糧難の国や地域を救う植物研究の礎に。

生物分野に興味があり、遺伝子編集などを深く学びたいと考え、立命館大学を志望しました。大学院への進学を選んだ理由は、もともと研究職に就きたいと考えていたからです。

研究室では、植物のウイルス抵抗性に関与するAGOというタンパク質の機能解析を進めています。扱っている二種類のAGOは、いずれも具体的な機能が解明されておらず、植物のウイルス抵抗性の研究促進のために機能解析が望まれています。現在はAGOの機能を失った植物体と変異が入っていない植物体を用いて、AGOの具体的な働きを評価しようとしています。評価方法は先行研究から見つけたもので、その方法の再現性を測る実験も行っています。うまくいけば植物のウイルス抵抗性などの研究が進み、将来的にはウイルスや天候不良による不作を減らし、食糧難の人々を救うことにつながると考えています。

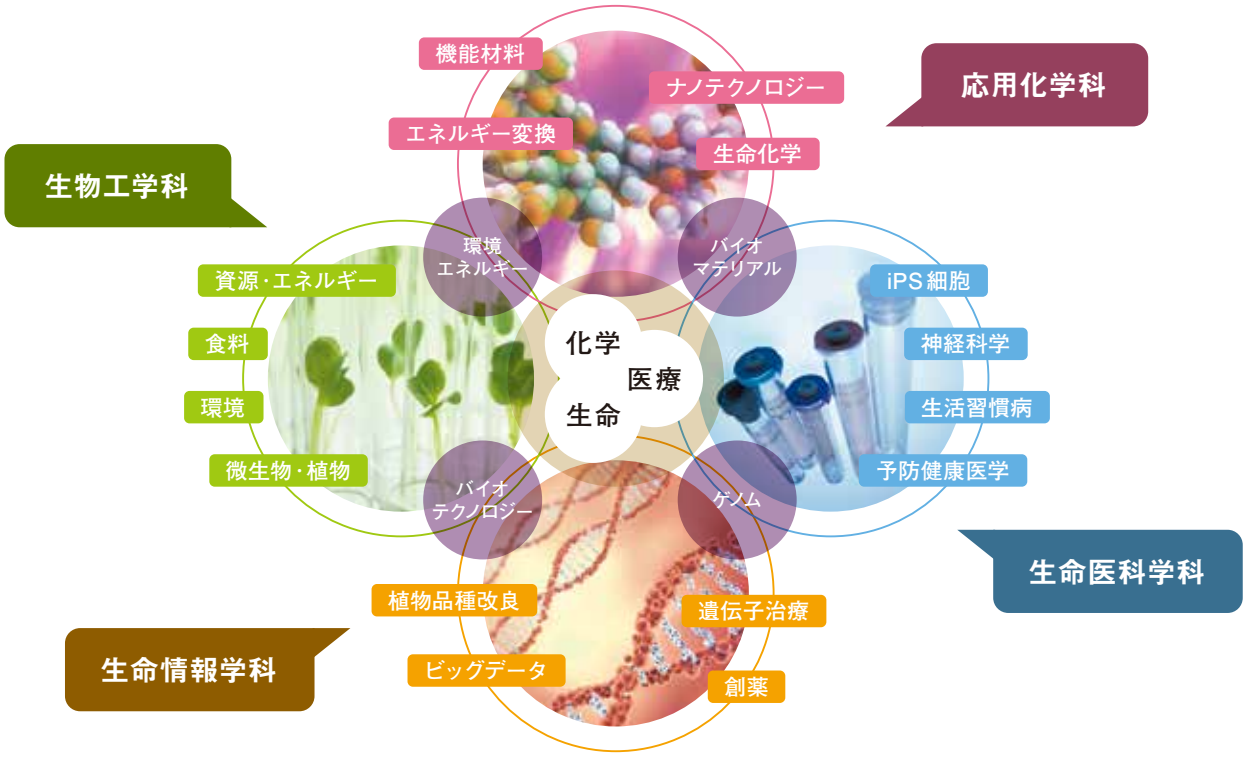
立命館大学大学院での学びは、より専門的で、さらに自主性が求められます。課題はただ与えられるものではなく自身の研究に絡めて考えなければならないこともあります。研究では、仮説を立て、実験を行い、その結果から何がわかるのかを考えなければなりません。限られた時間は、よりシビアにPDCAサイクルを回す思考や行動を身につけさせてくれました。将来の目標は親孝行です。これまで私がやりたいことはなんでも応援してくれました。理想に向かって生きていく力を与えてくれた立命館大学と、通わせてくれた両親に感謝を伝えられるよう働いていきたいと考えています。

酒井 萌羽 さん
生命科学研究科 生物工学コース
博士課程前期課程 2回生
愛知県立岡崎高校出身

学びの特色

専門領域の垣根を越えた総合的な学び

生命科学の発展のためには専門性を深化させることはもちろん、異分野間の境界領域研究がますます重要になってきています。そこで、生命科学部のカリキュラムでは所属する学科の専門分野だけでなく、生命科学に関連した幅広い分野の科目も受講できるようになっています。また、卒業研究では自身の興味・関心に応じ、他学科の研究室を志望することも可能です。さらに、学部独自の英語プログラムにより、自身の研究を英語で発表するスキルを身につけることもできます。



〈充実した実験・実習〉

最新の設備・施設を活用して質の高い実験・実習を展開

基礎から専門まで、実験・実習カリキュラムが充実。講義科目と連動させ、「理論」と「実践」の両方向から理解を深めます。ライフサイエンスの最先端研究を支える最新の研究設備や、培養実験室、低温室、放射光施設をはじめとする共同研究施設で、複数の教員と大学院生によるきめ細かな指導・サポートを受けながら、実験・実習を進めます。2021年には個人学習スペースを新設し、オンライン授業にも対応した学習スペースとして、多くの学生が利用しています。

応用化学科

現代化学の理論と技術を駆使して、現代的課題に原子・分子レベルからアプローチ。

私たちは原子・分子から成り立つさまざまな物質に囲まれて生活しています。化学は物質の構造や性質、反応を原子・分子レベルで解明すること、さらに新しい物質や反応を構築していくことを目的としています。また、私たち人間を含めた生物体はタンパク質、核酸、脂質、糖質といった生体分子から成っており、化学の研究手法で生体分子とそれに関連する生体反応について探究することができます。化学は、私たちの生活を豊かにする材料科学の基盤技術として、また生命の神秘に迫る生命科学の基盤技術として大きな役割を果たしています。応用化学科では、そうした化学について学び、材料・エネルギー・生命・環境問題など社会の重点課題に挑みます。

生物工学科

バイオテクノロジーを通して、食料、資源・エネルギー、環境の諸課題に挑む。

食料、資源・エネルギー、環境分野の諸課題を解決するために、化学的素養を備え、環境と生物、生物の多様性と相互作用、さらには人間社会との関連性を理解し、生物の持つ力を有効に活用できる人材が必要とされています。生物の有する特性を解き明かすとともに、その知見を農業・工学に展開する「バイオテクノロジー」を専門的に研究するのが生物工学科です。本学科では、化学、生物学、微生物学、植物生理学などの専門知識を養い、化学的基盤を理解します。さらに環境、食糧、バイオエネルギー、医療など、多様な分野にわたる学びと研究を通じて、安心・安全で持続可能な社会の実現に向けて活躍できる力を培います。

生命情報学科

ゲノムから得られる情報を用いて生命現象を解き明かす。

人間は約 37兆個の細胞からできており、その細胞一つひとつはさらに膨大な数の原子、分子からできています。生命体は、原子、分子から細胞、組織、生物個体まで、ミクロとマクロの世界を機能的に統合した巨大システムであり、これらが正しく機能するための設計図がゲノム情報です。生命情報学科では、ゲノムを調べる技術や、ゲノムから生命を見る技術を学べることが特徴です。

卒業研究では、生物発生システムの解明、体内時計などの分子機構解明やリズムを利用した脳情報処理機構の解明といった基礎研究に加え、新薬開発に向けた分子設計や食糧生産等のための植物の改良、データ駆動型疾患予防などの応用研究にも取り組みます。

生命医科学科

医科学・医療の革新により、人類の福祉に貢献する。

私たちは便利で快適な暮らしを送る一方で、健やかに生きるために多くの問題に直面しています。とりわけ、地球環境の変化による未知の感染症の発生や、人口の高齢化にともなう老年病の増加、がんや生活習慣病のリスクの増大など、私たちの健康に直接関係する問題への対応が求められています。生命医科学科では基礎医学・予防医学を重視した医科学教育・研究を展開。「どのような原因やメカニズムで病気になるのか?」など、生命と医療の根源的な問いにアプローチし、その成果に基づいて新しい疾病予防法、診断法、治療法の開発を進めます。さらに、基礎研究の成果を、迅速に社会生活に役立てることができる医療システムの開発にも挑戦します。

4年間の学び

生命科学部			1回生（学科を決めて入学）	2回生	3回生	4回生
学びの流れ			生命科学を学ぶうえで基礎となる数学、物理学、化学等を学修。また、生命科学技術が人や環境におよぼす影響等を理解します。	各学科における専門科目の履修が本格的にスタート。実験・実習にも取り組み、講義で学んだ知識を一層深めます。	専門領域を体系的に学修。さらに専門領域と社会の関係について学んだり、キャリア形成のための科目を履修します。	自分の興味・関心に応じて研究室に所属し、卒業研究に取り組みます。教員のきめ細かな指導のもとで研究活動を進めます。
基礎科目	外国語科目		英語P1　英語P2　英語S1　英語S2	英語P3　英語P4　英語S3　英語S4		
基礎科目	教養科目		学部の専門科目とは質的に異なる、幅広い分野の知識の修得を目指す科目を多数配置しています。 → 教養科目 P.130			
専門科目	応用化学科	数学・基礎科学系	アカデミック表現法　数学1　数学2　数学3 数学4　数学演習1　数学演習2　物理学1 物理学2　生物科学1　生物科学2 地球科学　情報処理　特殊講義(専門基礎)			
専門科目	応用化学科	講義	生命科学概論　物理化学Ⅰ　物理化学Ⅱ 分析・無機化学Ⅰ　分析化学Ⅱ 無機化学Ⅱ　有機化学Ⅰ　有機化学Ⅱ 生化学1　微生物学　化学系物理学1 化学系物理学2　特殊講義(専門) 1 特殊講義(専門) 2	物理化学Ⅲ　分析化学Ⅲ　無機化学Ⅲ 有機化学Ⅲ　有機分子解析法　生化学2 分子生物学　基礎環境学 バイオインフォマティクス　物理化学Ⅳ 生物物理化学　機器分析化学　固体化学 有機化学Ⅳ　高分子化学 分子細胞生物学1　酵素学　遺伝子工学 放射線生物学	英語JP1　英語JP2　統計熱力学 分子分光化学　固体物性化学 エネルギー変換化学　エネルギー創成化学 生物無機化学　無機材料化学 有機工業化学　有機材料化学 生物有機化学　生体高分子解析法 生体分子機能・構造化学　タンパク質工学 反応工学　生体分子工学　応用生物化学	
専門科目	応用化学科	実験／演習	応用化学基礎演習1　応用化学基礎演習2 分析化学実験	有機化学実験　物理化学実験　物理学実験	生命科学セミナー　無機材料化学実験 有機・高分子材料化学実験　生物化学実験 分子生物学実験　地学実験	卒業研究1　卒業研究2
専門科目	生物工学科	数学・基礎科学系	アカデミック表現法　数学A　数学B　数学C 数学D　数学演習A　数学演習B　物理学1 物理学2　生物科学1　生物科学2 地球科学　情報処理　特殊講義(専門基礎)			
専門科目	生物工学科	講義	生命科学概論　物理化学Ⅰ　物理化学Ⅱ 分析化学Ⅱ　分析・無機化学Ⅰ 無機化学Ⅱ　有機化学Ⅰ　有機化学Ⅱ 人体の構造と機能1　生化学1 生命物理化学　微生物学 特殊講義(専門) 1　特殊講義(専門) 2	物理化学Ⅲ　分析化学Ⅲ　無機化学Ⅲ 有機化学Ⅲ　人体の構造と機能2　生化学2 分子生物学　バイオインフォマティクス 機器分析化学　分子細胞生物学1 タンパク質・核酸の解析と機能　基礎環境学 酵素学　放射線生物学　植物生理学 遺伝子工学　生命有機化学　地球環境学 微生物生理学　食料生産科学	英語JP1　英語JP2 生体分子機能・構造化学　応用化学 生物環境化学　構造生物学 分子細胞生物学2　生物統計学 生体分子工学　反応工学　代謝工学 酵素工学　タンパク質工学　応用微生物学 環境微生物学　生物資源学　植物細胞工学	
専門科目	生物工学科	実験／演習	生物工学基礎演習1　生物工学基礎演習2 分析化学実験	有機化学実験　基礎物理化学実験 分子生物学実験　微生物学実験 顕微鏡観察基礎実験　物理学実験	生化学実験　生命科学セミナー　地学実験	卒業研究1　卒業研究2
専門科目	生命情報学科	数学・基礎科学系	アカデミック表現法　数学1　数学2　数学3 数学4　数学演習1　数学演習2　物理学1 物理学2　生物科学1　生物科学2 地球科学　情報処理　特殊講義(専門基礎)			
専門科目	生命情報学科	講義	生命科学概論　基礎物理化学 分析・無機化学Ⅰ　分析化学Ⅱ 基礎有機化学　基礎生命物理学　生化学1 微生物学　確率・統計　人体の構造と機能1 基礎情報科学　プログラム言語1 プログラム言語2　特殊講義(専門) 1 特殊講義(専門) 2	生命物理化学Ⅰ　生命物理化学Ⅱ 分析化学Ⅲ　生化学2　分子生物学 分子細胞生物学1　数理生物学　酵素学 基礎環境学　遺伝子工学　放射線生物学 人体の構造と機能2 バイオインフォマティクス バイオアルゴリズム　プログラム言語3 プログラム言語4	英語JP1　英語JP2　分子細胞生物学2 量子化学　タンパク質工学　計算機化学 統計熱力学　構造生物学　生物統計学 ゲノム科学　システムバイオロジー 代謝工学　プロテオミクス　機能ゲノミクス 生体機能シミュレーション　進化情報学	
専門科目	生命情報学科	実験／演習	生命情報学基礎演習1 生命情報学基礎演習2　生物学基礎実験 統計シミュレーション実験	基礎生化学実験　ゲノムシミュレーション実験 数値シミュレーション実験 分子生物学実験　物理学実験	分子シミュレーション実験 細胞・システムシミュレーション実験 生命科学セミナー　地学実験　化学実験	卒業研究1　卒業研究2
専門科目	生命医科学科	数学・基礎科学系	アカデミック表現法　数学A　数学B　数学C 数学D　数学演習A　数学演習B　物理学1 物理学2　生物科学1　生物科学2 地球科学　情報処理　特殊講義(専門基礎)			
専門科目	生命医科学科	講義	生命科学概論　基礎物理化学 分析・無機化学Ⅰ　分析化学Ⅱ 基礎有機化学　基礎生命物理学 人体の構造と機能1　生化学1　微生物学 特殊講義(専門) 1　特殊講義(専門) 2	生命物理化学Ⅰ　生命物理化学Ⅱ 分析化学Ⅲ　人体の構造と機能2 生化学2　分子生物学　分子細胞生物学1 地球環境学　公衆衛生学　基礎環境学 放射線生物学　免疫学　酵素学 タンパク質・核酸の解析と機能 発生・ゲノム医科学 バイオインフォマティクス　遺伝子工学	英語JP1　英語JP2　プロテオミクス 薬理学　機能ゲノミクス　構造生物学 生物統計学　統計熱力学　分子細胞生物学2 タンパク質工学　人体の機能と病態1 人体の機能と病態2　人体の機能と病態3 人体の機能と病態4　人体の機能と病態5 先端医科学　幹細胞・再生医学 医科生物工学　医療システム論 医療社会論　生命倫理	
専門科目	生命医科学科	実験／演習	生命医科学基礎演習1 生命医科学基礎演習2　基礎分析化学実験 応用分析化学実験	基礎生化学実験　微生物学実験 組織学実験　分子生物学実験　物理学実験	生理学実験　生命科学セミナー 薬理学実験　地学実験　化学実験	卒業研究1　卒業研究2
初修科目			初修物理、初修生物、初修化学			

・上記は2024年度のカリキュラムです。2025年度は科目名称等が変更になる場合があります。

科目についての詳細は オンラインシラバス　立命館 検索

外国語の選択

［必修］英語
国際化が進んでいる科学技術の分野において、研究成果や意見交換など、英語が標準として使われていることから、英語を専修として外国語を開講しています。

学び・プログラム

プロジェクト発信型英語プログラム

コミュニケーション能力を重視し、機能的な英語運用能力を育成する「プロジェクト発信型英語プログラム」を学部独自に提供しています。2つの柱の1つ「Project」では、プロジェクトを通じてリサーチ、プレゼンテーション、ディスカッション、アカデミック・ライティングなどの技能を修得し、成果を世界に発信。もう1つの柱「Skill Workshop」では「聞く、話す、読む、書く」の英語4技能を鍛えます。

化学・生物駆け込み寺

生命科学を理解するには、さまざまな分野の知識が必要です。生命科学部では化学・生物駆け込み寺という制度を実施し、開講期間の授業日には毎日開催しています。高校で未履修の科目に対する不安や、日々の講義や実習で抱いた疑問の解決に向けて、大学院生を中心とする講師がサポートします。

教員紹介

［2024年度　教員・研究テーマ一覧］

詳しくはこちら ▶

応用化学科	
稲田 康宏	触媒と電池の反応をリアルタイムに観て機能の原理を理解し、次世代の材料開発へ
折笠 有基	高安全・高寿命な二次電池の材料設計／高効率な水素エネルギー変換の化学反応解析／次世代電池の開発
加藤 稔	極限環境など様々な環境下における生体高分子（タンパク質、核酸、および関連分子）の構造と機能の解明
桑田 繁樹	新しい金属錯体を設計し、窒素、二酸化炭素などの不活性小分子の変換に応用する
小林 洋一	光機能材料の未踏の機能開拓と新物質合成
五月女 宜裕	分子触媒・酵素を用いた新反応を開発し、独自の生命制御分子をつくる
髙木 一好	酸化還元酵素と酸化還元コファクターの基礎と応用
堤 治	ナノテクノロジーを駆使した「分子デザイン」と「分子集合状態制御」により高分子で未来材料を創製
長澤 裕	フェムト秒超短パルスレーザーにより分子運動を観測し、光合成等の光化学反応がどのように起こるか研究している
花﨑 知則	新規な機能性有機材料を設計・合成しその応用の可能性を探る
前田 大光	電子・光機能性をもつ色素分子をデザイン・合成して、これまでにない超分子をつくる
越山 友美	「生体分子」と「人工分子」の複合化による新たな化学反応制御場の構築
金子 光佑	液晶を利用した新規機能性材料の創製
鐘 承超	固体電解質を目指した複合アニオン化合物の開発
永井 邑樹	分子集積に基づく新奇的な刺激応答性光機能材料の開発
堀田 拓希	π電子系を基盤とした機能性超分子構造の構築
松本 浩輔	生体由来の原料を用いた新規機能性材料の創製
小島 理沙	光合成反応中心におけるエネルギー変換機構の解明
中尾 俊樹	非天然脂質及び脂質類似化合物の創成と評価

生命情報学科	
天野 晃	細胞内の仕組みを詳細にモデル化した細胞モデルを使って組織や臓器の機能を再現しそのメカニズムを解明する
伊藤 將弘	データ駆動型サイエンスを用いた稀少疾患および生命システムの解明
木津川 尚史	リズムを操るニューラルネットワーク：脳に学び脳情報処理の解明を目指す
木村 修平	大学英語教育へのICTの導入と利活用、および機械翻訳やAIを用いた英語教育の実践と評価
高橋 卓也	生命構造情報と機能情報を結びつけ、未来の社会に活用する
寺内 一姫	光合成生物の環境適応力と体内時計のしくみを探る
冨樫 祐一	情報処理機械としての生物を数理モデルを用いて理解する
深尾 陽一朗	植物の環境ストレス耐性機構の解明と農業への応用
長野 稔	植物の生体膜機能とその生理学的役割の解明
久保田 幸彦	体の成り立ちと組織の恒常性維持を支える細胞動態を調節するしくみの解明
多羅間 ゾンヤ	細胞の集団運動と自己組織化の数理モデリング
肥喜里 志門	分子シミュレーション及び溶液理論の観点から生命現象の理解を目指す
姫野 友紀子	多階層システムとして理解する心臓・循環に関する研究
吉竹 悠宇志	ストレス環境下における植物代謝応答の理解と応用を目指した分子レベル・細胞レベルでの解析
片野 和馬	植物の受粉メカニズムおよび生殖器官における熱ストレス応答の解析

生物工学科	
石水 毅	植物細胞壁多糖・フラボノイド配糖体の生合成・分解・役割解明／それらの農作物・食品生産への応用
笠原 賢洋	植物の光に対する細胞・生物応答、およびcAMPシグナル系の分子機構に関する研究
久保 幹	高品質農産物を提供する土壌環境の創生／琵琶湖等、水圏環境改善技術の開発／微生物を用いたバイオマスエネルギーの研究開発
竹田 篤史	植物と病原体のせめぎ合いを分子レベルで明らかにし、病気に強い品種を作出することを目指しています
武田 陽一	有機合成化学と分子生物学的手法を駆使して、糖鎖・タンパク質・脂質などの生体内での機能解明を目指しています
松村 浩由	ヒト・植物・細菌のタンパク質の機能・相分離性・構造を調べ、改良した酵素・薬を作ることで、地球環境の改善と創薬を目指します
三原 久明	微生物の多様な代謝経路と酵素の機能を解明し、様々な分野への応用を目指す
山中 司	プロジェクトの手法を用いた大学英語教育の有効性とその評価に関する研究
若山 守	酵素および発酵を利用した有用物質生産法の開発および発酵に関わる微生物の特性解析
菊間 隆志	醸造微生物の細胞内分解メカニズムを解明し、食品、医薬品などへの応用を目指す
青野 陸	微生物における物質変換機構の解明とその応用技術の開発
上原 了	RNA／DNAハイブリッドの形成と分解を伴うゲノム恒常性維持機構の解明
家門 絵理	植物の道管細胞における細胞壁・細胞骨格制御機構の解明
TRAN QUOC THINH	微生物に関連する土壌環境／農業資材からのリンおよび窒素の回収技術の開発
豊竹 洋佑	発酵微生物の代謝に関する生理的・生化学的研究とその応用
越智 杏奈	環境微生物によるセレン化合物の物質循環の分子機構の解明

生命医科学科	
川村 晃久	体細胞初期化および幹細胞分化の分子機構とその再生医学への応用
白壁 恭子	細胞間コミュニケーションを司る膜タンパク質プロセシングの解明
立花 雅史	免疫応答を抑制する細胞をターゲットとした疾患治療法の開発
田中 秀和	脳神経回路の構築とリモデリングと病態
早野 俊哉	タンパク質間ネットワーク解析によって病気の発症機構を明らかにする
向 英里	糖尿病の病態と発症の解明およびその治療と予防に向けた研究
山下 美朋	英語ライティング指導と特定目的のための英語（English for Specific Purposes）の特徴を分析する研究
森脇 健介	統計解析・数理モデルにより医療技術の費用対効果を評価し、限られた医療費での健康寿命の最大化を支援する
中谷 仁	自閉症などの発達障害の生物学的病因の探求
梶田 美穂子	組織常在性マクロファージによるがん免疫始動システムの解明
兼安 貴子	薬剤等の費用対効果、および患者報告アウトカムに関する研究
澤野 俊憲	脳梗塞時の多彩な組織反応にミクログリアが果たす役割の解明
白子 紗希	生薬・機能性食品に含まれる成分の同定と、その効果および作用機構の検討
原田 恭弘	胎生期における心臓エンハンサーアトラスの創出とその小児循環器病学／再生医学への応用
萬年 太郎	タンパク質やRNAの相分離を介した核内構造体および神経変性疾患で生じる凝集体の形成メカニズムの解明
毛利 晋輔	生活習慣病の予防・改善を目指した「食」に含まれる機能性成分の解明およびその応用に向けた研究

研究紹介

応用化学科

新しい光機能を探索して世の中を変える材料を開発する

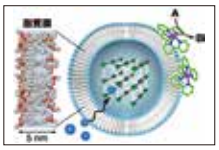
小林 洋一 教授

半導体と聞くと、一般には電子部品のようなものを想像するかもしれません。しかし、化学の力を使って半導体をナノ（10億分の1）メートルまで小さくすると、七色に調節できる発光材料に変化します。私達は、「光」と「ナノテクノロジー」を「化学」と組み合わせることにより、これまでにない光機能を持つ材料を作り出し、現代社会の重要な課題であるエネルギーや資源の問題に挑んでいます。

脂質膜のフラスコで化学反応を操る

越山 友美 准教授

化学実験というと、試験管やフラスコなどのガラス容器の中で試薬を混ぜることを思い浮かべるのではないでしょうか。では、ガラス容器ではなく「ナノ～マイクロサイズの容器」を用いて化学反応を行うと、どうなるでしょうか？（1ナノメートルは100万分の1ミリ）私たちは人工脂質膜や生体膜から構成されるフラスコ中での化学反応を理解・制御し、さらにはこの技術を活かした新たなモノづくりに取り組んでいます。



生物工学科

地球上における元素循環を駆動する微生物 新たな菌を探索し、その謎に分子レベルで迫る

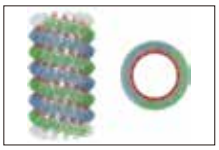
三原 久明 教授

微生物は地球上でもっとも多様かつ優勢な生物です。私たちの身の回りのどこにでも棲息する一方、熱水噴出孔から永久凍土に至るさまざまな極限環境に適応した菌種もいます。微生物は独特な代謝により地球上の元素循環を担い、ヒトをはじめとする全ての生物の命を支えています。しかし、これまでに解明されている微生物は全体の1%にも満たないと考えられています。新たな機能や珍しい性質をもつ微生物の謎に分子レベルで迫る研究を展開しています。

クライオ電子顕微鏡でタンパク質の立体構造を観て薬を開発する

松村 浩由 教授

感染症の原因菌が増えるときに働くタンパク質の立体構造を調べると、そのタンパク質に結合する化合物が設計できます。その化合物をタンパク質に結合させると、タンパク質の働きを止めることができるため、その化合物は感染症の「薬」になります。最近、私達は最新のクライオ電子顕微鏡でそのタンパク質の立体構造の決定に成功し（Nature Communications 2023）、その成果をもとに新しい薬を開発しています。

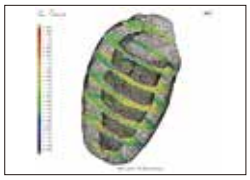


生命情報学科

コンピュータの中に作った心臓の病気を治療する

天野 晃 教授

医学の世界では、日々新しい治療法や治療薬が研究されていますが、ヒトを対象とした実験は制約が大きく、基礎研究は、主に動物を対象として行われています。我々の研究室では、動物を対象とした研究の成果と数少ないヒトのデータをコンピュータの中の心臓モデルに取り込んでいくことで、ヒトの心臓の働きや病態を再現し、新たな治療法や薬の作用の解析を行っています。



生物はなぜ成長するのか？ 線虫*C. elegans*とデータサイエンスを用いて理解する。

伊藤 將弘 教授

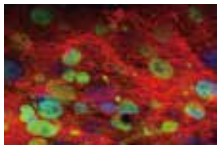
「なぜ子供が生まれ、成長するのか？」不思議に思ったことはありませんか？ 私達は、ライフサイクル3日、寿命が20日の線虫*C. elegans*を用いて、その不思議を解き明かしています。一方、ライフサイエンスの分野も、技術の向上から、ビックデータの時代となっています。生命情報の強みを生かして、データサイエンスも駆使して、不思議解明へ向けて挑戦しています。

生命医科学科

体細胞初期化および幹細胞分化の分子機構とその再生医学への応用

川村 晃久 教授

我々の体の細胞は初期化されると人工多能性幹（iPS）細胞となり、これを分化させることで、心筋など再生医療の材料を作ることができます。さらに、ゲノム編集により遺伝情報を自在に書き換えることも可能となりました。このような目覚ましい科学技術の進歩に対して、その原理を理解し正しく使うことが大切です。私たちは、初期化や細胞分化の本質を学問的に解明することで安全かつ経済的な再生医療の実現を目指しています。

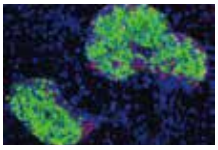


iPS細胞から作られた心筋細胞

血糖値の制御メカニズムと糖尿病発症・予防の理解

向 英里 教授

世の中が豊かになった今日、栄養過多や運動不足などの環境要因により糖尿病人口は世界中で爆発的に増えています。糖尿病は血糖値が慢性的に高い病気ですが、さまざまな要因の相乗効果の結果、発症するという特徴をもつため、完全な治療法がまだ存在しない複雑な病気です。糖尿病がどのように発症するのか、またどのような治療あるいは予防がより効果的であるのか、をあらゆる角度から総合的に探求しています。



卒業生からのメッセージ

大学時代の経験によって得た力で、多様な人とともに仕事を成し遂げる。

石山 真乃介 さん

味の素冷凍食品株式会社 研究・開発センター 商品開発部 開発第1グループ
（生命科学研究科 博士課程前期課程 生命科学専攻 生物工学コース 2019年修了、生命科学部 生物工学科2017年卒業）

私は現在、餃子の新製品開発や既存品の改良に携わっています。例えば、お客様から「フライパンで餃子を焼いたらくっつく」との声があれば、その原因を徹底的に分析し、どんなフライパンで焼いてもくっつかない餃子の開発を行います。仕事を成し遂げるには、多くの人の力が必要です。商品開発でも原料調達から設備整備、パッケージ作成、販売まで一人では遂行できません。人と協力して仕事を行う際に活きているのが、学生時代にバスケットボールサークルの活動で培った力です。創設メンバーとして、他大学や他学部の友人ら多彩な参加者のスケジュールをうまく擦り合わせたり、意見の食い違いを調整したりして、最終的に大会優勝という目標を達成できました。この経験が、研究での粘り強さ、多様な人とともに目的に向かって仕事を進めていく力につながったと思っています。

2013年、生命科学部生物工学科に入学。2017年、生命科学研究科博士課程前期課程 に進学。2019年、味の素冷凍食品株式会社に入社。同年5月、品質保証センター品質保証部規格グループに配属、2022年7月、研究・開発センター 商品開発部に異動、現在は冷凍餃子の新製品開発や既存品の改良に従事している。

半導体・レジスト下層膜の材料を開発、研究室で培ったアイデア力が活きている。

久野 温子 さん

JSR株式会社 電子材料事業部 精密電子開発センター
リソグラフィーソリューション開発室
（生命科学研究科 博士課程後期課程 生命科学専攻 2021年修了、生命科学部 生物工学科 2016年卒業）

現在の仕事は、半導体におけるレジスト（回路パターンを形成するための薬剤）の下面に塗布する下層膜の材料の開発です。この膜用の材料には決まった形がないため、顧客のニーズや要望に合わせ、創意工夫しながら設計・合成しています。あまり化学が得意ではなかった私が研究者を目指そうと考えるようになったのは、学部での講義や実験、子どもに化学の楽しさを教えるサークル活動で、化学の奥深さを実感したことがきっかけです。3回生で有機超分子化学の研究室に入ると、その思いは本物になりました。自分でデザインした分子を合成し、狙い通りの特性を見いだすことができた時の達成感や感動から、研究に夢中になりました。学部・大学院の学びで培われたアイデア力や現象をすばやく把握・理解する力を活かし、今後出現が見込まれる最先端の電子機器の材料を開発するのが目標です。

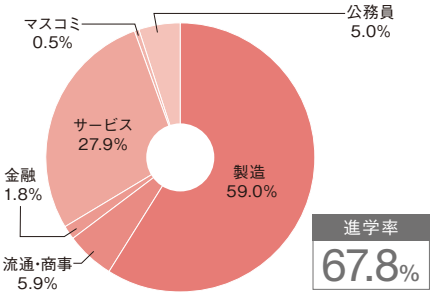
2012年、生命科学部生物工学科に入学。2021年3月、生命科学研究科博士課程後期課程を修了、同年4月、JSR株式会社に入社。電子材料事業部 精密電子開発センター リソグラフィーソリューション開発室に配属。半導体の回路パターンを形成するための薬剤の下面に塗布する下層膜の材料の開発を行っている。

進路・就職状況

ライフサイエンスの専門知識を実社会で活かす。

素材、環境、健康、IT、製薬など、人々の暮らしに関わる分野で多くの卒業生が活躍しています。

［2023年度卒業生　業種別進路決定状況］



◎円グラフの数値は小数点以下第二位を四捨五入により算出。
◎円グラフには研究科を含む。
◎進学率＝[進学者／(就職者＋進学者)]。ただし、進学者には大学院だけでなくその他の進学者を含む。
◎端数処理の関係で100%にならない場合があります。

［2023年度卒業生・大学院修了生　進路・就職先一例］

〈50音順〉

応用化学科	生物工学科	生命情報学科	生命医科学科
京セラ（株）	（株）カネカ	SAPジャパン（株）	大塚製薬（株）
小林製薬（株）	（株）ニチレイフーズ	（株）NTTデータグループ・（株）NTTデータ・（株）NTT DATA,Inc	京セラ（株）
積水化学工業（株）	（株）ヤクルト本社	（株）島津製作所	シスメックス（株）
ソニー（株）	森永製菓（株）	ソフトバンク（株）	（株）島津製作所
TOPPAN（株）	理研ビタミン（株）	日本電気（株）（NEC）	テルモ（株）
日東電工（株）	タカラバイオ（株）	（株）日立製作所	ニプロ（株）
パナソニックエナジー（株）	日本農薬（株）	富士通（株）	久光製薬（株）
三井化学（株）	（株）NTTドコモ	富士フイルムビジネスイノベーションジャパン（株）	山崎製パン（株）
三菱電機（株）	一般財団法人日本食品分析センター	楽天グループ（株）（エンジニア職）	ユニ・チャーム（株）
国家公務員総合職（文部科学省）	国家公務員一般職（農林水産省）	地方公務員（上級職）	国家公務員総合職（厚生労働省）

びわこ・くさつキャンパス

薬 学 部

College of Pharmaceutical Sciences

学部HP

■薬学科（6年制）

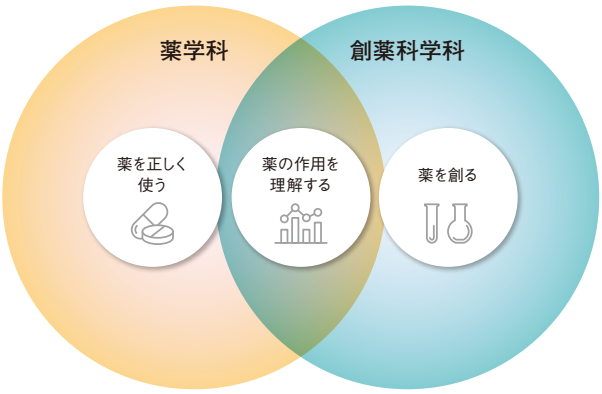
■創薬科学科（4年制）

取得学位	薬学科…学士（薬学）／創薬科学科…学士（薬科学）
アドミッション・ポリシー	薬学部は、医療の高度化に伴う薬学の深い専門的な力量をつけるため、以下のような学生を求めます。 1 理科・数学において基礎的な知識を有し、科学的な思考力を持つ者 2 課題探究心、社会性および一定のコミュニケーション能力を有する者 3 薬学科では先端的な医療に関心を持ち、高度専門職業人としての薬剤師となることを強く志望し、そのために努力を惜しまない者 4 創薬科学科では医薬品創製および関連分野において基礎研究および臨床開発に携わり、グローバルに活躍することを強く志望し、そのために努力を惜しまない者

高度化・多様化するフィールドに対応し、目指す進路に合わせて学べる2学科体制を採用

薬の種となる有効な物質の発見から始まり、その物質を薬として育て、さらに必要とする患者さんに供給することで、人類の健康へ貢献する学問が薬学です。薬学は、物質を扱うための化学や、薬が生体に与える影響を考えるための生物学などの基礎学問をベースにした総合的な学問分野です。立命館大学薬学部では、「薬を創る」、「薬の作用を理解する」、「薬を正しく使う」という3つのカテゴリーを将来の進路に合わせて学び、薬学のエキスパートとして社会で活躍できる人材を養成するために、薬学科（6年制）と創薬科学科（4年制）を開設しています。

「薬の作用を理解する」というカテゴリーは、薬学科・創薬科学科ともに共通して学び、薬がなぜ効果を示すか、生物的・化学的視点から理解を深めるとともに、個々の薬の特徴をしっかり修得できる多くの科目が準備されています。薬学科では医療人として「薬を正しく使う」分野・領域を学び、薬の知識だけでなく、医療人としての高い知識と豊かな人間性をそなえ、医療現場で必要となる研究マインドを持った薬剤師を育成します。一方、創薬科学科では、人類に貢献できる発見を生み出すために「薬を創る」分野・領域を深く学びます。いずれの学科も高度な専門知識と研究力を有し、企業や研究機関で国際的に活躍できる人材を育成します。



STUDENT'S VOICE

学部での多様な学びが自身の目指す薬剤師像へつながる。

私は薬剤師という職業で人の役に立ちたいと思い、全国の薬学部の中でも高い合格率を誇る立命館大学を志望しました。

立命館大学では薬剤師を目指した学習だけでなく、研究、留学プログラムへの参加、後輩育成など学びを深めるためのプログラムが多く用意されています。私自身、2024年3月から「海外フィールドスタディ」プログラムを利用してカナダ・トロント小児病院へ留学し、チーム医療の一員としての薬剤師の業務を経験する予定です。また、実習の授業ではティーチングアシスタントとして自身の経験を踏まえ、後輩たちに具体的なアドバイスを行うなど、学生同士の距離が近く、双方が成長できる環境にあります。

5回生では約5カ月間、薬剤師を目指して実際の施設で実習を行う病院・薬局実務実習を経験します。この実習では医療人として重要な知識や能力を得ることができ、特に病院実務実習ではがん治療を中心に高度医療についての知識を深め、現代の治療における難点が数多く存在することを実際に見て学びました。卒業研究ではこのような経験から、より意欲的に研究意義を考えるようになり、現在治療が難しいとされるすい臓がん治癒のための創薬に向けて、化合物を合成することを目標に研究に取り組んでいます。

こうした立命館大学での様々な経験が薬剤師になった後も活きると信じて日々努力を重ねています。

高田 壮太 さん
薬学部 薬学科 6回生
東京都・海城高校出身

学部の学び

薬学部では、6年制薬学科と4年制創薬科学科の両分野が融合的に展開しながら、これからの薬学の発展に寄与することを目指し、2学科体制で薬学教育を行っています。低回生時は、両学科ともに、数学や物理学、化学などを学び、科学的な思考力を育成し、土台を築きながら、化学系薬学・生物系薬学・医療系薬学といった専門科目へと進んでいきます。4回生次以降は、薬学科は臨床薬学、創薬科学科は大学院進学を目指して「薬を創る」分野を重点的に学び、それぞれの進路へ向けた専門的知識の修得と実践を深めます。

薬学科（6年制）の学び

1・2回生から薬剤師や薬品に関わる仕事を体験して、将来のビジョン形成につなげる

入学後は事前学習を経て、全員が企業・薬局などの施設を訪問します。薬剤師が活躍するさまざまな職場を見学・体験することで、薬学部生としての意識と大学6年間の学習意欲を高めます。1回生では、薬剤師に必須のコミュニケーション能力を培うための第一歩として「コミュニケーション演習」を履修します。また、2回生では医療人である薬剤師に求められる倫理観などを身につけることを目指して、「薬学応用演習」を履修します。

約5カ月間の病院・薬局の実務実習で薬剤師の仕事や責任を学ぶ

4回生秋学期からは学内の模擬薬局等で「実務前実習」を行います。臨床経験の豊富な教員の指導のもと、薬剤師としての行動や倫理観について実践を通して学びます。また4回生秋学期に行う「薬学共用試験」に合格した後、5回生次に病院・薬局でそれぞれ11週にわたり「病院・薬局実務実習」を体験します。医療現場の第一線で求められるスキルや役割、薬剤師として相応しい技能や態度についても学びます。

●必修科目

		1回生配当		2回生配当	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期
専門科目（170以上※アドバンスト科目以外の選択科目6単位を含む）※アドバンスト科目6単位、	化学系薬学	●有機化学A　●物理化学A ●分析化学A	●有機化学B　●物理化学B ●機器分析化学	●有機化学C　有機分子解析法 物理化学C　分析化学B　●生薬学	有機化学D　●実践有機化学 ●放射化学　●天然物化学
	生物系薬学		●解剖・生理学A　●生化学A	●解剖・生理学B　●生化学B ●分子細胞生物学　●薬理学A	●微生物学　●免疫学　●衛生化学 ●薬理学B　●生物統計学演習
	医療系薬学				●病態・薬物治療学A ●製剤学・物理薬剤学A
	実習		●分析化学実習A ●分析化学実習B	●有機化学実習A ●有機化学実習B	●物理化学実習A
	卒業研究				

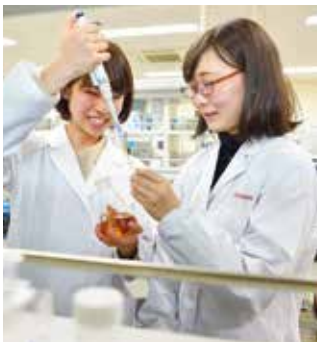
創薬科学科（4年制）の学び

●必修科目
◎選択必修科目

		1回生配当		2回生配当	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期
専門科目（95以上※選択必修科目8単位以上を含む）	化学系薬学	●有機化学A　●物理化学A ●分析化学A	●有機化学B　●物理化学B ●機器分析化学	●有機化学C　有機分子解析法 物理化学C　分析化学B　●生薬学	有機化学D　●実践有機化学 放射化学　●天然物化学
	生物系薬学		●解剖・生理学A　●生化学A	●解剖・生理学B　●生化学B 分子細胞生物学　●薬理学A	微生物学　免疫学　●衛生化学 ●薬理学B　システムバイオロジー ケミカルバイオロジー　●生物統計学演習
	医療系薬学				●病態・薬物治療学A ●製剤学・物理薬剤学A
	実習		●分析化学実習A ●分析化学実習B	●有機化学実習A ●有機化学実習B	●物理化学実習A ●物理化学実習B
	卒業研究				

研究者としての将来ビジョンを形成する

「創薬科学基礎演習」では、製薬企業や研究機関における仕事や研究について小集団で調査・議論します。その後、企業や研究機関を訪問して創薬のプロセスや研究機関の役割について学び、結果をまとめてプレゼンテーションを行います。



創薬に直結する専門科目の履修

専門科目に医療系薬学科目が加わり、各専門科目をバランスよく学修します。科目選択の参考として化学系創薬研究者、生物系創薬研究者、臨床開発・医薬情報担当者の3つの履修モデルを設定しています。モデルに沿って履修することで将来の進路を見据えた確かな知識・技能を修得します。また、3回生秋学期からは各自研究室で、関心あるテーマに沿って卒業研究に取り組みます。

外国語の選択	［必修］英語

• 下記は2024年度のカリキュラムです。2025年度は科目名称等が変更になる場合があります。
• 学部の専門科目とは質的に異なる、幅広い分野の知識の修得を目指す科目を多数履修することができます。 ➔ 教養科目 P.130

6年間の学びと研究の集大成

6回生次には、3回生秋学期より3年間実施する「卒業研究」の成果を卒業論文にまとめ発表します。「卒業研究」では臨床に関連するテーマに取り組み、問題解決能力と研究マインドを身につけます。また、6年間の学びについて総合的に理解を深めるため、「薬学総合演習」を開講しています。多数の薬学部教員による講義・演習で、入学時からの学修内容を復習することができます。医療現場で必要となる知識・技能を確実に修得して卒業します。

	3回生配当		4回生配当		5回生配当		6回生配当	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
	●医薬品製造学 生体分子解析法	構造生物学　●和漢薬論						
	●環境衛生学　●薬理学C プロテオミクス	●毒性学　●応用薬理学演習 再生医療学　分子神経科学	●公衆衛生学 バイオインフォマティクス					
	●病態・薬物治療学B　●感染症学 ●生物薬剤学　●製剤学・物理薬剤学B ●日本薬局方概論　●医療倫理	●病態・薬物治療学C　●薬物動態学 薬物送達学　●医薬品情報学 ●医療コミュニケーション 医療社会論　データサイエンスと薬学	●病態・薬物治療学D ●臨床薬剤学A ●臨床薬剤学B　●薬物療法学 ●調剤学　●薬事法規・薬事制度					
	●生化学・分子生物学実習 ●生薬学・天然物化学実習 ●衛生化学実習	●薬理学実習　●微生物学実習 ●薬剤学実習	●医療薬学実習A ●医療薬学実習B	●実務前実習	●病院実務実習 ●薬局実務実習			
		●卒業研究A	●卒業研究B		●卒業研究C		●卒業研究D	

〈注意事項〉年度により、開講期間（春学期・秋学期）がカリキュラム表とは異なる場合があります。授業時間割表で確認してください。※クオーター開講の場合があります。詳細は授業時間割表で確認してください。

	3回生配当		4回生配当	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
	医薬品製造学　生体分子解析法	◎合成化学　構造生物学　和漢薬論	◎香粧品学　◎食品化学	
	環境衛生学　薬理学C　プロテオミクス バイオインフォマティクス	毒性学　◎再生医療学　◎分子神経科学	公衆衛生学　◎次世代創薬　◎免疫医薬品学	
	病態・薬物治療学B　感染症学　●生物薬剤学 製剤学・物理薬剤学B　●日本薬局方概論　医療倫理	病態・薬物治療学C　●薬物動態学　薬物送達学 医薬品情報学　◎データサイエンスと薬学	病態・薬物治療学D　臨床薬剤学A　薬物療法学 薬事法規・薬事制度　漢方医療薬学	臨床試験概論 医療統計学
	●生化学・分子生物学実習　●生薬学・天然物化学実習 ●衛生化学実習	●薬理学実習　●微生物学実習 ●薬剤学実習		
		●卒業研究A	●卒業研究B	

より高度な研究を目指して

卒業後は多くの学生が大学院に進学し、「薬を創る」分野・領域をより深く学び、高度な専門知識と研究能力を身につけ、企業や研究機関におけるグローバル人材として活躍することが期待されます。大学院修士課程では、専門領域の学びはもちろんのこと、国内外の研究機関・研究者との交流など、研究者として成長するための環境を用意しています。

学びの特色

情報発信力を育む英語教育を展開

国際化が進むライフサイエンスの分野において、英語が意見交換や報告書などで必須の言語であることから、薬学部では、英語を必修にしています。薬学部の英語プログラムは「スキルワークショップ」と「プロジェクト」の2本柱で構成されています。「スキルワークショップ」では、ネイティブ教員による徹底的な訓練により、聞く、話す、読む、書くという4つのスキルを総合的に高めます。「プロジェクト」では、1・2回生次にスポーツや音楽など自らの興味に応じたテーマについて、収集した情報や研究成果を英語で発信することで、英語運用能力と、情報収集能力やプレゼンテーション能力を身につけます。3回生次には医療・医薬に関する内容をテーマとして、薬学の専門分野において英語で発信できる能力の基礎を築きます。

トロント小児病院留学プログラム

薬学部ではカナダのトロント小児病院（Sickkids）と留学協定を締結しており、薬学科5回生向けに留学プログラムを実施しています。Sickkidsは、トロント大学の関連病院であり、子どもの健康推進に関わる分野においてはカナダ最大の研究機関病院です。最先端の小児医療を提供するのみならず、世界各国から多くの医療従事者、研究者の留学、研修を受け入れています。世界の最先端の医療現場での研修を通じて、カナダの医療制度・薬剤師業務を学びます。現地では、小児用薬学臨床症例カンファレンスや症例検討会に参加する他、病棟での臨床を体験できるプログラムを用意しています。臨床に関わる病院薬剤師をはじめ、薬局や企業等で薬剤師として活躍していく皆さんに、国際的な視野を身につけてもらうことを目的とした海外留学プログラムです。

※本プログラムは薬学科5回生のみ参加できます。

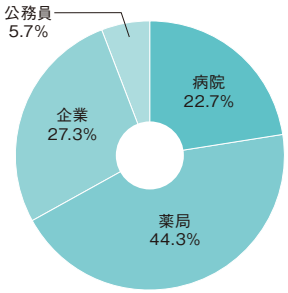
［2024年度　教員・研究テーマ一覧］　詳しくはこちら ▶

化学系薬学	
井之上 浩一	臨床化学・食品衛生学・レギュラトリーサイエンスを目指した新たな分析化学
梶本 哲也	生物活性物質の探索と合成
北原 亮	極限環境における生命現象
菅野 清彦	物理化学理論に基づく医薬品の製剤設計および機能評価
田中 謙	天然薬物資源の開発と応用
土肥 寿文	持続可能な合成手法の開発と有用物質の創製研究
豊田 英尚	糖鎖機能の解明と再生医療への応用
林 宏明	薬用植物の多様性の解析と応用
古徳 直之	有機合成化学を基盤としたケミカルバイオロジー研究
泉川 友美	グリコサミノグリカンを含む糖鎖の機能解明とそれらの医薬品開発および再生医療への応用
上田中 徹	新規有機合成法の開発およびその応用による創薬科学研究
菊嶌 孝太郎	医薬品創出を指向した有機合成手法の開発
北沢 創一郎	タンパク質の立体構造揺らぎと機能の相関研究
高山 卓大	Omicsアプローチによる病態の解明・早期診断への展開
生物系薬学	
浅野 真司	創薬標的としての気道および脳室線毛細胞の発生と運動の解析
芦田 昇	炎症の真の意味に迫る
天ヶ瀬 紀久子	種々の消化管疾患の病態解析ならびに予防・治療法の探索
北村 佳久	神経変性疾患の病態解明と治療戦略の研究
小池 千恵子	視覚再生医療を目指した網膜ネットワークの階層横断的解析
鈴木 健二	細胞内情報伝達系に焦点を当てた薬物標的の探索
高田 達之	細胞分化，形態形成におけるレチノイン酸シグナル。幹細胞生物学を用いた琵琶湖固有種の保存
中山 勝文	病原微粒子に対する免疫応答機構を解析する
林 嘉宏	がんの病態解明とアンメットメディカルニーズを充たす新規治療法開発
市村 敦彦	統合的解析を駆使した細胞内シグナル制御機構と生理機能の探索
河野 貴子	細胞機能を制御するシステムの動作原理の解明
藤田 隆司	代謝性疾患における免疫の役割
井上 沙奈	治療抵抗性ヒト乳癌細胞における癌幹細胞の役割
上野 明希子	網膜ON型双極細胞におけるカチオンチャネル転写制御機構の解明
添田 修平	分化・発達に関連した遺伝子の機能解析
高橋 慧	造血器腫瘍に対する新規治療提案
西江 友美	発生において形態異常を引き起こす分子機構の解析
文 小鵬	腸内環境と神経変性疾患の関連性解析
医療系薬学	
角本 幹夫	テーラーメイド薬物療法を目指した医薬品の適正使用に関する研究
桂 敏也	薬物代謝酵素・トランスポーターの機能・発現変動に関する研究
藤田 卓也	薬物動態・薬効に関与するトランスポーターの機能評価
細木 るみこ	データベースを用いた医薬品の安全性および有効性の評価に関する研究
上島 智	個別化薬物療法を指向した薬物動態と薬効に関する速度論的解析
小川 慶子	医薬品等の化学構造が有効性および安全性へ及ぼす影響についての研究
根来 亮介	ゲノム編集技術を用いた創薬応用可能な薬物代謝能を有する腸・肝モデルの作製
野田 哲史	臨床的疑問の解決を目指した医療薬学研究
藤野 智恵里	薬物代謝酵素と薬物トランスポーターの発現変動およびそのメカニズム解明
薬学系教育	
近藤 雪絵	学習者主導の授業運営方法と薬学生のための英語学習教材の開発および コーパスを利用したディスコース分析
坂口 裕子	医療現場と連携し、適正かつ最適な薬物療法を目指した医療薬学研究
三浦 信広	薬学系における物理の基礎教育に関する研究と教材の開発
森本 功治	理解度の高い有機化学教育や化学的視点からの医薬品の考え方に関する研究
後藤 秀貴	日常言語に潜む比喩表現を認知言語学的観点から分析する
布目 真梨	薬剤師・薬学教育における発展的研究

薬学科　進路・就職状況

高度化する医療現場において自ら課題の解決に取り組める「研究マインド」を持った薬剤師を育成。

［2023年度卒業生　業種別進路決定状況］



◎円グラフの数値は小数点以下第二位を四捨五入により算出。
◎端数処理の関係で100%にならない場合があります。

［2023年度卒業生　進路・就職先一例］

〈50音順〉

病院
地方独立行政法人大阪市民病院機構
社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会千里病院
京都府立医科大学附属病院
神戸大学医学部附属病院
国立研究開発法人国立がん研究センター
独立行政法人国立病院機構
独立行政法人国立病院機構　関東信越グループ
国立大学法人千葉大学医学部附属病院
日本赤十字社　長浜赤十字病院
藤田医科大学　岡崎医療センター

企業	
味の素株式会社	第一三共株式会社
エーザイ株式会社	武田薬品工業株式会社
大塚製薬株式会社	テルモ株式会社
協和キリン株式会社	日本新薬株式会社
沢井製薬株式会社	ファイザー株式会社
株式会社三和化学研究所	ロート製薬株式会社
シミック株式会社	

薬局
株式会社アインファーマシーズ
ウエルシア薬局株式会社
株式会社スギ薬局（スギ薬局グループ）
株式会社マツキヨココカラ&カンパニー

公務員
国家公務員総合職（特許庁）
京都市役所
滋賀県病院事業庁

卒業生からのメッセージ

最適な化学療法を提案し、症状の改善を支援。患者さんの「声」が病院薬剤師のやりがい。

宮澤 顕子 さん
東北大学病院 薬剤部
（薬学部 薬学科 2020年卒業）

大学での実務実習をきっかけに、病院薬剤師になることを決めました。東北大学病院では、病棟での実践的な経験を通じて薬剤師としての技能と知識を広く習得できると考え、入職しました。現在は主に婦人科と総合外科の病棟で勤務しています。乳腺外科の患者が多く、化学療法を目的とした方に治療のスケジュールや主な副作用について説明しています。また、化学療法の経験者には副作用の状況を聴取し、得た情報をもとに支持療法※を医師に提案することも仕事です。薬剤師の意見が反映されることも多く、「副作用が楽になった」という話を聞くことがやりがいになっています。学生時代に異なる学部との共同研究を行った経験は、現在、病院薬剤師として様々な職種と協力しながら患者の治療を進める多職種連携の職場で活きています。今後、外来がん化学療法認定薬剤師の資格取得を目標としています。

2014年、薬学部薬学科入学。5回生時に参加した病院実務実習を通じ、化学療法で副作用に苦しむ患者が、薬剤師の提案した支持療法によって改善する様子を目の当たりにしたことで、病院薬剤師になることを決意。2020年、薬学部薬学科卒業。同年東北大学病院薬剤部入職。

※支持療法：癌治療で、癌の随伴症状や治療による副作用を予防・軽減するための治療。

医薬品のプロジェクトリーダーとして開発品を患者に届け、多くの人を支えたい

坂本 葵 さん
協和キリン株式会社 CMC研究センター 分析グループ
（薬学研究科 博士課程前期課程 薬科学専攻2023年修了、
薬学部 創薬科学科 2021年卒業）

小学生の時にエボラウイルスのニュースを見て医薬品開発に興味を持ち、その後日本発の医薬品がエボラ出血熱の克服に貢献したことで、製剤研究の分野に進路を定めました。協和キリン株式会社を選んだのは、インターンシップを通じ、社員の強い責任感に感銘を受けたからです。ともに医薬品の研究員として、患者に貢献する仕事にしたいと考えました。医薬品を上市※するには、開発した製剤に関するさまざまなデータを提出する必要があります。そうしたデータを取るための試験法の検討が、現在の業務の一つです。学生時代の研究室での生活を通して「研究は自ら進めるもの」であることを学び、その後の積極的な挑戦が多くの経験をもたらしました。失敗から学び、解決策を見つける姿勢は、今の仕事にも活かされています。今後は、プロジェクトリーダーとして開発品を患者に届け、多くの人を支えることが目標です。

2017年、薬学部創薬科学科入学。2021年、薬学研究科に進学。2023年4月、協和キリン株式会社入社。現在はCMC研究センター分析グループ所属。医薬品の上市に必要な試験法の検討や上市申請に伴う書類の作成、行政機関との連絡などを担当している。

※上市：承認された新薬の市場販売が開始されること。

創薬科学科　進路・就職状況

創薬の高度な専門知識と研究力を有し、医薬品などの基礎研究および臨床開発において活躍できる人材を育成。

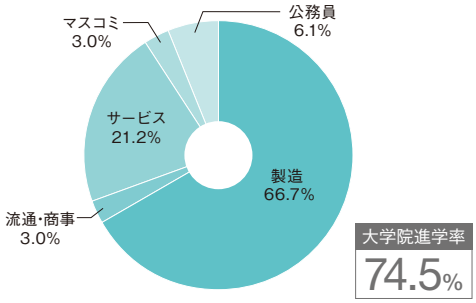
創薬科学科の卒業生は、創薬・製薬分野での研究・開発職としての活躍はもちろん、化学・化粧品・食品メーカーや商社、行政機関においても薬学の知識を持った人材が求められており、進路の可能性は多岐にわたります。また、多くの卒業生が大学院へ進学し、より高度な研究に取り組んでいます。将来はその研究成果を製品化に繋げる開発職や技術営業など、広く人々の健康に奉仕する産業分野での活躍が期待されます。

※創薬科学科（4年制）では薬剤師国家試験の受験資格を得ることはできません。

［2023年度卒業生・大学院修了生　進路・就職先一例］　〈50音順〉

IQVIAサービシーズジャパン合同会社	日産化学（株）
大塚製薬（株）	日本新薬（株）
キッセイ薬品工業（株）	ニプロファーマ（株）
佐藤製薬（株）	Meiji Seika ファルマ（株）
（株）ツムラ	国家公務員総合職（特許庁）

［2023年度卒業生　業種別進路決定状況］



◎円グラフの数値は小数点以下第二位を四捨五入により算出。
◎円グラフには研究科を含む。
◎大学院進学率＝{大学院進学者／（就職者＋大学院進学者）}。
◎端数処理の関係で100%にならない場合があります。

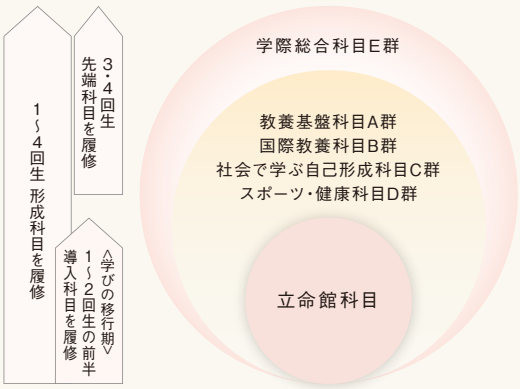
立命館大学の学びと特長

教養教育

本学の教養教育は総合大学の特長を活かして、物事を総合的に捉える視野を身につけ、人生の指針となる知性と知恵、価値観、考え方を養い、主体的かつ自律的な思考や行動、ならびに他者との対話や協働ができる力を育成します。

教養教育の目標		身につけたい力（到達目標）
Ⅰ 知識・理解	学部固有の専門教育とは異なる知的体系や方法論による学習によって、自らの専門性を相対化し考察する能力の習得をめざす。	知識 科学的考察力 総合的解釈力
Ⅱ 思考・判断・意識	豊かな教養と深い洞察力の獲得によって、人生の指針となる知性と知恵、価値観、考え方の涵養をめざす。	洞察力 指針の確立 創造性
Ⅲ 態度・行動	他者と実践をともにする中で多様な価値観を踏まえて主体的に学習する姿勢を身につけ、現代社会を切り拓く力の育成をめざす。	多様性・国際性 自己表現力 共創する力

教養科目の体系と履修の流れ



教養教育センター
https://www.ritsumei.ac.jp/liberalarts/

［教養科目の構成］

立命館科目

本学の教学理念「平和と民主主義」と深く関連するテーマ（市民性、平和、人権、ダイバーシティなど）を学び、現代社会を生きる上で必要となる批判的思考力、科学・技術と社会の関係をとらえます。多様な価値の尊重、他者との対話・協働、自由で責任ある思考・行動ができる地球市民になるための土台となる科目群です。

「平和人権フィールドスタディ」のネパールプログラムではフェアトレード団体と交流

教養基盤科目（A群）

人類が長い時間をかけて創造してきた知的体系や先端的な知識に加え、現実に起きているさまざまな問題を提示することにより、問題意識を涵養し、問題解決型の発想力を育成します。7つの分野から構成しています。

国際教養科目（B群）

異文化間の相互理解力やコミュニケーション力を涵養する科目群。授業言語は英語や初修外国語です。討論や発表、留学生との学びあいを重視しています。

「Cross-cultural Encounters 1」では日英両言語を駆使して留学生と議論

社会で学ぶ自己形成科目（C群）

実社会への参加を通じて、地球市民としての倫理観・正義感・社会的責任感（シチズンシップ）を学びます。地域社会の課題解決を目指す市民団体との協働・対話による「サービスラーニング科目」と、職業観や勤労観を育む「キャリア教育科目」があります。

➔ キャリア教育科目 P.140

スポーツ・健康科目（D群）

スポーツに親しみ、健康への意識を高めるため、スポーツの歴史や振興を通じた健康づくり、ヘルスケアなどの生活文化を扱う講義と多様な種目を揃えた実技から構成しています。

学際総合科目（E群）

学際的・総合的な知の構築を目指し、学生の主体的な授業参加を重視します。1回生から受講できる「教養ゼミナール」や、人類が直面する課題に対し学問分野の壁を越えた学融合的アプローチを行う「超領域リベラルアーツ」（3回生以上対象）などを配置しています。

1回生での小集団教育

大学での学びは、自ら進んで学ぶという、学習スタイルが求められます。

立命館大学では、各学部において、少人数でクラス編成された1回生対象の「基礎演習（専門小集団科目）」などを開講しています。レジュメの作り方、討論の方法、文献資料の探し方、グループ学習方法、レポート・小論文の執筆方法、プレゼンテーションの方法など、大学で学ぶための主体的な姿勢や基礎力を身につけるほか、4年間の充実した学びに向けて、専門分野への導入を行います。

小集団教育の充実は、立命館大学ならではの学びの特長といえます。

外国語・グローバル教育

立命館大学では、グローバル化した時代において、国際的な視野と語学力を身につけ、個性を活かして活躍できる人材を育成するため、すべての学部で教育内容の国際化を進めながら、課外自主活動での国際教育や交流を促進する、重層的な教育を目指しています。

外国語教育

各学部の外国語教育

立命館大学では、各学部の教育理念に基づき、必修外国語科目を配置しています。本学で必修として学修できる言語は11言語で、主に英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、朝鮮語などを展開しています。

必修外国語科目では、外国語の運用に必要な素養を身につけます。さらに、発展的科目となる副専攻科目や、外国語で行われる専門科目などの履修につなげていきます。

※各学部で履修が可能な言語は異なります。詳細は、各学部のページの「外国語の選択」項目にて確認してください。

全学副専攻プログラム

各学部で必修となっている外国語教育や専門科目とあわせて、より実用的な言語運用能力を養う「全学副専攻プログラム」を開講しています。

全学副専攻プログラムは、必修外国語の履修などでこれまで培った外国語能力をベースに、より一層高い運用能力とその外国語学習を通じて幅広い教養を身につけることを目的として、ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・朝鮮語の各コースを開設しています。（学部によって開講形態・履修構造が異なります。）

各学部での専門科目と併行して履修していくとともに、全学副専攻プログラムを履修することで、「読む、書く、聞く、話す」などの基礎運用能力を超えて、その国の文化や社会についての専門的知識を身につけることができ、国際社会で活躍できる実践的で高度な運用能力を獲得することを可能としています。

言語教育センター（LEC）
https://www.ritsumei.ac.jp/gengo/seika-manabi/

授業外のサポート

［各種講座］

言語習得センター CLA講座

CLA※の外国語講座では、語学力をアップさせたい、留学に備え外国語をしっかり学びたい、そんな学生の学びをサポートする講座を開講しています。同じ目的を持つ仲間と一緒に努力することでモチベーションも上がります。CLA講座を活用して、語学力で勝負できる人になろう!!

＼ メリット1 ／	＼ メリット2 ／	＼ メリット3 ／
気軽に受講できるオンライン講座	お得な受講料!	モチベーションアップ!

- TOEIC® L&Rテスト対策講座
- TOEFL® テスト対策講座
- IELTSテスト対策講座

※CLA：Center for Language Acquisition

言語習得センター（CLA）
https://www.ritsumei.ac.jp/gengo/cla/

立命館孔子学院

立命館大学が中国の北京大学、同済大学と共同で設置した中国語学習、中国文化理解促進のための教育機関です。

＜中国語講座＞
- 中国語講座：初級から上級まで6段階の講座を6拠点およびオンラインで開講
  会話、文法、ビジネス、資格試験など、テーマ別の特色ある講座も開講
- 弱点克服講座：「文法」、「会話」を夏期、春期休暇中に集中開講

＜海外留学支援＞（渡航条件によりオンラインもあり得る）
- 長期留学支援：孔子学院奨学金留学（半年、一年間計6名程度）※
- 短期留学支援：留学体験プログラム（夏期、春期に10日間、各20名）

＜中国文化理解企画＞
- 中国理解講座や中国古典文化講座、各種セミナー・講演会、読書会、中国技芸公演など

※派遣先実績は北京大学、同済大学、南開大学 ほか

立命館孔子学院
https://www.ritsumei.ac.jp/confucius/

［各種試験受験の補助制度］

英語団体受験

TOEFL ITP® テスト　TOEIC® L&R IPテスト

正課授業の到達度を測るため、また主体的な外国語学習の自己検証を目的として、年に数回団体受験を実施し、留学や大学院進学、就職活動など将来へのキャリアアップに備えて、活用を推奨しています。

※学部により受験料補助制度があります。また受験が義務付けられている場合があります。

初修外国語検定試験補助制度

学生の初修外国語検定試験の受験料の1/2を大学が補助しています。語種などの詳細については言語教育センターのホームページで確認してください。

言語教育センター（LEC）
https://www.ritsumei.ac.jp/gengo/gaikokugo-gakusyu/

※TOEIC®及びTOEFL®はEducational Testing Service（ETS）の登録商標です。
※TOEIC®L&RテストのL&RはLISTENING AND READINGの短縮形です。

Beyond Borders Plaza（BBP）

BBPは、国境の壁、文化の壁、言葉の壁など、さまざまなBordersを越えてつながり共に学ぶ、国際交流や外国語学習ができるグローバル・コモンズです。海外留学にチャレンジしたい、留学生と交流したい、外国語学習の相談がしたいなど、皆さんのニーズに応じたさまざまなアクティビティを開催しています。もちろん、学生のみなさんが主体となってイベントを企画・実施することもできます。積極的にBBPを活用してください。

リーディングスペース

言語学習（外国語・日本語）用の図書、海外留学に関する資料や書籍、語学検定試験や資格試験向けの対策本、国際教養図書のほか、漫画や旅行本・カルチャー本を置いています。

学習サポートデスク

海外留学に関する相談や、言語学習に関する相談に、専門教員が個別サポートします。

外国語コミュニケーションルーム / 日本語学習相談

外国語の先生や日本語の先生と一緒に日常会話やディスカッション、ゲームなどを通じて楽しく外国語・日本語に触れ、学ぶ場所です。授業で聞けなかった質問や学習相談もできます。授業の空き時間を見つけて自由に参加できます。

収集する　体感する　発信する　実践する

ワークショップ・イベント

BBPでは、テーマ別のワークショップや国際交流イベントなどを通年で開催しています。興味のあるテーマがあれば、ぜひ気軽に参加してください。また自分たちで企画してイベントをBBPで開催することもできます。

海外留学プログラム

BBPで得た発見や学びをもとに、大学を飛び出してチャレンジしてみましょう!BBPでは、海外留学に関する説明会やイベントを開催しています。

BBP Language Exchange Program

「学びたい言語」と「教えることができる言語」を登録し、お互いのニーズがマッチすれば、1対1で相互学習ができます。学生間でリラックスした中で学び合えるプログラムです。

Beyond Borders Plaza
https://www.ritsumei.ac.jp/bbp/

留学生との交流

立命館大学では80カ国・地域から集まった3,028名の留学生が学んでいます。授業のみならず、大学生活のさまざまな場面でオンラインも含め留学生と交流することができ、留学生をサポートする活動機会も広がっています。

留学生チューター（TISA※）

学生が主体となって、留学生を生活・学修の両面から支援したり、国際交流企画の運営を行っています。これらの活動を通じて相互理解を深め、ともに成長することができます。現在、留学生も含む多くの学生が留学生チューター（TISA）として活動しています。

※TISA（Tutors for International Students Assembly）

レジデント・メンター（RM）

各キャンパスおよび近郊には、それぞれ留学生のための国際寮が設置されています。留学生のサポート役として、現役学生によるレジデント・メンター（RM）が留学生とともに生活しています。留学生が日本での生活に困らないよう、日本の慣習を教えたり、行政手続きのサポートをしたり、寮内におけるイベント企画運営に取り組むなどして活躍しています。

留学生受入数（学部・研究科総計）

（2023年5月1日現在）

国・地域	人数	国・地域	人数	国・地域	人数	国・地域	人数
中国	1,770	フランス	10	エジプト	3	エチオピア	1
韓国	565	シンガポール	9	モルディブ	3	コートジボワール	1
インドネシア	85	ウズベキスタン	9	ペルー	3	ジンバブエ	1
アメリカ	82	カンボジア	8	ブルガリア	3	セネガル	1
台湾	67	タジキスタン	8	イスラエル	2	マダガスカル	1
ベトナム	47	モンゴル	8	ウガンダ	2	モザンビーク	1
インド	34	ラオス	8	南アフリカ	2	ルワンダ	1
オーストラリア	24	メキシコ	8	スイス	2	レソト	1
香港	21	フィリピン	6	チェコ	2	グアテマラ	1
マレーシア	19	トルコ	6	ハンガリー	2	コロンビア	1
イギリス	18	ネパール	5	ポーランド	2	パラグアイ	1
ミャンマー	16	パキスタン	5	リトアニア	2	ベリーズ	1
タイ	15	デンマーク	5	ルーマニア	2	ホンジュラス	1
イタリア	13	スリランカ	4	ロシア	2	ニュージーランド	1
スペイン	13	ブータン	4	カザフスタン	1	アイルランド	1
ドイツ	13	ガーナ	4	アラブ首長国連邦	1	アルバニア	1
バングラデシュ	12	ナイジェリア	4	イラン	1	スロバキア	1
キルギス	12	カナダ	4	サウジアラビア	1	スロベニア	1
アフガニスタン	11	オランダ	4	バーレーン	1	フィンランド	1
ノルウェー	10	スウェーデン	4	アルジェリア	1	ベラルーシ	1
						総計	3,028

海外留学プログラム・サポート

立命館大学では、多彩な海外留学プログラムを用意しています。全学部生を対象とした全学募集プログラムと、各学部や機関がそれぞれの専門や教学目的に応じた学びの一環として位置づけているフィールドワーク、インターンシップなどがあり、年間2,000名を超える学生を海外に派遣しています。

大学間の協定などに基づく日本人学生の海外留学派遣数は、全国でも上位（日本学生支援機構「日本人学生留学状況調査」発表）の実績を誇ります。

本学の海外留学プログラムには休学することなく参加することが可能です。

海外留学プログラムホームページ
https://www.ritsumei.ac.jp/studyabroad/

留学サポート・海外留学チャレンジ奨学金

- 諸手続きに関する留学事前事後サポートや、留学中のスムーズな学修、生活のためのサポートを行っています。
- 国際教育センターによる留学相談ブースや留学フェアでは、留学を経験した先輩学生が、個々の相談に応じます。
- 海外留学を支援する大学独自の奨学金制度（立命館大学海外留学チャレンジ奨学金）があります。原則、本奨学金対象プログラムの参加者全員に給付されます。

➔ 全学募集プログラム P.133~135　➔ 奨学金 P.149

情報収集～留学までの流れと各種サポート

Step 1　情報収集	Step 2　募集・選考	Step 3　派遣内定～各種手続き	Step 4　留学
募集説明会 留学相談ブース・留学フェア	書類選考・面接選考など	渡航準備各種ガイダンス、留学先大学の受入許可、予防接種の案内、ビザ申請の支援 など	出 発

大学間協定締結先

世界69カ国・地域、470大学・機関と協定を結んでいます。（2023年5月1日時点）

世界34カ国・地域、166大学・機関と学生交換などを実施しています。（2023年5月1日時点）

America

［アメリカ］
アパラチアン州立大学
アメリカン大学
アラバマ大学
アルフレッド大学
イリノイカレッジ
ヴァッサー大学
オクラホマシティ大学
オクラホマ大学
オハイオノーザン大学
カリフォルニア州立大学モントレーベイ校
カリフォルニア州立大学ロングビーチ校
カリフォルニア大学デービス校
サンディエゴ州立大学
サンフランシスコ大学
ジェームズ・マディソン大学
シモンズカレッジ
昭和女子大学ボストン校
ジョージアカレッジ&ステート大学
テネシー工科大学
デポール大学
ニューメキシコ大学
ニューヨーク州立大学プラッツバーグ校
ノースカロライナ大学グリーンズボロ校
ノーステキサス大学
バトラー大学
ピッツバーグ大学
フロリダ国際大学
ペース大学
ボストン大学
ミシシッピ大学
ミネソタ大学ツインシティーズ校
ラトガーズ大学
ワシントン大学

［アルゼンチン］
ラ・プラタ大学

［カナダ］
アルバータ大学
オカナガンカレッジ
クイーンズ大学
サイモン・フレーザー大学
トロント大学
ビクトリア大学
ブリティッシュ・コロンビア大学

［メキシコ］
メキシコ大学院大学
モンテレイ工科大学

Asia

［インドネシア］
インドネシア大学
ガジャマダ大学
バンドン工科大学

［韓国］
亜洲大学
韓国カトリック大学
淑明女子大学
ソウル市立大学
西江大学
中央大学
成均館大学
延世大学
釜山国立大学
慶熙大学
高麗大学
梨花女子大学

［カンボジア］
パンニャサ大学

［シンガポール］
シンガポール国立大学
ニー・アン・ポリテクニーク

［タイ］
タマサート大学
チェンマイ大学
チュラロンコン大学
マヒドン大学

［台湾］
逢甲大学
国立台湾大学
国立中山大学
国立政治大学
国立台湾師範大学
淡江大学
東海大学

［中国］
上海交通大学
西南政法大学
西南大学
対外経済貿易大学
広西師範大学
武漢大学
吉林大学
深圳大学
東北財経大学
南開大学
南京大学
北京航空航天大学
北京大学

［フィリピン］
フィリピン大学

［ベトナム］
ハノイ貿易大学
ホーチミン市人文社会科学大学

［マレーシア］
マラ工科大学
マレーシア科学大学
マレーシア工科大学

［中国・香港］
香港大学
香港中文大学

Europe

［アイスランド］
アイスランド大学

［アイルランド］
国立ダブリンシティ大学

［イギリス］
イースト・アングリア大学
ウォーリック大学
エジンバラ大学
カーディフ大学
キングスカレッジ・ロンドン
シェフィールド大学
マンチェスター大学
ヨーク大学
リーズ大学
ロンドン大学SOAS
ロンドン大学ロイヤルホロウェイ

［イタリア］
トリノ大学
ナポリ東洋大学
ベネチア大学
ボローニャ大学
ローマ・ラ・サピエンツァ大学

［オランダ］
ライデン大学
ラドバウド大学

［スイス］
ルツェルン応用科学芸術大学

［スウェーデン］
セーデルテルン大学
マルメ大学
ヨンショーピング大学
リンネ大学
ルンド大学

［スペイン］
アリカンテ大学
アルカラ大学
グラナダ大学
ハエン大学
バスク大学
バルセロナ自治大学

［チェコ］
カレル大学
マサリク大学

［デンマーク］
コペンハーゲン・ビジネススクール
コペンハーゲン大学
南デンマーク大学

［ドイツ］
ヴュルツブルク大学
ケルン大学
ザーラント大学
チュービンゲン大学
フライブルク大学
ベルリン・フンボルト大学
ライプツィヒ大学

［ノルウェー］
インランドノルウェー応用科学大学
ベルゲン大学

［ハンガリー］
エトヴェシュ・ロラーンド大学
ブダペスト商科大学

［フィンランド］
トゥルク大学
ヘルシンキ大学

［フランス］
ICNビジネススクール
エクスマルセイユ大学
エクセリアグループ
トゥールーズ・ジャン・ジョレス大学
パリ・シテ大学
フランス国立高等師範学校
ボルドーモンターニュ大学
ボルドー政治学院
リヨン第3大学

［ポーランド］
ヤギェウォ大学

［ルーマニア］
ルーマニア・アメリカ大学

Oceania

［オーストラリア］
オーストラリア国立大学
クイーンズランド工科大学
クイーンズランド大学
サンシャインコースト大学
シドニー大学
西オーストラリア大学
ニューサウスウェールズ大学
マコーリー大学
メルボルン大学
ラ・トローブ大学

［ニュージーランド］
ヴィクトリア大学ウェリントン
オタゴ・ポリテクニーク

Africa

［エジプト］
エジプト日本科学技術大学（E-JUST）

全学募集の海外留学プログラム一覧
https://www.ritsumei.ac.jp/studyabroad/program/univ2/

※2023年5月1日時点に学生交換等の協定を締結している大学を基準にして掲載しています（一部変動が含まれます）。

多様なニーズに応える海外留学プログラム

立命館大学では、学生の皆さんの「海外で学びたい!」という多彩なニーズを実現するために、短期から長期間の海外留学プログラムを準備しています。いずれも、単位が付与されるプログラムです。

海外留学プログラムホームページ
https://www.ritsumei.ac.jp/studyabroad/

短期留学(夏休みや春休みに行く1週間〜2カ月の留学)

海外に飛び出そう!

Global Fieldwork Project(GFP)

学部を超えてチームを編成し、テーマ(文化・歴史・観光など)に沿って、現地でフィールドワークを行います。教員による引率、現地学生によるバディ制度、留学前と留学後の研修会など、充実したサポートを受けながら学習に集中することができます。海外渡航が初めての方でも参加しやすい、体験型海外留学入門プログラムです。

留学期間
約1週間

留学先
ベトナム、マレーシア、カンボジア、タイ、インドネシア、台湾

異文化理解セミナー/現地で学ぶ初修語セミナー

語学力向上と異文化理解を目指すプログラム。派遣先大学で外国語を学習します。また、現地での施設見学やフィールドトリップも充実しています。留学先は多様な言語圏から選択でき、英語、中国語、朝鮮語、フランス語、ドイツ語、スペイン語の各コースを用意しています。

留学期間
3〜4週間

テーマを持って学習しよう!

海外スタディ

専門的な知識の習得を目的として外国語(主に英語)でテーマ学習を行います。プログラムでは、専門的なクラスを受講する「アカデミック・ラーニング」、あるいは調査活動(複数の教育機関、国際機関などを訪問し現地で働く教職員などからレクチャーを受けるなど)を通じて実践的な学びを深める「フィールドワーク」を展開します。語学留学とは違った、専門分野での実践型学習を中心としたプログラム内容となっています。

留学期間
2〜4週間

留学先
アメリカ、マレーシア

ペース大学 (ニューヨーク、アメリカ合衆国)	ニューヨークで学ぶ国際連合
マレーシア工科大学 (ジョホールバル、マレーシア)	マレーシアで学ぶアジアの環境と開発
ラトガーズ大学 (ニュージャージー州、アメリカ合衆国)	多様な視点から見る アジア太平洋の国際関係

オンライン留学にチャレンジ!

立命館×UC Davis Online Learning 〜オンライン留学で学ぶグローバル課題〜

アメリカ・カリフォルニア大学デービス校(UCデービス)と共同開発したオンライン留学プログラムです。グローバルな課題について「自文化」との比較を行い、授業によってはUCデービスの学生と共修する機会もあります。オンラインでの実施のため、費用を抑えることができ、また日本とアメリカの時差にも対応しているため日常生活とも両立して参加できます。

1セメスター(半年間)留学

集中的に英語を学び専門的な講義を受けたい!

英語を集中的に学ぶプログラムや、外国語による現地の専門的な講義を受けるプログラムなど、多様なプログラムを展開しています。一部のプログラムでは、派遣先大学の正規科目を受講できるものもあります。

立命館・カリフォルニア大学デービス校「アメリカの言語・文化・社会」プログラム アメリカ
立命館・ワシントン大学「持続可能な社会とイノベーション」プログラム アメリカ
立命館・ヨーク大学「イギリスで学ぶクリエイティビティ」プログラム イギリス

留学期間
4〜6カ月

留学先
アメリカ、イギリス

Voice **立命館・ヨーク大学「イギリスで学ぶクリエイティビティ」プログラム**

牧島 裕人 さん
経済学部(派遣時2回生)
愛知県立昭和高校出身

高校時代にオーストラリアに滞在した経験から、長期滞在で現地の人々と親交を深めたいと思い留学を決意しました。留学先では、英語の語彙や文法のブラッシュアップと、クリエイティブな発想力や想像力を身につける授業に参加しました。積極的に友人を作ろうと、ダンスクラブや野球チームにも入りましたが、最初は周囲が話す内容を全く聞き取れず苦労しました。ホストファミリーと多くの時間を過ごしたり、会話中に浮かばなかった表現を書きとめるMy単語ノートを作成するなどコツコツ努力した結果、一年経った今でも現地の友人と連絡を取り、日本へ遊びに来てくれるほどの関係を築くことができました。現在は留学で得た自信や英語力を活かし、学内で気軽に交流できる国際交流カフェを運営しています。将来はさまざまなことに挑戦し世界規模でより多くの人を巻き込んでいきたいと考えています。

長期留学

自分の興味がある分野を海外でしっかり学びたい！

立命館・UBC アカデミック・イマージョン・プログラム

カナダの名門校であるブリティッシュコロンビア大学（The University of British Columbia: UBC）と開発した、立命館大学の学生専用の留学プログラムです。プログラム参加学生をサポートするUBCの専属スタッフもいるため、現地でのサポートが充実しています。

留学期間
8カ月間

留学先
カナダ

ASEANで学ぶ国際PBLプログラム

ASEANや日本に関する問題意識を持ち、留学生とともにProblem/Project-Based Learning（PBL）で議論を重ねるプログラム。タイもしくはインドネシアのトップクラスの大学への半年間の留学と、派遣前および帰国後の学修を行う、一貫した学びが特長です。

留学期間
約半年間

留学先
タイ、インドネシア

交換留学

海外の協定大学へ1年間（または半年）留学するプログラムです。留学先の大学では、現地の学生と同様に各学部に所属し、自分の専門分野に応じた正規開講科目を受講して専門性を高めます。そのため語学力に加え、本学入学後の成績（GPA）も応募時に非常に重要となります。本学の交換留学プログラムでは、北米・イギリスはもちろんのこと、世界30以上の国と地域へ留学することができます。北欧や南米、東南アジアなど、自分の興味に合わせて留学する地域を選択することができるのが特長です。また、語種も英語だけでなく、スペイン語やフランス語、ドイツ語、中国語、朝鮮語、イタリア語での留学が可能です。

留学期間
原則1年間

留学先
世界約150の 協定大学

立命館・アルバータ大学「北米の言語・文化・社会」プログラム

アルバータ大学のIVSP（International Visiting Student Program）に参加します。留学前半（9月～12月）は英語の授業を受講し、アカデミックな英語力の向上を目指します。留学後半（1月～4月）はアルバータ大学の講義を現地学生と受講します。

留学期間
8カ月間

留学先
カナダ

APU国内交流プログラム

立命館大学と立命館アジア太平洋大学（APU）、両大学間の学生交流を目的とした半年間あるいは1年間の国内交流プログラムを設けています。世界各地の留学生が学ぶAPUでの国際色豊かな学修、国籍や地域を越えて留学生と交流できるAPハウス（APUの学生寮）での共同生活など、国内で異文化理解・異文化交流を体験できる貴重な機会です。英語で行われる授業の履修を通じた英語力やプレゼンテーション能力、国際学生との交流を通じた他国の文化や考え方を理解する力の向上などが期待されるほか、これらを踏まえた海外留学の準備としても活用できます。

留学期間
半年間（春学期、秋学期） 1年間（春学期出発のみ）

留学先
立命館アジア太平洋大学 （大分県別府市）

Voice　**交換留学（アメリカ サンディエゴ州立大学）**

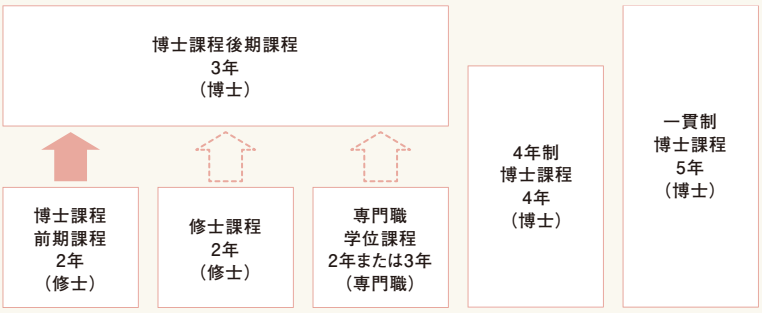
鈴木 静香 さん
国際関係学部（派遣時2回生）
大阪府立東住吉高校出身

以前から英語が好きでしたが、もっと話せるようになりたい！と強く思い留学を決めました。留学中は主に環境学や動物保護について学びました。初めは自分の語学力に自信がなく、あまり積極的に行動が出来ませんでしたが、このままではいけないと勇気を出して同じクラスの子に話しかけてみると、その子を中心に友達の輪がどんどん広がり、少し勇気を出して積極的に行動すれば、可能性は無限大に広がっていくことを実感しました。また現地のフラダンススクールに通い、大学生以外の年代の人々とも多く知り合い、忘れられない思い出がたくさん出来ました。慣れない環境で初めての経験ばかりでしたが、新しい発見や面白い経験をたくさんして、価値観や考え方が大きく変わりました。留学は、語学力向上はもちろん、それ以上に沢山の貴重な経験ができ、その後の人生をより充実したものにしてくれると思います。

大学院・研究推進

大学院への進学

大学院進学により、学部で学んだことの専門性をより高め、広く社会で通用する能力や学識を得ることができます。立命館大学には学部を基礎としている研究科や、ビジネススクールのように特定分野のプロフェッショナルを目指す専門職大学院などが設置されています。それぞれの興味関心に沿った多様な学びや研究ができる環境があります。学部から大学院への進学率は、理系学部で約50%、文系学部で約6%です。大学院進学をするためには、学部在籍時の成績が求められることがありますので、日頃からの学修の積み重ねが大切です。



（　　）内は取得できる学位
※進む研究科によって、設置されている課程が異なります。

奨学金／研究助成

立命館大学では、大学院進学を積極的に推進しています。特に、経済的な支援を重点的に行っており、本学出身者が本学大学院に進学する場合は入学金20万円を免除しています。そのほか、大学院生のための充実した奨学金や研究助成制度を用意しています。

計画的な奨学金や研究助成制度の活用によって、国際学会などに参加する場合の費用などを賄い、さらに研究活動を充実させたい大学院生が研究に専念できる環境を整えています。ぜひ、各種奨学金／研究助成制度を上手に活用し、研究活動の充実・将来のキャリアパス形成に役立ててください。

2023年度の例

奨学金名	概要
学生学会奨学金	本学大学院生が、学会への参加または学会における研究成果の発表を奨励する奨学金です。 参加・発表の形態によりますが、5千円～10万円の範囲で支給しています。
外国語論文投稿支援制度 （大学院生区分）	本学大学院生の研究成果の国際発信を促進することを目的とし、国際学会やジャーナル（論文誌）・国際会議などに投稿を行う際に必要となる校正費や投稿費を助成する制度です。 申請時の要件充足状況次第では、最大で10万円が支給されます。
ベーススキル向上支援補助制度	本学が指定する学内の英語学習講座（CLA講座）受講に要した費用全額を補助する制度です。 例えばTOEIC® テスト対策講座のための費用は4万円弱ですが、所定の条件を満たせば全学補助を受けられます。

進路・キャリアパス形成支援

立命館大学大学院生の就職決定率は、毎年高い実績を誇ります。大学院修了後の進路も、大学教員などの研究者だけでなく、さまざまな業界の民間企業へと広がっています。

本学では大学院キャリアパス推進室を中心に、大学院生が社会で活躍するために必要な情報提供やセミナー、研究活動とキャリア獲得のための活動の相談など、大学院生一人ひとりの目標とするキャリアに応じた支援を行っています。詳細はホームページまたはmanaba+Rでご確認ください。

大学院キャリアパス推進室
https://www.ritsumei.ac.jp/ru_gr/g-career/

大学院入試情報サイト

大学院に関する情報が必要な方は、「立命館大学大学院入試情報サイト」にアクセスしてください。本ウェブサイトには、「大学院入試説明会」や「大学院ウィーク」など、どなたでも参加可能なイベント情報や、奨学金の案内、大学院生のための進路支援、先輩の声など「大学院」に関わるさまざまな情報が掲載されています。

立命館大学大学院入試情報サイト
https://www.ritsumei.ac.jp/gr/

大学院一覧

			課程	専攻	学位
学部を基礎にもつ研究科	**法学研究科** Graduate School of Law	K	● 博士課程前期課程 ● 博士課程後期課程	法学専攻 法学専攻	修士（法学） 博士（法学）
	社会学研究科 Graduate School of Sociology	K	● 博士課程前期課程 ● 博士課程後期課程	応用社会学専攻 応用社会学専攻	修士（社会学） 博士（社会学）
	国際関係研究科 Graduate School of International Relations	K	● 博士課程前期課程 ● 博士課程後期課程	国際関係学専攻 国際関係学専攻	修士（国際関係学） 博士（国際関係学）
	文学研究科 Graduate School of Letters	K	● 博士課程前期課程 ● 博士課程後期課程	人文学専攻 行動文化情報学専攻 人文学専攻 行動文化情報学専攻	修士（文学） 修士（文学） 博士（文学） 博士（文学）
	経営学研究科 Graduate School of Business Administration	O	● 博士課程前期課程 ● 博士課程後期課程	企業経営専攻 企業経営専攻	修士（経営学） 博士（経営学）
	政策科学研究科 Graduate School of Policy Science	O	● 博士課程前期課程 ● 博士課程後期課程	政策科学専攻 政策科学専攻	修士（政策科学） 博士（政策科学）
	人間科学研究科 Graduate School of Human Science	O	● 博士課程前期課程 ● 博士課程後期課程	人間科学専攻 人間科学専攻	修士（人間科学）修士（心理学） 博士（人間科学）博士（心理学）
	映像研究科 Graduate School of Image Arts	O	● 修士課程	映像専攻	修士（映像）
	情報理工学研究科 Graduate School of Information Science and Engineering	O	● 博士課程前期課程 ● 博士課程後期課程	情報理工学専攻 情報理工学専攻	修士（工学） 博士（工学）
	経済学研究科 Graduate School of Economics	B	● 博士課程前期課程 ● 博士課程後期課程	経済学専攻 経済学専攻	修士（経済学） 博士（経済学）
	スポーツ健康科学研究科 Graduate School of Sport and Health Science	B	● 博士課程前期課程 ● 博士課程後期課程	スポーツ健康科学専攻 スポーツ健康科学専攻	修士（スポーツ健康科学） 博士（スポーツ健康科学）
	食マネジメント研究科 Graduate School of Gastronomy Management	B	● 博士課程前期課程 ● 博士課程後期課程	食マネジメント専攻 食マネジメント専攻	修士（食マネジメント） 博士（食マネジメント）
	理工学研究科 Graduate School of Science and Engineering	B	● 博士課程前期課程 ● 博士課程後期課程	基礎理工学専攻 電子システム専攻 機械システム専攻 環境都市専攻 基礎理工学専攻 電子システム専攻 機械システム専攻 環境都市専攻	修士（理学）修士（工学） 修士（工学） 修士（工学） 修士（工学） 博士（理学）博士（工学） 博士（工学） 博士（工学） 博士（工学）
	生命科学研究科 Graduate School of Life Sciences	B	● 博士課程前期課程 ● 博士課程後期課程	生命科学専攻 生命科学専攻	修士（理学）修士（工学） 博士（理学）博士（工学）
	薬学研究科 Graduate School of Pharmacy	B	● 博士課程前期課程 ● 博士課程後期課程 ● 4年制博士課程	薬科学専攻 薬科学専攻 薬学専攻	修士（薬科学） 博士（薬科学） 博士（薬学）
独立研究科	**言語教育情報研究科** Graduate School of Language Education and Information Science	K	● 修士課程	言語教育情報専攻	修士（言語教育情報学）
	先端総合学術研究科 Graduate School of Core Ethics and Frontier Sciences	K	● 一貫制博士課程	先端総合学術専攻	博士（学術）
	テクノロジー・マネジメント研究科 Graduate School of Technology Management	O	● 博士課程前期課程 ● 博士課程後期課程	テクノロジー・マネジメント専攻 テクノロジー・マネジメント専攻	修士（技術経営） 博士（技術経営）
専門職大学院	**法務研究科**［法科大学院］ School of Law	S	● 専門職学位課程	法曹養成専攻	法務博士（専門職）
	教職研究科［教職大学院］ Graduate School of Professional Teacher Education	S	● 専門職学位課程	実践教育専攻	教職修士（専門職）
	経営管理研究科［ビジネススクール］ Graduate School of Management	O	● 専門職学位課程	経営管理専攻 観光マネジメント専攻	経営修士（専門職） 観光経営修士（専門職）

K 衣笠キャンパス　O 大阪いばらきキャンパス　B びわこ・くさつキャンパス　S 朱雀キャンパス

研究推進

立命館大学は、人類・自然・地域社会の発展に貢献する研究大学として最先端の取り組みに挑戦しています。その成果は、社会貢献のために活用されるだけでなく、学部・大学院の研究・教育に活かされ、さらなる高度な研究および研究者の育成につながっています。人文・社会・自然科学各領域の研究を推進するために多彩な研究機構を設置し、基礎から応用まで幅広い活動を展開すると同時に、国や地方公共団体、産業界との研究交流にも積極的に取り組み、成果を社会に還元しています。

本学では、研究をより高いレベルで推進するため、2006年度から5年毎に独自の計画を策定し、「立命館大学研究高度化中期計画」として取り組んでいます。これまで、この中期計画を基盤としながら研究支援制度の充実を図り、外部資金獲得につながる成果の創出や研究拠点形成に取り組んできました。その結果、全国レベルの高い実績を上げています。

研究・産学官連携ホームページ
https://www.ritsumei.ac.jp/research/

[データでみる立命館の研究力]

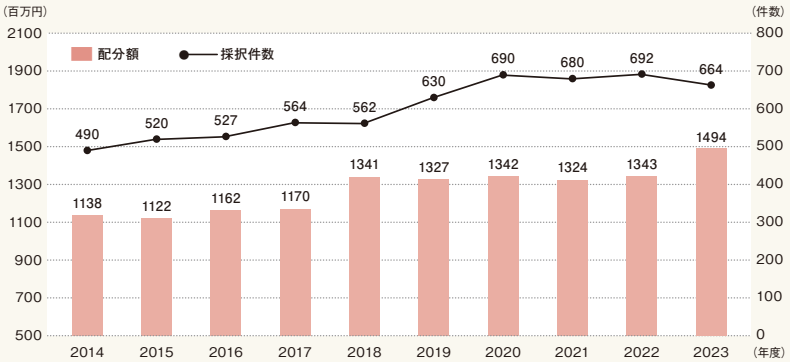
科学研究費助成事業 -科研費-

立命館大学は、2023年12月に発表された「令和5年度科学研究費助成事業の配分」において配分額は私立大学4位、採択件数は私立大学5位（西日本私立大学1位）となりました。全国では、配分額は24位、採択件数は26位となっています。また、配分額では14億円を突破し、過去最高額となりました。

審査区分別（中区分別採択件数上位10機関 ※過去5年間の新規採択数の累計数）では、12区分が全国10位内にランクインし「社会学およびその関連分野」が最高位の全国2位（私立大学1位）、「地理学、文化人類学、民俗学およびその関連分野」「人間情報学およびその関連分野」「応用情報学およびその関連分野」で私立大学1位となり、多様な分野で本学の強みを活かした独創的・先駆的な研究を進めています。

科学研究費助成事業（科研費）…科学研究費助成事業とは、文部科学省の競争的研究資金の一つであり、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる研究を助成する制度で、年間予算は2,000億円を超え、我が国の科学技術の発展には欠かせない重要な研究費です。

本大学の採択件数・配分額の推移（新規課題・継続課題）



科研費ランキング

配分額

機関名
1位　慶應義塾大学
2位　早稲田大学
3位　順天堂大学
4位　立命館大学
5位　東京理科大学
6位　日本大学
7位　近畿大学
8位　同志社大学
9位　東海大学
10位　明治大学

採択件数

機関名
1位　慶應義塾大学
2位　早稲田大学
3位　順天堂大学
4位　日本大学
5位　立命館大学
6位　近畿大学
7位　東京理科大学
8位　東海大学
9位　同志社大学
10位　北里大学

※2023年度配分額・件数（いずれも新規＋継続）私立大学のみ

審査区分別の状況
（中区分別採択件数上位10機関※）において
ランクインした中区分 ※過去5年間の新規採択数の累計数

思想、芸術およびその関連分野
文学、言語学およびその関連分野
歴史学、考古学、博物館学およびその関連分野
地理学、文化人類学、民俗学およびその関連分野
法学およびその関連分野
政治学およびその関連分野
経済学、経営学およびその関連分野
社会学およびその関連分野
心理学およびその関連分野
機械力学、ロボティクスおよびその関連分野
人間情報学およびその関連分野
応用情報学およびその関連分野

※文部科学省発表「令和5年度科学研究費助成事業の配分について」（2023年12月27日）より抜粋

世界大学ランキング

立命館大学は、世界大学ランキングの向上に向けた取り組みを進めています。本学は2023年に発表されたQS世界大学ランキングにおいて国内私立大学で4位（西日本私立大学1位）となりました。また、大学のSDGsの取り組みを評価するTHEインパクトランキングでは、世界で総合評価201-300位にランクインし、西日本の私立大学で最も高い評価を得ました。このランキングでは総合評価に加えてSDG別ランキングも発表され、本学は「SDG1：貧困をなくそう」で世界19位、「SDG2：飢餓をゼロに」で世界42位、「SDG13：気候変動に具体的な対策を」で世界84位となり、世界トップ100入りを果たしました。

QS世界大学ランキング

QS WORLD UNIVERSITY RANKINGS

西日本私立大学　第1位

THEインパクトランキング（SDGsの取り組みを評価）

THE IMPACT RANKINGS

総合評価
西日本私立大学　第1位

SDG1で世界19位、
SDG2で世界42位、
SDG13で世界84位を獲得しました。

研究機構・研究所・研究センター

立命館グローバル・イノベーション研究機構［R-GIRO］

R-GIROは、学長直轄の研究組織で、「政策的重点課題に特化した研究拠点の形成」および「次世代を担う若手研究者の育成の強化」を目的に2008年に設立されました。自然共生型社会の実現に向け、自然科学分野と人文学・社会科学分野との融合を図り、学際的研究活動を促進することで、価値ある研究成果を創出し、その成果の積極的発信により、次世代社会への貢献を果たすことを目的としています。

衣笠総合研究機構

衣笠総合研究機構は、研究所・研究センターをマネジメントする研究機構として研究活動を支えています。「自主」「民主」「公開」「平和利用」といった4つの原則のもと、人類の福祉と社会の進歩に貢献し、社会の要請に応えることを目的としています。

- **人文科学研究所**
- **国際地域研究所**
- **国際言語文化研究所**
- **人間科学研究所**
- **アート・リサーチセンター**
- **歴史都市防災研究所**
- **白川静記念東洋文字文化研究所**
- **生存学研究所**
- **研究センター**

加藤周一現代思想研究センター／地域健康社会学研究センター／コリア研究センター／クリエイティブ・メディア研究センター／中東・イスラーム研究センター／東アジア平和協力研究センター／間文化現象学研究センター／ゲーム研究センター／法政基盤研究センター／環太平洋文明研究センター

総合科学技術研究機構

総合科学技術研究機構は、産学官の共同研究の推進を通して、科学技術の発展と地域社会に貢献することを目的とし、従来の研究領域を超えた分野横断型の研究を展開しています。

- **理工学研究所**
- **SRセンター**
- **VLSIセンター**
- **スポーツ健康科学総合研究所**
- **研究センター**

古気候学研究センター／先端材料研究センター／ロボティクス研究センター／システム視覚科学研究センター／生物資源研究センター／環境テクノロジー・マネジメント研究センター／先端ICTメディカル・ヘルスケア研究センター／防災フロンティア研究センター／知能化社会デザイン研究センター／バイオメディカルエンジニアリング研究センター／琵琶湖・環境イノベーション研究センター／IoTセキュリティ研究センター／創薬科学研究センター／宇宙地球探査研究センター

立命館アジア・日本研究機構

立命館アジア・日本研究機構は学長直轄の研究組織で、「『アジア・日本研究』をリードする研究者の育成および未来のアジア・日本についての共通ビジョンの形成」をミッションとし、「アジアの時代」に資する立命館らしいコンセプトと戦略性を兼ね備えた研究を推進しています。国内外の研究機関と連携し、多様な研究ネットワークの中核としての機能を発揮しながら、グローバルな視点でアジア・日本研究を推進していくことを目的としています。直下のアジア・日本研究所では、「共生」「共創」「協働」をキーワードとした総合的実践研究に取り組み、次世代研究者の育成に力を入れながら、研究活動と成果発信を進めています。

- **アジア・日本研究所**

BKC社系研究機構

人文社会科学分野における企業・自治体などとの共同研究や、自然科学系分野との交流による学際的研究を促進することを目指し1998年に設置されました。社会性・国際性・公開性・学際性を重視した活動を行い、学術文化の発展と人類の福祉に貢献することを目的としています。

- **社会システム研究所**
- **研究センター**　ファイナンス研究センター／食総合研究センター

OIC総合研究機構

大阪いばらきキャンパス（OIC）の教学コンセプトである「アジアのゲートウェイ」「都市共創」「地域・社会連携」に基づきグローバルに通用する人材の育成、新たなイノベーションの創出、地域コミュニティの中核的存在としてその機能を果たす研究機構を目指し、活動することを目的としています。

- **地域情報研究所**
- **研究センター**

デザイン科学研究センター／グローバルMOT研究センター／稲盛経営哲学研究センター／サステイナビリティ学研究センター／認知科学研究センター／医療介護経営研究センター／ものづくり質的研究センター／日本バイオ炭研究センター

※上記は、2024年3月1日現在に設置している研究機構・研究所・研究センターです。

特徴的な施設

［各キャンパス］図書館・資料室

各キャンパスに図書館を設置しており、蔵書数は4キャンパス合計で約346万冊。他キャンパス、他大学の図書館などの蔵書を所属キャンパスへ取り寄せることができます。各資料室には専門性の高い研究資料を多く所蔵しています。

平井嘉一郎記念図書館（衣笠キャンパス）

［衣笠キャンパス］究論館

個人の研究促進に加え、グループでのディスカッションや共同研究、研究成果の発信・共有、さらには研究科・課程を越えた学びを促進する大学院生用施設です。変化に富んだ多様なコモンズ空間やラウンジなど、集中だけでなく会話の場、思考の場にふさわしい空間です。館内で自由に利用できるノートパソコンの貸出もあります。

進路・就職支援

4年間の学生生活とキャリア形成支援

立命館大学では、大学の4年間で正課授業と課外活動の幅広い学びを充実させることが、将来の夢や目標を実現する力量の形成につながると考えています。一人ひとりが自身のキャリアについて向き合い、デザインできるよう、早期の段階から「キャリア教育科目」などのプログラムを提供し、学年が上がるにつれ、実践的な講座やセミナーなどを多数用意しています。

	1回生	2回生	3回生	4回生
学びとキャリア形成の段階	基礎力の養成	人間的な成長	将来ビジョン形成	総合力の養成
	基礎科目・教養科目	専門基礎・専門科目・ゼミナール		卒業論文・卒業研究
	幅広い知識と教養、論理的思考力、異文化理解力などを養い学力基盤の形成を目指します。	専門科目が本格化。クラブ・サークルの活動や海外留学への挑戦などを通じて人間的な成長につなげます。	ゼミナールや研究室でのさまざまな取り組みを通じて専門性を高め、将来のビジョンを明確にします。	学びの集大成として卒業論文の作成や卒業研究に挑戦。総合力を高めて希望の進路の実現を目指します。
キャリア形成支援	キャリア教育（授業科目） ～低回生からいかに人生を創造し、働くかを考える～		多様な進路に合わせた就職支援 ～学生・卒業生のつながりを重視した支援を展開～	
	＜講義科目＞ 「学びとキャリア」 ＜演習科目＞ 「社会と学ぶ課題解決」	＜講義科目＞ 「仕事とキャリア」 「コーオプ演習（理論）」 ＜演習科目＞ 「コーオプ演習（実践）」	●キャリアセンターでの個別相談 ●内定した学生による後輩サポート ●多様な業界で活躍する卒業生との懇談会 ●UIJターン就職を希望する学生のための地元企業との懇談会 ●エンジニア・研究者として活躍する卒業生との懇談会、企業見学	
課外活動	資格取得・難関試験対策講座／海外留学／教職課程／クラブ・サークル／アルバイト・就業体験　など			

希望の進路の実現

キャリア教育科目

低回生からのキャリアデザインを重視し、回生に応じた「キャリア教育科目」を受講できます。多様な見方・考え方を持つ他者と学びあうことで、「自らの学びを活かして、どのように社会や世界と関わるか」を深く考えるきっかけとなるはずです。「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」も重要です。

「学びとキャリア」（講義科目 1・2回生対象）

～大学4年間の学びが社会とどのようにつながるかを考える～

キャリア教育の専門講師を招き、さまざまな分野のテーマについて、学部を跨いでグループワークを行います。「自己」や「社会」について考えを深め、多様なものの見方、考え方を身につけ、大学での学びを展望します。

「社会と学ぶ課題解決」（演習科目 1回生対象）

～企業社会のリアルに触れる～

実在の企業から提示される「リアルな課題」の解決に、学部混合チームで「初めて挑戦する」授業です。課題解決に向けたプロジェクトを体験することで、「自分は何が得意か」「社会で求められる能力は何か」などを考えるキャリア形成の機会になります。1回生の段階で社会のリアルを体験することで、その後の大学での学びに活かせるプログラムです。

「コーオプ演習（実践）」（演習科目 2回生以上対象）

～専門性を活かせる高度な課題解決型プログラム～

半年間にわたる長期の高度課題解決型プログラム（PBL）です。理系・文社系・学部生・大学院生などの枠を越えたチームを編成し、企業が抱える「リアルな課題」に取り組みます。チームでの議論、市場調査、データ分析、フィールドワークなどを行い、最終的には企業でプレゼンテーションを実施し、企業側から解決案の採否を含めた評価をしてもらいます。

新たな自分を発見する・可能性に気づく　キャリアセンターによる低回生支援

学生生活には、自身の可能性や社会で活躍するための力を磨く多くのチャンスがあります。キャリアセンターでは、学生が多様な生き方・働き方の選択肢を知り、自分らしい「人生観」「職業観」をデザインするために低回生からのキャリア支援としての課外企画も実施しています。立命館大学ならではのユニークなOBOGや講師が、新たな発見や考え、驚きと出会いを提供します。

［過去実施例］　●1回生キャリアセミナー（自分の「強み」を拡げるみらいデザインセミナー）　●2回生キャリアガイダンス　●お金のリアルを知り将来を考えるセミナー

キャリアセンターによる支援

1999年に日本初のキャリアセンターを発足させた本学では、現在、40名以上の専門スタッフが学生の多様な相談に応じてサポートを行っています。就職活動に必要な力量を醸成するための支援企画を開催するとともに、各学部に担当スタッフを配置して、さまざまな業界や企業についての情報提供も積極的に実施しています。こうしたきめ細かいサポートの成果は、1学年の在籍学生数が8,000名を超える総合大学でありながら、卒業生の進路把握率は98.5%と非常に高いことにも示されており、「学生一人ひとりの希望する進路の実現」に向けて、総力を結集して支援しています。

キャリアセンター
https://www.ritsumei.ac.jp/career/

	3回生			4回生
	選択期（4月～9月）	準備期（10月～12月）	直前期（1月～2月）	選考期（3月～）
就職活動の流れ 進路希望登録	職業観醸成 ●社会との接点を持つ（インターンシップ、OBOG訪問、新聞・ニュースなど） ●自分を振り返る ●筆記試験対策	各種選考対策 ●自己分析 ●業界・企業研究 ●職種理解・仕事理解	直前対策 ●自己PR・志望動機アウトプット練習 ●応募企業の検討・決定	求人情報公開 エントリー 会社説明会 筆記試験 エントリーシート提出 面接
	夏期インターンシップ	秋期・冬期インターンシップ		
キャリアセンターの支援 進路就職ガイダンス①	【働くことについて理解を深める企画】 ●インターンシップ準備セミナー ●インターンシップ選考対策企画 ●OBOG訪問企画 ●筆記試験対策 ●業界研究セミナー など			【ブラッシュアップ支援】 ●個別相談 ●OBOG訪問企画 ●メールES添削 ●模擬面接 など 【マッチング支援】 ●企業説明会（6月以降） ●オンキャンパス・リクルーティング ●応募者取りまとめ など
進路就職ガイダンス②		【就職活動準備・直前期企画】 ●業界研究セミナー ●就活準備セミナー ●OBOG訪問企画 ●OBOGとの面接練習会（理系） ●学校推薦ガイダンス など	【ブラッシュアップ支援】 ●個別相談 ●メールES添削 ●OBOG訪問企画 ●模擬面接 など	
就職活動準備・対策に関する動画教材・eラーニング教材の提供				

個別相談

キャリアセンターでは、「学生一人ひとりの希望する進路の実現」に向けたサポートとして、個別相談を受け付けています。皆さんの進路・就職に関する相談に応えるため、対面だけでなくオンラインや電話でも相談を受けています。どんな些細なことでも、疑問や不安を感じたら、気軽に相談できる環境を整えています。

リアルタイムの情報提供

キャリアセンターのホームページでは、就職活動のノウハウや学内で開催される各種イベント情報など、さまざまな情報を見ることができます。立命館大学生のみアクセス可能なWEBシステムを通じて、本学学生を求めている企業から年間39,000件を超えて寄せられる求人情報や、OBOG情報などを数多く入手できます。このようにリアルタイムで求人・OBOGなどの情報を提供していることも、立命館大学のキャリア支援の強みです。

大都市圏での就職活動支援

就職活動では、企業の採用説明会や選考会などで東京や大阪に出向く機会も多くなります。こうした学生をバックアップする拠点として、東京キャンパスと大阪梅田キャンパスを設置しています。両キャンパスでは、大学窓口同様に、専門カウンセラーによる個別相談や証明書の発行、履歴書の販売、パソコン利用、荷物預かりなどの機能を持ち、積極的なサポートを展開しています。

➔ 東京キャンパス・大阪梅田キャンパス P.169

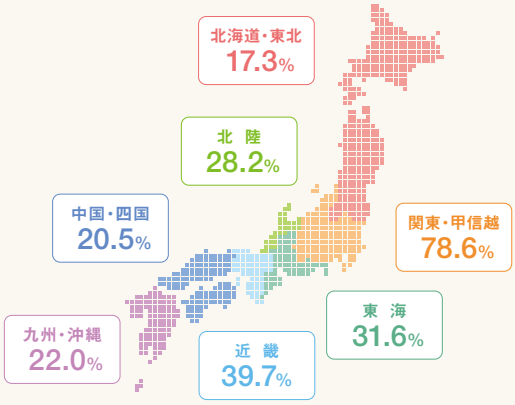
UIJターン就職を希望する学生の支援

全国から学生が集まる立命館大学ならではの取り組みとして、地元でのUターン就職や近隣地域へのJターン、出身地とは別の場所へのIターン就職を希望する学生を支援するため、さまざまな取り組みを行っています。WEBツールを活用した「UIJターン就職ガイダンス」、厚生労働省による「LO活プロジェクト」と連携した説明会などを開催しています。また、全国30の道府県と就職支援協定を締結（2024年4月末現在）し、自治体主催の懇談会・セミナーや合同説明会を開催し、地域に密着した有力企業や、グローバル展開を行っている企業、地方自治体などから人事担当者や本学OBOGなどを招き、地域で働くことの魅力を紹介しています。

就職支援協定締結自治体…30道府県

北海道／宮城県／山形県／福島県／新潟県／富山県／石川県／福井県／長野県／岐阜県／静岡県／愛知県／三重県／京都府／和歌山県／鳥取県／島根県／岡山県／広島県／山口県／徳島県／香川県／愛媛県／高知県／福岡県／佐賀県／長崎県／熊本県／宮崎県／鹿児島県
（2024年4月末現在）

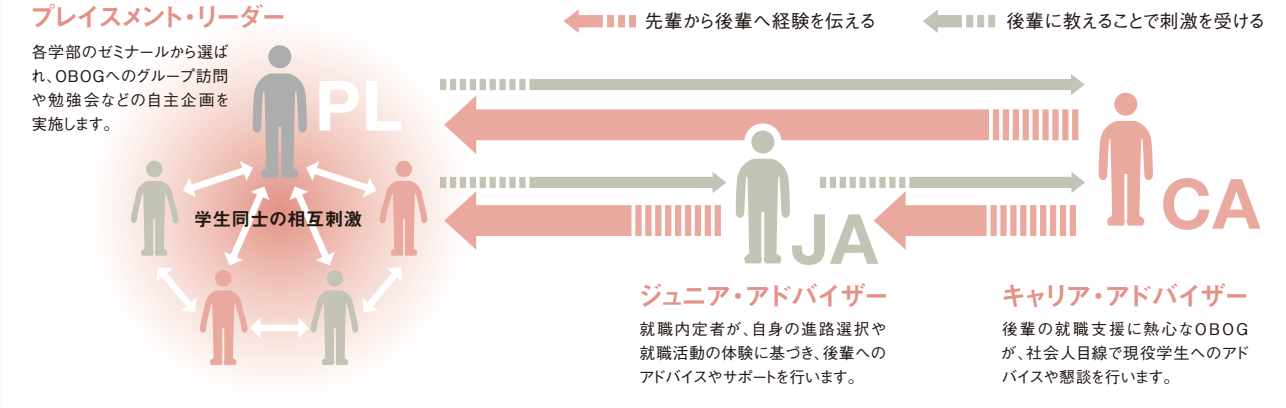
2023年度卒業・修了生の出身エリアへのUターン就職率



スチューデンツ・ネットワークによる支援

進路決定した4回生以上で構成され、後輩支援への意欲が非常に高いJA（ジュニア・アドバイザー）、多様な業界で活躍する幅広い層のOBOGが、強力なサポーターとなるCA（キャリア・アドバイザー）と、3回生の各ゼミナールから選出されるPL（プレイスメント・リーダー）との相互のネットワークが本学の就職支援の最も大きな柱です。特長的な支援としては、「学内OBOG訪問会」があります。全国からOBOGを招聘し、実際の仕事やキャリアビジョンなどを語り、後輩にアドバイスを行います。

スチューデンツ・ネットワーク ｜ 在学生と卒業生がお互いに支えあい、成長していく立命館大学独自のネットワーク



全国で活躍する卒業生のネットワーク（校友会）

立命館大学校友会は、立命館大学・大学院の卒業生・修了生や教職員で構成する組織で、会員数は40万人を超えています。会員は親睦と交流を深め、相互に励まし合い、高め合うとともに、後輩学生の成長と母校の益々の発展を期して、物心両面から支えています。

国内外を問わず社会の各分野で活躍するさまざまな校友が、都道府県、海外、学部・学系、地域、職域、ゼミナール、サークルなどを基盤とした校友グループを組織して多様な活動を展開しています。

校友会
https://alumni.ritsumei.jp/

企業と連携した支援

［文系対象］
業界研究セミナー

さまざまなセミナーを通じて、学生が卒業後の進路を考えるうえでの選択肢・視野を広げるための機会を提供しています。各業界を代表する企業・団体より講師を招く「業界研究セミナー」では、業界No.1や世界シェアトップの企業以外にも、世界市場の特定の分野で勝ち抜いている企業を招聘し、業界動向や働き方、キャリアビジョンを醸成することができるよう、各企画を配置・設定しています。いずれのセミナーも1回生から参加が可能となっており、学生が早期からキャリアを考える機会としても活用されています。また、WEBツールを活用したオンラインでのセミナーを実施し、所属キャンパスや所在地に関わらず学生がシームレスに参加できる機会を提供しています。

主な企画一覧（2023年度実績）

企画名	開催時期	招聘企業数
～BtoB企業による～ 業界研究セミナー BtoB研究編	2023年5月	11社
～IT・コンサル企業による～ 業界研究セミナー IT・コンサル研究編	2023年6月	10社
業界研究セミナー（BtoB企業編）	2024年2月	32社
業界研究セミナー（グローバルニッチトップ企業編）	2024年2月	5社

［理系対象］
業界・企業・職種研究企画

業界を代表する企業の最前線で活躍する研究者・技術者を講師として招き、延べ約98社（2023年度実績）の懇談会やセミナーを実施しています。各業界の最先端技術や技術革新、技術者としてキャリアを歩む醍醐味について触れることで、自身に必要な知識や能力を知り、今後の進路について考える機会を提供しています。

企画に参加している主な業界

- 自動車・自動車部品・機械
- 電機・電子部品・半導体
- 化学・素材・食品・医薬品
- 運輸・エネルギー
- 土木・環境・建築
- 情報・ITサービス

学校推薦を活用した就職活動

立命館大学の学部・研究科の教育・研究成果や先輩方の卒業後の活躍が高く評価され、毎年多数の企業から技術系職種の学校推薦求人が寄せられています。学校推薦では選考プロセスが簡素化され合格率が高くなっています。理系学生の多くがこの学校推薦制度を活用し、「立命館大学の代表」として就職活動を行い、進路を決定しています。

資格取得支援（難関試験合格・資格取得支援）

エクステンションセンターによる支援

エクステンションセンターでは、資格取得や難関試験合格を目指す学生の学習サポートやその後のキャリアを見据えた進路・就職支援を行っています。公務員試験（主に国家公務員採用総合職試験）、公認会計士試験、司法試験を難関試験として位置づけ、さまざまな支援を行っています。資格講座では、会計・金融系、法律系、情報・パソコン系、その他ビジネス系の各資格を対象とした講座を開講しています。

エクステンションセンター
https://www.ritsumei.ac.jp/extension/

エクステンションセンター講座の6つの特長

POINT 1
立命館学生の専用カリキュラム
- 正課授業や定期試験に配慮したカリキュラムで効率的な学習・対策が可能

POINT 2
快適な学習環境を実現
- 「24時間365日」動画視聴OK
- 専用自習室（有料/選抜制）（公務員・公認会計士）

POINT 3
経済的サポートが充実
- 安価な受講料設定
- 無料模試（公務員講座）

POINT 4
安心の奨学金・奨励制度
- エクステンションセンター特別奨励生制度
  ※難関試験合格を奨励する奨学金・奨励金
- 西園寺記念奨学金（難関試験合格者枠）
- 法務研究科進学希望者貸与奨学金制度

POINT 5
面接対策も充実
- エントリーシート相談・模擬面接
- 就職内定者や卒業生による支援

POINT 6
圧倒的な情報量・ノウハウ
- 試験情報や過去問題も充実
- 先輩の受験記録・就職活動記録

※難関試験合格を奨励する奨学金・奨励金
難関試験合格者に支給される「立命館大学西園寺記念奨学金（難関試験合格者枠）」（出願多数の場合、選考有り）と、選考の上で優秀な学生の講座受講料を減免（または相当額を支給）する「エクステンションセンター特別奨励制度」があります。これらの対象となる講座、試験、金額等は、年度により変更になる可能性がありますので、必ず当該年度の募集要項で詳細を確認してください。

公務員講座

法文系・技術系とも、国家公務員総合職から国家公務員一般職・専門職、都道府県庁や市役所などの地方公務員まで、多くの公務員試験を目指して、基礎レベルの知識習得から応用レベルまでを学ぶことができる講座です。筆記試験だけでなく面接などの人物試験対策も行う総合的な講座となっています。

公務員講座一覧

- 法文系公務員講座※3 K O B
- 技術系公務員講座 O B
- 外務省専門職講座※1
- 心理系・福祉系講座※1
- 警察官・消防官講座※2
- 日本の未来を創る公務員養成プログラム～立命館霞塾～※3

公認会計士講座

公認会計士試験の基礎となる簿記から、試験対策までを網羅するカリキュラムを設定。幅広い教養を兼ね備えた公認会計士の育成に向け、学部やキャリアセンター、専門学校と連携した支援を行っています。

公認会計士講座一覧

- 公認会計士1.5年本科生学内スタート講座 O B
- 公認会計士講座※2

資格講座

「学びを広げたい」「スキルを磨きたい」学生のために豊富な講座を開講しています。

資格講座一覧

- 宅建士講座 K O B
- 行政書士講座 K O
- 司法書士講座※2
- 弁理士講座※2
- 簿記検定講座
  - ◎日商簿記1級コース※2
  - ◎日商簿記2級コース K O B
  - ◎日商簿記3級コース K O B
- ビジネス会計検定2級講座 O
- FP（ファイナンシャル・プランナー）講座
  - ◎CFPコース※2
  - ◎2級・AFPコース K O
  - ◎2級コース B
  - ◎3級コース K O B
- 証券外務員講座 K B
- 証券アナリスト講座※2
- 税理士講座※2
- 旅行業務取扱管理者講座 K O B
- 貿易実務検定講座 K O
- 通関士※2
- 色彩検定講座 K O B
- 秘書検定講座 K O B
- CBS（国際秘書）検定講座 K
- ITパスポート講座 K O B
- MOS対策講座 K O B
- CAD利用技術者講座 B
- アプリ（iPhone）開発講座 B
- BATIC®（国際会計検定）講座※2
- 中小企業診断士講座※2
- 社会保険労務士講座※2
- 基本情報技術者試験対策講座 B

司法講座

法学部の長年にわたる歴史の中で培われた、司法試験合格に関するノウハウ・実績を土台に、法科大学院入試対策から司法試験合格までをトータルにサポート。法科大学院入学後も弁護士による答案指導や予備校講師による講義など充実した受験支援を用意しています。

司法講座一覧　※講座ごとに対象回生が異なります。

- 基礎講座 K
  憲法、民法、刑法、商法の各科目を、1回生から3回生を対象に実施します。正課授業では扱われない「答案を書く」ための考え方などを早期に学び、インプットとアウトプットをバランスよく実施する内容で着実にステップアップします。
- 答案作成ゼミ K
  初めて答案を作成するレベルから司法試験本試験レベルまでゼミナール形式の答案作成の機会を設けています。

K 衣笠キャンパス
O 大阪いばらきキャンパス
B びわこ・くさつキャンパス

※1 WEB講座
※2 提携専門学校への直接通学講座
※3 3キャンパス合同プログラム

日本の未来を創る公務員養成プログラム ～立命館霞塾～

国家公務員としての志・資質を養成する立命館大学独自の人材養成プログラムです。公務員が担う役割・職務を理解し、「行政を担う人材」に求められる力を身につけた、「日本の社会を支え、活躍できる人材」を育成します。プログラムでは、基礎知識を身につけるための現役国家公務員による講義やワークに加え、与えられたテーマに対しプロジェクト提案を行うグループ学習などの実践型プログラムに約3カ月間取り組みます。

資格取得支援（教職課程）

教職課程

立命館大学では、2024年度入学生には以下の学部に教職課程を設置しています※1。将来、教職につくことを目指す場合、4年間をかけて段階的に定められた教職科目を履修・単位修得し、卒業要件を満たせば、各都道府県教育委員会に申請することによって、教員免許状を取得することができます。

立命館大学で取得できる教員免許状の種類

学部・学科		中学校教諭 一種免許状	高等学校教諭 一種免許状	その他 一種免許状
法学部　法学科		社会	地理歴史・公民	-
産業社会学部	現代社会学科 現代社会専攻 メディア社会専攻 スポーツ社会専攻 人間福祉専攻	社会・保健体育	地理歴史・公民・保健体育	特別支援学校※2
	子ども社会専攻	-	-	小学校
文学部　人文学科		国語・社会・英語	国語・地理歴史・公民・英語	-
情報理工学部　情報理工学科		-	情報	-
経済学部　経済学科		社会	地理歴史・公民	-
スポーツ健康科学部　スポーツ健康科学科		保健体育	保健体育	-
理工学部	数理科学科	数学	数学	-
	物理科学科	理科	理科	-
	電気電子工学科	-	情報・工業	-
	電子情報工学科	-	情報・工業	-
	機械工学科	-	工業	-
	ロボティクス学科	-	工業	-
	環境都市工学科	-	工業	-
	建築都市デザイン学科	-	工業	-
生命科学部	応用化学科	理科	理科	-
	生物工学科	理科	理科	-
	生命情報学科	理科	理科	-
	生命医科学科	理科	理科	-

※1　国際関係学部、経営学部、政策科学部、総合心理学部、グローバル教養学部、映像学部、食マネジメント学部、薬学部には、教職課程を設置していません。
※2　特別支援学校で教育できる領域は、知的障害者・肢体不自由者・病弱者の3領域です。視覚障害者と聴覚障害者に関する教育領域は設置していません。

小学校教諭免許状取得プログラム

立命館大学には、中学校教諭一種免許状の課程を有する学部・学科所属の学生を対象として、京都にある佛教大学の通信教育課程と連携した「小学校教諭免許状取得プログラム（佛教大学協定方式）」があります（選考・許可制）。このプログラムの開設により、産業社会学部子ども社会専攻以外の学生でも、所属する学部が中学校教諭一種免許状の教職課程を有し、かつ同免許状を取得できる場合、小学校教諭一種免許状を取得することが可能です。

※対象学部の1回生を対象に定員50名の募集で選考を実施します。また学費とは別に、プログラムの受講料やテキスト代など（約50万円）が必要です。
※プログラム履修は学部2回生から開始し、3年間での修了を想定していますが、各自の履修状況によっては、卒業時に小学校教諭一種免許状を取得できない場合もあります。

教職支援センター

教職支援センターでは、教職を志望する学生や卒業生を対象に、さまざまな支援を行っています。実践的指導力や即戦力を持った人材が求められている現在の教員採用試験に的確に対応し、教員として求められる力量を高めることで、毎年、多くの合格者を輩出しています。

※教職支援センターには、教職や採用試験に関する各種の資料・図書が揃っており、自習スペースもあります。

教職支援センター
https://www.ritsumei.ac.jp/kyoshoku/kyoshokucenter/index.html/

主な支援概要

①教員採用試験対策講座の実施
②教職および教員採用試験に関する各種ガイダンスの実施
③各都道府県・市教育委員会担当者による学内説明会の実施
④教員採用試験に対応した学内模擬試験の実施
⑤教員採用試験に向けた面接・模擬授業などの指導
⑥教職を目指すうえでの全般的な相談対応

学校インターンシップや学校ボランティア

近隣の教育委員会や小学校・中学校・高校・特別支援学校などと連携し、教師の仕事の現場や児童・生徒の様子について体験的に触れることができる「学校インターンシップ」や「学校ボランティア」を実施しています。教職に関わる理論や教科に関する知識だけでなく、教師の仕事に対する理解を深めることを目的としています。

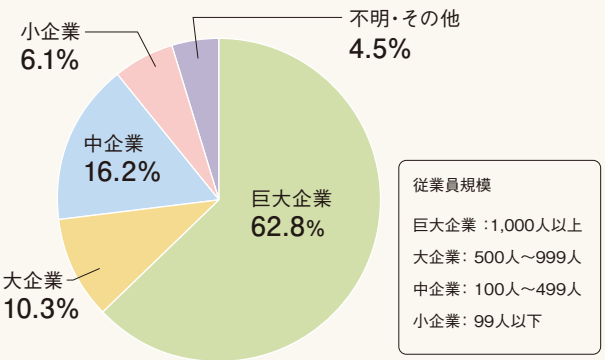
就職・各試験合格実績

2023年度の大卒求人倍率は1.71倍となり、いわゆる「売り手市場」の基準となる1.60倍を3年ぶりに上回りました。立命館大学では就職決定率96.4%（就職決定者／就職希望者）、進路決定率90.0%｛（就職決定者＋大学院進学者）／卒業生｝と、高いレベルを維持しています。

※2023年度の全卒業生（学部）の進路把握率98.5%のデータに基づきます。

民間企業への就職状況

2023年度 従業員規模別就職状況



国際協力分野への就職実績

就職実績（過去5年）

- 国家公務員総合職（外務省）
- 外務省専門職員
- 日本貿易振興機構（JETRO）
- 国際協力機構（JICA）
- 日本国際協力センター（JICE）
- 国際交流基金
- 国際協力銀行

司法試験合格状況

2023年度 合格状況

司法試験最終合格者 …… 20名

公認会計士試験合格状況

2023年度 合格状況

公認会計士試験合格者 …… 全国 9位　西日本 4位　38名（卒業生含む）

薬剤師国家試験合格状況

2023年度 合格状況

2023年度薬剤師国家試験合格者 …… 90名（新卒者70名、既卒者20名）

※就職実績・合格実績は大学院生（博士課程前期課程・修士課程）を含みます。

2024年度採用
教員採用試験合格者数　**246名**（2024年3月31日現在）

教員採用試験合格状況

2024年度採用 【校種別】

小学校教員	62名
中学校教員	83名
高校教員	65名
特別支援学校教員	11名
複数校種（中高など）他	25名

2024年度採用 【エリア別】

近畿	111名	中国・四国	24名
北海道・東北	16名	九州・沖縄	16名
関東	40名	私学	16名
中部	23名		

※既卒者を含む本学把握の延べ数。正規採用のみ。その他、講師（常勤・非常勤）などでも多数採用されています。

2023年度
国家公務員総合職試験合格者数
（春試験・教養区分の合計、人事院調べ）　**80名**

公務員試験合格・決定状況

国家公務員合格状況（人事院調べ）

2023年度
国家公務員総合職（春試験）… 全国 5位　全国私大 2位　西日本私大 1位　78名

2023年度
国家公務員一般職 …… 202名

2023年度 地方公務員決定状況（一部抜粋）

北海道	1名	兵庫県	2名	札幌市	1名
千葉県	1名	奈良県	15名	横浜市	1名
東京都（特別区含む）	12名	和歌山県	2名	浜松市	3名
福井県	3名	鳥取県	2名	名古屋市	6名
山梨県	1名	岡山県	3名	大津市	4名
長野県	1名	広島県	3名	京都市	32名
静岡県	6名	徳島県	3名	茨木市	4名
愛知県	4名	香川県	1名	大阪市	19名
三重県	5名	高知県	2名	神戸市	2名
滋賀県	10名	福岡県	1名	奈良市	1名
京都府	16名	佐賀県	1名	和歌山市	1名
大阪府	14名	大分県	1名	福岡市	1名

課外自主活動

立命館大学のクラブ・サークル・ボランティア活動

多様な学生が集まる立命館大学では、スポーツや文化・芸術をはじめとする約400のバラエティ豊かなクラブ・サークル・ボランティア活動団体が活発に活動しています。在学生のうち約6割の学生が積極的にクラブ・サークル・ボランティア活動に参加し、まだ見ぬ自分と出会うため、日々仲間たちと共に挑戦しています。

文化・芸術系団体

中央事業団体

新聞社	K B
応援団チアリーダー部	O
応援団吹奏楽部	O
放送局（RBC）	K O B

学術部公認団体

法友会（法律討論）	K
学生法律相談部	K
政治研究会	K
考古学研究会	K
地理学研究会	K
広告研究会	K
鉄道研究会	K B
写真研究会	K B
古美術研究会	K
天文研究会	K
探検部	K B
ESS（英語研究会）	K B
朝鮮文化研究会	K
セツルメント（児童ボランティア）	K
弁論部	K
社会科学研究会	K
民科経済研究会	B
経済科学研究会	B
経済学研究会	B
音響工学研究会	B
物理科学研究会	B
立命館コンピュータクラブ（RCC）	B
ライフサイエンス研究会	B
数学研究会	B
メディア芸術研究会	K
城郭研究部（公認団体）	K

学芸総部公認団体

軽音楽部	K
交響楽団	K
JAZZ CLUB	K
マンドリンクラブ	K
クラシックギタークラブ	K
邦楽部	K
混声合唱団メディックス	K O B
映画部	K
競技ダンス部	K O
写真部	K B
新演劇研究会劇団月光斜	K B
陶芸部	K
美術研究部	K
書道部	K
モダンジャズバレエ部	K O B
立命PENクラブ	K
能楽部	K
茶道研究部	K B
落語研究会	K
将棋研究会	K B
囲碁研究部	K B
かるた会	K
バトントワリング部	B

学術部同好会

飛行研究会ダンデライオン	B
古代史探検部	K
草津天文研究会	B

学芸総部同好会

劇団立命芸術劇場	K
映画研究会	K
雅楽会	K B
ピアノ研究会	K
フォークソング同好会KEAKS	K
dig up treasure（ダブルダッチ）	K O
人形劇団ふうせんのり	K
クラシックバレエ同好会	K
NEW MUSIC研究会	K
Free Music Circle PEACE	B
チアダンスサークル BLENDERS	K
池坊いけばな同好会	K

学術部任意団体

NRC（自然探究会）	K
ROBINHOOD	K
衣笠地区BBS会（居場所づくりボランティア）	K
Rits BLOH（居住環境問題ボランティア）	K
猫の会Rits Cat	K
手話サークル歩む会（任意団体）	K

学芸総部任意団体

アカペラサークルClef（任意団体）	K
漫画研究会	K
ミステリー研究会	K B
和太鼓ドン	K
舞style（ストリートダンス）	K
エレクトーンサークル三弾鍵盤	K
珠算部	O B
琵琶湖漫画研究会	B
奇術研究会マジックプレイヤーズ	B
Song-genics（アカペラ）	B
Jack & Beans（音楽）	B
茶ーくる	O

学生プロジェクト団体

■ 経営学部プロジェクト団体

丹後村おこし活動チーム	O B

■ 理工学部プロジェクト団体

ロボット技術研究会	B
飛行機研究会	B
内燃機関研究会（フォーミュラマシン製作）	B
RiSA（ロケット製作、打ちあげ）	B

■ 情報理工学部プロジェクト団体

RiG++（ゲーム・CG制作）	B
Ri-one（ロボットカップ）	B
RiPPro（プログラミング）	B
RiST（情報セキュリティ）	B

■ 薬学部プロジェクト団体

薬学研究会（やくけんR）	B

※上記は、各クラブ・サークルのメインとなる拠点キャンパスです。クラブ・サークルによっては、時期や曜日などによって拠点キャンパス以外でも活動を行っている場合があります。
※本ページに記載している団体は一部の登録団体です。上記団体以外にも多種多様なサークルなどの課外自主活動団体があります。

課外自主活動について
https://www.ritsumei.ac.jp/lifecareer/activity/activities/

スポーツ系団体

中央パート

体育会本部	K
スポーツ編集局	K

体育会公認団体

合氣道部	K
アイスホッケー部	B
アメリカンフットボール部	B
アーチェリー部	K
カヌー部	B
空手道部（新生）	K
弓道部	K
剣道部	K
航空部	B
硬式庭球部	B
硬式野球部	K
古武道部	K
ゴルフ部	B
サッカー部	K
山岳部	K
自転車競技部	O
自動車部	K
射撃部	K
柔道部	K
重量挙部	K
準硬式野球部	K
少林寺拳法部	K
水泳部	B
スキー部	B
スケート部	B
相撲部	K
ソフトテニス部	B
男子ソフトボール部	K
女子ソフトボール部	K
体操部	K
卓球部	K
トライアスロン部	B
軟式野球部	K
日本拳法部	K
馬術部	K
男子バスケットボール部	B
女子バスケットボール部	K
バドミントン部	O
バレーボール部	O
ハンドボール部	K
フェンシング部	K
ボクシング部	K
ホッケー部	O
ボート部	B
ヨット部	B
ラグビー部	B
ラクロス部	B
男子陸上競技部	B
女子陸上競技部	B
レスリング部	B

体育会同好会

居合道同好会	K
ウィンドサーフィン同好会	B
サイクリング同好会	K O
フットサル同好会	B
ワンダーフォーゲル同好会	K B

※上記は、各クラブの拠点キャンパスです。クラブによっては、学外施設で活動を行っている場合があります。

K 衣笠キャンパス（柊野総合グラウンド、原谷グラウンドを含む） O 大阪いばらきキャンパス B びわこ・くさつキャンパス（琵琶湖 周辺拠点を含む）

学生による課外自主活動への支援

学生時代の４年間は、正課授業・課外自主活動を通して社会で活かせる力や素養を養う時期です。立命館大学では、学生がさまざまな活動に積極的に取り組み、仲間とともに支えあい、学びあいながらより良い未来を創る担い手として成長することを支援しています。

文化・芸術、スポーツ活動の支援

学生オフィス・スポーツ強化オフィス

立命館大学では、さまざまな課外自主活動が行われています。課外自主活動とは、他者との集団の中で、自分の役割を果たし問題を解決しながら、それぞれの組織が持つ目標を達成していく自主的な取り組みです。自主的な組織活動を通じて人間的に成長し、社会を構成する一員としての自分自身の存在を自覚することにつながります。学生オフィス・スポーツ強化オフィスでは、「学びのコミュニティ」の中で相互に学び合い、切磋琢磨し、主体的に学び成長することができるように活動を支援しています。

社会貢献活動・ボランティアをする学生への支援

サービスラーニングセンター

サービスラーニングとは、社会への貢献活動を通じ、社会や仲間との関係性の中で学ぶという教育手法です。当センターでは教養科目におけるサービスラーニング科目の開講や地域・社会へのボランティア活動などへの支援を通して、人々とのつながり、働きかけの中で人間性と専門性を深めるためのサポートを行っています。教職員とともに運営を担う学生コーディネーターが、同じ学生の立場から学びと成長を支援します。

サービスラーニングセンター https://www.ritsumei.ac.jp/slc/

立命館災害復興支援室

災害に関する立命館の窓口として、東日本大震災後の2011年4月21日に設置。教職員などからの寄付金を財源に、立命館の児童・生徒・学生・教職員と被災地域の機関や支援団体、市民の方々との窓口として関連情報の収集と発信を行う他、支援プログラムの開発と実施、活動に関する助言、旅費の支援などを行っています。災害発生時には、大学生が参加できる復旧活動ボランティアの募集情報を発信し、さまざまな相談も受け付けています。

立命館災害復興支援室 https://www.ritsumei.ac.jp/fukkor/

奨学金制度

立命館大学では、学生が安心して学生生活を送り、一人ひとりの学修・学生生活の目標にチャレンジできるよう、独自の奨学金システムを設けています。正課授業・課外自主活動を問わず、大学とキャンパス内外で行われる学生の多様な学びを学修と位置づけ、学生が主体的・能動的に学ぶことを支援します。

本学独自の奨学金は、経済的に困難な状況のなかでも学び成長したいと願う学生の学修・学生生活をサポートする「経済支援型奨学金」と、学修・留学・課外自主活動など学生が目標にチャレンジし、成長していくことをサポートする「成長支援型奨学金」があり、全国トップレベルの実績を持っています。

本学独自の奨学金のほか、日本学生支援機構、民間財団奨学金、地方公共団体奨学金など学外資金による奨学金も多数の学生が利用しています。

奨学金の種類	お問い合わせ先		WEBサイト
遠距離入学者支援 経済支援 （本学独自および国や外部機関） 正課外自主活動成長支援	学生オフィス （土・日曜・祝日を除く 9：30〜11：30、12：30〜17：00 火曜のみ12：30〜17：00）	衣笠：075-465-8168 OIC：072-665-2135 BKC：077-561-2854	奨学金・助成金制度 https://www.ritsumei.ac.jp/scholarship/
正課成長支援	各学部事務室	各種問い合わせ窓口 https://www.ritsumei.ac.jp/inquiry/	
海外留学支援	国際教育センター		
難関試験合格者支援	キャリアセンター （エクステンションセンター）		

※出願基準や出願時期・出願方法は奨学金ごとに異なります。詳細については、必ず募集要項を確認してください（上記本学奨学金WEBサイト参照）。

日本学生支援機構 給付奨学金 および 立命館大学学費減免

本奨学金制度は、2020年4月より開始された国の高等教育修学支援新制度に基づく支援であり、給付奨学金と入学金・授業料が減免になる制度です。
制度変更される場合がありますので、日本学生支援機構のWebサイトで最新の情報を確認してください。

※以下掲載内容は2024年2月時点の情報です。内容は変更になる場合があります。

日本学生支援機構 給付奨学金				給付型
給付額 （年額）	第Ⅰ区分：自宅外 約91万円・自宅 約46万円 第Ⅱ区分：自宅外 約61万円・自宅 約31万円 第Ⅲ区分：自宅外 約30万円・自宅 約15万円 第Ⅳ区分（多子世帯のみ適用）：自宅外 約23万円・自宅 約11万円	採用数	家計・学力基準を満たす者は全員採用（毎年度継続審査あり）	〈家計基準〉※ 非課税世帯を第Ⅰ区分、それに準ずる世帯を第Ⅱ〜Ⅳ区分（第Ⅳ区分は多子世帯のみ）とし、日本学生支援機構が認定します。

※家計基準による区分の認定については、日本学生支援機構WEBサイトを参照ください。 ※家計が急変した場合、給付奨学金（家計急変）として出願できる場合があります。

立命館大学学費減免（国の授業料等減免制度に本学の支援をあわせた制度）				給付型
給付額 （年額）	第Ⅰ区分：70万円 または 授業料1/2の金額の大きい方を採用 第Ⅱ区分：約46万円 または 授業料1/4の金額の大きい方を採用 第Ⅲ区分：約23万円 または 授業料1/4の金額の大きい方を採用 第Ⅳ区分（理工農系）：約23万円(理工・生命科学・情報理工・映像学部のみ適用) 第Ⅳ区分（多子世帯）：17.5万円 大学独自区分：授業料1/4の金額 ＊入学金は、第Ⅰ区分20万円、第Ⅱ区分約14万円、第Ⅲ区分約7万円、第Ⅳ区分約5〜7万円を減免	採用数	家計・学力基準を満たす者は全員採用（毎年度継続審査あり）	〈家計基準〉 非課税世帯、多子世帯を第Ⅰ区分、それに準ずる世帯を第Ⅱ〜Ⅳ区分（第Ⅳ区分は理工系学部のみ）とし、日本学生支援機構が認定します。第Ⅰ〜Ⅲ区分に該当せず、年間給与収入400万円以下の世帯を大学独自区分として認定します。

立命館大学独自の奨学金制度

1 遠距離入学者支援

近畿圏外からの入学者を支援する奨学金 〈2025年度入試受験生対象＞一般選抜の受験前に出願し、採用の可否が決定				給付型
給付額	文系学部（映像学部除く）：年額30万円 理系学部・映像学部：年額50万円	採用数	400名程度	①近畿圏（京都府、大阪府、滋賀県、兵庫県、奈良県、和歌山県）外から本学へ進学を希望する者。 ②2025年度一般選抜を受験する者。 ＊詳細は、2024年7月（予定）に立命館大学入試情報サイトの「学費・奨学金」ページでお知らせします。

［文系学部］法・産業社会・国際関係・文・経営・政策科学・総合心理・経済・スポーツ健康科学・食マネジメント ［理系学部］情報理工・理工・生命科学・薬

2 経済支援

立命館大学家計急変学費減免（入学予定者および学部在学生対象）				給付型
給付額	年間授業料の1/4	採用数	基準を満たす者は全員採用	生計維持者が死亡、重度後遺障害、自然災害による居住家屋の被災（半壊以上）および生計維持者の長期入院や加療のあった者。
父母教育後援会家計急変奨学金				**給付型**
給付額	授業料相当額を採用から修業年限まで	採用数	基準を満たす者は全員採用	入学後・在学中に学生の学費負担者（父母等）が、死亡、重度後遺障害により就労不能となった者。
父母教育後援会災害支援奨学金				**給付型**
給付額	2学期分授業料相当額	採用数	基準を満たす者は全員採用	入学後・在学中に学生の学費負担者（父母等）の居住する家屋が、自然災害により被害（半壊、床上浸水等）および長期加療を要する重症の人的傷害を受けた者。

3 正課成長支援

西園寺記念奨学金（成績優秀者枠）				給付型
給付額	［文系（映像学部・グローバル教養学部を除く）学部］ 1学期あたり15万円 ［理系学部および映像学部・グローバル教養学部］ 1学期あたり30万円	採用数	各学部の定員の2%以内	学部での学修を究め、成績優秀な者。

＋R学部奨学金				給付型
給付額	次のいずれか 15万円、14万円、13万円、12万円、11万円、10万円、9万円、8万円、7万円、6万円、5万円、4万円、3万円、2万円、1万円	採用数	予算の範囲で学部長が定める	所属する学部の教学的取組において優れた成果を挙げた者。

学びのコミュニティ学外活動奨励奨学金（正課授業）		給付型
給付額	授業での調査、コンペティション参加などの学習活動に要する費用の一部相当額を奨学金として給付	授業（ゼミナールなど）を基盤とした国内外での調査活動や学会報告・国内外大学・諸機関との交流などの学習活動に積極的に取り組む者。

4 海外留学支援

海外留学チャレンジ奨学金 海外留学プログラムへの参加・修了を奨励する制度					給付型
派遣期間が2カ月以下の海外留学プログラム※1	プログラム期間	2カ月以下	奨学金給付上限額	1万円～10万円	参加費の金額に応じて奨学金を支給（参加費5万円以上のプログラムが対象）。
派遣期間が2カ月を超える、学籍上「留学」となる海外留学プログラム※1-2		半年間～1年間		20万円～60万円	日本学生支援機構（JASSO）が定める地域区分に準じる。
交換留学、立命館アジア太平洋大学への国内交流派遣		半年間～2年間		15万円～60万円	
アメリカン大学・立命館大学ジョイント・ディグリー・プログラム（JDP）※3		2年間		200万円	受給条件等について、学部事務室にて確認してください。
学部共同学位プログラム（DUDP）※4		―		240万円	―

原則、本奨学金の支給対象プログラムの参加者全員が支給対象者となります。ただし、本奨学金の支給にあたっては、併給にかかる条件等がありますので、ご留意ください。
本奨学金の内容は2023年度時点の内容となりますので、今後変更される場合があります。必ず当該年度の募集要項で詳細を確認してください。
また、記載の内容は、現地への渡航を前提とした海外留学プログラムの場合となります。予定されていた海外留学プログラムが催行中止となった場合やプログラム内容が変更された場合は、支給の有無、支給金額等が変更となりますので、予めご了承ください。

※1 海外でのインターンシップを含みます。
※2 交換留学、立命館アジア太平洋大学への国内交流派遣、アメリカン大学・立命館大学ジョイント・ディグリー・プログラム、学部共同学位プログラムを除きます。
※3 JDP参加者への奨学金は、計4回に分けて支給します（給付上限額50万円／1回）。
※4 DUDP参加者への奨学金は、計3回に分けて支給します（給付上限額80万円／1回）。

海外留学サポート奨学金（予約採用型・家計急変型） 海外留学プログラムへの参加または参加継続が困難であることが見込まれる者を支援する制度					給付型
交換留学（DUDP含む）	プログラム期間	半年間～2年間	奨学金給付上限額	10万円～100万円	日本学生支援機構（JASSO）が定める地域区分に準じる。
派遣期間が2カ月を超える、学籍上「留学」となる海外留学プログラム（上記以外）		半年間～1年間		20万円～40万円	

本奨学金の内容は2023年度時点の内容となりますので、今後変更される場合があります。必ず当該年度の募集要項で詳細を確認してください。
また、記載の内容は、現地への渡航を前提とした海外留学プログラムの場合となります。予定されていた海外留学プログラムが催行中止となった場合やプログラム内容が変更された場合は、支給の有無、支給金額等が変更となりますので、予めご了承ください。

5 難関試験合格支援

西園寺記念奨学金（難関試験合格者枠）				給付型
給付額	30万円	採用数	70名程度	公認会計士、国家公務員総合職など大学が指定する難関試験を目指し合格した者。

出願多数の場合、選考があります。本奨学金の内容は2023年度時点の募集内容となりますので、今後変更される場合があります。出願資格等、必ず当該年度の募集要項で詳細を確認してください。

6 正課外自主活動成長支援

Challenge奨学金（個人）		給付型
給付額	①踏み出し支援　1人あたり年額5万円、10万円 ②高度化支援　1人あたり年額5万円、10万円、20万円、30万円	学生個人が正課や課外の通常の活動範囲を超えて抱いた問題意識に対して、その解決を目指し、自主的に取り組む者。

校友会未来人財育成奨励金（団体支援）		給付型
給付額	①「新規出願」年間で15万円、30万円、50万円 ②「継続出願」年間で15万円	正課外活動において、社会問題の解決を目指す自主的な集団活動。

クラブ・サークル活動の基盤を支えるために必要な経費や、合宿・遠征・交流企画をはじめ学外との交流などより高いレベルへ到達することを目的とした「正課外活動活性化・高度化助成金」制度もあります。

国や外部機関の奨学金

経済的理由により入学･修学が困難な学生を支援するため、大学独自の奨学金以外にも日本学生支援機構奨学金など、国や外部機関の奨学金の申し込みも受け付けています。

1 経済支援（国）

日本学生支援機構貸与奨学金（第一種・無利子）※				貸与型
貸与額（月額）	自宅生： 2万円、3万円、4万円、5.4万円 自宅外生： 2万円、3万円、4万円、5万円、5.4万円、6.4万円 ＊月額5.4万円、6.4万円は、別途家計基準を満たす必要あり。	貸与期間	原則として 修業年限の終期 ＊毎年度継続審査有り	日本学生支援機構の定める「学力に関する基準」と「家計に関する基準」の両方を満たしている者。

日本学生支援機構貸与奨学金（第二種・有利子）※				貸与型
貸与額（月額）	2万円～12万円（1万円単位）から選択。 薬学部のみ14万円も選択可。	貸与期間	原則として 修業年限の終期 ＊毎年度継続審査有り	日本学生支援機構の定める「学力に関する基準」と「家計に関する基準」の両方を満たしている者。ただし、新入生の「奨学金（第二種）」の学力基準については、本学入学をもって基準を満たすものとする。

※生計維持者の死亡・病気・離婚・失業・倒産・定年退職・自己都合退職等の理由で家計が急変した場合、緊急採用枠（第一種・無利子）または応急採用枠（第二種・有利子）として出願が可能です。いずれも急変発生時から1年以内に出願を完了することが必要です。

2 経済支援（民間財団）

民間財団奨学金【学校推薦群】※		給付型、一部給付貸与併用型
給付額	財団により異なる。 （奨学金Webサイト参照）	立命館大学を代表する奨学生として相応しい（学業成績優秀、品行方正）者でありながら、経済的理由で修学が困難な者。奨学生に採用後、各財団が求める交流会、研修会に必ず参加できる者。家計基準・学業基準あり。学内での選考を経て、各財団に推薦。

※学校推薦群とは別に、民間財団奨学金【一般公募群】（給付型・貸与型）および地方公共団体（貸与型中心）の奨学金もあります。

保護者が学費などの支払いのために利用できる低金利の教育ローン

申込方法、支払い条件などは、それぞれの金融機関へ直接お問い合わせください。

日本政策金融公庫「国の教育ローン」

政府系金融機関の教育ローン

入学する際には、まとまった資金が必要です。随時申し込み可能ですが、受験前から事前に申し込んでおき、合格と同時に融資を受け、入学手続きに必要な資金を借りることができる教育ローンです。

融資利率：2.25%
（2024年2月現在）

教育ローン専用ダイヤル
0570-008656

WEBサイト
https://www.jfc.go.jp/

セディナ「学費ローン」

低金利ローンで学費納入をバックアップ

立命館大学とSMBCファイナンスサービス株式会社（以下SMBC）との提携により、学費などの本学への納付金をSMBCが利用者に代わり本学へ立替払いし、利用者はSMBCへ分割で返済する制度を導入しています。

分割手数料（実質年率）：2.50%
（2024年2月現在）

カスタマーセンター
050-3827-0375

WEBサイト
https://www.cedyna.co.jp/loan/alliance/tuition/

オリエントコーポレーション「学費サポートプラン」

低金利ローンで学費納入をバックアップ

立命館大学と株式会社オリエントコーポレーション（以下オリコ）との提携により、学費などの本学への納付金をオリコが利用者に代わり本学へ立替払いし、利用者はオリコへ分割で返済する制度を導入しています。

分割手数料（実質年率）：3.0%
（2024年2月現在）

オリコ学費サポートデスク
0120-517-325

WEBサイト
https://www.orico.tv/gakuhi/

滋賀銀行「ジャストサポート提携ローン」（教育資金）

低金利の銀行教育ローン

立命館大学と株式会社滋賀銀行との提携により、本学への納付金やその他にかかる費用（仕送り資金、住居費用、留学費用など）についても幅広く対応しています。

年利（変動金利）：2.25%または3.05%
（2024年2月現在）

滋賀銀行クレジットセンター
0120-889-201

WEBサイト
https://mcl.sbk.jp/lp/teikei/pc/

学費・諸会費について…… 2025年度入学者に適用する学費および諸会費は2024年6月下旬頃に決定する予定です。以下は2024年度の入学者に適用する学費および諸会費を掲載します。

〈参考〉2024年度入学者 学費

入学年度を基準とした、在学期間学費明示方式（入学時点で在学期間の学費を明示）および一定方式（入学から卒業までの各回生の学費は、一部を除き同額）を基本とします。
本学の学費は入学金と授業料で構成されています。

（単位／円）

学　部	学科等	1回生				2回生以降		
		入学金	春学期授業料	秋学期授業料	年間計	春学期授業料	秋学期授業料	年間計
法学部		200,000	528,400	528,400	1,256,800	528,400	528,400	1,056,800
産業社会学部	子ども社会専攻	200,000	654,600	654,600	1,509,200	654,600	654,600	1,309,200
	上記専攻以外※1	200,000	619,300	619,300	1,438,600	619,300	619,300	1,238,600
国際関係学部※2	国際関係学科	200,000	679,700	679,700	1,559,400	679,700	679,700	1,359,400
文学部※3	地域研究学域	200,000	615,600	615,600	1,431,200	615,600	615,600	1,231,200
	人間研究学域教育人間学専攻、日本史研究学域考古学・文化遺産専攻	200,000	604,400	604,400	1,408,800	615,600	615,600	1,231,200
	上記学域・専攻以外※4	200,000	604,400	604,400	1,408,800	604,400	604,400	1,208,800
映像学部		200,000	986,500	986,500	2,173,000	986,500	986,500	1,973,000
経営学部	国際経営学科	200,000	593,700	593,700	1,387,400	593,700	593,700	1,187,400
	経営学科	200,000	528,400	528,400	1,256,800	528,400	528,400	1,056,800
政策科学部		200,000	629,000	629,000	1,458,000	629,000	629,000	1,258,000
総合心理学部		200,000	648,200	648,200	1,496,400	648,200	648,200	1,296,400
グローバル教養学部※5		200,000	1,150,000	1,150,000	2,500,000	1,150,000	1,150,000	2,300,000
経済学部		200,000	546,100	546,100	1,292,200	546,100	546,100	1,092,200
スポーツ健康科学部		200,000	654,600	654,600	1,509,200	654,600	654,600	1,309,200
食マネジメント学部		200,000	653,300	653,300	1,506,600	653,300	653,300	1,306,600
理工学部	数理科学科	200,000	807,000	807,000	1,814,000	807,000	807,000	1,614,000
	上記学科以外※6	200,000	836,300	836,300	1,872,600	836,300	836,300	1,672,600
情報理工学部		200,000	836,300	836,300	1,872,600	836,300	836,300	1,672,600
生命科学部		200,000	852,300	852,300	1,904,600	852,300	852,300	1,704,600
薬学部	薬学科（6年制）	200,000	998,400	1,198,400	2,396,800	1,198,400	1,198,400	2,396,800
	創薬科学科（4年制）	200,000	960,300	960,300	2,120,600	960,300	960,300	1,920,600

※1　現代社会専攻、メディア社会専攻、スポーツ社会専攻および人間福祉専攻
※2　アメリカン大学・立命館大学国際連携学科は除く。
※3　文学部では、2回生進級時に専攻を選択します。
※4　人間研究学域哲学・倫理学専攻、日本文学研究学域、日本史研究学域日本史学専攻、東アジア研究学域、国際文化学域、国際コミュニケーション学域および言語コミュニケーション学域
※5　デュアル・ディグリー・プログラムの履修に関し、オーストラリア国立大学（以下、ANU）が実施する授業について、授業料の別徴収は行いません。ただし、日本およびオーストラリアでの受講に関わる渡航費・寮費・生活費等は別途必要になります。
※6　物理科学科、電気電子工学科、電子情報工学科、機械工学科、ロボティクス学科、環境都市工学科および建築都市デザイン学科
（注）① 入学金は入学年度のみ納入してください。
② 薬学部薬学科は、初年度の負担をできるだけ低く抑えるため、1回生春学期授業料において新入生特別減免を行っています（上表の1回生春学期授業料は、減免後の金額を記載しています）。
③ 特定科目（教育実習等）の履修に際して、別途費用を徴収することがあります。
④ 社会的な要因により物価等が急騰し、その影響への対処として在学生を含めて学費改定を余儀なくされた場合には、緊急的な措置として学費改定を行うことがあります。
⑤ 学費の納入にあわせ、下記の諸会費も納入してください。

〈参考〉2024年度入学者 諸会費

（単位／円）

学　部	学友会		学会費	父母教育後援会		計
	入会金	年会費		入会金	年会費	
法学部	3,000	5,000	半年会費 3,500（年額 7,000）	5,000	10,000	30,000
産業社会学部	3,000	5,000	半年会費 3,000（年額 6,000）	5,000	10,000	29,000
国際関係学部	3,000	5,000	半年会費 4,000（年額 8,000）	5,000	10,000	31,000
文学部	3,000	5,000	半年会費 3,000（年額 6,000）	5,000	10,000	29,000
映像学部	3,000	5,000	半年会費 4,000（年額 8,000）	5,000	10,000	31,000
経営学部	3,000	5,000	半年会費 3,500（年額 7,000）	5,000	10,000	30,000
政策科学部	3,000	5,000	半年会費 4,000（年額 8,000）	5,000	10,000	31,000
総合心理学部	3,000	5,000	—	5,000	10,000	23,000
グローバル教養学部	3,000	5,000	—	5,000	10,000	23,000
経済学部	3,000	5,000	半年会費 2,500（年額 5,000）	5,000	10,000	28,000
スポーツ健康科学部	3,000	5,000	半年会費 4,000（年額 8,000）	5,000	10,000	31,000
食マネジメント学部	3,000	5,000	半年会費 3,000（年額 6,000）	5,000	10,000	29,000
理工学部	3,000	5,000	—	5,000	10,000	23,000
情報理工学部	3,000	5,000	—	5,000	10,000	23,000
生命科学部	3,000	5,000	—	5,000	10,000	23,000
薬学部	3,000	5,000	—	5,000	10,000	23,000

（注）① 学友会入会金、父母教育後援会入会金は、入学年度のみ納入してください。
② 学友会（入会金、年会費）、父母教育後援会（入会金、年会費）は一括納入のみとなります。
③ 学会費は、授業料を学期ごとに納入する場合は、半年会費を授業料とあわせて納入することになります。春学期・秋学期の授業料を一括して納入する場合は、学会費も年額を一括納入することになります。

生活費（1カ月の収入と支出の例）

立命館生活協同組合「2023年度学生生活実態調査」より

自宅生

衣笠キャンパス

（単位／円）

収入		支出			
小遣い・定期代など	7,050	食費	13,450	書籍・勉強費	2,330
奨学金	15,520	住居費	570	日常費・電話代	7,830
アルバイト・その他	54,190	交通費	10,790	その他・貯金繰越	25,310
収入合計	**76,760**	教養娯楽費	15,180	支出合計	**75,460**

大阪いばらきキャンパス（OIC）

（単位／円）

収入		支出			
小遣い・定期代など	7,400	食費	13,240	書籍・勉強費	1,710
奨学金	8,800	住居費	0	日常費・電話代	8,420
アルバイト・その他	53,170	交通費	9,330	その他・貯金繰越	20,340
収入合計	**69,370**	教養娯楽費	13,950	支出合計	**66,990**

びわこ・くさつキャンパス（BKC）

（単位／円）

収入		支出			
小遣い・定期代など	8,710	食費	13,010	書籍・勉強費	1,520
奨学金	12,720	住居費	1,320	日常費・電話代	6,370
アルバイト・その他	52,630	交通費	11,720	その他・貯金繰越	24,860
収入合計	**74,060**	教養娯楽費	14,350	支出合計	**73,150**

下宿生

衣笠キャンパス

（単位／円）

収入		支出			
仕送りなど	67,110	食費	25,280	書籍・勉強費	2,640
奨学金	20,080	住居費	53,230	日常費・電話代	12,170
アルバイト・その他	41,860	交通費	5,910	その他・貯金繰越	17,620
収入合計	**129,050**	教養娯楽費	14,000	支出合計	**130,850**

大阪いばらきキャンパス（OIC）

（単位／円）

収入		支出			
仕送りなど	78,290	食費	29,910	書籍・勉強費	1,170
奨学金	18,250	住居費	57,890	日常費・電話代	12,310
アルバイト・その他	53,890	交通費	5,330	その他・貯金繰越	23,610
収入合計	**150,430**	教養娯楽費	19,190	支出合計	**149,410**

びわこ・くさつキャンパス（BKC）

（単位／円）

収入		支出			
仕送りなど	69,610	食費	27,270	書籍・勉強費	2,360
奨学金	17,140	住居費	53,940	日常費・電話代	11,430
アルバイト・その他	39,240	交通費	5,410	その他・貯金繰越	14,950
収入合計	**125,990**	教養娯楽費	13,970	支出合計	**129,330**

※合計値は、支出（収入）総額の平均値です。
※立命館大学周辺の物件は、立命館生活協同組合のホームページ（https://www.ritsco-op.jp/index.html）や（株）クレオテック、または大学周辺の取扱店のホームページ等をご確認ください。

安全で快適な学生生活を送るために

立命館大学の情報環境について

立命館大学では、eラーニングや情報教室の整備など、ITによる教育の高度化に取り組んでいます。大学生の学びには、受講科目の登録、課題の作成や提出、情報検索など、パソコンが欠かせません。学内には、学生が自由に利用できるパソコン環境を各キャンパスに整備しています。また、Wi-Fi環境を増強し、学修に必要なソフトウェアを自身のパソコンで使えるようにするなど、オンラインの受講環境も整えています。

情報環境の一例

- 授業や研究に必要なOfficeなどのソフトウェアを提供
- キャンパスの建物内では、Wi-Fiに接続可能
- キャンパス内で自身のパソコンやスマートフォンから印刷が可能
- 学内のITサービスに関するサポート窓口を設置

ラーニングスタジオ（OIC）

学生生活における困りごとの相談窓口

学生部には、学生生活の困りごとや課題などを相談できる4つの窓口（①学生サポートルーム ②障害学生支援室 ③SSP ④保健センター）があります。何を相談すれば良いか分からない、どこで相談すれば良いか分からない、相談をして良いかどうか分からない場合は、学生オフィスの支援コーディネーターが、事情をお伺いのうえ、各種窓口の利用方法や相談の進め方をアドバイスすることができる「学生相談の総合案内」を設けています。また、学生部は、ダイバーシティ&インクルージョンの方針に基づいた運用を行っています。詳しくは、「学校法人立命館ダイバーシティ&インクルージョン」HPを確認してください。

学生オフィス
支援コーディネーター

- 大学生活、人間関係、将来の不安などを相談したい → 学生サポートルーム
- 身体・発達・精神などの障害をもつ学生への就学上の支援 → 障害学生支援室
- 正課授業と課外活動を通じた自立と成長をサポート → SSP（Student Success Program）
- ケガ・体調不良 心身の健康について相談したい → 保健センター

SSP（Student Success Program）について

SSPは学生のみなさんが自立した学び手として成長することを目標とし、学生一人ひとりのニーズや目的に合わせて支援を選択することができるよう、多様な学習支援を展開しています。具体的には、①ホームページや窓口、Campus Diary 等での支援ツールの配布、②対面やオンライン形式のセミナーによる集団支援、③先輩・仲間（SSP ピア・サポーター）による小集団支援、④SSPコーディネーターによるアセスメントや個別相談を行う個別支援で構成されています。

「学生教育研究災害障害保険」

正課授業中や課外自主活動中の事故などにより、万一ケガ等を負った場合に備えて、本学では学生全員を対象とした「学生教育研究災害障害保険」に加入しています（掛け金は大学が負担しています）。

保険金の対象となるもの

正課授業・大学行事中	実治療日数1日以上
キャンパス内でのケガ	実治療日数4日以上
課外活動中（学友会登録団体）のケガ	実治療日数14日以上

体調が悪くなっても安心　併設診療所で保険診療も受けられます

学内で、ケガをした、気分が悪くなったなどの場合に、診療や応急処置を行う「保健センター」を衣笠・OIC・BKCに設置しています。医師や看護師が学生のみなさんの健康管理・サポートにあたるとともに、内科・精神科の診療を行っています。定期健康診断をはじめとした健康管理や実習支援、留学支援としてトラベルクリニックの対応なども行っています。

学部生を対象に、保険診療費の自己負担額を父母教育後援会が補助しています（要申請）。学生たちは安心して受診することができます。

学校法人立命館ダイバーシティ&インクルージョン
https://www.ritsumeikan-trust.jp/diversity/

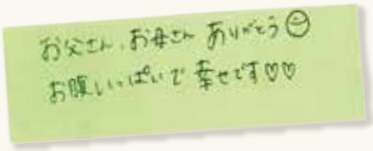
学生相談の総合案内
https://www.ritsumei.ac.jp/drc/sougou/

父母教育後援会

父母教育後援会とは、在学生の保護者の皆さまとともに学生生活を支え、大学と保護者の皆さまをつなぐ組織です。全国各地から学生が集まる立命館大学では、親元を離れひとり暮らしをしている学生も多く、学業だけでなく生活面でもサポートしています。ここでは、活動の一部をご紹介します。

健康な学生生活は朝食から ～100円朝食の提供～

立命館大学では、各キャンパスに食堂があり、開講期間中、学生を対象として100円で朝食を提供しています。これは、父母教育後援会の支援により、朝食を食べることで生活リズムを整えてほしいという思いで始まりました。年間のべ12万名の学生が利用しており、図書館の早朝利用者がのべ3万名増えるなど教育面でも効果を上げています。



早起きして朝食を食べる習慣づけに役立っています。

万が一の場合は卒業までの学費を給付 ～全国にも例のない充実した奨学金制度～

父母教育後援会の会員に万が一の事があり、学費を負担できなくなった時や、自然災害によって居住家屋が被災にあった時でも、学生が修学を諦めることのないよう奨学金制度を整えています。これらは、すべて返還不要です。

概要

- 学費負担者である会員が死亡、または重度後遺障害を生じたことにより就労不能となった場合
  →卒業までの授業料相当額を給付
- 自然災害により居住家屋が床上浸水以上の被災した場合
  →年間の授業料相当額を給付

受給者の感謝状より

> **悲しみから前を向くきっかけに。**
>
> 父が急逝して心の整理がつかないなか、この奨学金のことを知りました。将来に大きな不安を抱えていましたが、奨学金のおかげで修学を続けることができるとわかり、前を向こうと思えるきっかけになりました。これまで以上に恩師や友人と共に過ごせることに感謝して、亡くなった父の分まで一生懸命に生きていこうと思います。

キャンパスへのご招待

キャンパスで留学や就職などのテーマ別説明会、学部別の懇談会を実施。学園祭にもご招待します。

教職員が皆さまのもとへ

全国47都道府県で懇談会を開催。在校生や卒業生による貴重な体験談が聞け、大学の教職員に直接質問や相談ができる有意義な機会となっています。

京都などの歴史や文化を堪能

京都などにまつわるテーマごとにコースを設け、大学の教員の講座を受けた後、教員とともに名所・旧跡を巡ります。毎年、遠方から多数のご参加があります。

広がる立命館の輪「卒業生父母の会」

学生たちは大学を卒業すると約40万名の校友の一員となりますが、保護者の方々はご子女の卒業と同時に立命館大学とのつながりを持ちにくくなってしまいます。そのような中、多くの方から「子どもの卒業後も立命館大学の学生を応援したい」とのお声が寄せられ、卒業生父母の会を設立しました。立命館大学とご子女のご縁を機に、保護者の皆さまも立命館ファミリーの一員としてつながり続けることができます。

父母教育後援会
https://www.ritsumei-fubo.com/

RITSUMEIKAN CAMPUS GUIDE

日本の文化、政治、経済の中心地として永らく栄えてきた関西。
日本の歴史を受け継ぐ世界遺産や国宝を数多く有するだけではなく、
古都京都、自然豊かな滋賀、ビジネスの街大阪、と象徴されるように、
さまざまな個性と魅力をあわせ持ち、
世界を代表する国際都市として日々発展を続けています。
2府4県に跨って豊かな自然環境に囲まれている関西は、
コンパクトに移動しながらその土地ならではの風情を感じられるのが特徴です。
文化、芸術、ビジネス、自然環境など、日本の中でも関西でしか
味わえない魅力に触れながら、充実したキャンパスライフを過ごしませんか。

大阪いばらきキャンパス

経営　政策科学　総合心理　グローバル教養
映像　情報理工

京都と大阪の中間に位置する大阪いばらきキャンパス。JR・阪急・大阪モノレールなどの駅が徒歩圏内にあり、空港からのアクセスもよく利便性の高い立地です。茨木市の公園も隣接しており、地域に開けたキャンパスであることも魅力的です。

衣笠キャンパス

法　産業社会　国際関係　文

世界に誇る伝統を育む古都、京都。衣笠キャンパスは、金閣寺、龍安寺、仁和寺、そして等持院などの名刹に囲まれ、学問・研究の場にふさわしい静かな環境です。このキャンパスで日本の四季を味わえることも魅力の一つです。

びわこ・くさつキャンパス

経済　スポーツ健康科学　食マネジメント　理工
生命科学　薬

「住みよさランキング（東洋経済新報社）」で毎年近畿圏の中では上位の草津市に立地し、京都からのアクセスも良いキャンパス。琵琶湖やそれを取り巻く山々も近く、豊かな自然に囲まれ、学問・研究に適した穏やかな環境であることも魅力の一つです。

衣笠キャンパス

世界に誇る歴史と伝統を育む古都、京都に立地する衣笠キャンパスは、金閣寺、龍安寺、仁和寺そして等持院などの名刹に囲まれ、学問・研究の場にふさわしい静かな環境です。緑豊かなキャンパスでは、複雑化・多様化する社会に応じた社会科学系と人文科学系の学びを、学部や学問分野の枠を超えて学ぶことができます。

存心館時計台＆中央広場

立命館大学を象徴する建物です。正門からキャンパス内に入っていくと、中央広場から時計台に向かって突き抜けるまっすぐに伸びる道があります。丁寧に手入れされた芝生では、校内保育園の園児たちがかけまわる光景や四季折々の草花を眺めることができます。

- 平井嘉一郎記念図書館
- 2 存心館
- 3 興学館
- 4 志学館
- 5 以学館
- 6 研心館
- 7 学而館
- 8 有心館
- 9 西園寺記念館（セミナーハウス）
- 10 清心館
- 11 啓明館
- 12 洋洋館
- 13 恒心館
- 14 諒友館
- 15 修学館
- 16 Beyond Borders Plaza
- 17 尽心館
- 18 明学館
- 19 尚学館
- 20 敬学館
- 21 至徳館
- 22 充光館
- 23 育友館
- 24 末川記念会館
- 25 京都衣笠体育館
- 26 学生会館
- 27 アート・リサーチセンター
- 28 アカデメイア立命21（国際平和ミュージアム）
- 29 歴史都市防災研究所
- 30 創思館（ヒューマン・リサーチ・センター）
- 31 究論館
- 32 アトリエ棟
- 33 旧堂本印象邸

i …… インフォメーション

平井嘉一郎記念図書館

キャンパスのアカデミックシンボルとして、学生の学びの拠点、知的創造の場として最先端の機能を備えた図書館です。カウンターに立ち寄ることなく、本を持ったままウォークスルーで貸出手続きができる国内初の自動貸出機能付図書館ゲートのほか、ワンクリックで検索画面から本を自動で出庫することができる自動書庫は、私立大学でトップクラスである100万冊の収蔵冊数を誇ります。館内には目的に応じて快適に学びを深められるよう、階ごとに雰囲気の異なる閲覧室を用意しているほか、セミナールーム、プレゼンテーションルーム、カフェなども設置し、長時間滞在型の快適に学習できる環境になっています。

清心館

文学部の基本棟である清心館は学生からの要望も踏まえ、将来の文学部における教育・研究に必要な施設について検討を重ね、2020年度に生まれ変わりました。プレゼンテーションやグループワークにも対応可能な設備・スペースが充実し、学びあいをサポートします。

陪審法廷

京都地方裁判所で実際に使われていた法廷を移築しました。この法廷でもっとも注目すべきは「陪審員席」12名分が設けられていること。1928年より15年にわたって実際に行われていた陪審制を今に伝える、貴重な文化遺産です。

東側広場　**西側広場**

キャンパスの中央部に位置する東側広場と西側広場は学生達の憩いの場です。昼休みや授業の間には、学生達が集い食事をしたり、クラブ・サークル活動のパフォーマンスなどが披露されることもあります。

京都衣笠体育館　**原谷グラウンド**

衣笠体育館には3つのアリーナのほか、柔道場や最先端の機器を揃えたトレーニングルームなどがあります。体育会クラブの利用だけでなく、正課授業でも使用されています。キャンパス外には各種グラウンドもあり、様々なクラブの練習場として活用されています。

東側広場横の桜並木

雪化粧の存心館(左)と創思館(右)

大阪いばらきキャンパス（OIC）

2015年4月、大阪府茨木市に開設した大阪いばらきキャンパスは、2015年グッドデザイン賞を受賞しました。各学部・研究科の特長や立地の特性を活かし、「アジアのゲートウェイ」、「都市共創」、「地域・社会連携」をコンセプトに掲げ、教学展開・キャンパス創造を進めています。また、キャンパス全体をラーニング・プレイスと位置づけ、あらゆる場所でいつでも、誰とでも学びあえる多様な空間・機能が整備されています。

立命館いばらきフューチャープラザと岩倉公園

キャンパスは、塀を設けることなく、茨木市との公私協力により、広く市民の方も利用できる施設を整備し、地域・社会に開かれています。また、隣接する岩倉公園は、市民や学生の憩いと交流の場として、様々な年代の方が集う空間です。

❶ A 棟
教室、大学院共同研究室、教員研究室、
みなめん cafe、セブン - イレブン（コンビニエンスストア）

［北ウイング（AN）1F］
キャンパスインフォメーション（キャンパス管理室）、
教養教育センター、キャリア教育センター、サービスラーニングセンター、
言語習得センター（CLA）、言語教育センター、国際教育センター、
学習支援コモンズ、Beyond Borders Plaza（BBP）

［中ウイング（AC）1F］
学びステーション、経営学部事務室、政策科学部事務室、総合心理学部事務室、
グローバル教養学部事務室、独立研究科事務室、リサーチオフィス（8F）、
映像学部事務室、情報理工学部事務室

［南ウイング（AS）1F］
キャリアセンター、エクステンションセンター、学生オフィス、スポーツ強化オフィス、
学生サポートルーム、障害学生支援室

❷ B 棟（立命館いばらきフューチャープラザ）
地域連携室、茨木商工会議所、OIC ライブラリー（図書館）、グランドホール、
カンファレンスホール、イベントホール、音楽練習室、まちライブラリー@OIC、
GARDEN TERRACE LION（レストラン）、スターバックス（コーヒーストア）

❸ C 棟
教室、OIC セミナーハウス、RAINBOW サービスデスク、
OIC Cafeteria（生協食堂）、
OIC Meal Shop（生協コンビニショップ）、
OIC Shop（生協総合サービス）

❹ D 棟
OIC アリーナ、クラブボックス、
トレーニングルームなど

❺ E 棟
エネルギーセンター

❻ F 棟
スタンド、更衣室など

❼ H 棟
教室、クリエイティブ・コンプレックス、保健センター

❽ OIC フィールド

❾ 空のプラザ

❿ ステージ

⓫ 桜の広場

⓬ 岩倉公園 ※キャンパスに隣接する茨木市の公園

⓭ 心理・教育相談センター

⓮ G 棟（分林記念館）
R+Ing、Noh［能］-Theater、OIC SAKURA Lounge、Global House など

i …… インフォメーション

OIC ライブラリー

アクティブな学習空間（2階ラーニングコモンズ）と静謐な閲覧室（3階、4階）を併せ持つ学習と研究に活用できる総合図書館です。どのフロアも開放的で、快適な環境を提供しています。

アリーナ

1階にはトレーニングルーム、更衣室、防音の練習室、多目的室、ラウンジが併設されたサークルロッカーなどを配置。2階にはバスケットボールコート3面分の広さを有するアリーナを設けています。

グランドホール

立命館大学が有する最も規模の大きいホールです。約1,000名を収容でき、演奏会や講演会にも対応可能な音響設備、フルオーケストラの演奏が可能なステージ、同時通訳ブースなどを配備しています。

OIC コンコース

学舎棟には最大幅約18m、長さ約200mの大廊下“コンコース”が南北に走っています。学生が行き交う廊下としてだけではなく、学生の学習・活動・交流・情報発信・憩いといった様々なアクティビティが可能なオープンスペースとして活用しています。

OIC フィールド

正課授業のほか、体育会ホッケー部の活動拠点としても使われている人工芝の運動場です。観客席つきスタンドを併設しており、ホッケー競技の国際規格に対応しています。また、ラクロスやアルティメットなど他の競技にも使用できます。

ラーニングスタジオ

従来の教室と異なり、利用者の用途・スタイルに応じて机や椅子、教卓やAV機器が自由にレイアウトできます。壁面はホワイトボードを備え、個人のアイデアを共有化・発信することにより、講論の活性化が期待されます。

分林記念館

グローバル教養学部の日本人学生と留学生が生活と学びを共にする国際寮の機能を有するとともに、OIC で学ぶすべての学生の学生生活を豊かにするための空間となっています。大学の更なるグローバル化を推進し、学生が能楽や茶道をはじめとする日本文化に触れ、世界に発信する拠点として建設されました。

びわこ・くさつキャンパス（BKC）

びわこ・くさつキャンパス（BKC）は、滋賀県が整備を進める「びわこ文化公園都市」と隣接し、数々の芸術文化施設が集まる文教地区に位置しています。 国際水準の教育・研究拠点、また社会科学系・自然科学系の学部が融合した学びの場として、常に新たな教育・研究システムの開発に努めるとともに、産・学・官、地域との連携による研究や新産業の創出にも積極的に取り組んでいます。

Daigasエナジースタジアム（クインススタジアム）とアクロスウイング

Daigasエナジースタジアム（クインススタジアム）は、フットボールグラウンドと全天候型陸上競技場トラック9コースを兼ね備えたスタジアムです。正課授業や陸上競技部が練習を行うほか、地域の子どもたちのスポーツ大会などでも活用されています。また、陸上競技の公認競技場のため、公認記録会も開催。アクロスウイングには、キャンパスのトレードマークの時計台があり、開放的な学習空間であるラーニング・コモンズ（アクロスラウンジ）や図書館（メディアライブラリー）などを備えています。

1. アクトα
2. アクトμ
3. アクトβ
4. アクトσ（シグマ）
5. アクロスウイング
6. アスリートジム
7. アドセミナリオ
8. イーストウイング
9. ウエストウイング
10. エクセル1
11. エクセル2
12. エクセル3
13. エポック立命21
14. 学術フロンティア共同研究センター
15. ナデシコ食堂（レストラン）
16. クリエーション コア
17. コアステーション
18. コラーニングハウスⅠ
19. コラーニングハウスⅡ
20. サイエンス コア
21. セル
22. セントラルアーク
23. テクノコンプレクス
24. 燃料電池センター
25. BKCジム
26. フォレストハウス
27. プリズムハウス
28. 防災システムリサーチセンター
29. メディアセンター
30. ユニオンスクエア
31. 立命館大学BKCインキュベータ
32. 立命館大学ローム記念館
33. リンクスクエア
34. レクセル
35. ワークショップラボ
36. インテグレーションコア・ラルカディア
37. BKCインターナショナルハウス
38. トリシア
39. バイオ リンク
40. BKCスポーツ健康コモンズ

i …… インフォメーション（キャノピー）

フロンティアアベニュー

プール

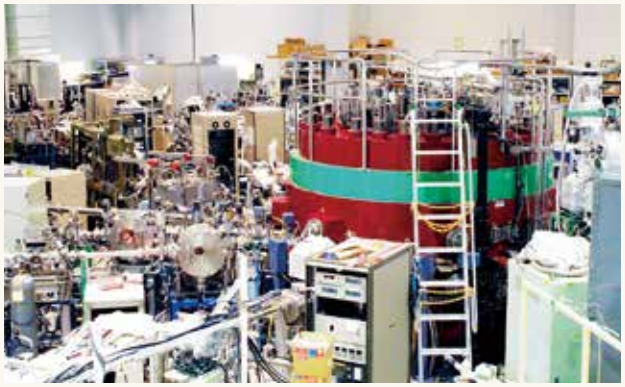
リラックスコモンズ

BKCスポーツ健康コモンズとフロンティアアベニュー

キャンパス正門周辺には、BKCスポーツ健康コモンズとフロンティアアベニュー（歩行者専用道路）があり、学生・教職員・地域関係者の幅広い交流・連携の場となっています。BKCスポーツ健康コモンズには、屋内外のプールのほか、アリーナやトレーニングルームも併設しています。また、1階には、カフェが併設されリビングのようなくつろぎ空間となるリラックスコモンズがあります。畳スペースや多種多様なイスやテーブルを配置し、学生・教職員の交流・連携が活発に行われる場となっています。

トリシア

トリシアは、理工学部都市システム系の学生が主に利用する施設です。「優れた実践教材としての建築計画」を掲げ、建築材料から構造に至るまで、建物そのものが実践的な建築・環境教育が可能な「実験棟」となっています。



テクノコンプレクス（SRセンター）

幅広い分野の学術研究や産業技術の向上に利用されています。超伝導電磁石を用いた超小型（直径1m）の放射光源（蓄積リング）「オーロラ」があり、軟X線を中心として真空紫外から硬X線までの広範なエネルギー領域の分光研究や、蓄電池開発など幅広い応用研究に利用されています。学生の実験や教員の日々の研究に使われるだけでなく、国内外の大学、研究所、企業から多くの利用があり、社会にも大きく貢献している施設です。

セントラルアーク

セントラルアークは、学生たちの要望を受けて学生交流施設として作られました。ここを拠点に、自由で創造的な学生たちの自主的な活動が日々行われています。

天体観測室

トリシアの最上階には、天体観測室があります。口径60cmの天体望遠鏡が設置されており、大学キャンパス内の天体望遠鏡としては国内最大級です。

セントラルサーカス

キャンパスの中心部に位置し、正門からの道フロンティアアベニューとキャンパスのメインロードでもあるキャンパスプロムナードの中間地点です。周辺には、食堂、図書館、学生の研究施設があり、休み時間には学生が行き交います。中央にある噴水付近にはベンチが設置され学生達の集う場所となっています。

BKCグリーンフィールド

びわこ・くさつキャンパスから徒歩5分のところにあり、アメリカンフットボール部とラグビー部が練習をおこなっています。クラブハウスとトレーニングルームも併設しています。

AIOL（All In One Laboratory アイオーラボ）

機械・電子工作からIoTやソフトウェアまで、モノづくりを無償で行える施設です。常駐の学生アドバイザーとともに、実践を通じて学びを深めることができる場です。

その他の施設

ピア・ラーニングルーム（ぴあら）

立命館大学の４つの図書館（平井嘉一郎記念図書館、OIC ライブラリー、メディアセンター、メディアライブラリー）では館内に「ピア・ラーニングルーム（呼称：ぴあら）」を設置しています。「ぴあら」とは、仲間（ぴあ：Peer）とともに創造的な学びのスタイルを身につけることができる学びの空間です。ディスカッションやグループワークなどを行うために必要となる情報機器等がそろっており、環境に制限されずに学びあいを進めることができます。ぴあらでの活動により、様々な人との出会いや体験から対話を深めていくことで、新たな気づきが生まれます。

セミナーハウス

学部生が学ぶ全てのキャンパスに、宿泊が可能なセミナーハウスがあります。学生団体等が自主的・集団的な学習、研究や学術・文化活動を深めることができるように設置された、宿泊室や会議室を備えた教育・研究施設です。

立命館大学国際平和ミュージアム

「戦争の記憶を共有する」、「平和創造の場となる」、「平和創造を支える調査研究活動の拠点となる」を基本コンセプトに、2023年9月にリニューアルオープンしました。過去の歴史と現在の世界を見つめることで、平和創造に向けた一歩を踏み出すきっかけとなるような展示となっています。

➔ 衣笠キャンパス㉘ P.156

国際平和ミュージアム ホームページ
https://rwp-museum.jp/

学生会館（衣笠キャンパス）

学友会に登録している団体が利用する学生団体の拠点施設。施設内には、音楽練習室をはじめ、演劇やライブができるホール、部室、茶室、憩いの場「cafeゆんげ」などがあります。

食堂・カフェスペース

学生の日常の食生活を支え、健康で快適な食環境を提供する食堂や憩いの場となるカフェスペースを、各キャンパスに設置しています。食堂は授業開講期間中、朝から晩まで営業し、各種企画メニューのほか、アスリートや留学生の食生活にも対応した豊富なメニューを提供しています。

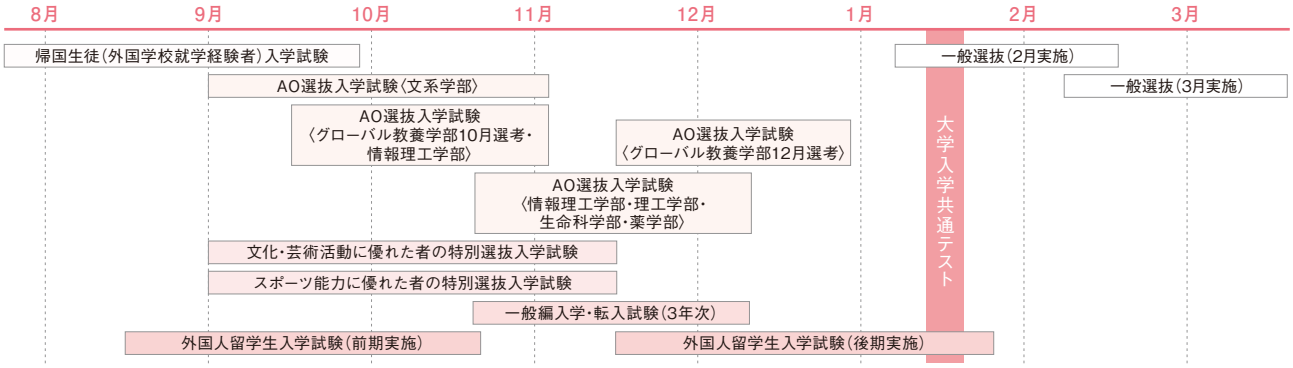
立命館大学の2025年度入学試験

入学試験の制度・実施学部一覧

入試制度		入試要項の入手方法（web公開時期）	法	産業社会	国際関係	文	経営	政策科学	総合心理	グローバル教養	映像	経済	スポーツ健康科学	食マネジメント	情報理工	理工	生命科学	薬
一般選抜（大学入学共通テスト方式を含む）		資料請求又はWeb（11月）	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●
総合型選抜	AO選抜入学試験	Web（6月末）		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	文化・芸術活動に優れた者の特別選抜入学試験	Web（6月末）	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●
	スポーツ能力に優れた者の特別選抜入学試験	Web（6月末）	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●
帰国生徒を対象とした入学試験	帰国生徒（外国学校就学経験者）入学試験	Web（5月末）			●					●								
外国籍・英語基準の生徒を対象とした入学試験	外国人留学生入学試験（前期実施・後期実施）	Web（5月末）	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●
	AO英語基準入学試験【4月入学】	Web（5月末）			●					●					●			
	AO英語基準入学試験【9月入学】	Web（5月末）			●			●		●								
一般編入学・転入学試験（3年次）		Web（6月末）														●		

※上記のほか、学校推薦型選抜も実施しています。学校推薦型選抜については、各高等学校にご確認ください。

入試スケジュール　出願～合格発表



※上記以外の入学試験は各入学試験要項で確認してください。

AIを活用した指定単元学習プログラム＋AO選抜入学試験

UNITE PROGRAM

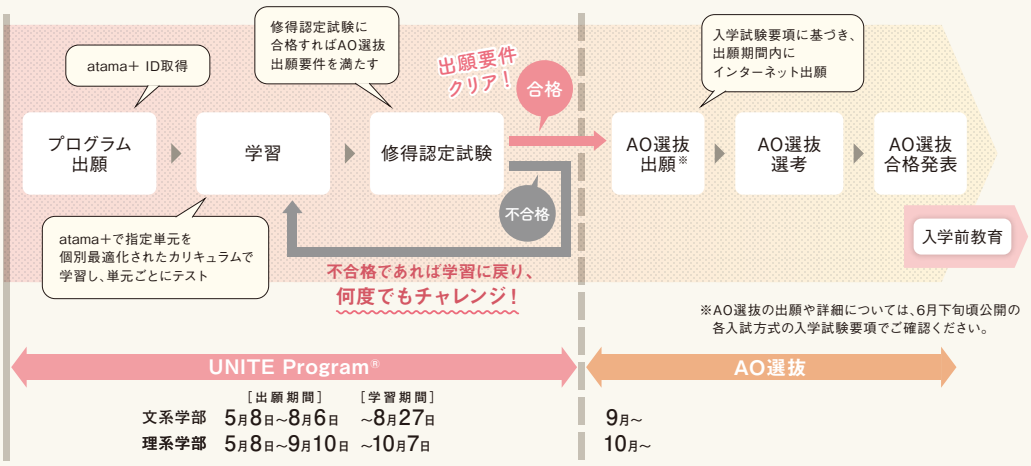
UNITE Program®とは、志望する各学部・学科での学びをより充実させるために特に重要な基礎学力を指定単元として設定し、AIを活用した学習教材で修得できるプログラムです。本プログラムは、8つの対象学部で実施します。

〈対象学部〉文系学部：政策科学部、総合心理学部、経済学部、スポーツ健康科学部、食マネジメント学部
理系学部：情報理工学部、生命科学部、薬学部

プログラム出願から入試までの流れ

プログラムではAI学習システムである、atama＋を使用します。atama＋は、パソコンまたはタブレットを用いて学習できます。

プログラムの詳細はコチラ



※AO選抜の出願や詳細については、6月下旬頃公開の各入試方式の入学試験要項でご確認ください。

	［出願期間］	［学習期間］	
文系学部	5月8日～8月6日	～8月27日	9月～
理系学部	5月8日～9月10日	～10月7日	10月～

以下は2024年4月末時点の内容です。各入試方式の詳細については、「入学試験要項」を必ずご確認ください。

一般選抜の特長

シンプルな入試体系

全学統一方式をはじめとする「独自試験」と、大学入学共通テストの得点を利用する「共通テスト併用方式」「共通テスト方式」の3つを柱としています。詳細は6月発行の「入試ガイド」・11月上旬発行の「一般選抜入学試験要項」をご確認ください。

①立命館独自試験のみ

本学の独自試験のみで合否判定する入試です。
メインの「全学統一方式」は3教科型で実施します。

全学統一方式（文系・理系）／理系型3教科方式／薬学方式／学部個別配点方式／IR方式（英語資格試験利用型）※1／後期分割方式※2

②大学入学共通テスト+立命館独自試験

大学入学共通テストと本学の独自試験をあわせて合否判定する入試です。

共通テスト併用方式／「経営学部で学ぶ感性＋共通テスト」方式

③大学入学共通テストのみ

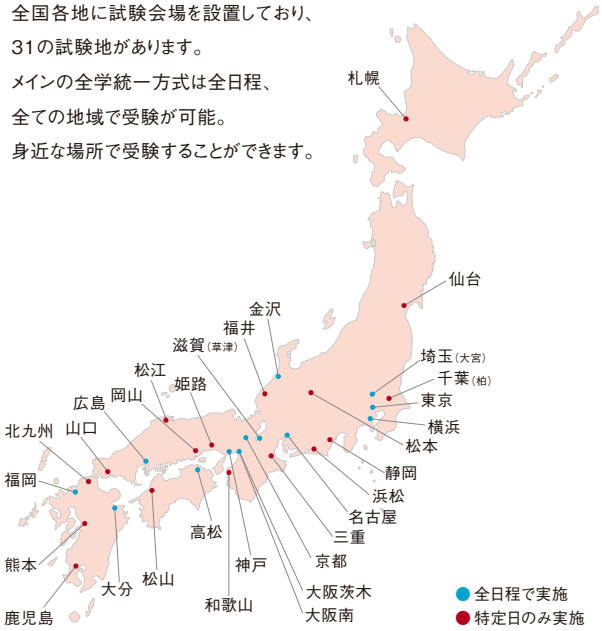
大学入学共通テストの得点のみで合否判定をする入試です。

共通テスト方式（7科目型・5教科型・3教科型・後期型）

※1 本学独自試験は、「英語」「英文読解」のみです。
※2 本学独自試験は2教科です。一部の学部で大学入学共通テスト併用型を採用します。

全国31試験地で受験可能

全国各地に試験会場を設置しており、
31の試験地があります。
メインの全学統一方式は全日程、
全ての地域で受験が可能。
身近な場所で受験することができます。



※各試験地の実施日は、下記左表でご確認ください。

方式・試験地別日程表

異なる試験日の入試については、学部・学科・学域・専攻・コース・入試方式を問わず、併願に制限はありません。なお、グローバル教養学部では一般選抜（共通テスト方式を含む）を実施しません。

試験日	2月1日	2月2日		2月3日	2月4日	2月7日	2月8日	2月9日		3月7日	
法学部	全学統一（文系）	全学統一（文系）	—	全学統一（文系）	全学統一（文系）	学部個別配点	共通テスト併用	共通テスト併用	—	後期分割	—
産業社会学部									IR		
国際関係学部									—		
文学部											
経営学部											感性
政策科学部											—
総合心理学部			理系型3教科								
映像学部			—								
経済学部											
スポーツ健康科学部			理系型3教科								
食マネジメント学部											
情報理工学部	—	全学統一（理系）	—	全学統一（理系）	—			—			
理工学部											
生命科学部											
薬学部		—	薬学				—				
試験地	①②					①				③	

試験地 ① 千葉（柏）・埼玉（大宮）・東京・横浜・金沢・静岡・浜松・名古屋・三重・滋賀（草津）・京都・大阪茨木・大阪南・神戸・岡山・広島・高松・福岡・大分
② 札幌・仙台・松本・福井・姫路・和歌山・松江・山口・松山・北九州・熊本・鹿児島
③ 埼玉（大宮）・東京・横浜・金沢・名古屋・滋賀（草津）・京都・大阪茨木・大阪南・神戸・広島・高松・福岡・大分

共通テスト方式 実施一覧

「学部・学科・学域・専攻・コース」と「選考時期・科目・教科型」の組み合わせが異なれば併願できます。

選考時期	2月選考			3月選考（後期型）		
科目・教科型	7科目型	5教科型	3教科型	5教科型	4教科型	3教科型
法学部	●	●	●	—	●	—
産業社会学部						●
国際関係学部						—
文学部						
経営学部						
政策科学部						
総合心理学部				●		●
映像学部				—		—
経済学部				●		●
スポーツ健康科学部						
食マネジメント学部				—		—
情報理工学部				●		●
理工学部						
生命科学部						
薬学部		—		—	—	—

入学試験要項は「立命館大学入試情報サイト」で公開

AO選抜入学試験、外国人留学生対象の入学試験等の「2025年度入学試験要項」は、5月下旬より順次公開する予定です。
また、「2025年度一般選抜入学試験要項（共通テスト方式含む）」は、11月公開予定です。入学試験要項・出願書類等は下記よりダウンロードしてください。

立命館大学入試情報サイト ▶ 入学試験要項・出願書類ダウンロード

立命館大学入試イベント

立命館大学での学びや2025年度入試について、直接見て聞いて知ることができるイベントを全国各地で実施する予定です。「立命館大学入試情報サイト」のイベントページにてご確認のうえ、ご参加ください。なお、以下は**2024年4月末時点の内容**です。今後内容を変更する場合があります。最新情報やイベントの詳細は入試情報サイトをご確認ください。

立命館大学の魅力に触れる

オープンキャンパス2024

大学紹介　キャンパスツアー　研究室公開　模擬授業　入試説明会　個別相談　ほか

8/3（土）8/4（日）10:30〜16:00　3キャンパス同時開催 ＋ Live配信

京都・大阪・滋賀の3キャンパスでダイナミックに広がる立命館の学びの形を、思う存分体感していただける1年に1度の機会です。各学部が模擬授業や研究室公開などさまざまな企画でその魅力を伝えます。自分なりの楽しみ方で、立命館らしさをぜひ体験してください。

キャンパス見学会

大学紹介　AO選抜説明会　一般選抜説明会　キャンパスツアー　個別相談　ほか

気軽にキャンパスを見学したい方のための企画です。大学紹介や入試説明会のほか、各キャンパスで実際に学んでいる学生スタッフがキャンパス内をツアー形式でご案内します。

●の日程はAO選抜説明会を実施予定です。

会場	開催日		開催時間
衣笠キャンパス	●6月23日（日）	9月22日（日）	13:00〜16:00
大阪いばらきキャンパス	●6月22日（土）	9月16日（月・祝）	
びわこ・くさつキャンパス	●6月23日（日）	9月14日（土）	

関西7大学フェスティバル

大学紹介　入試説明会　ほか

立命館大学と京都大学、同志社大学、大阪大学、関西大学、神戸大学、関西学院大学の、関西7大学の合同説明会です。

開催地		開催日	会場	開催時間
東京都	市ヶ谷	8月24日（土）	TKP市ヶ谷カンファレンスセンター	10:00〜16:30

詳しくは以下のWEBサイトを参照ください

https://ritsnet.ritsumei.jp/event/index.html

入試の疑問や不安を解消する

AO選抜説明会〈オンライン形式〉

全体説明会　学部別説明会　質疑応答　ほか

AO選抜入学試験を実施する学部・方式や特長などについて、詳しく解説します。AO選抜入試を考えている人はもちろん、学部の学びについても知ることができる説明会です。

開催地	開催日	開催時間
オンライン	7月6日（土）	①13:00〜14:50　②15:00〜16:50　③17:00〜18:50

※時間帯により、参加学部が異なります。

入試相談会

全国各地で行われる入試相談会に、立命館大学が参加します。立命館大学の学部の学びや学生生活、入試情報など、皆さんの質問・疑問に丁寧にお応えします。ぜひ立命館大学のブースにお立ち寄りください。

開催地		開催日	会場	開催時間
北海道	札幌	7月28日（日）	ACU-A	10:00〜16:00
千葉県	幕張	9月23日（月）	東京ベイ幕張ホール	10:00〜16:30
神奈川県	横浜	8月17日（土）	パシフィコ横浜	10:00〜16:00
		10月6日（日）	パシフィコ横浜	10:00〜16:30
愛知県	名古屋	7月21日（日）	名古屋国際会議場	10:00〜16:00
京都府	京都	5月26日（日）	みやこめっせ	10:00〜16:00
		9月29日（日）	みやこめっせ	10:00〜16:00

開催地		開催日	会場	開催時間
大阪府	梅田	9月7日（土）	コングレコンベンションセンター	10:00〜16:00
兵庫県	神戸	9月21日（土）	神戸サンボーホール	10:00〜16:00
広島県	広島	9月1日（日）	広島国際会議場	10:00〜16:00
		10月5日（土）	NTTクレドホール	11:00〜17:30
福岡県	博多	8月9日（金）	福岡国際会議場	10:00〜16:00

INFORMATION

立命館大学の入試情報を知る

立命館大学入試情報サイト

2025年度入試に向けて、対面形式でのイベント実施のほか、オンラインでも情報発信をしています。入試最新情報のほか、大学情報やキャンパス紹介、入試のポイント、在学生の受験体験談、入試対策講座などの情報を順次公開しますので、状況に合わせて活用してください。

https://ritsnet.ritsumei.jp/

立命館大学入試に関する様々なご質問にチャットで自動回答します！

入試情報サイトにアクセスするとページ右下に出てくるチャットのアイコンをクリック！
24時間質問に対応します。

入試案内

特別入試を含む各方式の概要や要項のダウンロード、過年度の入試結果や過去問題・講評、入試Q&Aなどを確認できます。

入試イベント

各地で開催する対面形式のイベントやオンライン説明会の情報、参加申込はこちらでご確認ください。

ムービー

時間を選ばずいつでも見られる動画を公開しています。キャンパス紹介や学生の様子など、まずはこちらをご覧ください。

公式SNS

Follow us! ☞

入試情報サイト更新のお知らせなどを配信します。

立命館大学入学センター

Find us on YouTube

立命館大学
入学センター

立命館大学での学びをより具体的にイメージする

立命館大学ホームページ

立命館大学の基本情報はもちろん、各学部の紹介や課外活動、奨学金をはじめとする各種支援制度などを掲載しています。
また、学生の活躍や研究成果など最新の情報も随時、公開しています。

https://www.ritsumei.ac.jp/

オンラインシラバス

各学部で開講している授業科目について、実際にどのような授業が行われているのか、概要やスケジュールなどの具体的な情報をオンラインで閲覧することができます。学部やキーワードでの検索も可能です。

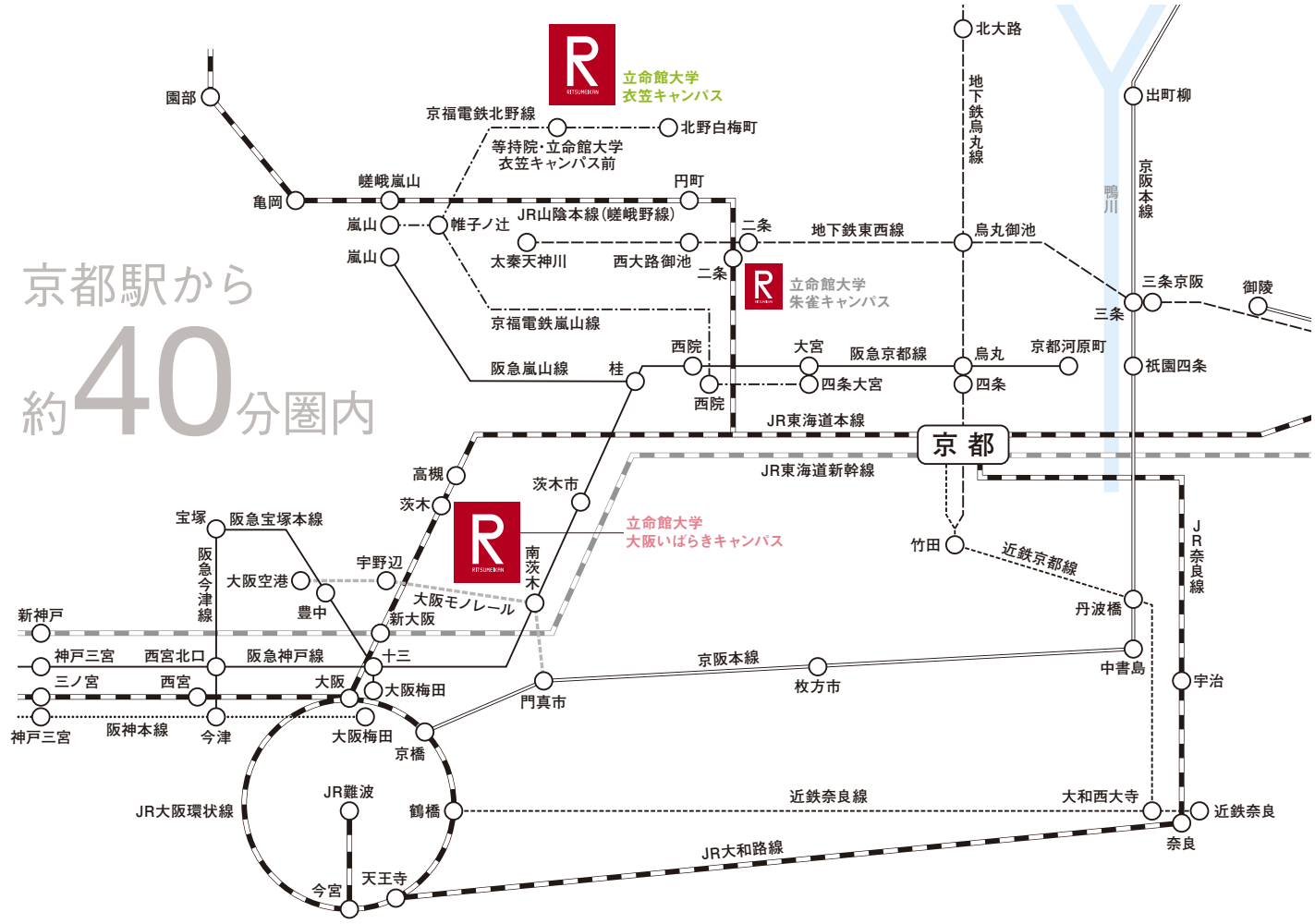
https://www.ritsumei.ac.jp/pathways-future/syllabus/

立命館大学研究活動紹介『RADIANT』

『RADIANT』立命館大学の多様な研究活動を紹介する研究活動報です。学部、SDGsなどの社会課題、興味のあるキーワードなど、さまざまな観点から、立命館大学の多様でおもしろい研究活動を見つけることができます。興味関心にあった学部選びのために、ぜひご活用ください。

https://www.ritsumei.ac.jp/research/radiant/

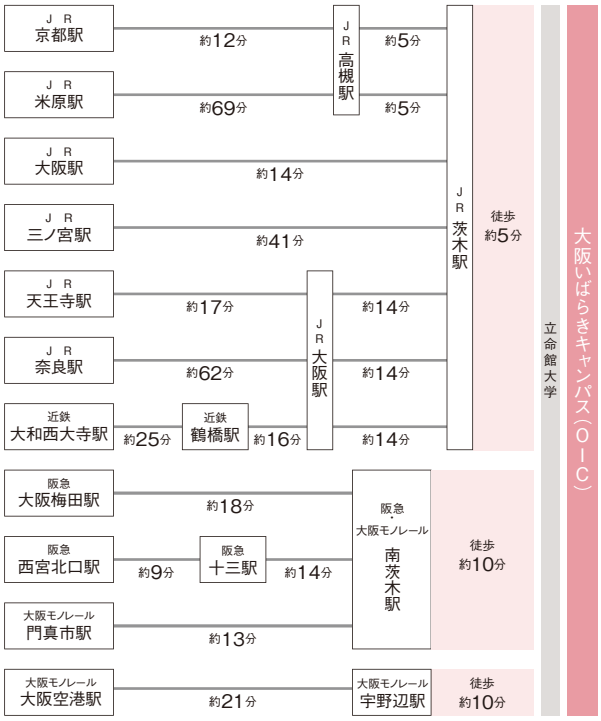
ACCESS MAP



大阪いばらきキャンパス

〒567-8570
大阪府茨木市岩倉町2-150

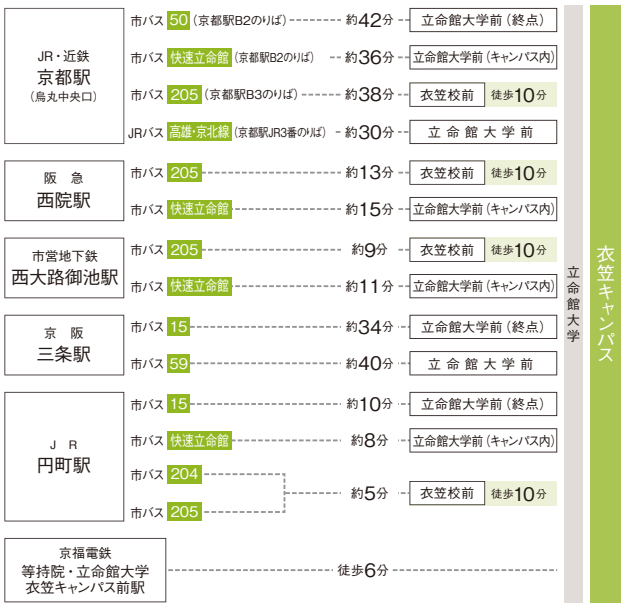
アクセスに関するお問い合わせ
TEL. 072-665-2020（キャンパスインフォメーション）



衣笠キャンパス

〒603-8577
京都市北区等持院北町56-1

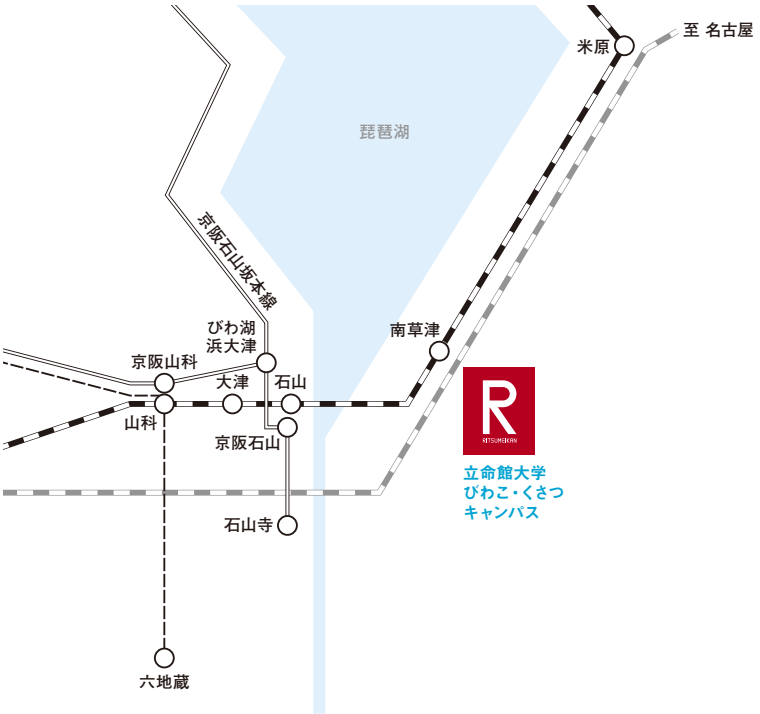
アクセスに関するお問い合わせ
TEL. 075-465-8144（キャンパスインフォメーション）



朱雀キャンパス

〒604-8520
京都市中京区西ノ京朱雀町1

アクセスに関するお問い合わせ：TEL. 075-813-8137（総務課）



個別の就職相談をはじめ、相談員による履歴書・エントリーシートの確認・面接選考に関するアドバイスなど、就職活動の拠点として学生を支援しています。
また、立命館大学を目指す受験生のため、パンフレットや一般選抜入学試験要項なども配布しています。

大阪梅田キャンパス

〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル5階・14階

【14階：開室時間】
（就職活動支援等）　月～金　9:30～17:00
TEL. 06-6360-4895

【5階：開室時間／開講期】
（社会人大学院）　月～金 14:30～21:30
土・日　9:00～17:00
TEL. 06-6360-4892

※開講期は開室時間等が異なります。ホームページをご確認いただくか、お問い合わせください。

東京キャンパス

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー8階
TEL. 03-5224-8188（代表）

【開室時間】
月～土　9:00～17:30

※開室時間等、詳しくは各キャンパスにお問い合わせください。

びわこ・くさつキャンパス

〒525-8577
滋賀県草津市野路東1丁目1-1

アクセスに関するお問い合わせ
TEL. 077-561-2617（キャンパス管理室）

- JR 大阪駅 ― 約50分 ― JR 南草津駅
- JR 京都駅 ― 約20分 ― JR 南草津駅
- JR 米原駅 ― 約35分 ― JR 南草津駅
- JR・近鉄 奈良駅 ― （京都駅経由）約70分 ― JR 南草津駅
- JR 三ノ宮駅 ― 約70分 ― JR 南草津駅

近江鉄道バス ---------- 約20分 ----------
「立命館大学行き」または
立命館大学経由
「松ヶ丘5丁目行き」・
「県立長寿社会福祉センター行き」

JOINT LINER（2両編成のバス）も運行しています。

立命館大学 ― びわこ・くさつキャンパス（BKC）

BKCへは直行便バスを運行中!

京阪 中書島駅 ― 直行便バス 京阪バス ― 約35分　＊学休日、土日祝（授業日除く）は運行しません。

※直行便バスは本数に限りがあります。
ダイヤの詳細は京阪バスのホームページでご確認ください。

キャンパスを結ぶ シャトルバスも運行中

正課、また課外自主活動に参加する本学学生のために、衣笠キャンパス、大阪いばらきキャンパス（OIC）、びわこ・くさつキャンパス（BKC）を結ぶシャトルバスを運行しています。

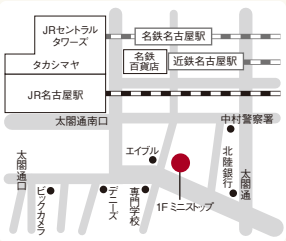
立命館プラザ

パンフレットや一般選抜入学試験要項の入手および各種資料の閲覧が可能です。また、立命館プラザ名古屋では、入試方式などの相談ができます。どうぞお気軽にお立ち寄りください。
プラザの開室スケジュールなど、詳しい情報は立命館大学入試情報サイト「エリアサーチ」で随時公開しています。

立命館プラザ名古屋

〒453-0015
名古屋市中村区椿町16-16
ナゴヤ大和ビル7階
TEL.052-459-0750

【開室時間】
火～土　10:00～18:00



立命館大学
〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1
［入学センター］Tel. 075-465-8351
立命館大学入試情報サイト
https://ritsnet.ritsumei.jp

2024年5月発行　編集：立命館大学入学センター

UNIVERSITY
ACCREDITED
2019.4~2026.3